

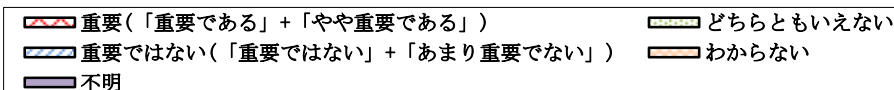
問2 「いわて県民計画(2019~2028)」に掲げる「10の政策分野」に関連する次の1から57の調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。

1 体の健康づくりについての相談、指導を受けられること。

(1) 重要度について

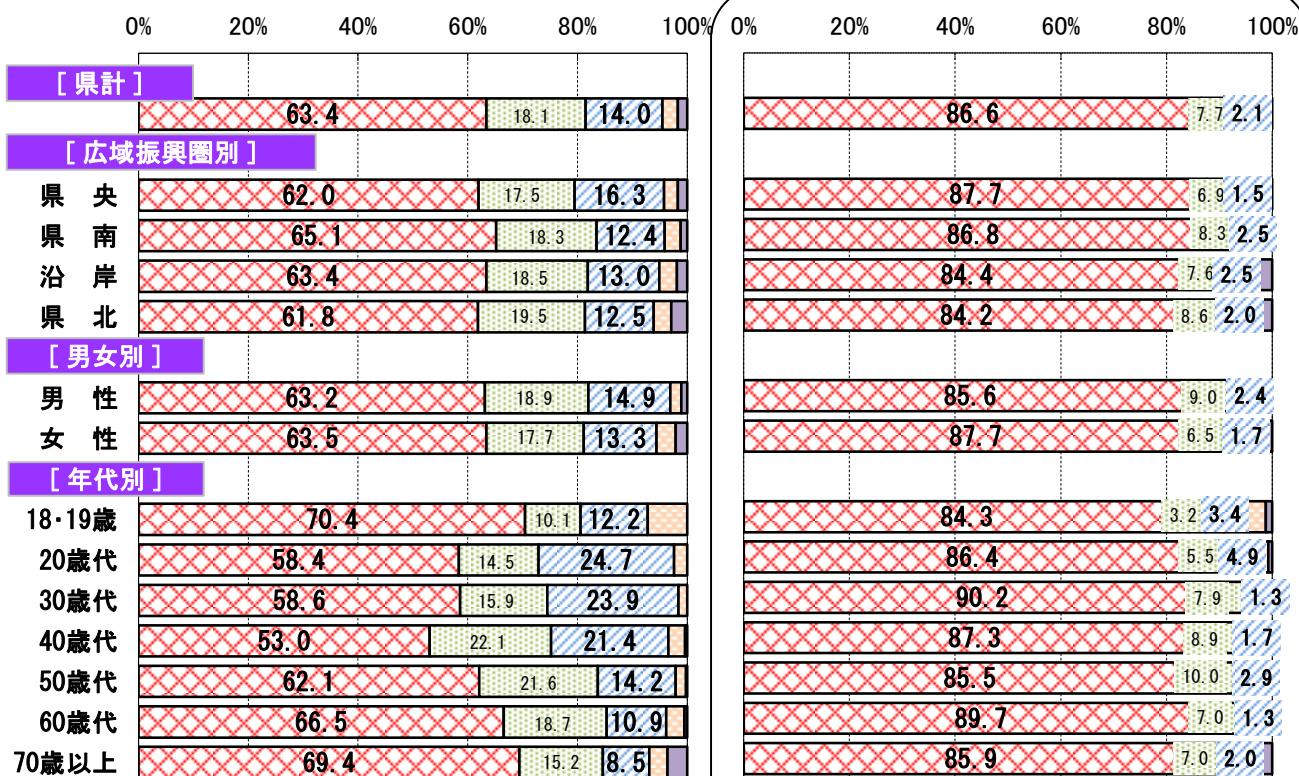
**重要が6割強(63.4%)**

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が63.4%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合14.0%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(65.1%)、男女別では女性(63.5%)、年代別では18・19歳(70.4%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(1.7ポイント)、男女別では男性(△0.2ポイント)、年代別では40歳代(△10.4ポイント)となっている。



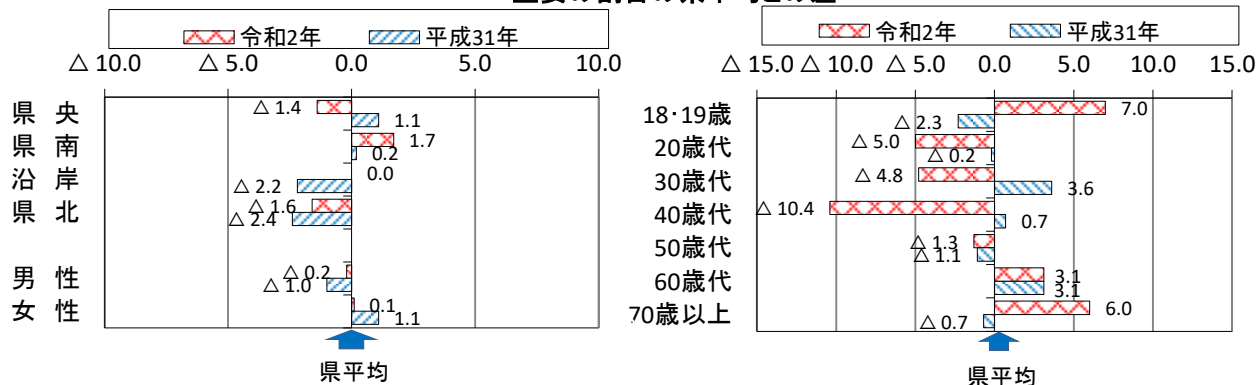
《 令和2年 》

《 平成31年(参考) 》



前回調査「病気の予防や健康づくりを行うために、相談、指導を受けられること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

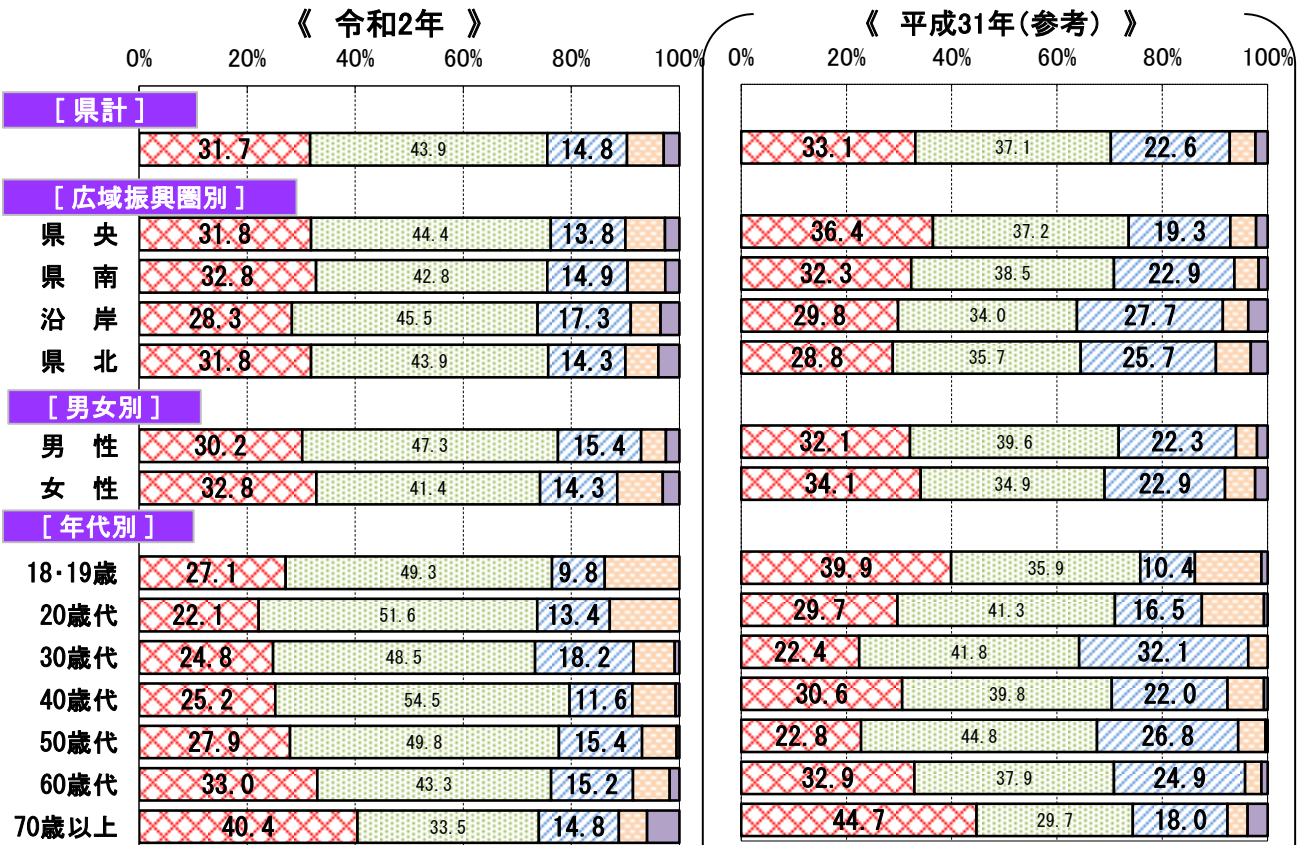
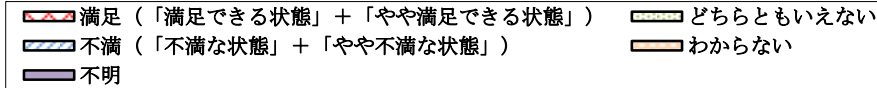
**重要の割合の県平均との差**



## (2) 満足度について

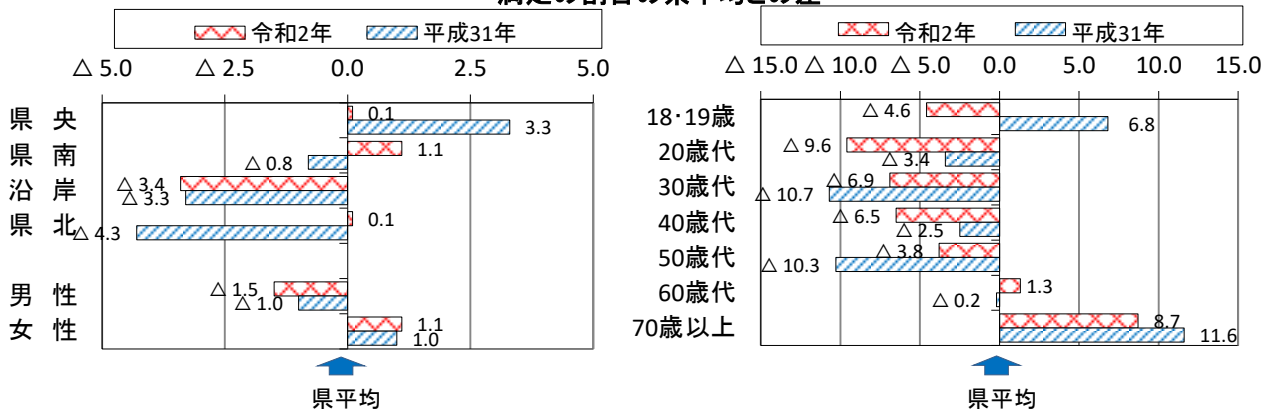
### 満足が3割強(31.7%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が31.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合14.8%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(32.8%)、男女別では女性(32.8%)、年代別では70歳以上(40.4%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△3.4ポイント)、男女別では男性(△1.5ポイント)、年代別では20歳代(△9.6ポイント)となっている。



前回調査「病気の予防や健康づくりを行うために、相談、指導を受けられること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

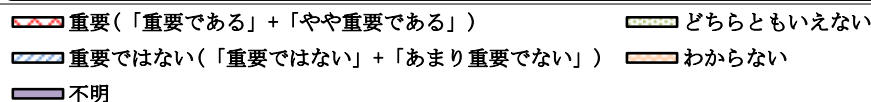


## 問2-2 心の健康づくりについての相談、支援を受けられること。

### (1) 重要度について

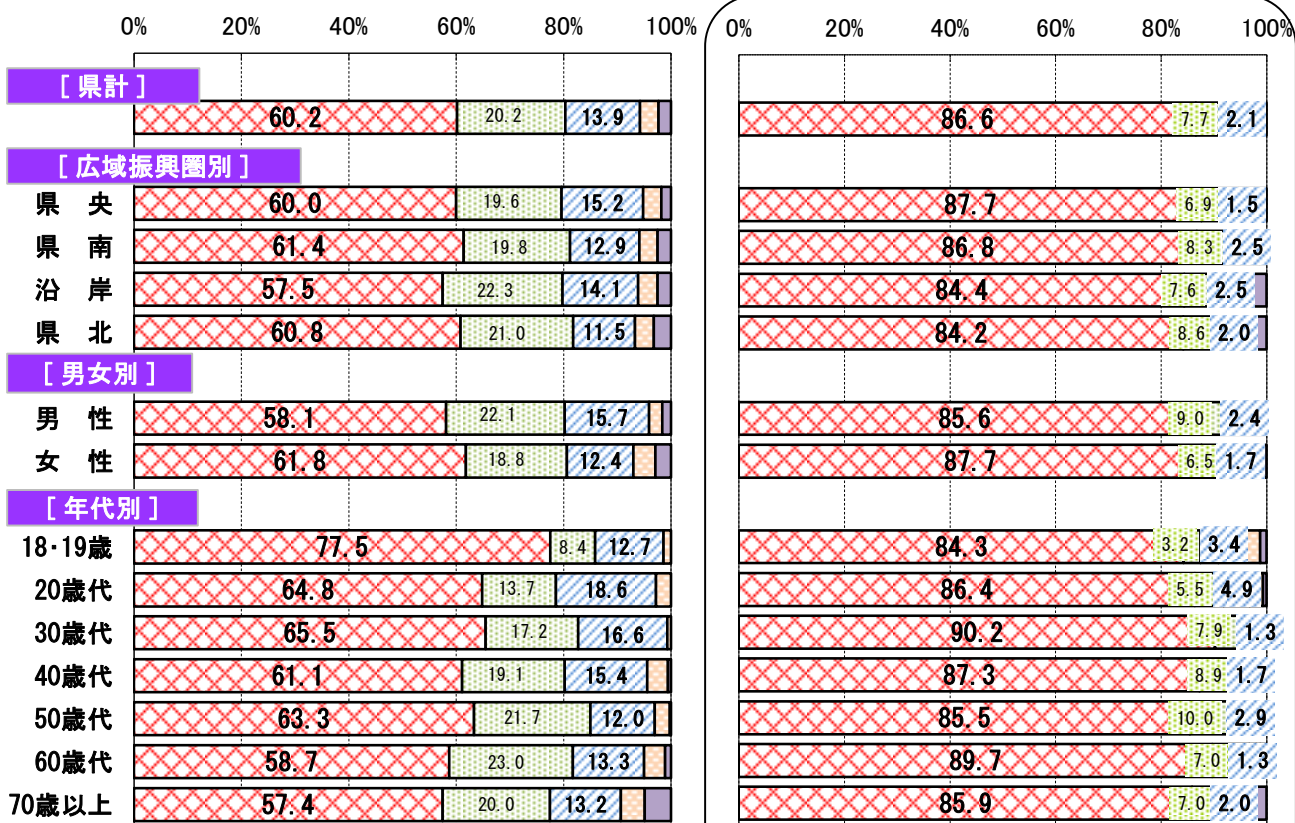
#### 重要が約6割(60.2%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が60.2%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合13.9%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(61.4%)、男女別では女性(61.8%)、年代別では18・19歳(77.5%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.7ポイント)、男女別では男性(△2.1ポイント)、年代別では18・19歳(17.3ポイント)となっている。



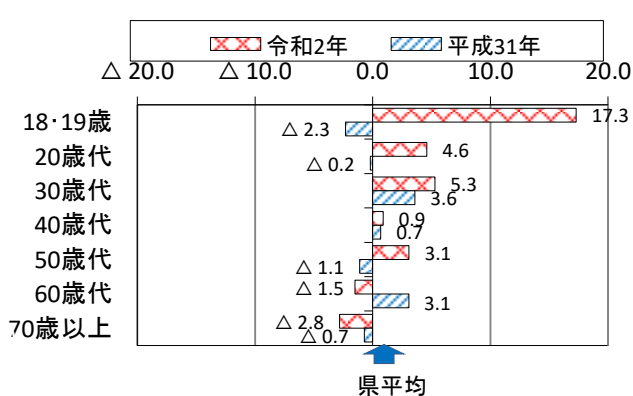
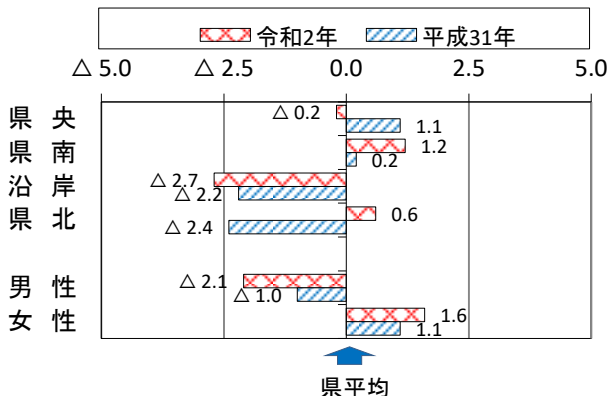
《 令和2年 》

《 平成31年(参考) 》



前回調査「病気の予防や健康づくりを行うために、相談、指導を受けられること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

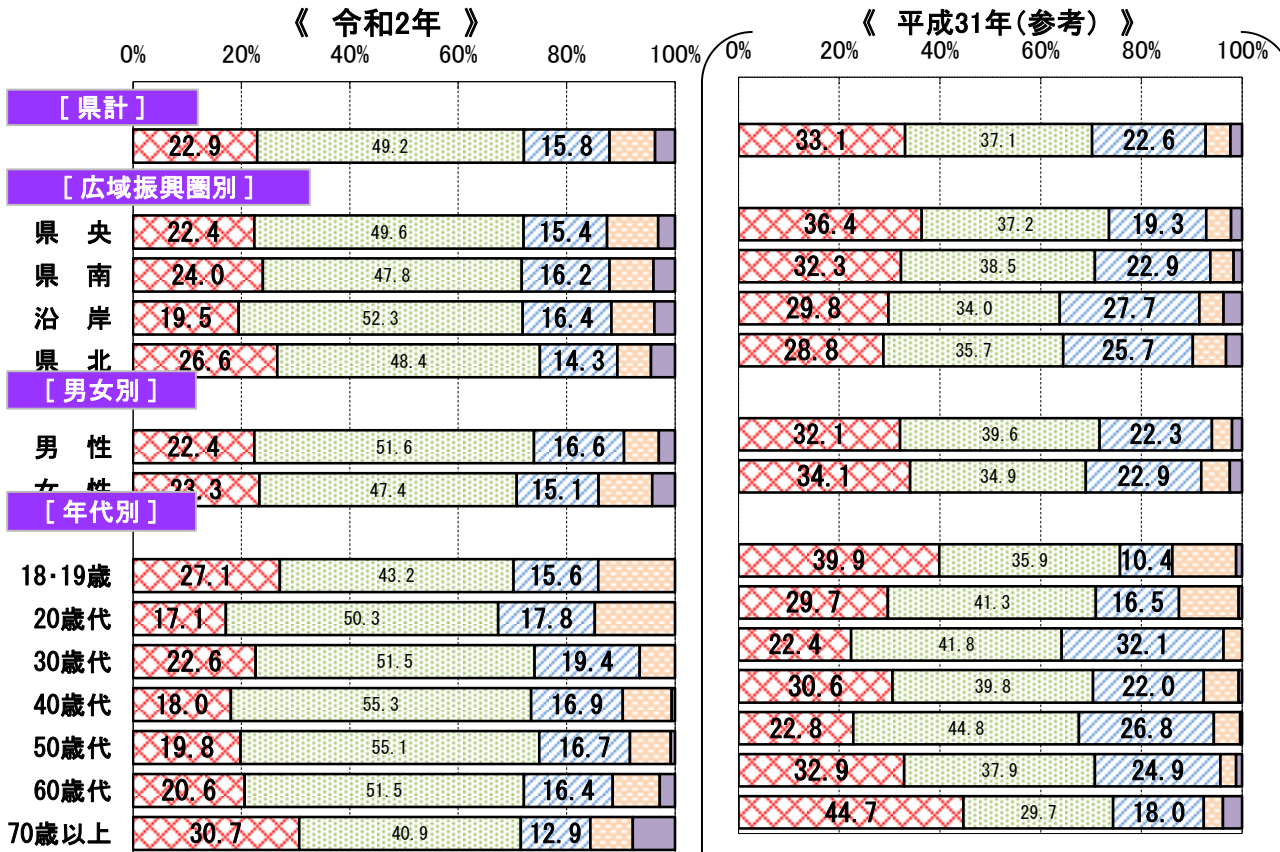
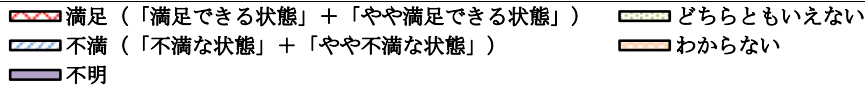
#### 重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

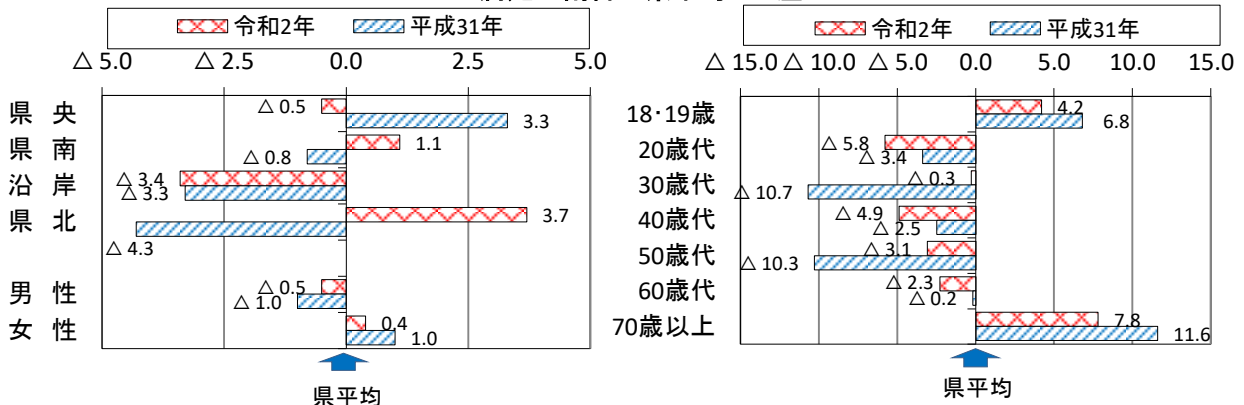
### 満足が2割強(22.9%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が22.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合15.8%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(26.6%)、男女別では女性(23.3%)、年代別では70歳以上(30.7%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(3.7ポイント)、男女別では男性(△0.5ポイント)、年代別では70歳以上(7.8ポイント)となっている。



前回調査「病気の予防や健康づくりを行うために、相談、指導を受けられること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

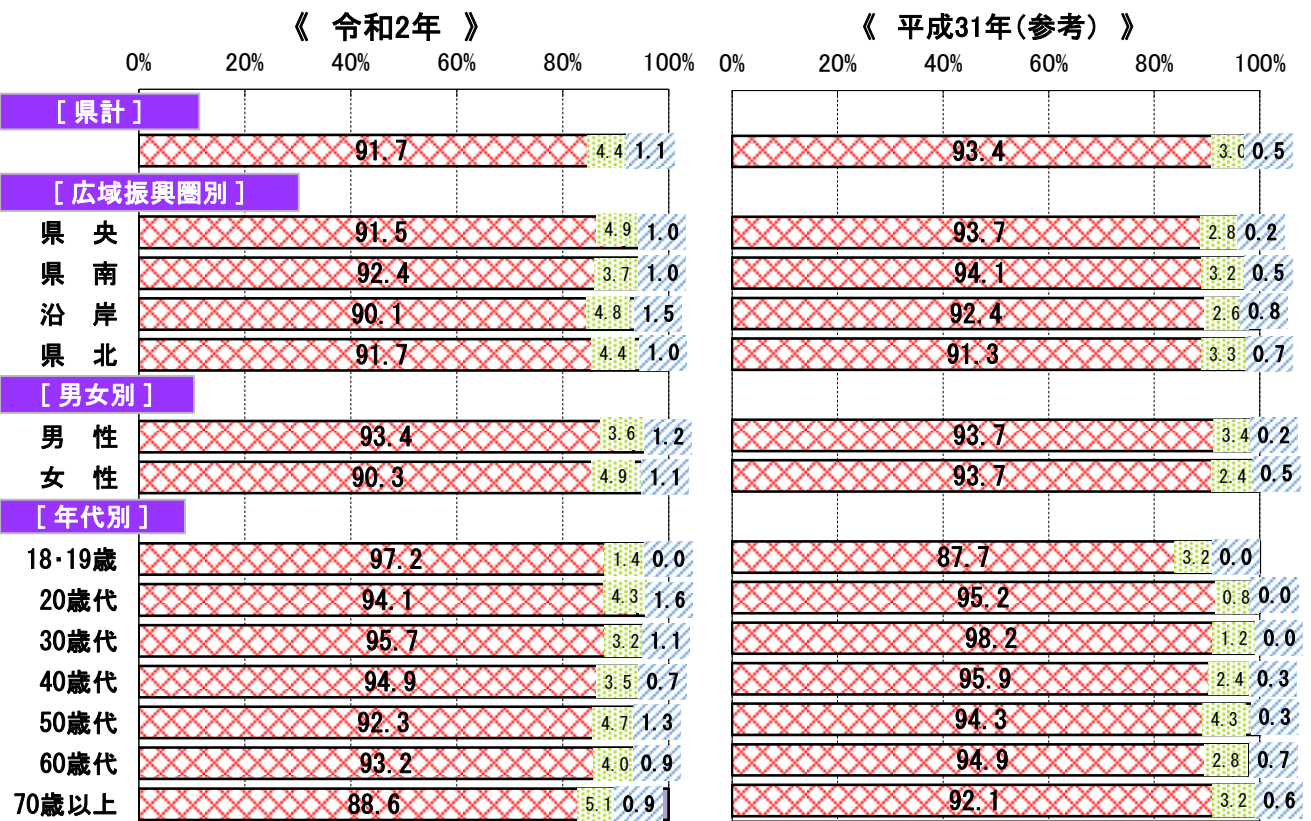
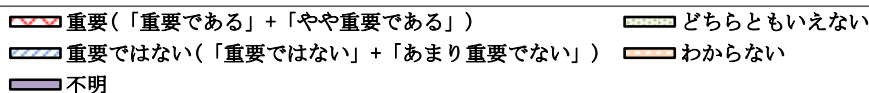


問2-3 必要な医療を適切に受けられること。

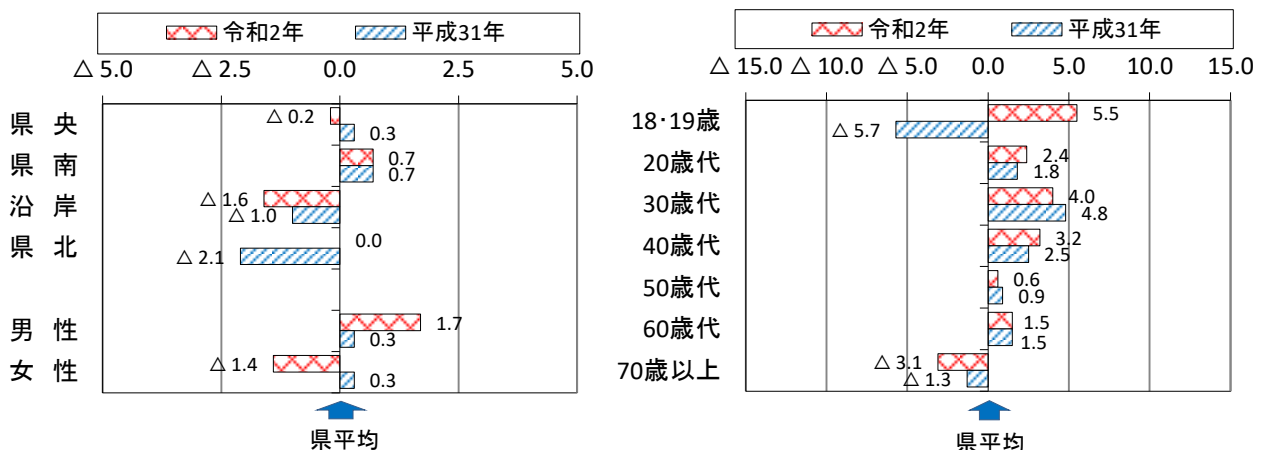
(1) 重要度について

重要が9割強(91.7%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が91.7%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合1.1%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(92.4%)、男女別では男性(93.4%)、年代別では18・19歳(97.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△1.6ポイント)、男女別では男性(1.7ポイント)、年代別では18・19歳(5.5ポイント)となっている。



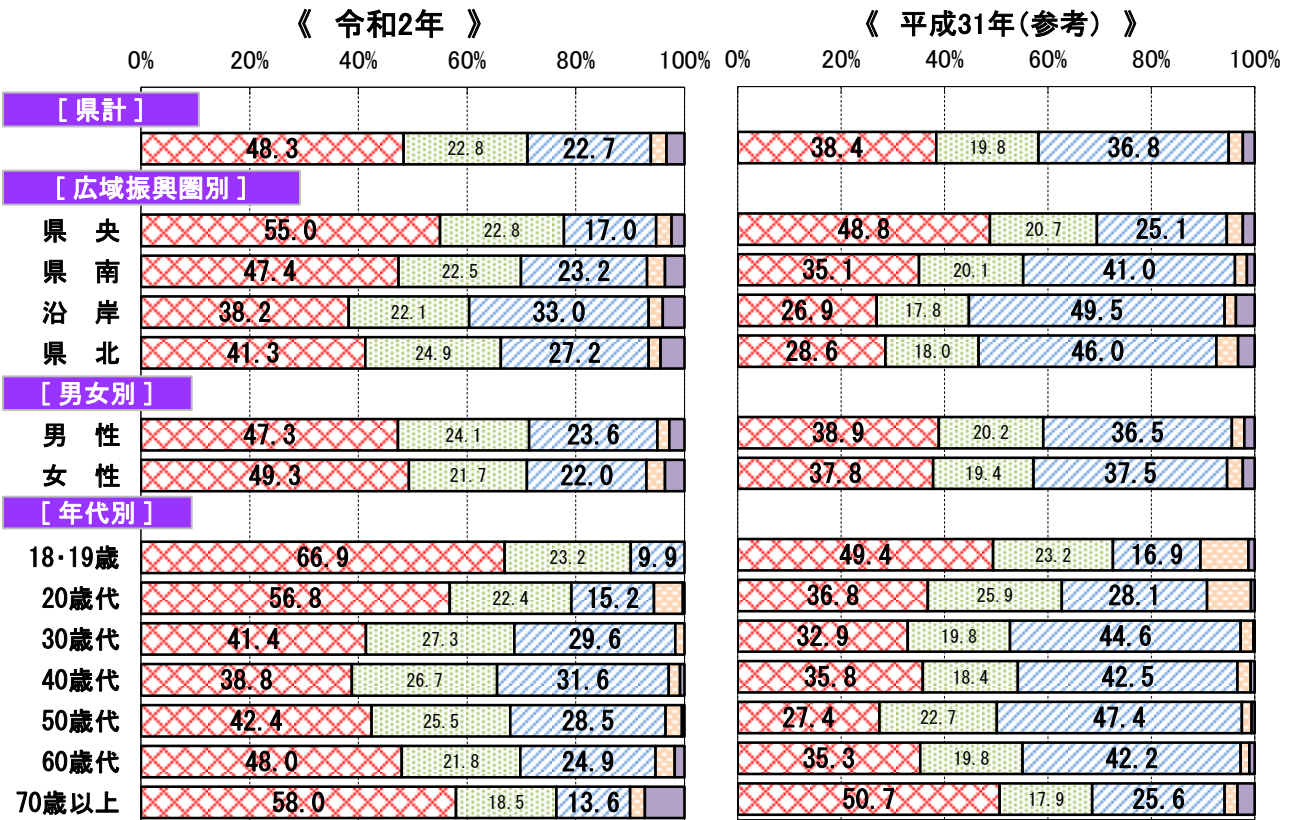
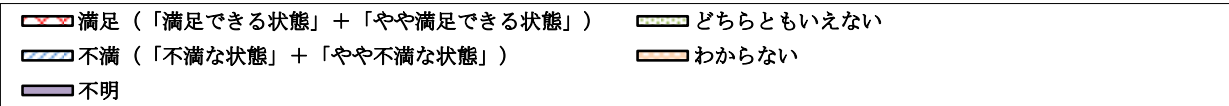
重要の割合の県平均との差



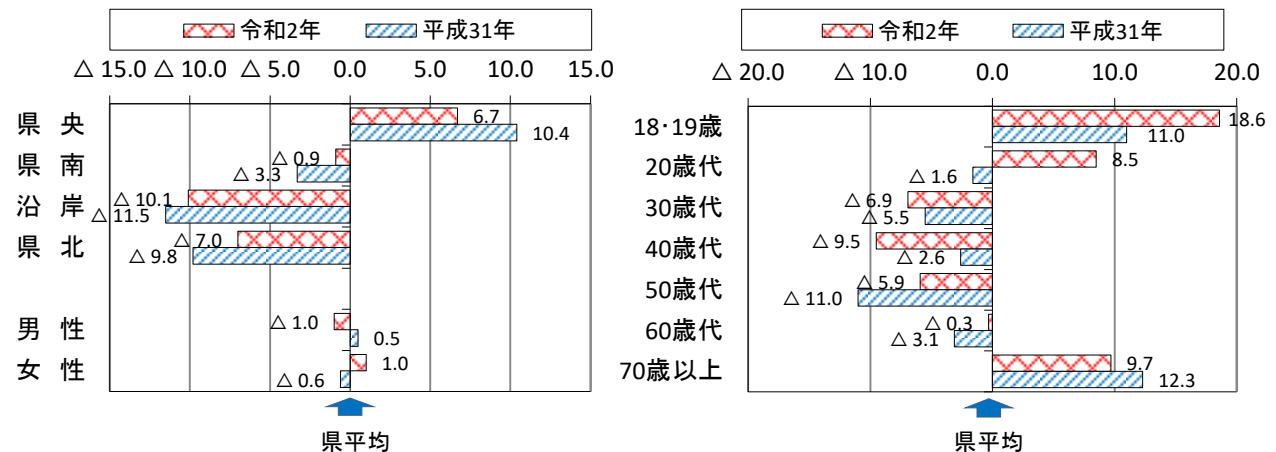
## (2) 満足度について

### 満足が5割弱(48.3%)、不満を大きく上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が48.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合22.7%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(55.0%)、男女別では女性(49.3%)、年代別では18・19歳(66.9%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△10.1ポイント)、年代別では18・19歳(18.6ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

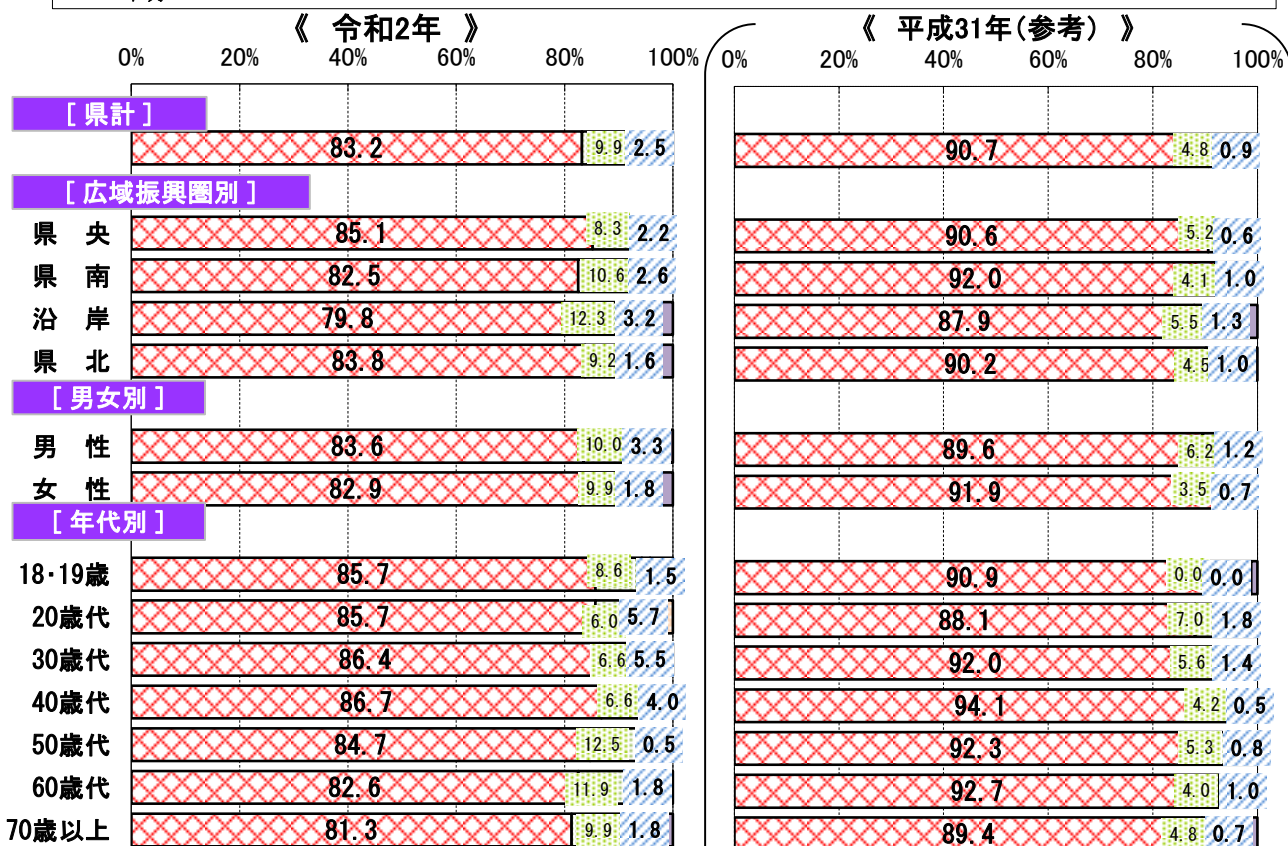
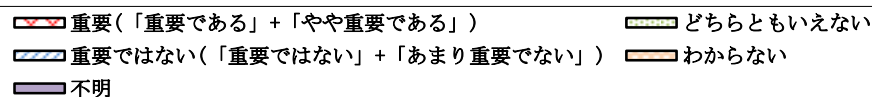


問2-4 介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境であること。

(1) 重要度について

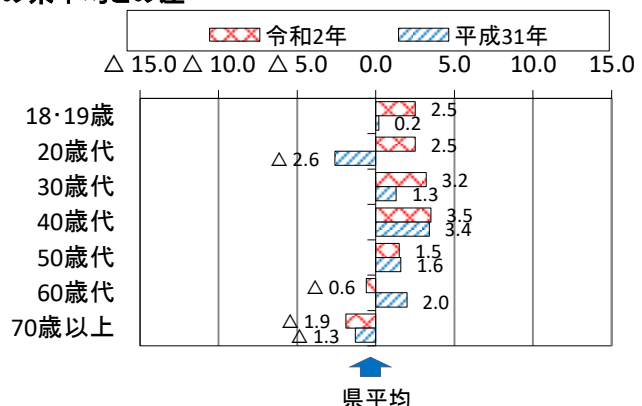
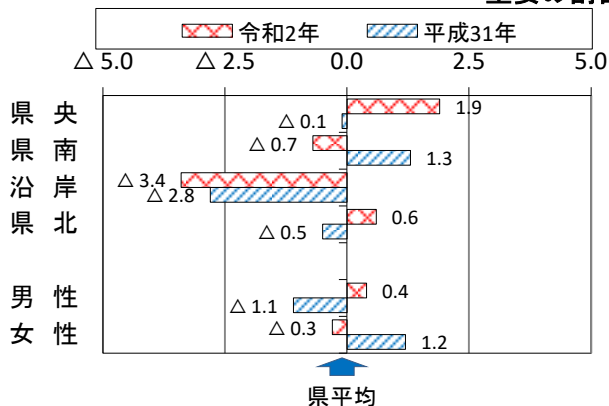
重要が8割強(83.2%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が83.2%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合2.5%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(85.1%)、男女別では男性(83.6%)、年代別では40歳代(86.7%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△3.4ポイント)、男女別では男性(0.4ポイント)、年代別では40歳代(3.5ポイント)となっている。



前回調査「高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会であること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

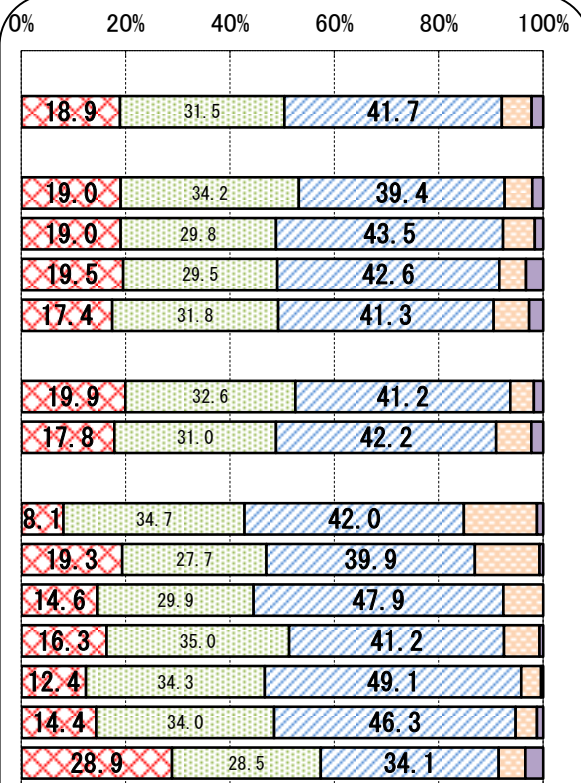
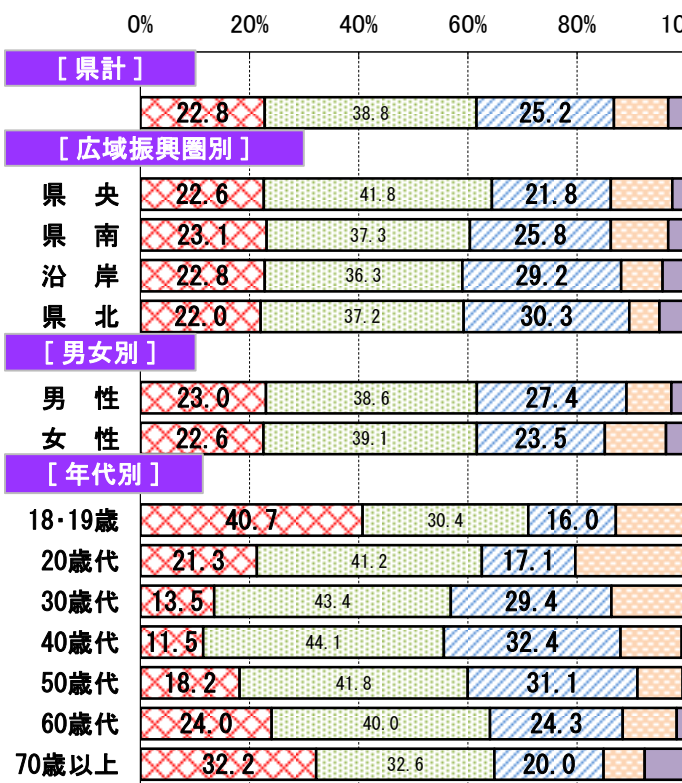
### 満足が2割強(22.8%)、不満を若干下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が22.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合25.2%を若干下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(23.1%)、男女別では男性(23.0%)、年代別では18・19歳(40.7%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△0.8ポイント)、年代別では18・19歳(17.9ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
  不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
  不明
  どちらともいえない
  わからない

《 令和2年 》

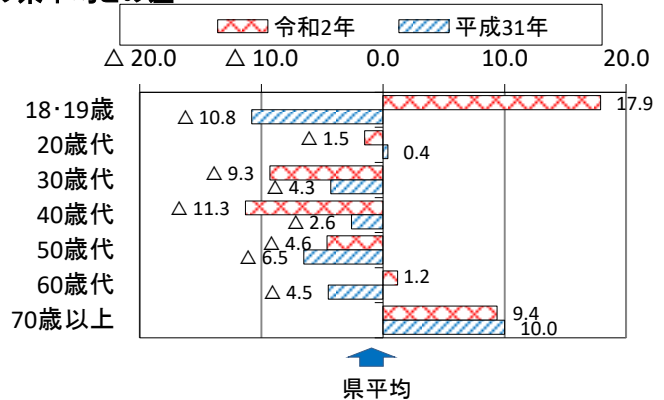
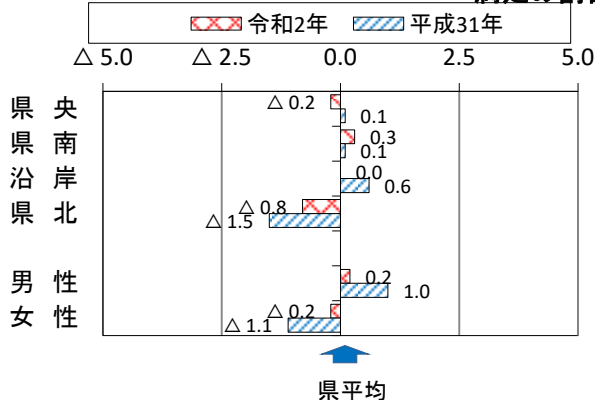
《 平成31年(参考) 》



前回調査「高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会であること。」

※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差



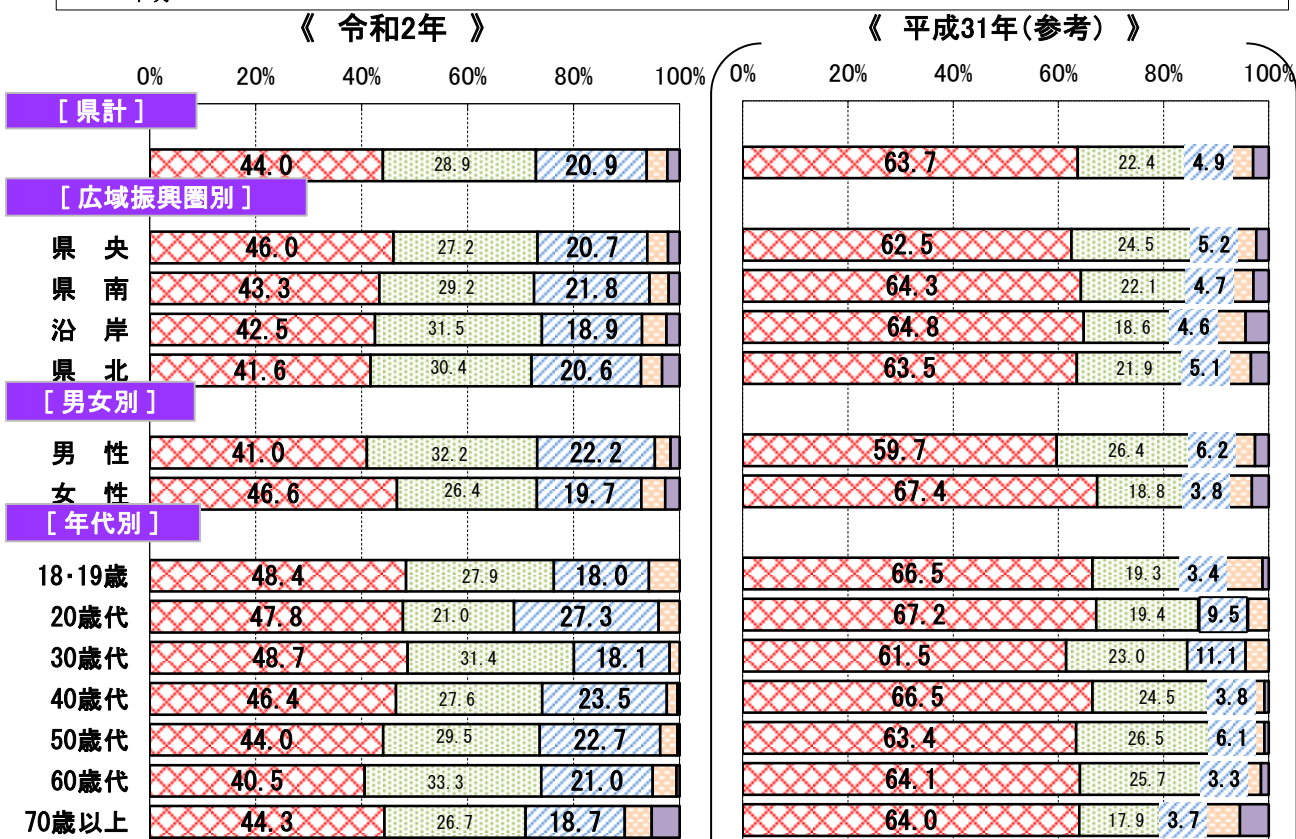
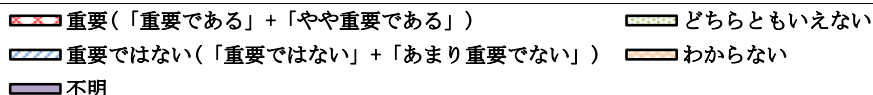


問2-5 日常的に文化芸術に親しむ機会があること。

(1) 重要度について

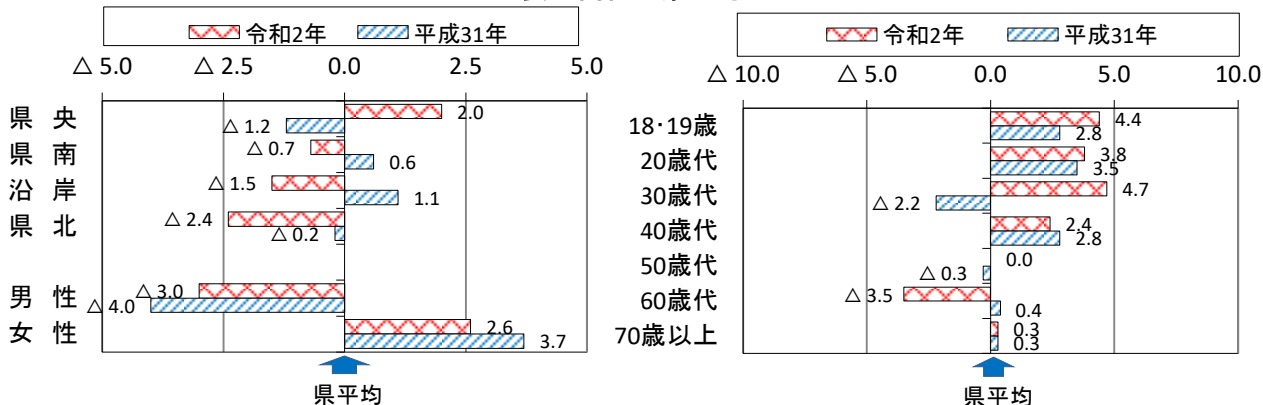
重要が約45% (44.0%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が44.0%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合20.9%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(46.0%)、男女別では女性(46.6%)、年代別では30歳代(48.7%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△2.4ポイント)、男女別では男性(△3.0ポイント)、年代別では30歳代(4.7ポイント)となっている。



前回調査「地域や学校などで文化芸術(芸術、祭り、行事など)の鑑賞や活動が活発に行われていること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

重要の割合の県平均との差

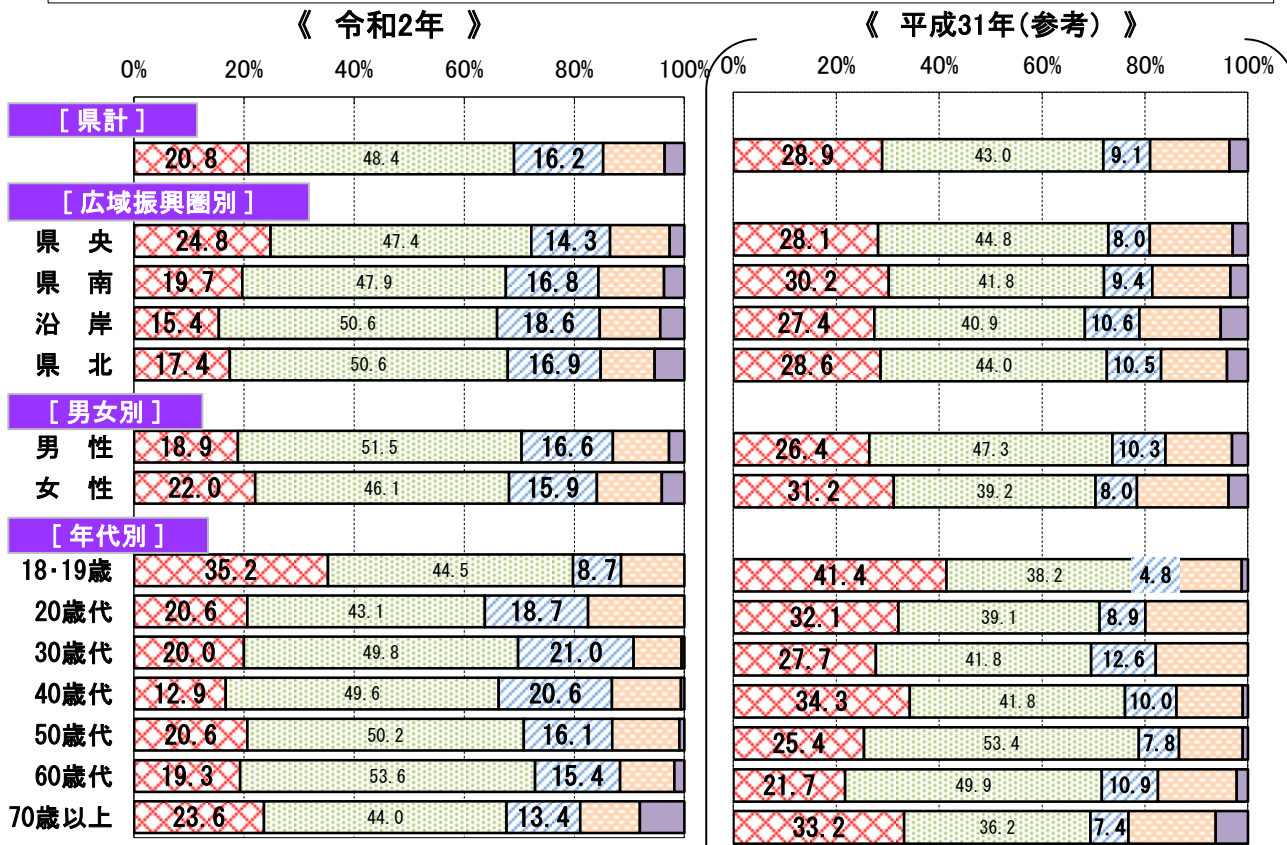


## (2) 満足度について

### 満足が2割強(20.8%)、不満を若干上回る

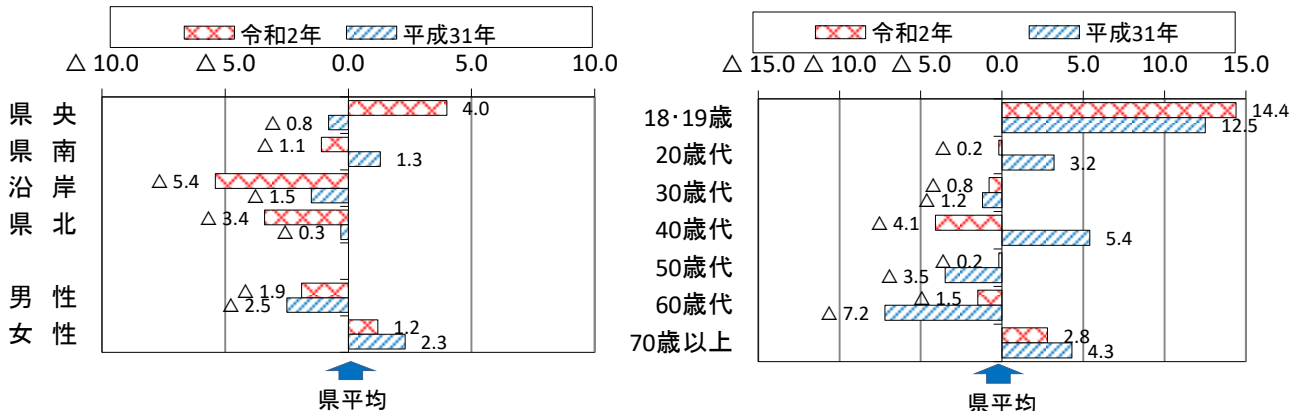
- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が20.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合16.2%を若干上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(24.8%)、男女別では女性(22.0%)、年代別では18・19歳(35.2%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△5.4ポイント)、男女別では男性(△1.9ポイント)、年代別では18・19歳(14.4ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
  どちらともいえない  
 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
  わからない  
 不明



前回調査「地域や学校などで文化芸術(芸術、祭り、行事など)の鑑賞や活動が活発に行われていること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

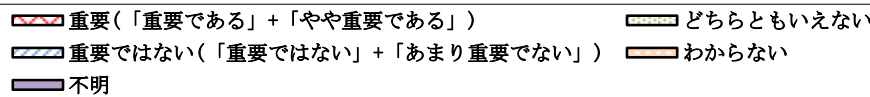


問2-6 身近な地域でスポーツを楽しむ機会が充実していること。

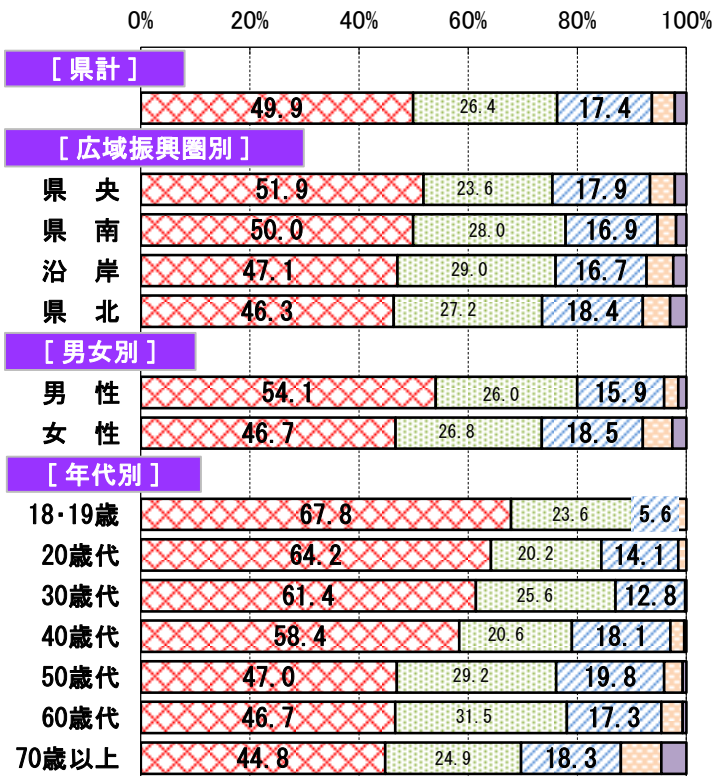
(1) 重要度について

重要が約5割(49.9%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が49.9%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合17.4%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(51.9%)、男女別では男性(54.1%)、年代別では18・19歳(67.8%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.6ポイント)、男女別では男性(4.2ポイント)、年代別では18・19歳(17.9ポイント)となっている。

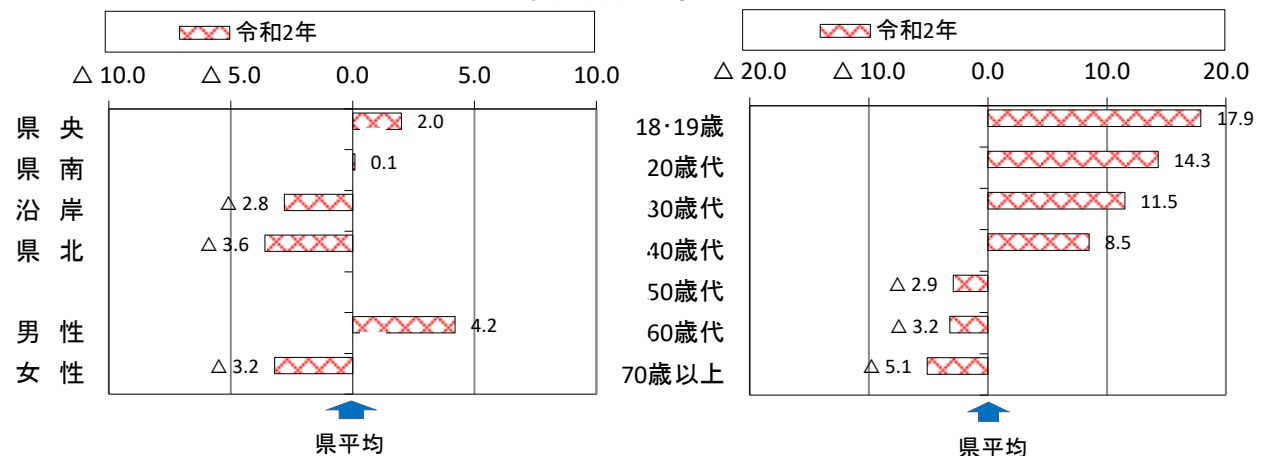


《 令和2年 》



※本項目は令和2年調査の新規項目であるため、平成31年調査の値は不掲載。

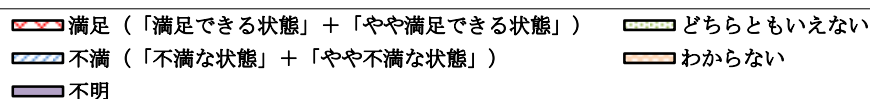
重要の割合の県平均との差



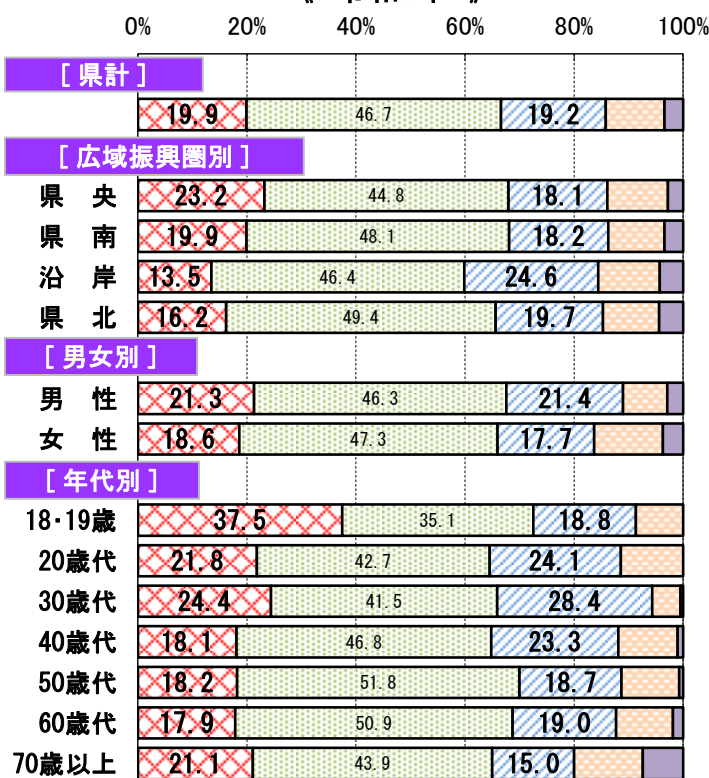
## (2) 満足度について

### 満足が約2割(19.9%)、不満とほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が19.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合19.2%とほとんど差はない。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(23.2%)、男女別では男性(21.3%)、年代別では18・19歳(37.5%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△6.4ポイント)、男女別では男性(1.4ポイント)、年代別では18・19歳(17.6ポイント)となっている。

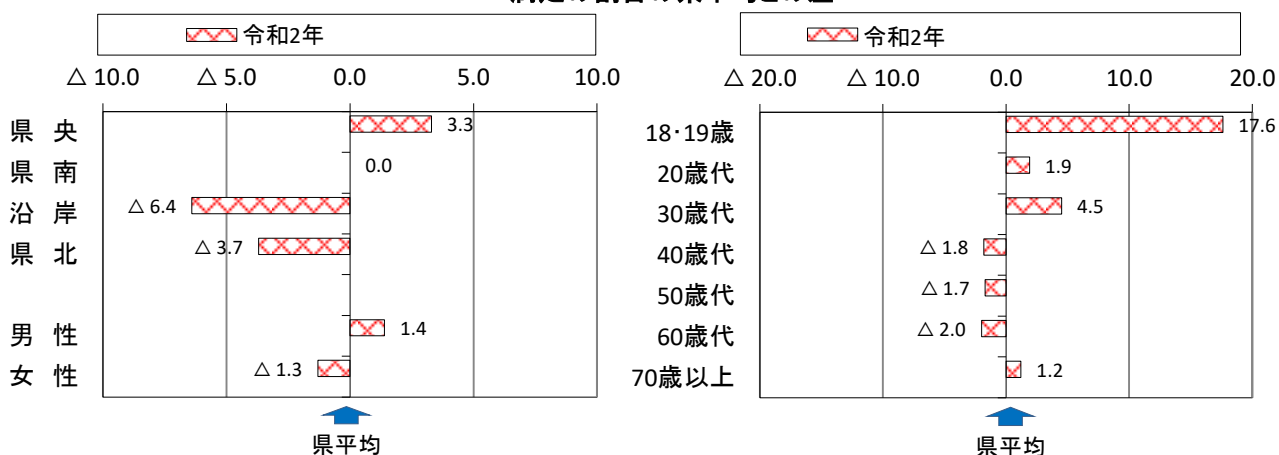


### 《 令和2年 》



※本項目は令和2年調査の新規項目であるため、平成31年調査の値は不掲載。

### 満足の割合の県平均との差

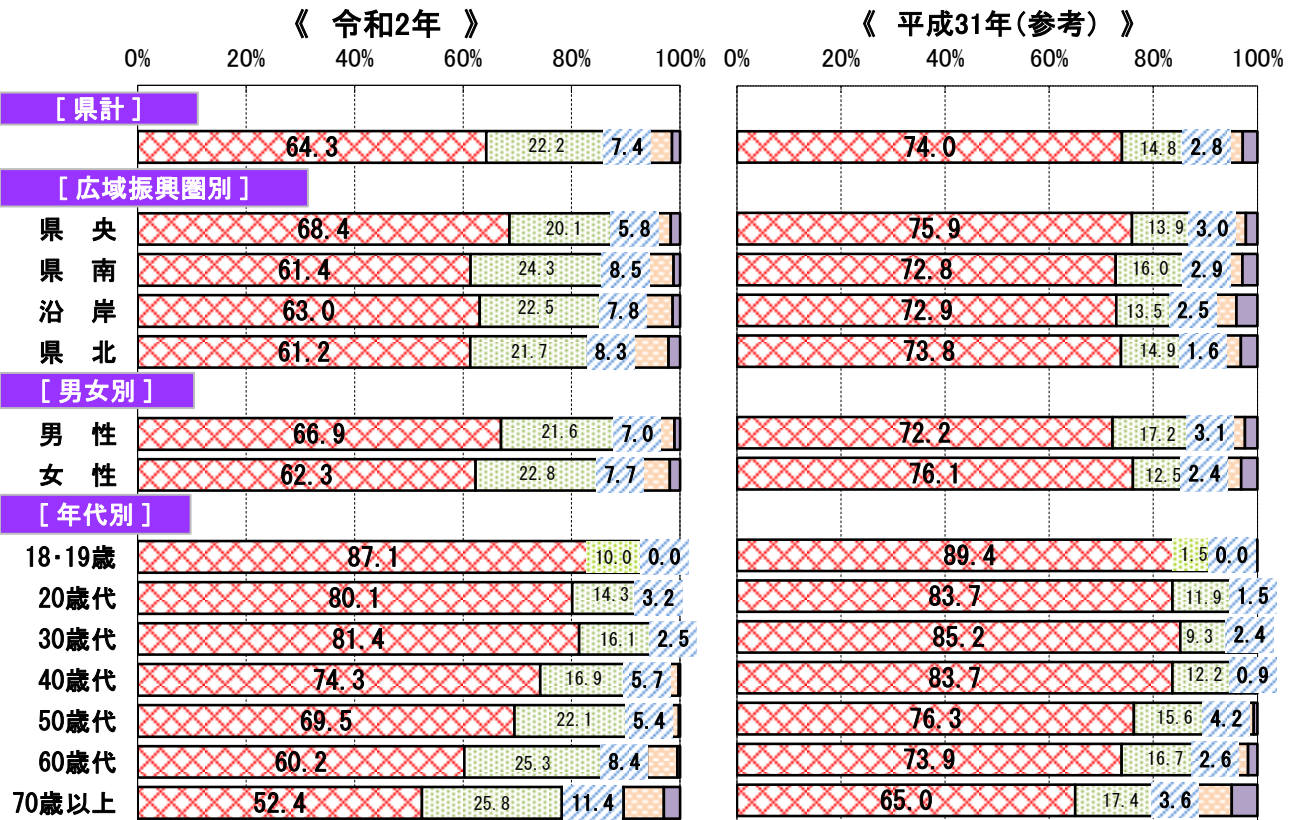
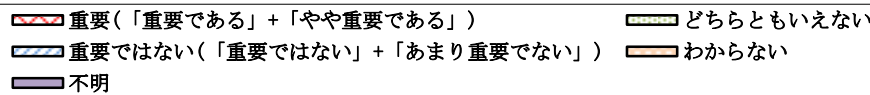


問2-7 学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境であること。

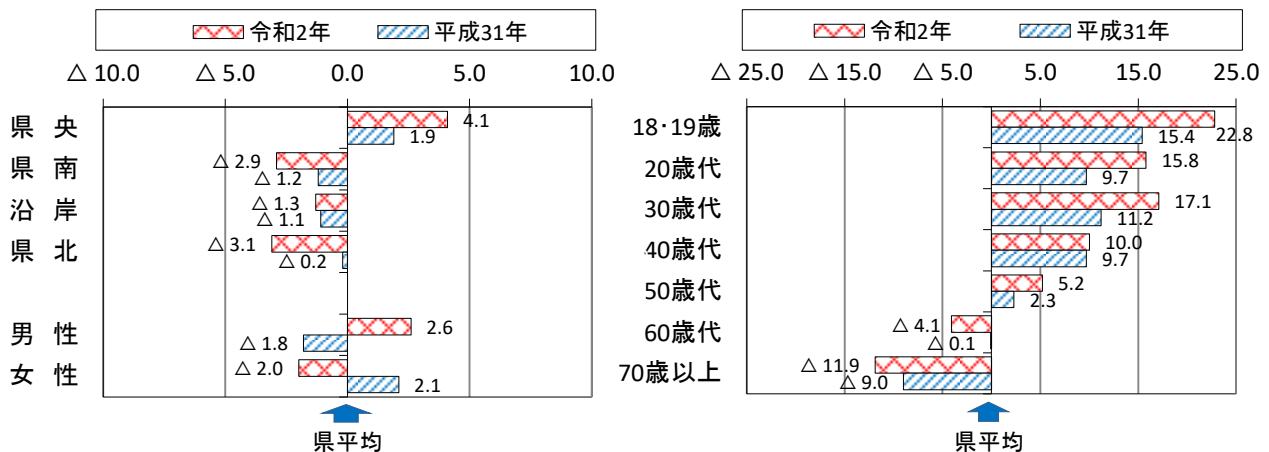
(1) 重要度について

重要が約65% (64.3%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が64.3%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合7.4%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(68.4%)、男女別では男性(66.9%)、年代別では18・19歳(87.1%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(4.1ポイント)、男女別では男性(2.6ポイント)、年代別では18・19歳(22.8ポイント)となっている。



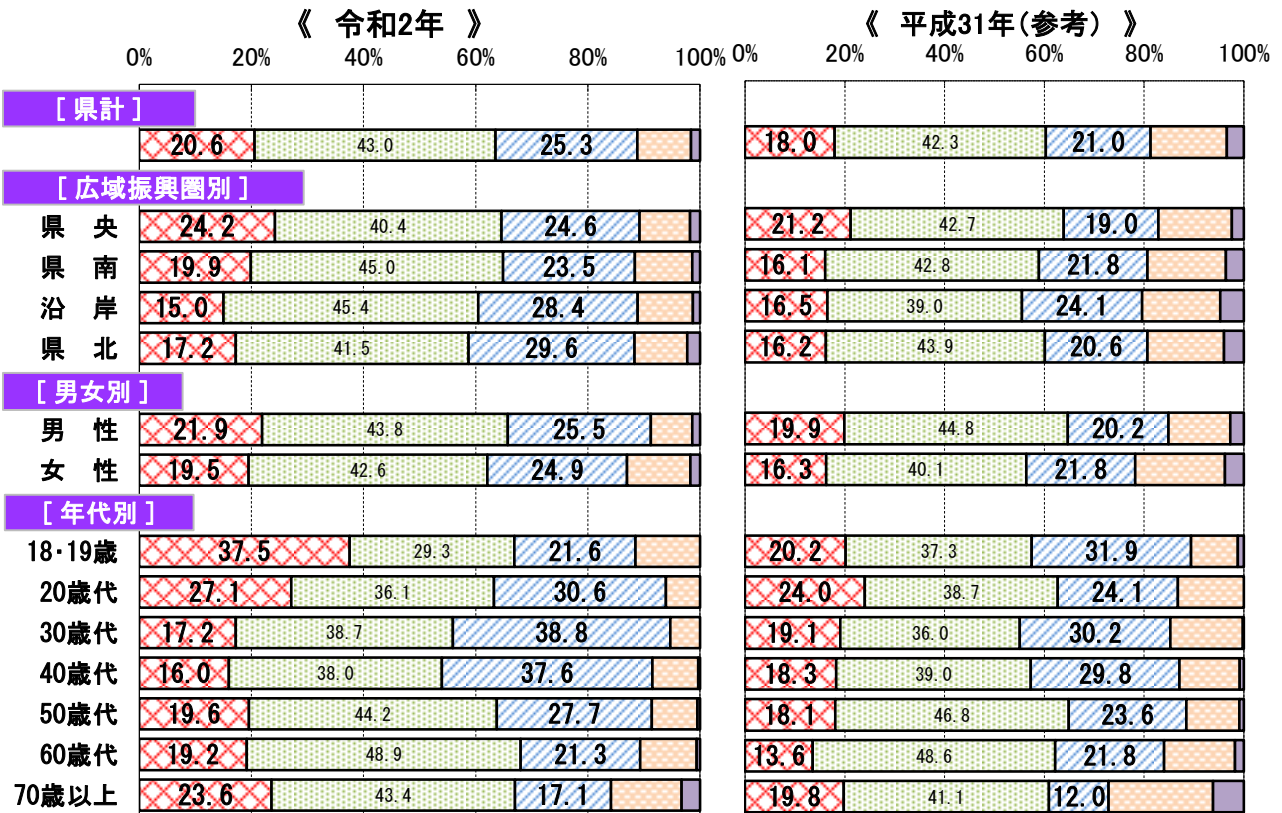
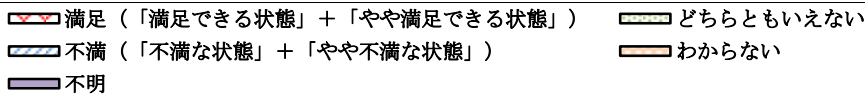
重要の割合の県平均との差



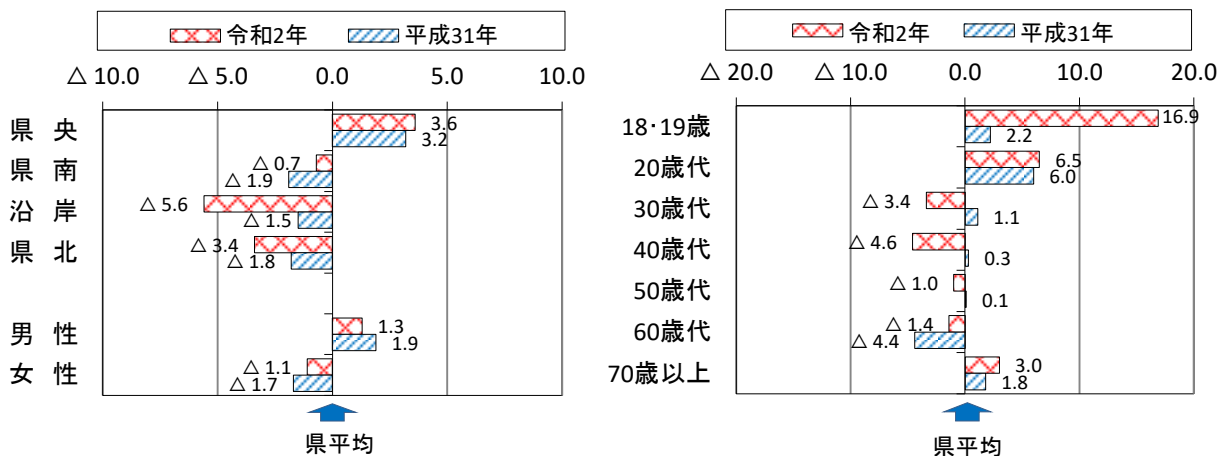
## (2) 満足度について

### 満足が2割強(20.6%)、不満を若干下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が20.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合25.3%を若干下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(24.2%)、男女別では男性(21.9%)、年代別では18・19歳(37.5%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△5.6ポイント)、男女別では男性(1.3ポイント)、年代別では18・19歳(16.9ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

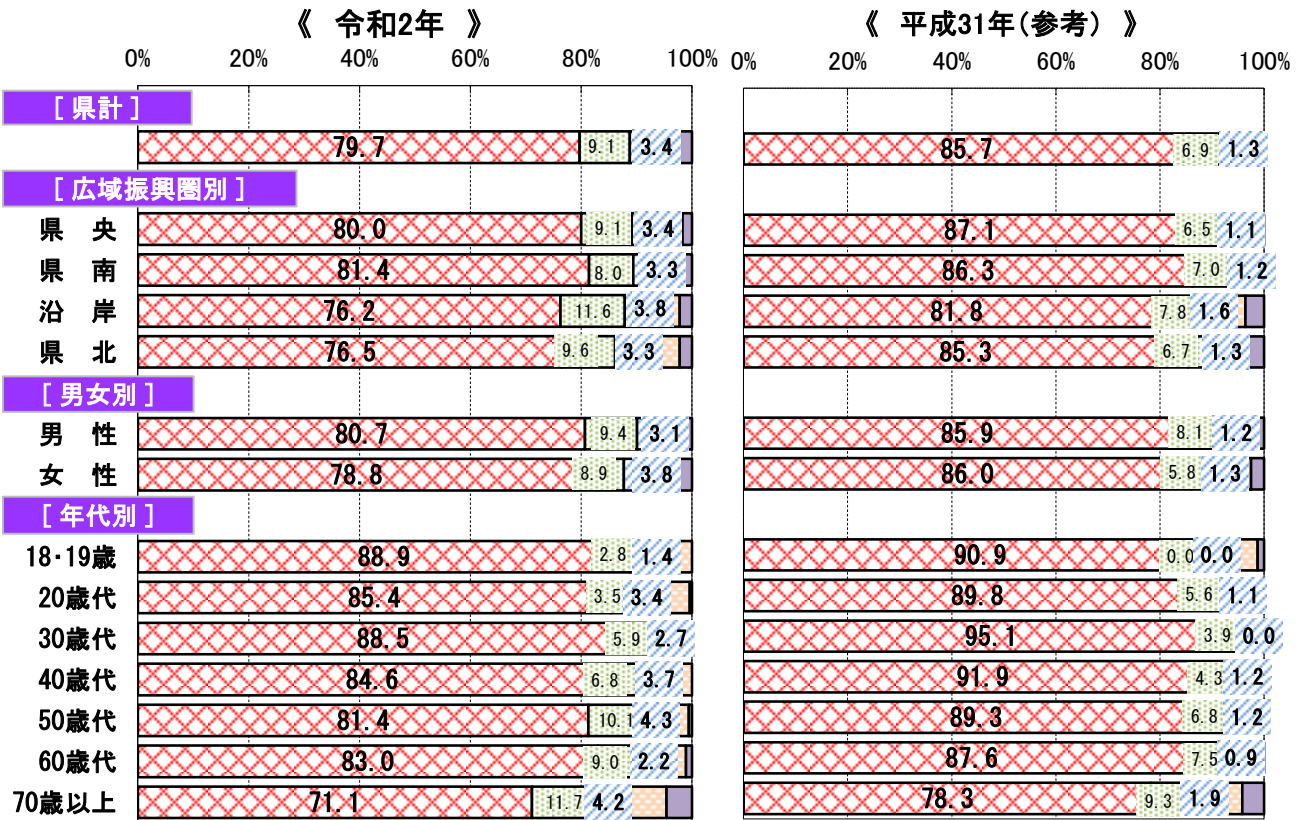
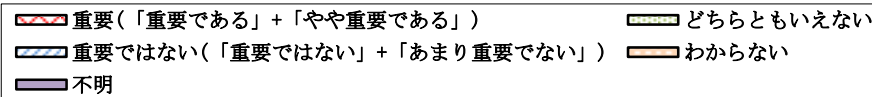


問2-8 安心して子どもを生み育てられ、子育てがしやすい環境であること。

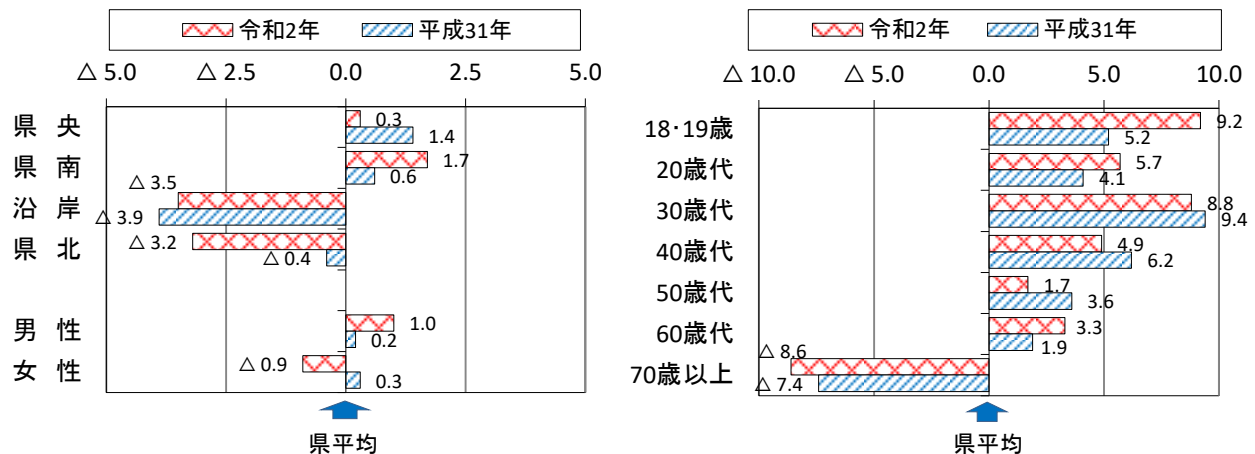
(1) 重要度について

重要が約8割(79.7%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が79.7%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合3.4%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(81.4%)、男女別では男性(80.7%)、年代別では18・19歳(88.9%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△3.5ポイント)、男女別では男性(1.0ポイント)、年代別では18・19歳(9.2ポイント)となっている。



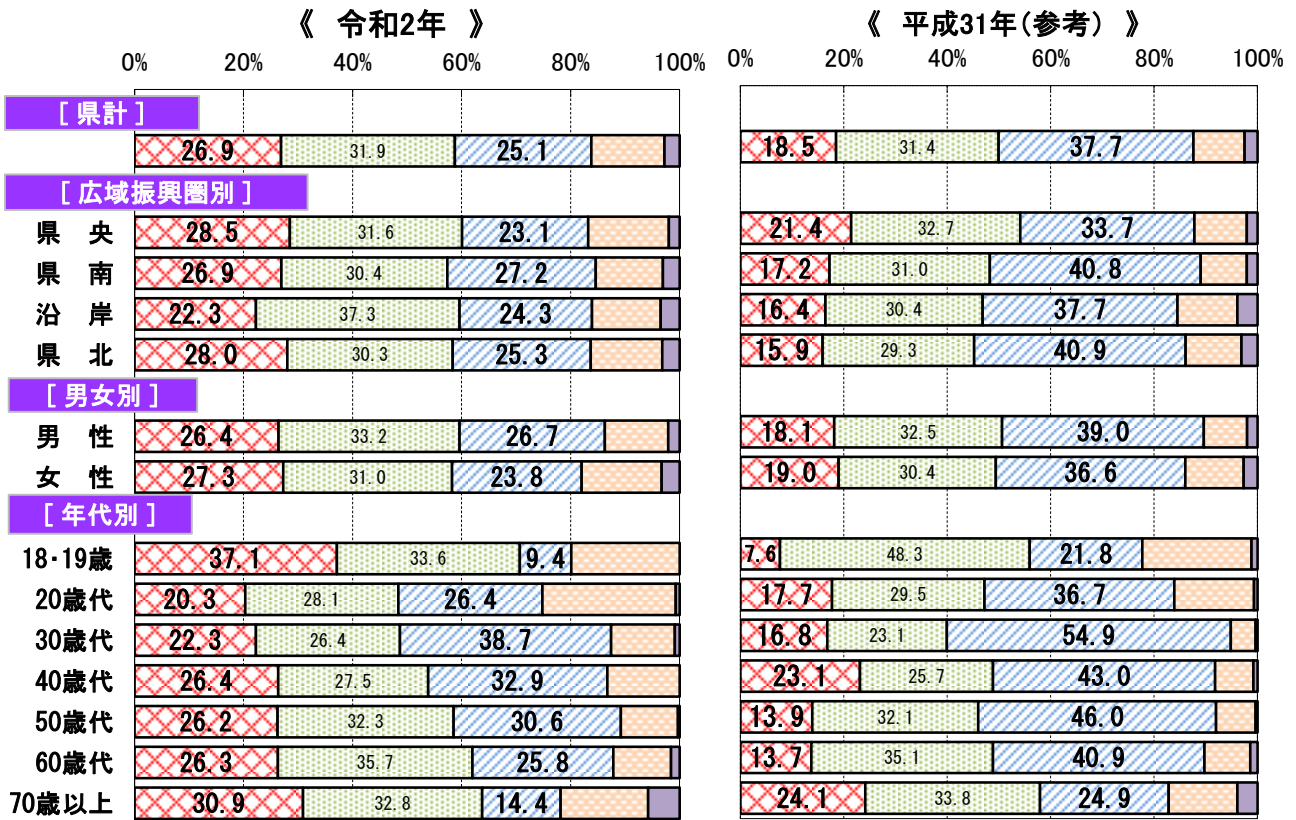
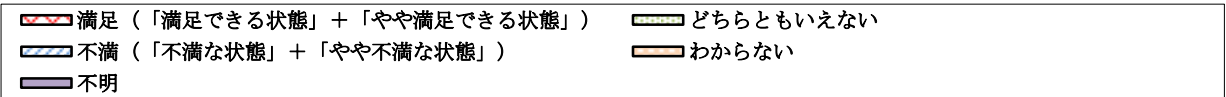
重要の割合の県平均との差



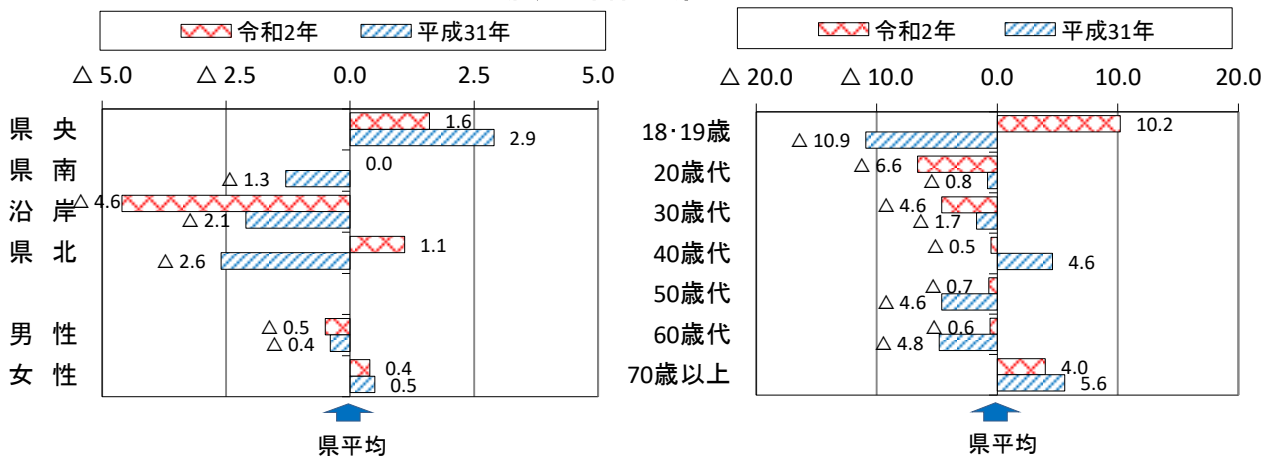
## (2) 満足度について

### 満足が3割弱(26.9%)、不満とほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が26.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合25.1%とほとんど差はない。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(28.5%)、男女別では女性(27.3%)、年代別では18・19歳(37.1%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△4.6ポイント)、男女別では男性(△0.5ポイント)、年代別では18・19歳(10.2ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差



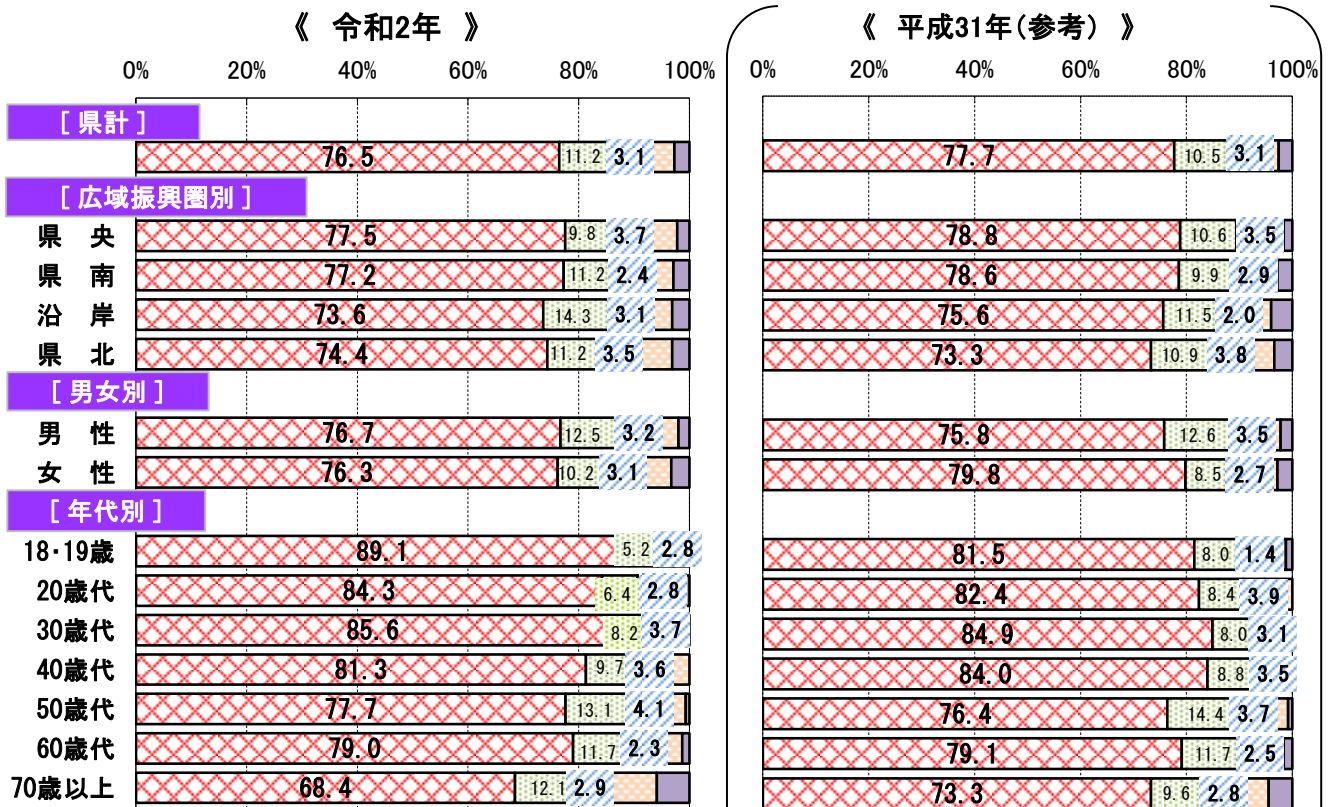
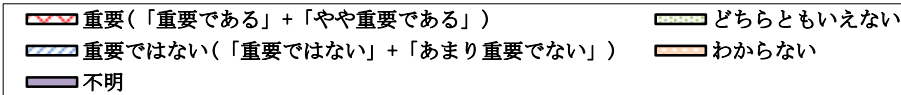


問2-9 学校・家庭・地域が連携し、子どもの育ちと学びに取り組んでいること。

(1) 重要度について

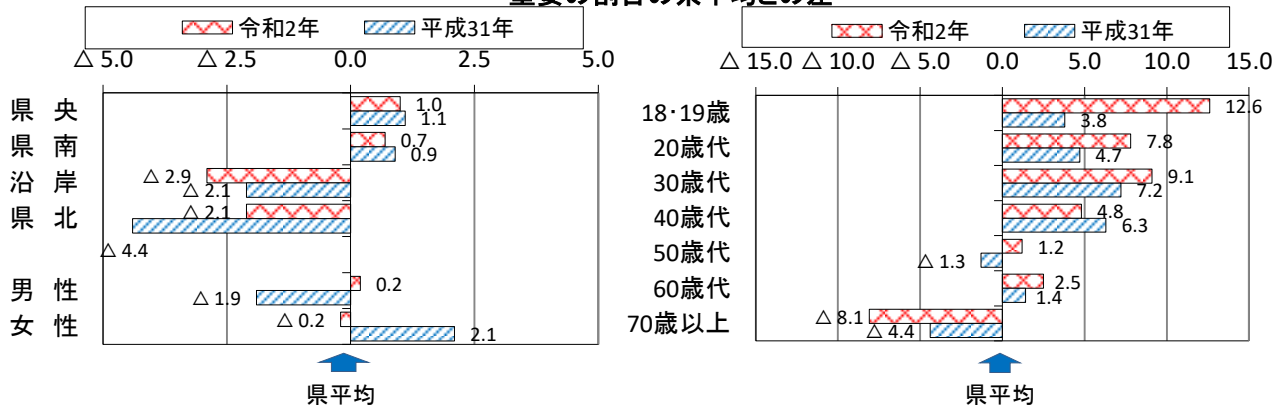
重要が8割弱(76.5%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が76.5%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合3.1%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(77.5%)、男女別では男性(76.7%)、年代別では18・19歳(89.1%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.9ポイント)、年代別では18・19歳(12.6ポイント)となっている。



前回調査「学校が、学力や体力の向上などの目標に向かって、家庭や地域と一緒に取り組んでいること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

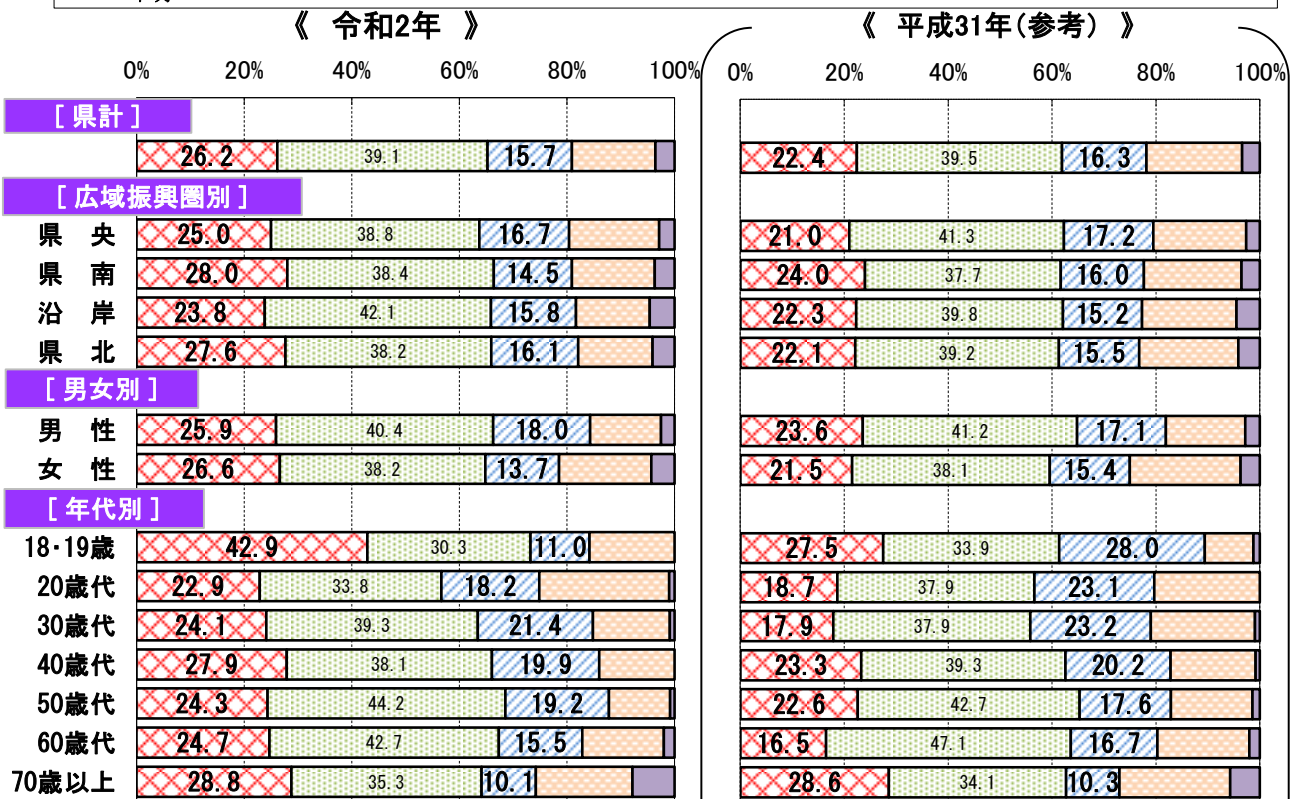
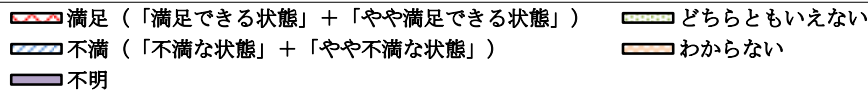
重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

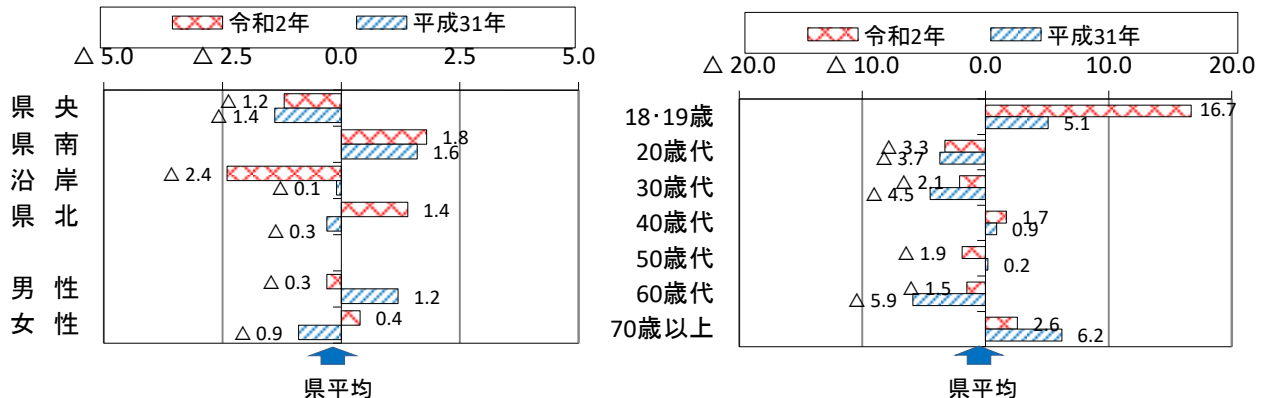
### 満足が3割弱(26.2%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が26.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合15.7%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(28.0%)、男女別では女性(26.6%)、年代別では18・19歳(42.9%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.4ポイント)、男女別では女性(0.4ポイント)、年代別では18・19歳(16.7ポイント)となっている。



前回調査「学校が、学力や体力の向上などの目標に向かって、家庭や地域と一緒に取り組んでいること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

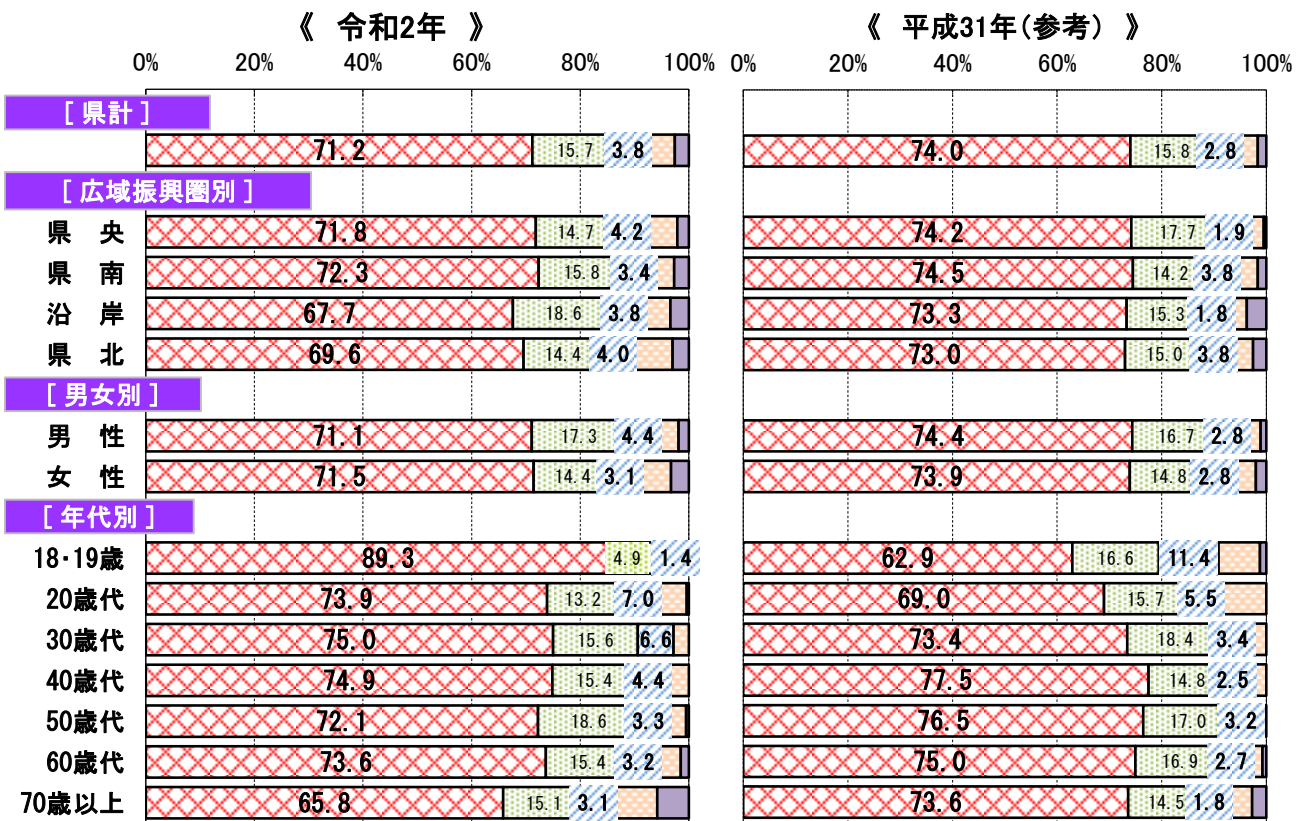
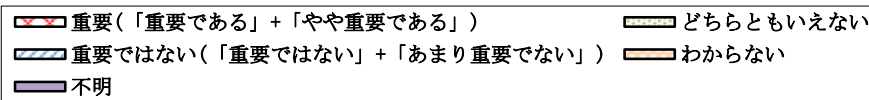


問2-10 地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。

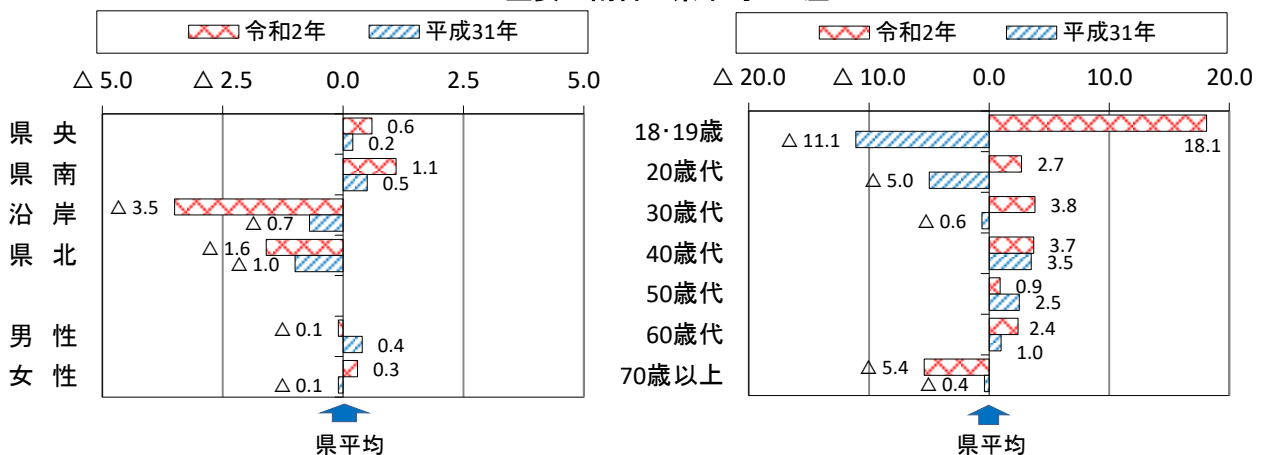
(1) 重要度について

重要が7割強(71.2%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が71.2%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合3.8%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(72.3%)、男女別では女性(71.5%)、年代別では18・19歳(89.3%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△3.5ポイント)、男女別では女性(0.3ポイント)、年代別では18・19歳(18.1ポイント)となっている。



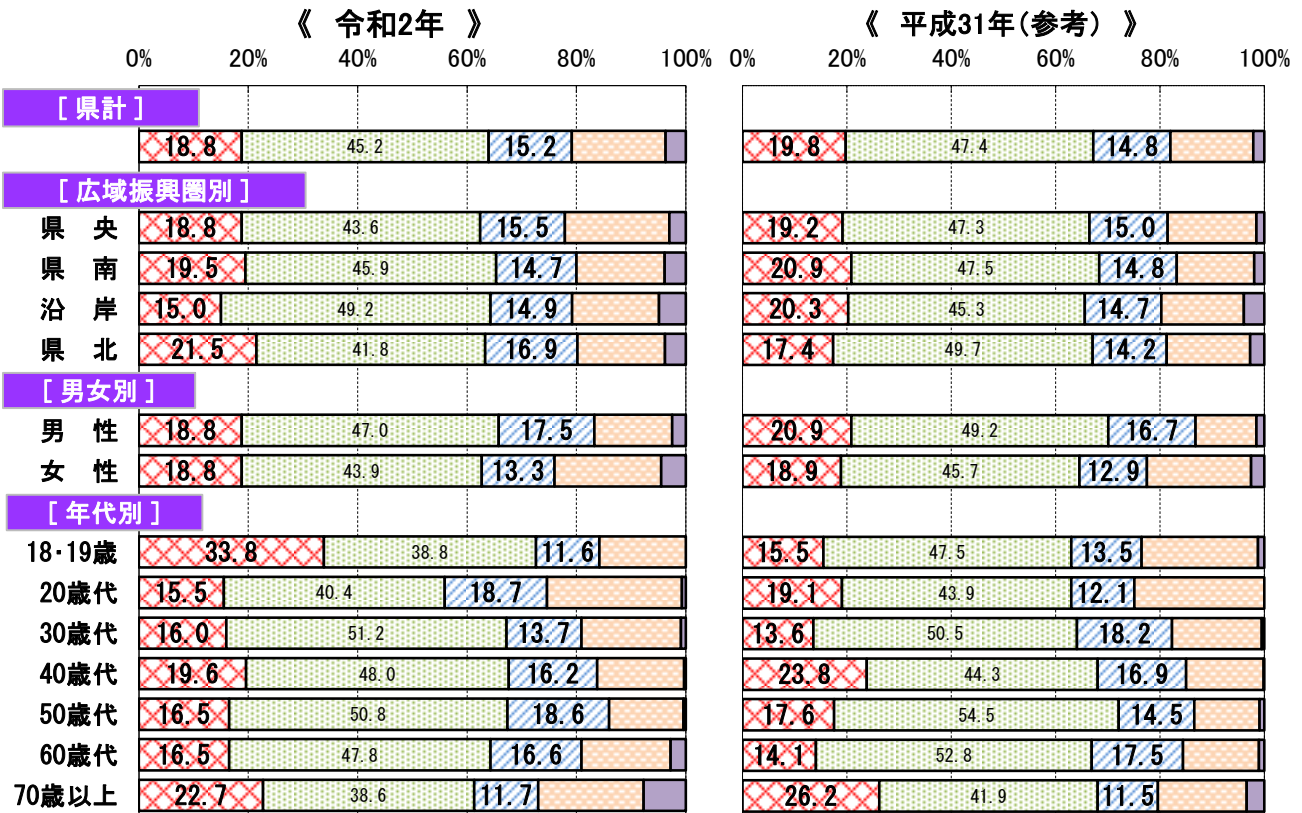
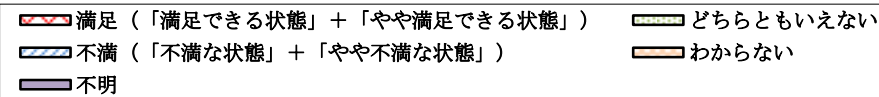
重要の割合の県平均との差



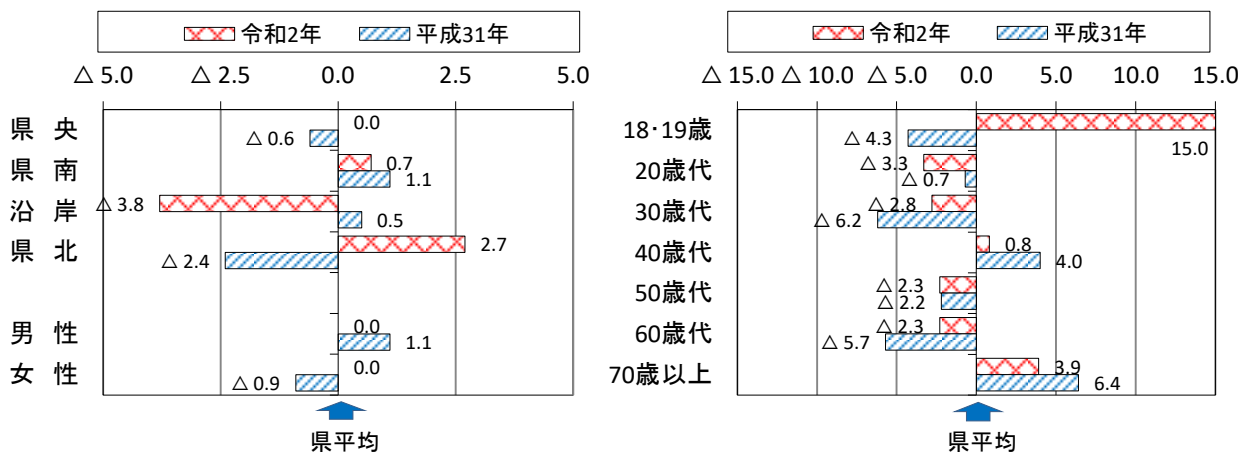
## (2) 満足度について

### 満足が2割弱(18.8%)、不満を若干上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が18.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合15.2%を若干上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(21.5%)、年代別では18・19歳(33.8%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△3.8ポイント)、年代別では18・19歳(15.0ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

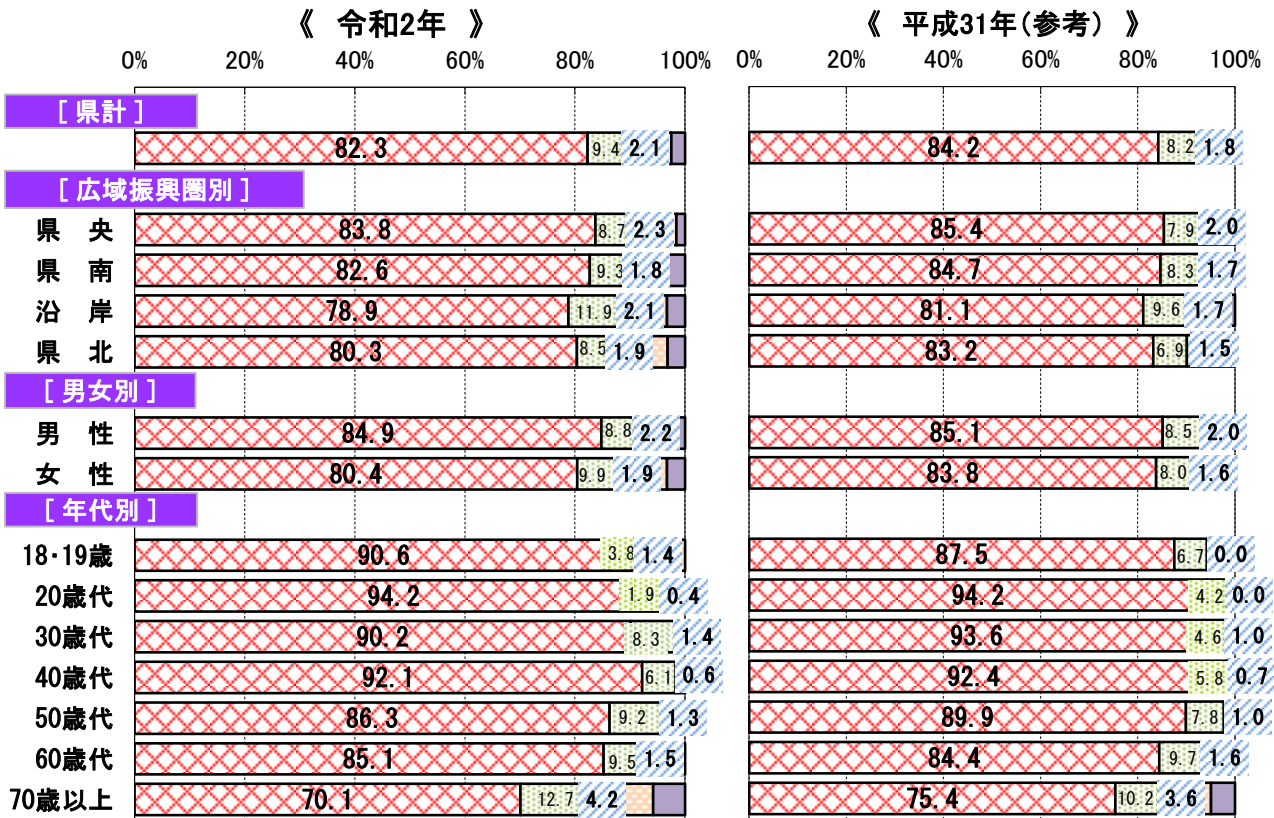
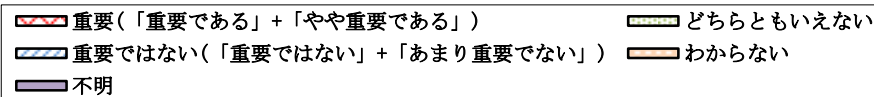


問2-11 仕事と生活を両立できる環境であること。

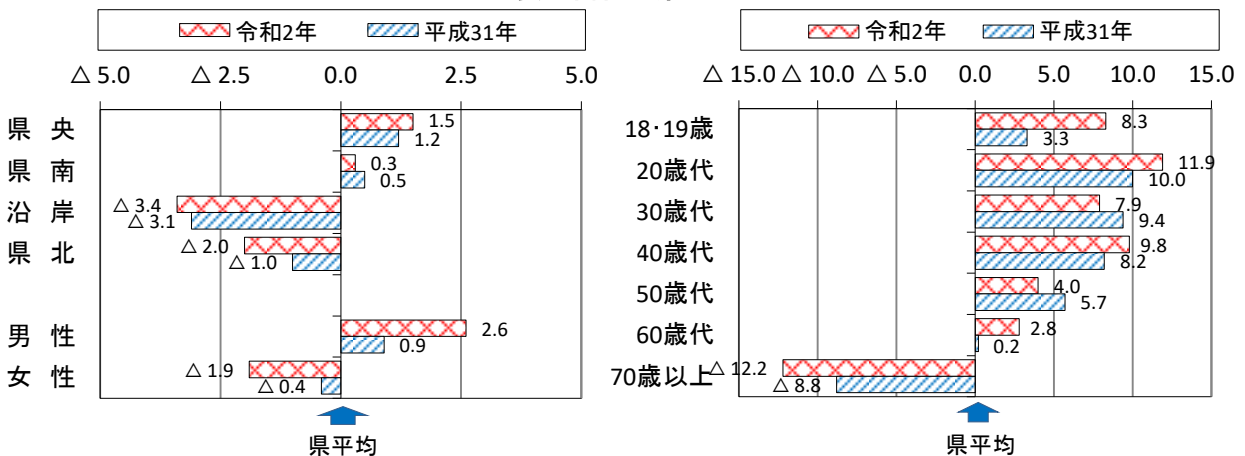
(1) 重要度について

重要が8割強(82.3%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が82.3%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合2.1%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(83.8%)、男女別では男性(84.9%)、年代別では20歳代(94.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△3.4ポイント)、男女別では男性(2.6ポイント)、年代別では70歳以上(△12.2ポイント)となっている。



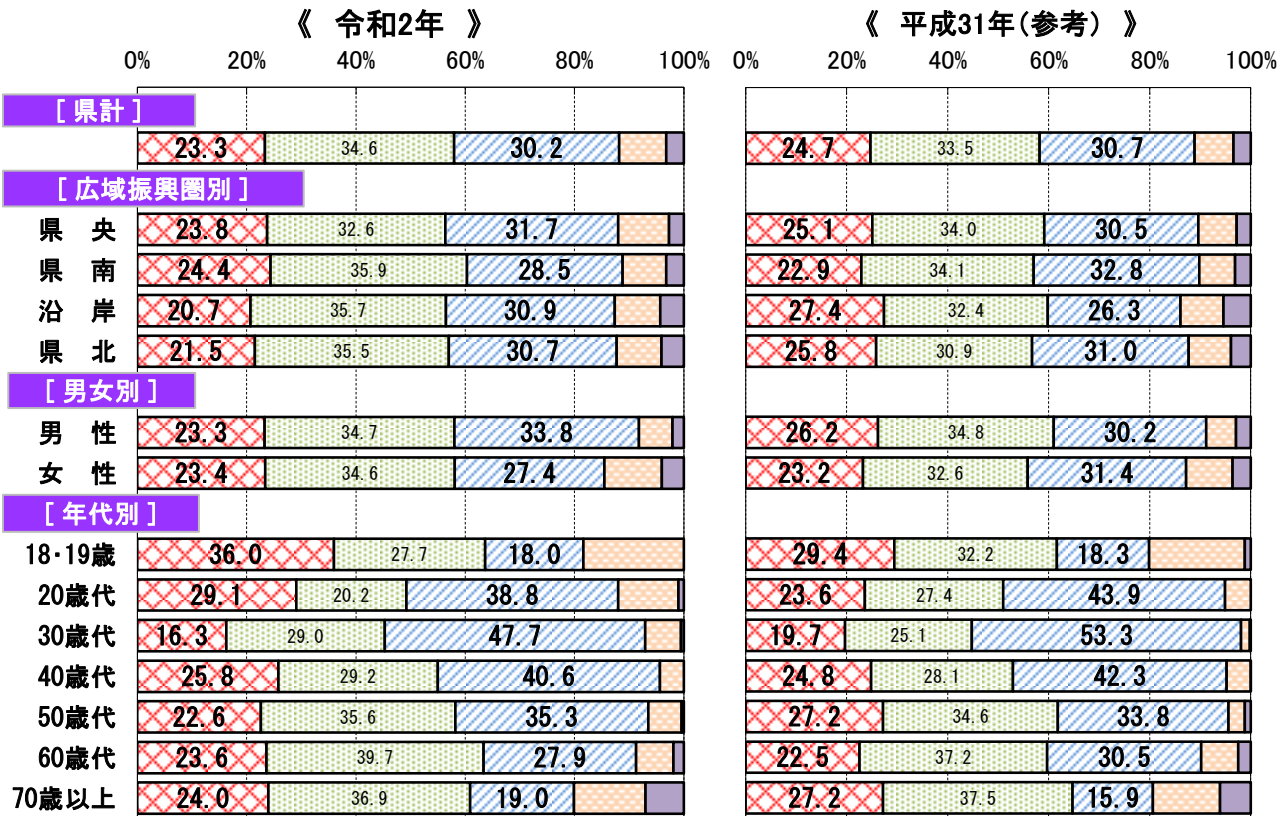
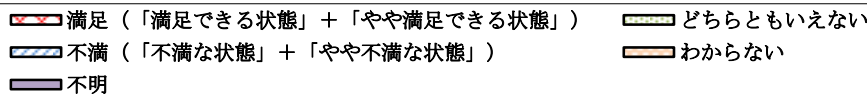
重要な割合の県平均との差



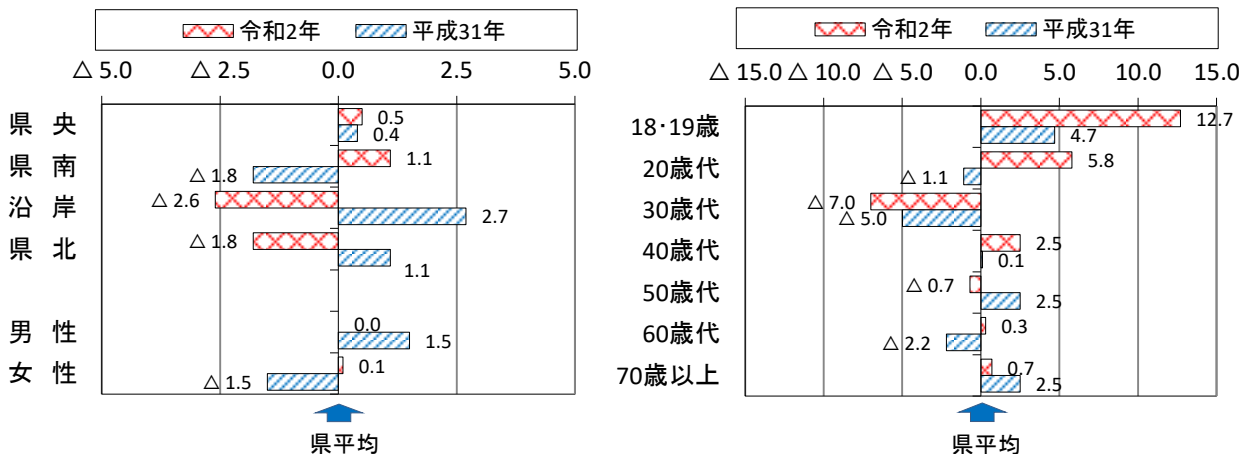
## (2) 満足度について

### 満足が2割強(23.3%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が23.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合30.2%を下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(24.4%)、男女別では女性(23.4%)、年代別では18・19歳(36.0%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.6ポイント)、男女別では女性(0.1ポイント)、年代別では18・19歳(12.7ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

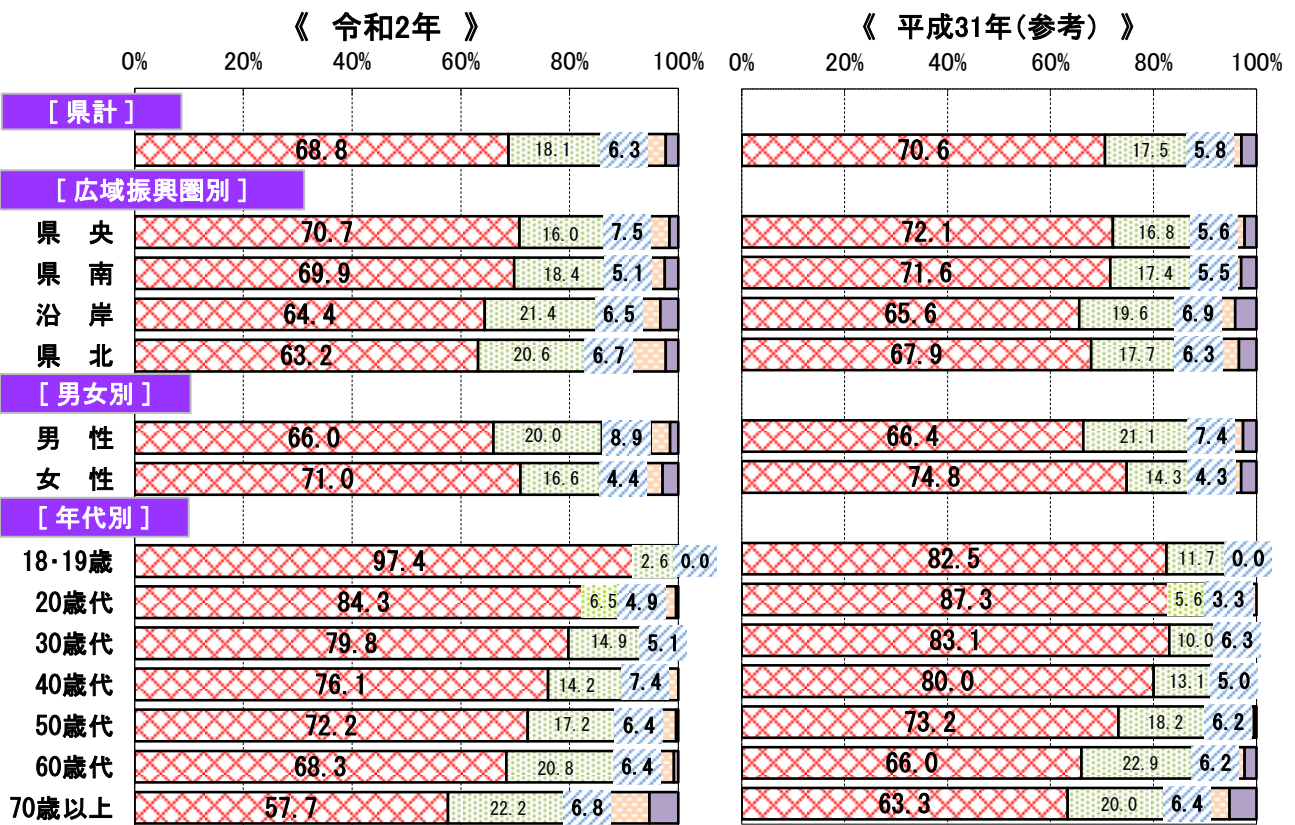
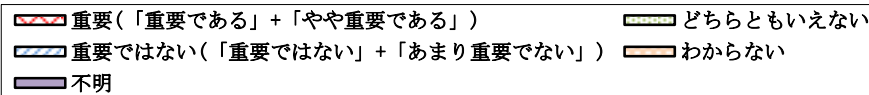


問2-12 ペットなど動物のいのちを大切にする社会であること。

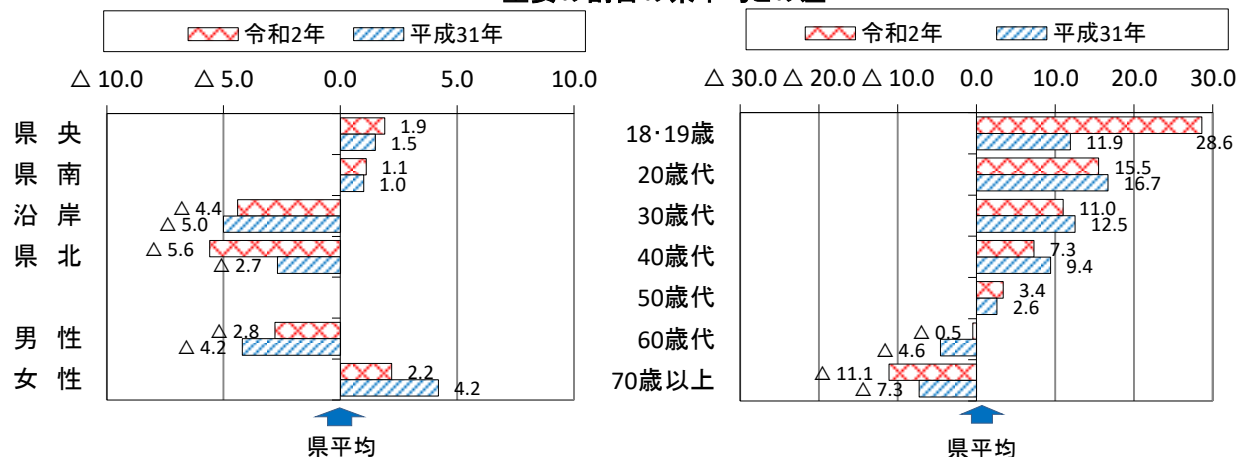
(1) 重要度について

重要が7割弱(68.8%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が68.8%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合6.3%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(70.7%)、男女別では女性(71.0%)、年代別では18・19歳(97.4%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△5.6ポイント)、男女別では男性(△2.8ポイント)、年代別では18・19歳(28.6ポイント)となっている。



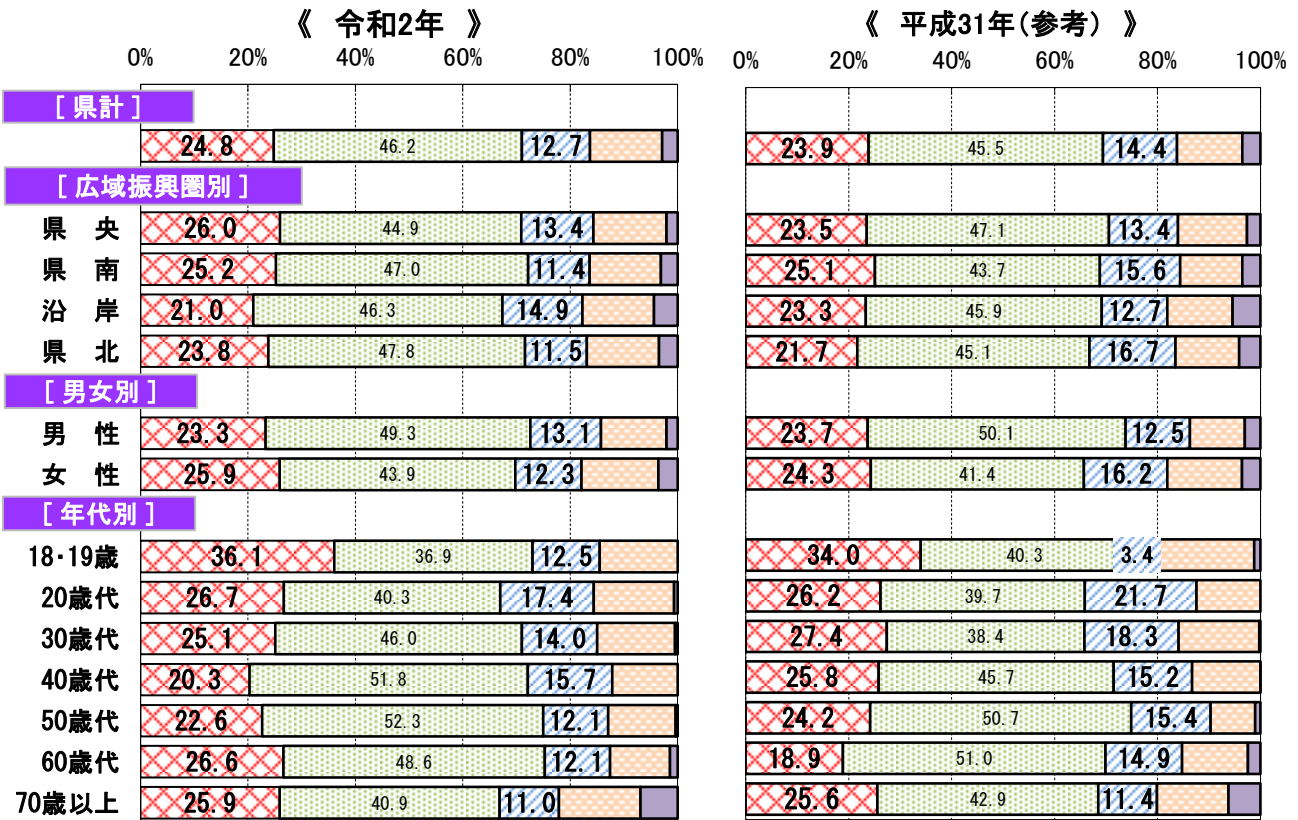
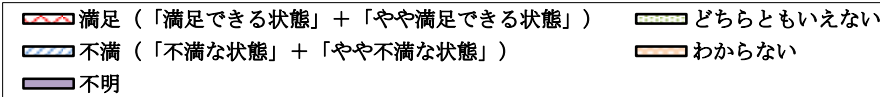
重要の割合の県平均との差



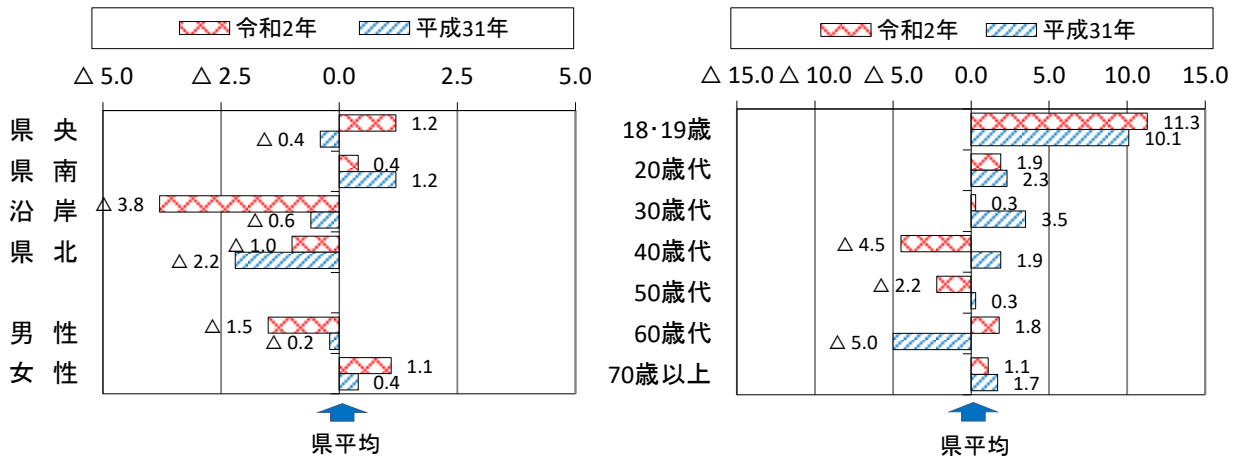
## (2) 満足度について

### 満足が約25% (24.8%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が24.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合12.7%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(26.0%)、男女別では女性(25.9%)、年代別では18・19歳(36.1%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△3.8ポイント)、男女別では男性(△1.5ポイント)、年代別では18・19歳(11.3ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差





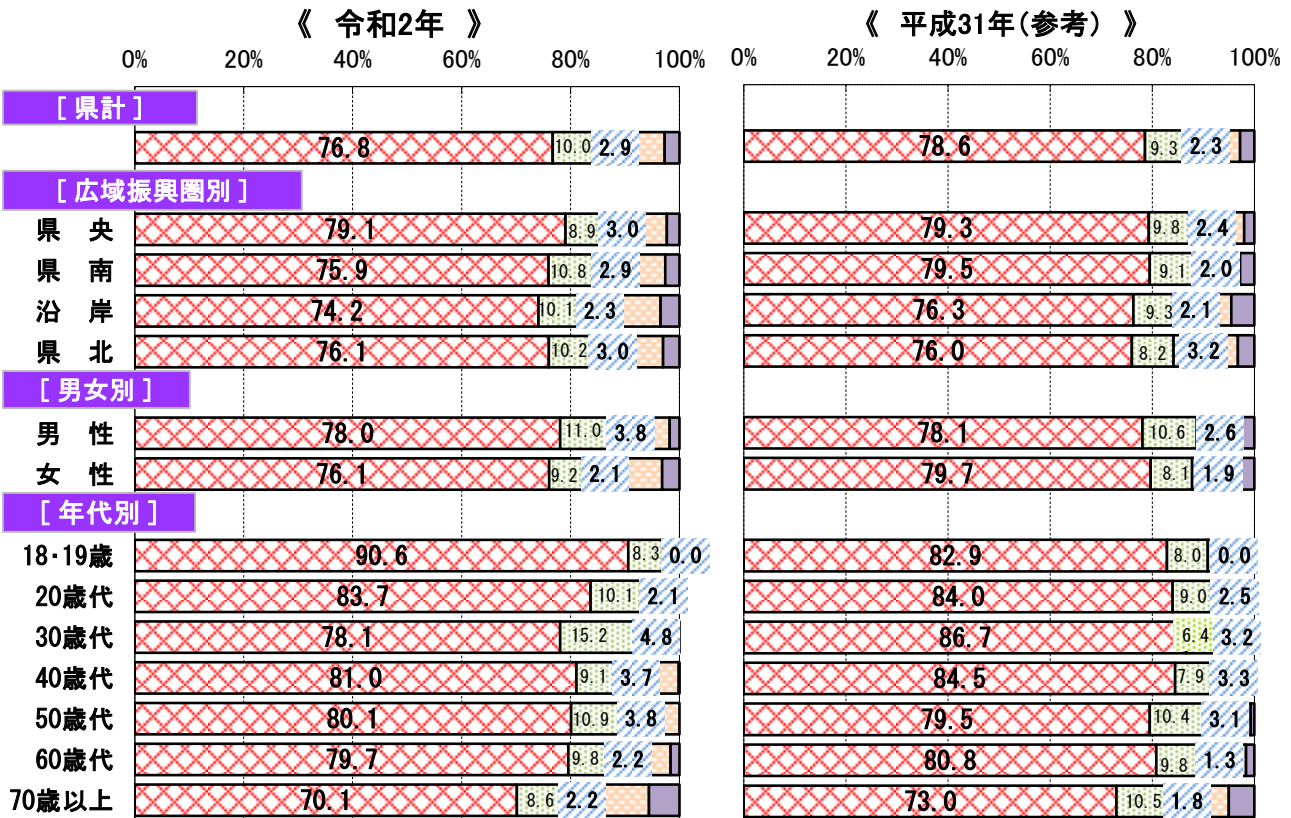
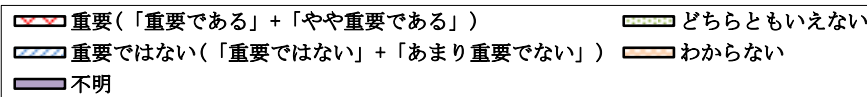
## 問2-13 子どもたちの学力が向上する教育がされていること。

[子どもは、小学生から高校生までをお考えください。]

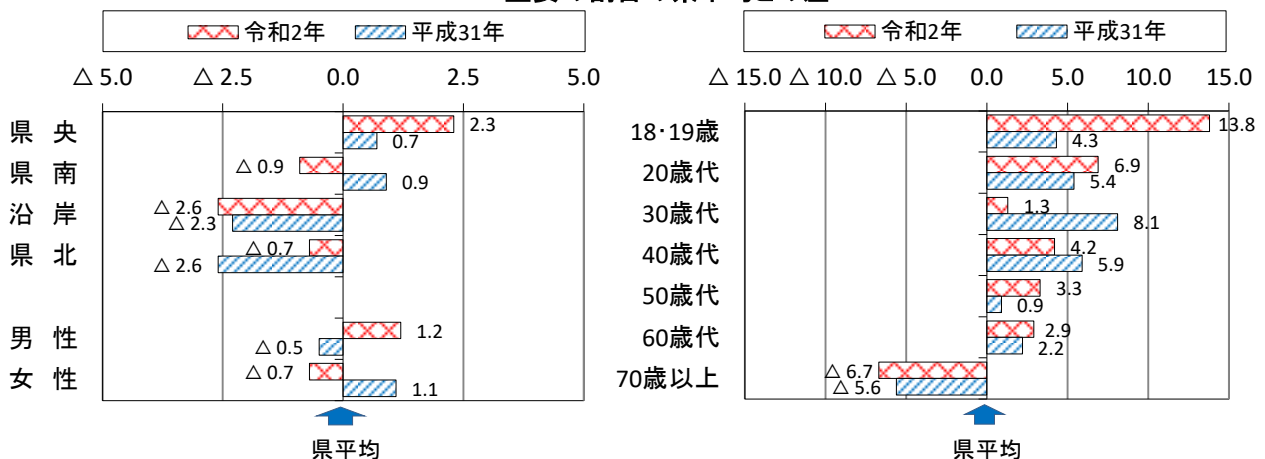
### (1) 重要度について

#### 重要が8割弱(76.8%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が76.8%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合2.9%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(79.1%)、男女別では男性(78.0%)、年代別では18・19歳(90.6%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.6ポイント)、男女別では男性(1.2ポイント)、年代別では18・19歳(13.8ポイント)となっている。



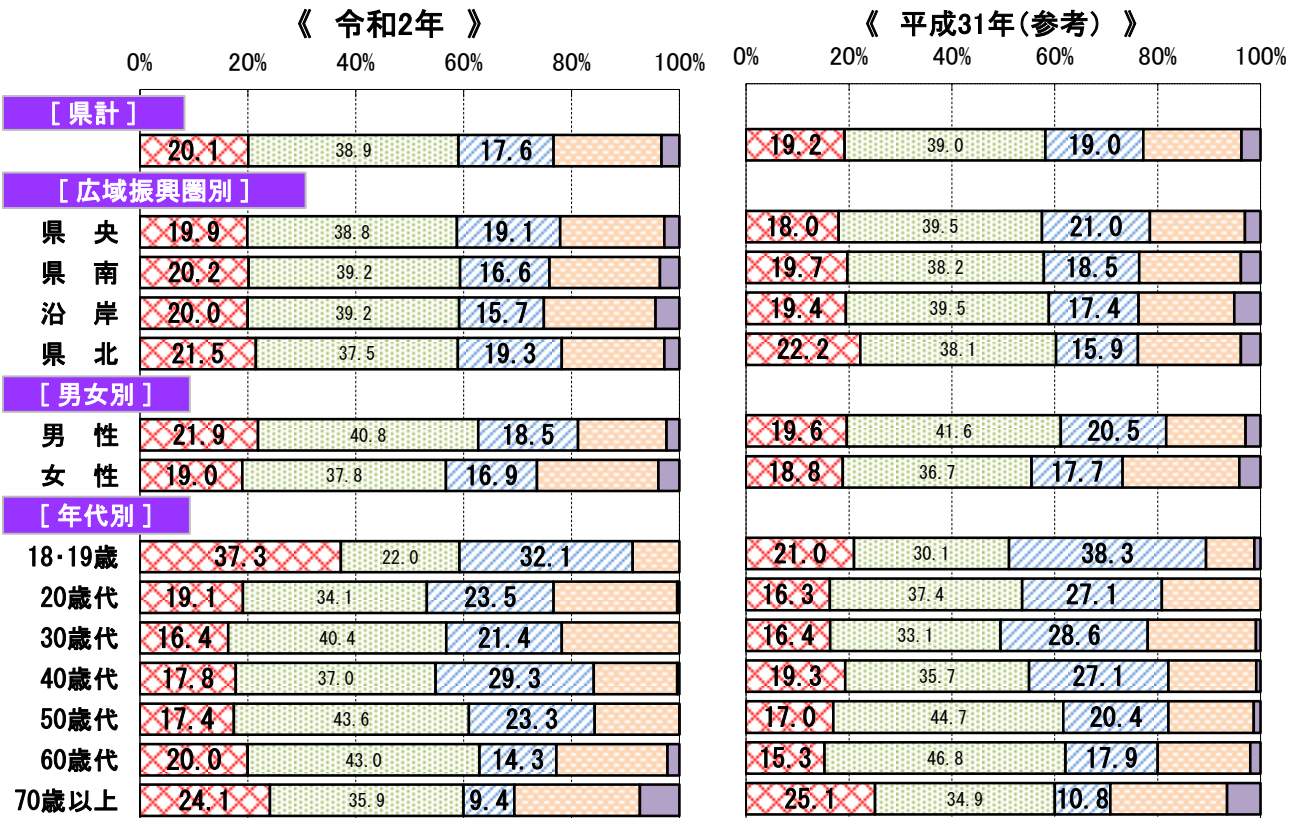
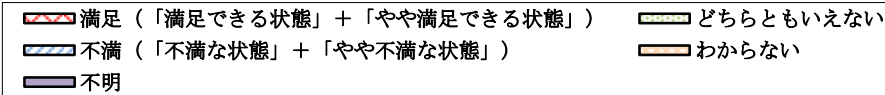
重要の割合の県平均との差



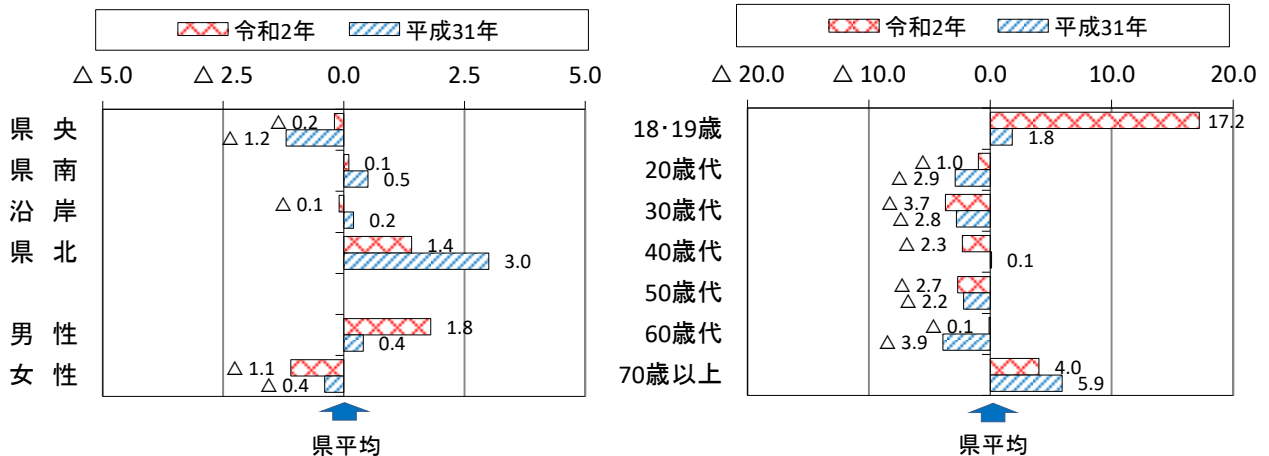
## (2) 満足度について

### 満足が約2割(20.1%)、不満を若干上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が20.1%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合17.6%を若干上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(21.5%)、男女別では男性(21.9%)、年代別では18・19歳(37.3%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(1.4ポイント)、男女別では男性(1.8ポイント)、年代別では18・19歳(17.2ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

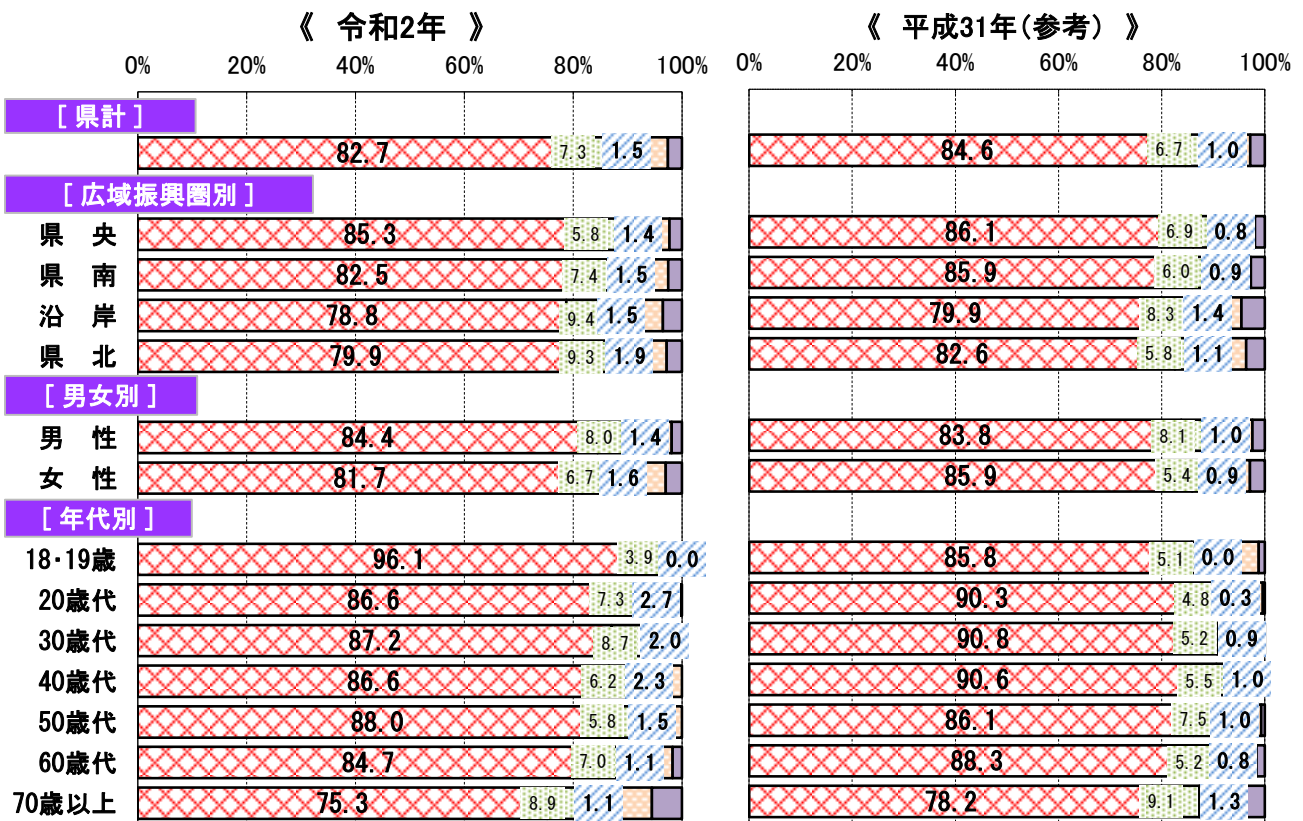
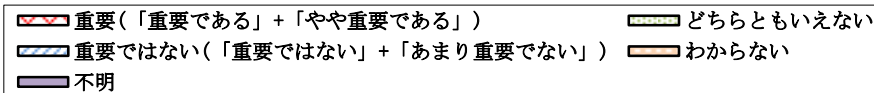


問2-14 子どもたちが、自分の良さを知り、人を思いやる心を持つなど、人間性豊かに育っていること。

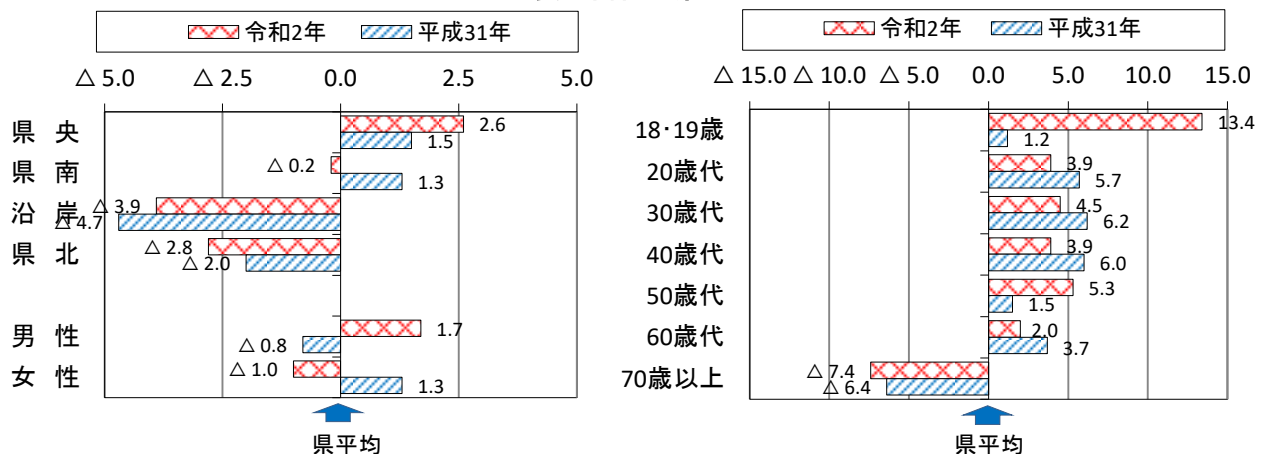
(1) 重要度について

重要が8割強(82.7%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が82.7%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合1.5%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(85.3%)、男女別では男性(84.4%)、年代別では18・19歳(96.1%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△3.9ポイント)、男女別では男性(1.7ポイント)、年代別では18・19歳(13.4ポイント)となっている。



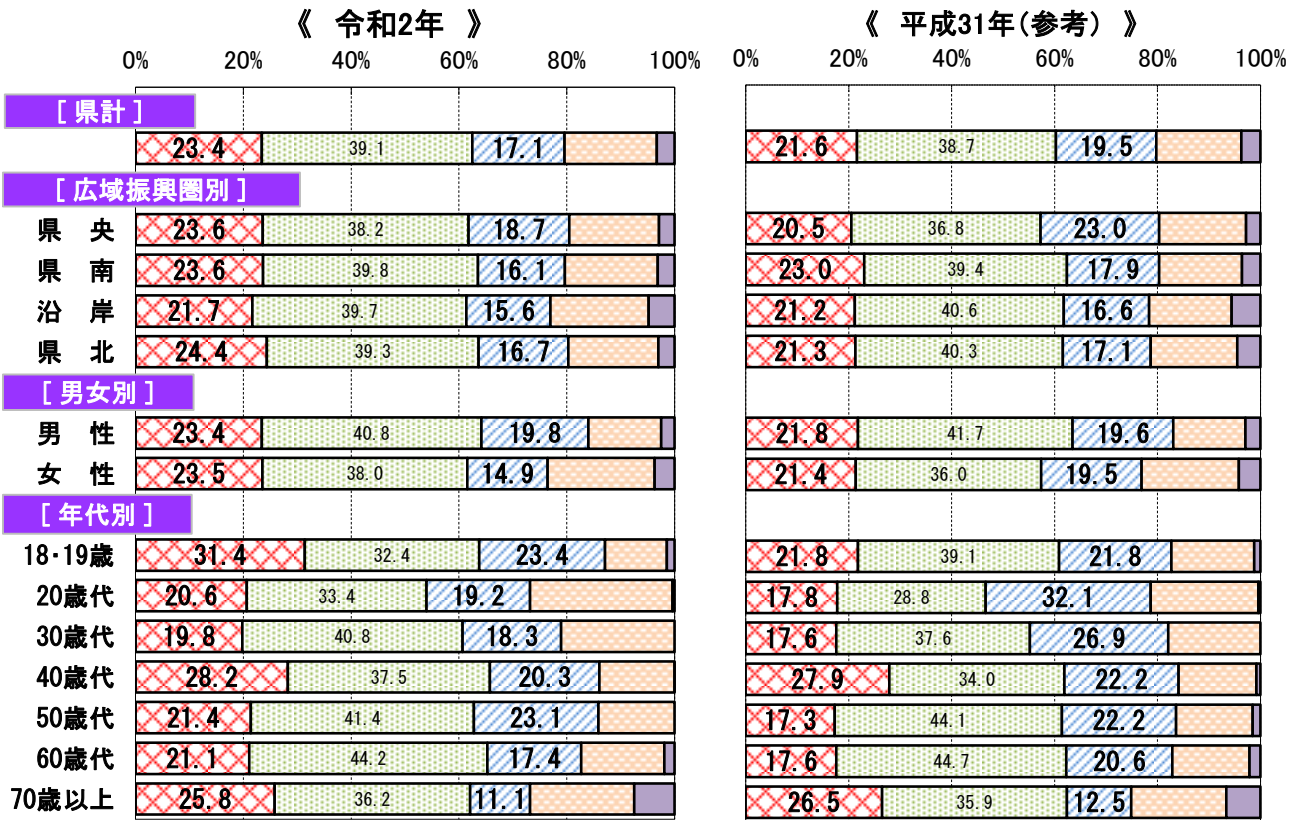
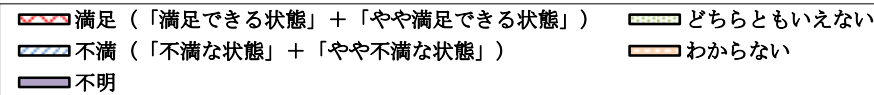
重要の割合の県平均との差



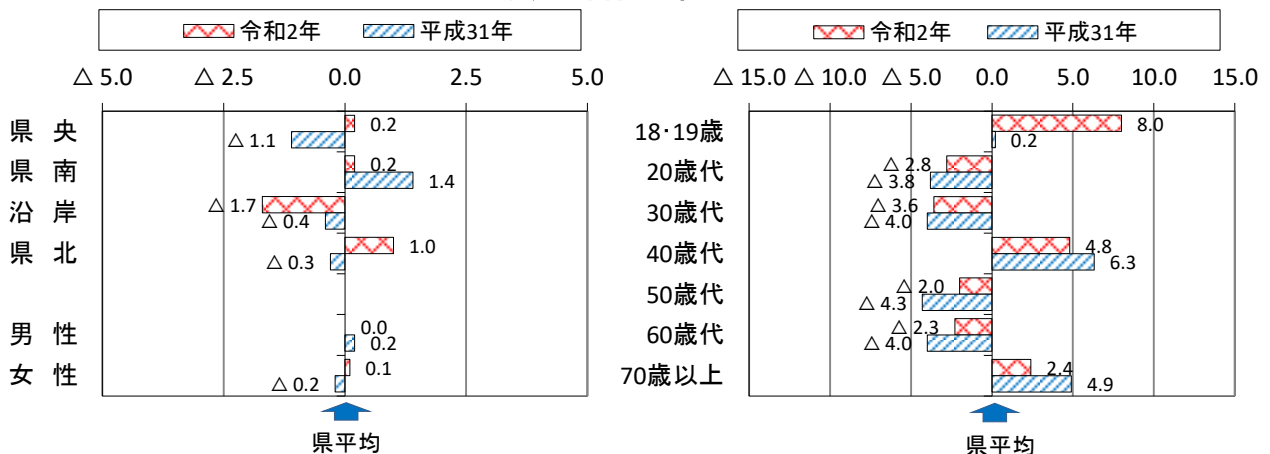
## (2) 満足度について

### 満足が2割強(23.4%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が23.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合17.1%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(24.4%)、男女別では女性(23.5%)、年代別では18・19歳(31.4%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△1.7ポイント)、男女別では女性(0.1ポイント)、年代別では18・19歳(8.0ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

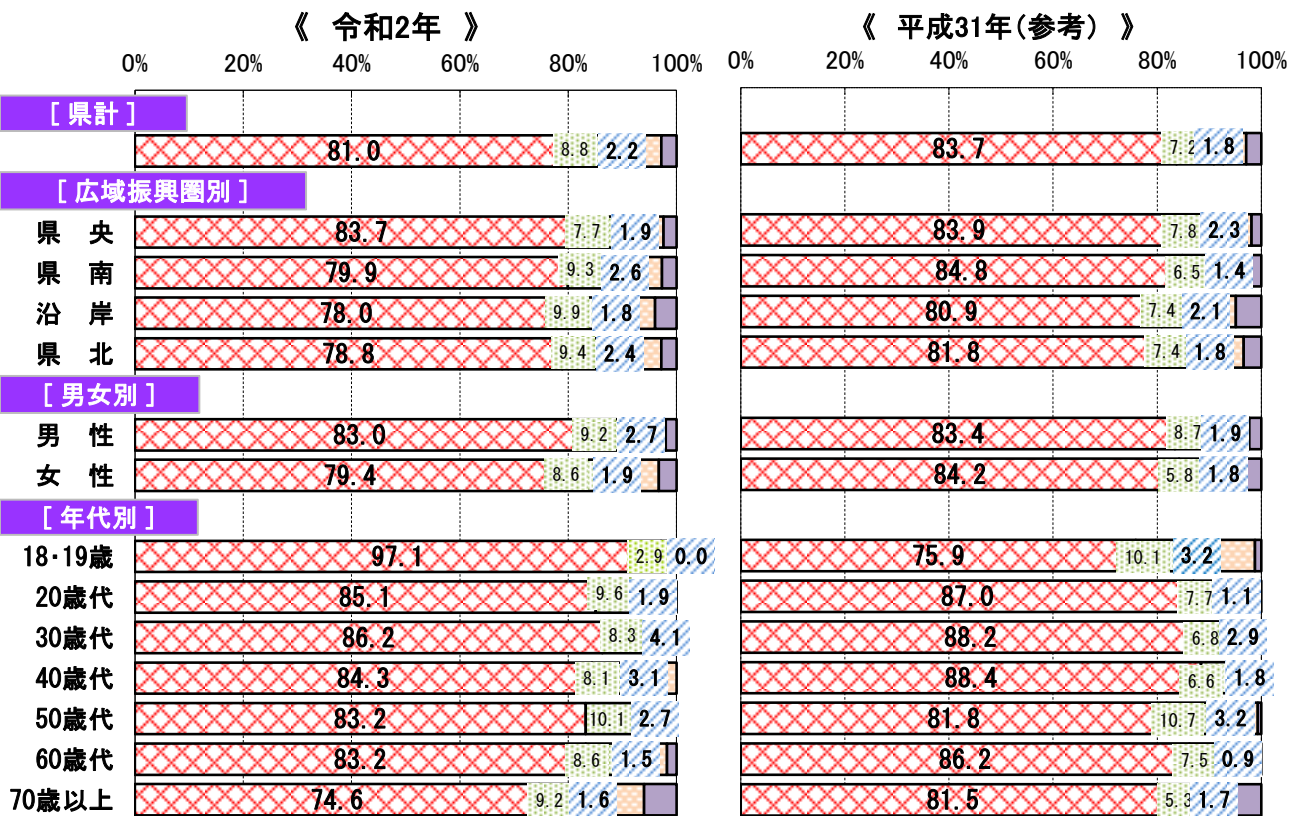
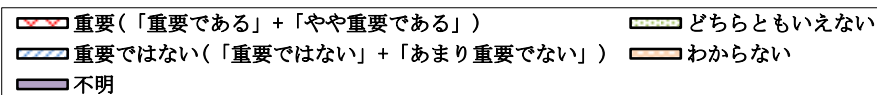


問2-15 子どもたちが、スポーツや運動に取り組むことによって、体力の向上や心身の健康の保持が図られていること。

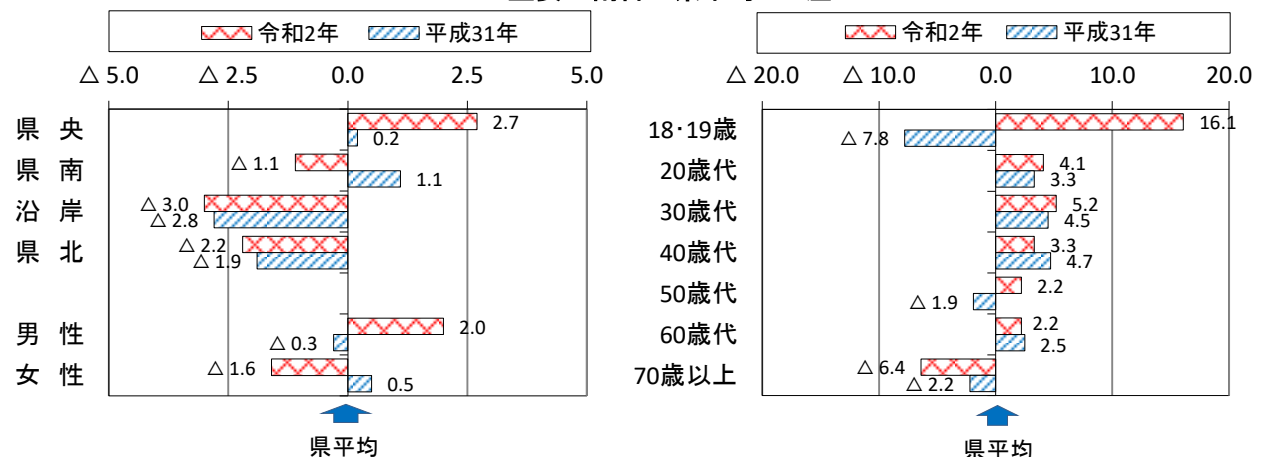
(1) 重要度について

重要が8割強(81.0%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が81.0%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合2.2%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(83.7%)、男女別では男性(83.0%)、年代別では18・19歳(97.1%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△3.0ポイント)、男女別では男性(2.0ポイント)、年代別では18・19歳(16.1ポイント)となっている。



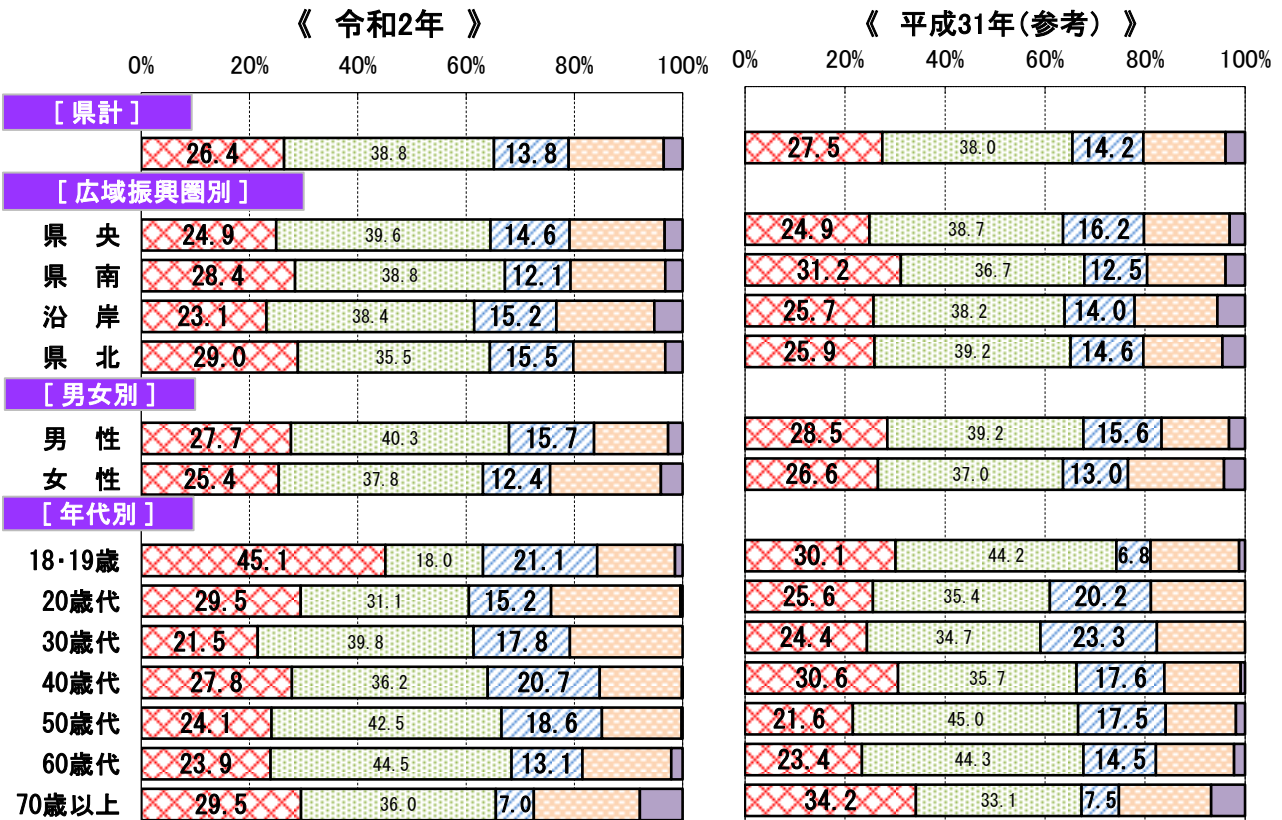
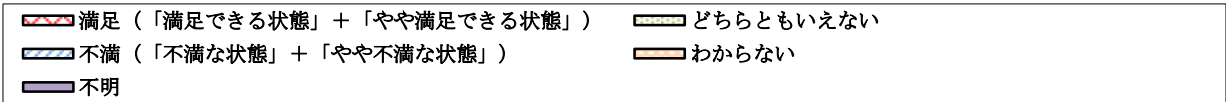
重要の割合の県平均との差



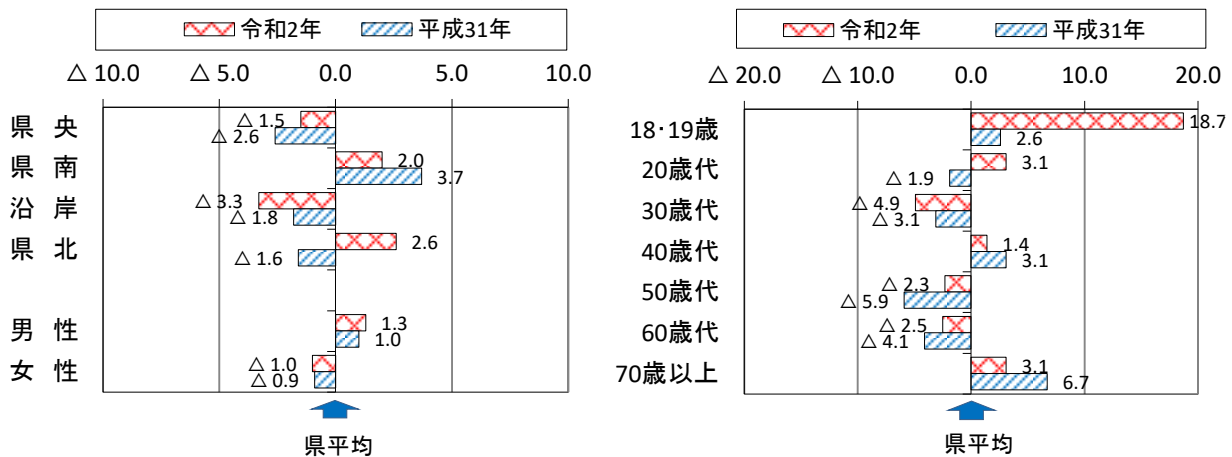
## (2) 満足度について

### 満足が3割弱(26.4%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が26.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合13.8%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(29.0%)、男女別では男性(27.7%)、年代別では18・19歳(45.1%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△3.3ポイント)、男女別では男性(1.3ポイント)、年代別では18・19歳(18.7ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

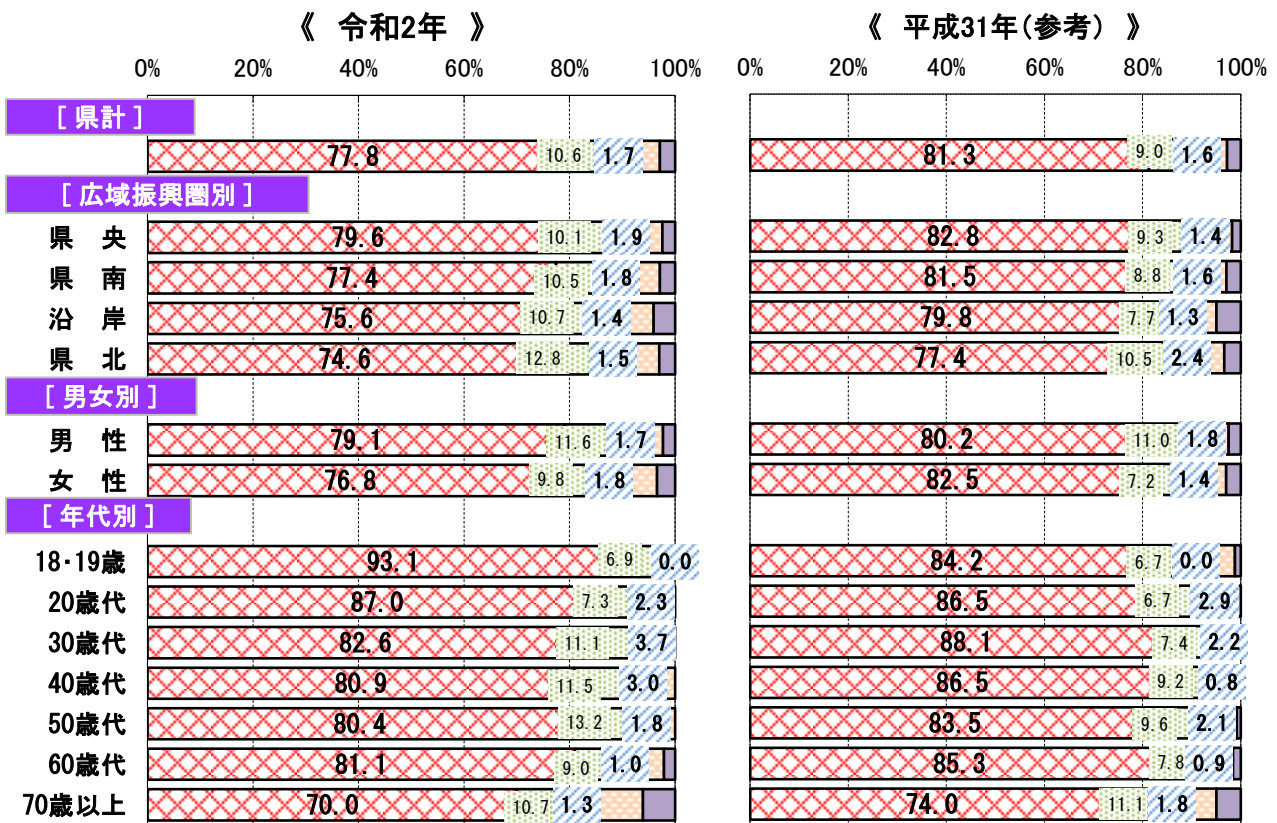
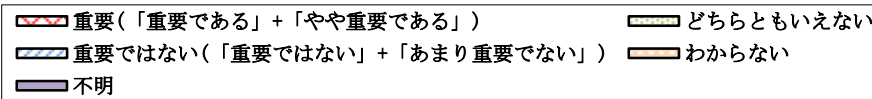


問2-16 学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。

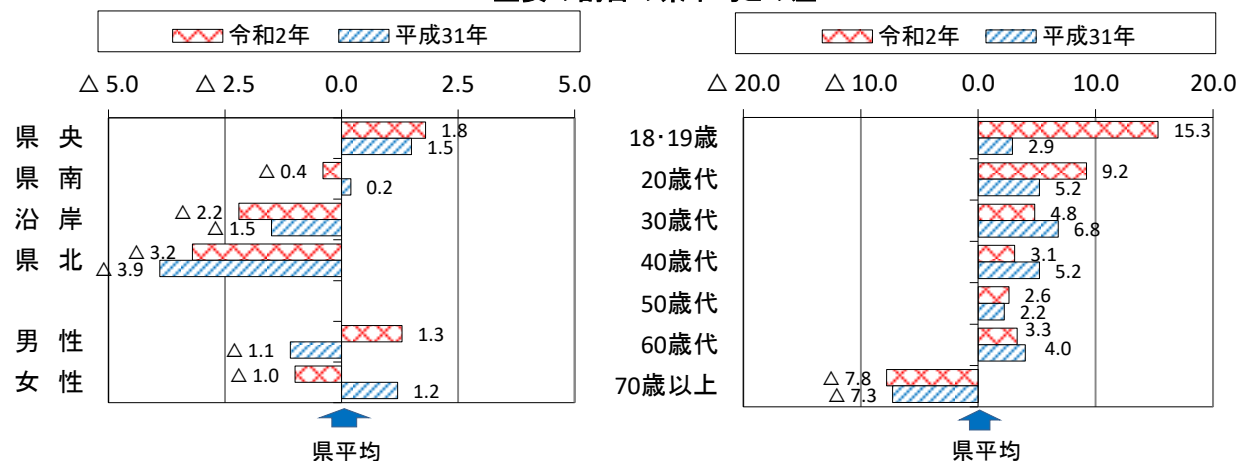
(1) 重要度について

重要が8割弱(77.8%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が77.8%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合1.7%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(79.6%)、男女別では男性(79.1%)、年代別では18・19歳(93.1%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.2ポイント)、男女別では男性(1.3ポイント)、年代別では18・19歳(15.3ポイント)となっている。



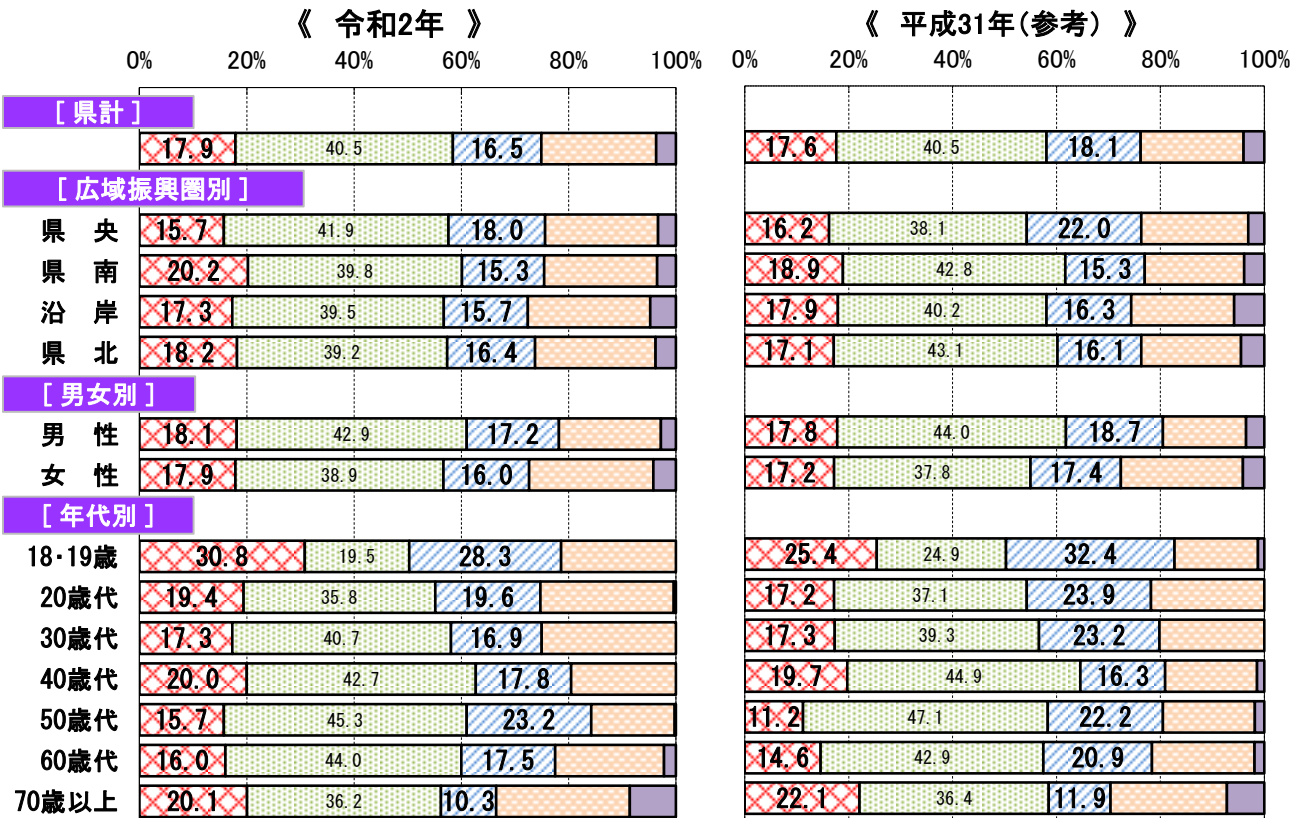
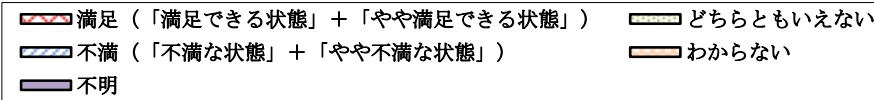
重要の割合の県平均との差



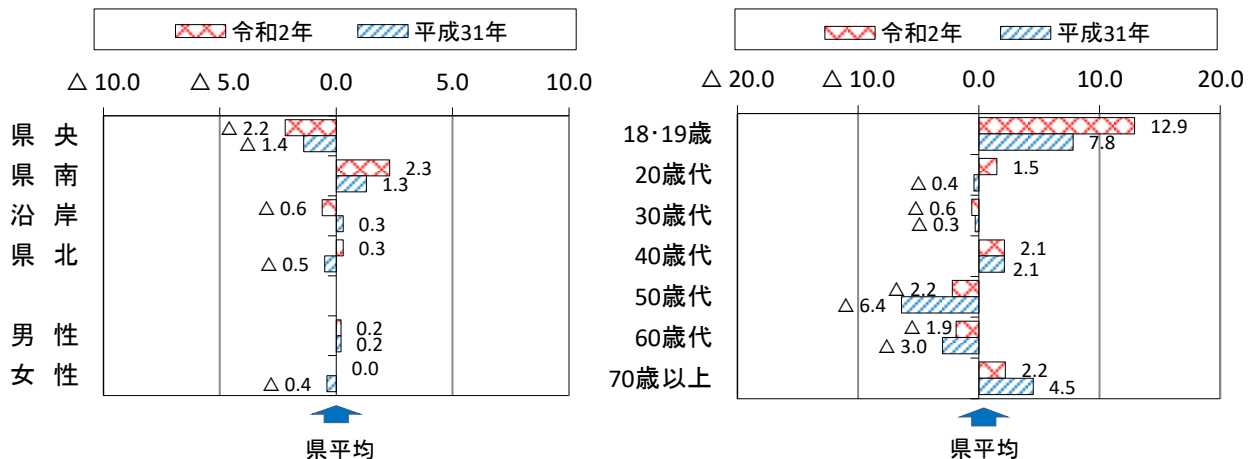
(2) 満足度について

満足が2割弱(17.9%)、不満とほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が17.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合16.5%とほとんど差はない。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(20.2%)、男女別では男性(18.1%)、年代別では18・19歳(30.8%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(2.3ポイント)、男女別では男性(0.2ポイント)、年代別では18・19歳(12.9ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差



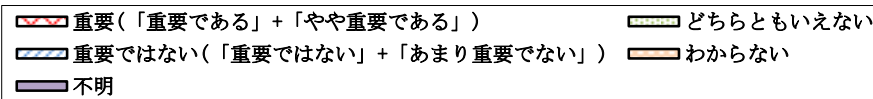


問2-17 学校が、いじめや不登校に適切に対処していること。

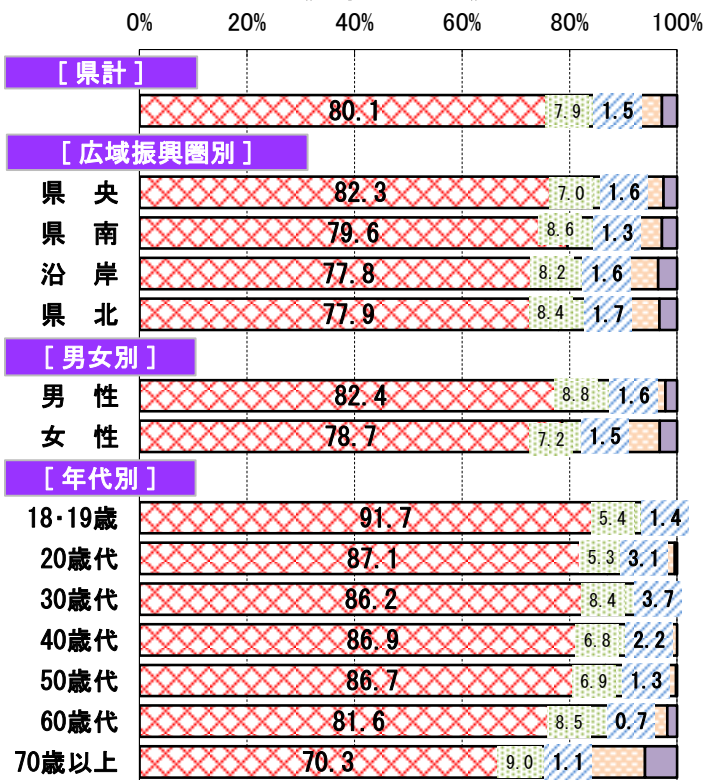
(1) 重要度について

重要が約8割(80.1%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が80.1%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合1.5%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(82.3%)、男女別では男性(82.4%)、年代別では18・19歳(91.7%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.3ポイント)、男女別では男性(2.3ポイント)、年代別では18・19歳(11.6ポイント)となっている。

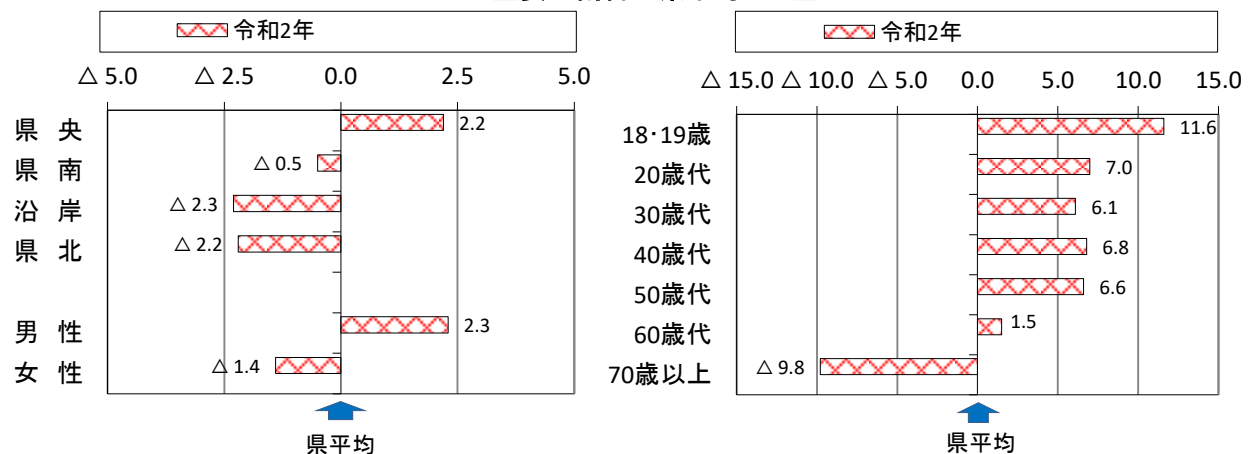


《 令和2年 》



※本項目は令和2年調査の新規項目であるため、平成31年調査の値は不掲載。

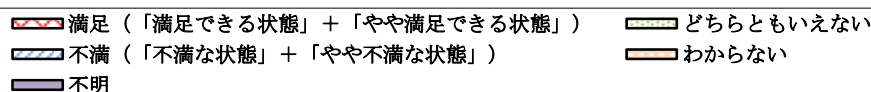
重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

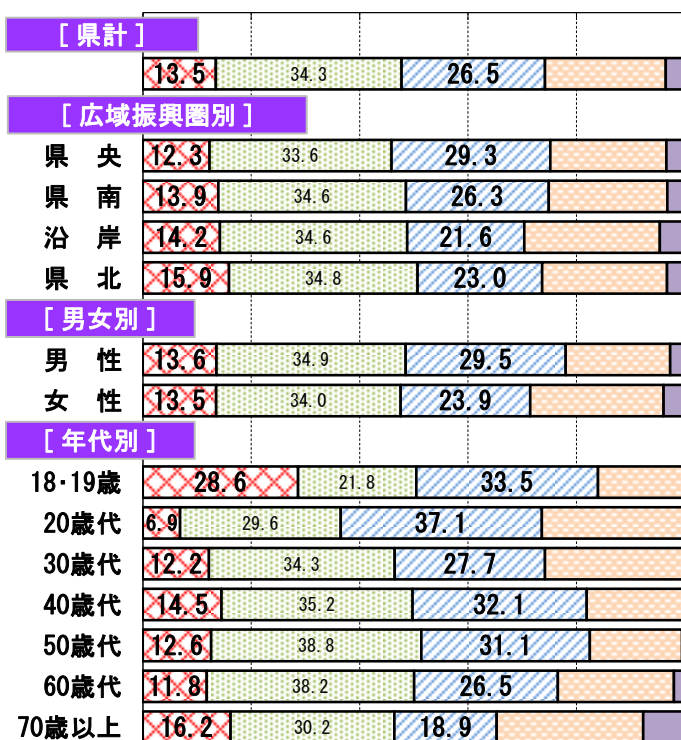
### 満足が1割強(13.5%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が13.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合26.5%を下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(15.9%)、男女別では男性(13.6%)、年代別では18・19歳(28.6%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(2.4ポイント)、男女別では男性(0.1ポイント)、年代別では18・19歳(15.1ポイント)となっている。



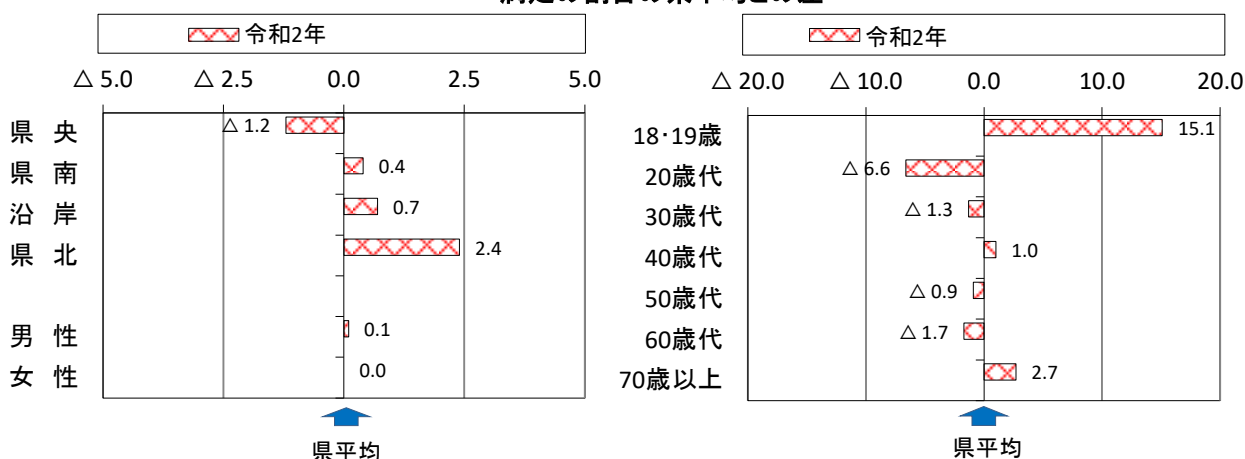
### 《 令和2年 》

0% 20% 40% 60% 80% 100%



※本項目は令和2年調査の新規項目であるため、平成31年調査の値は不掲載。

### 満足の割合の県平均との差

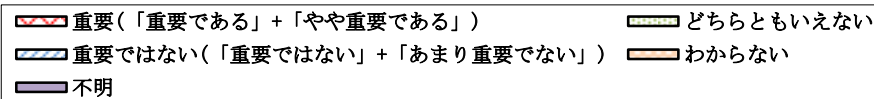


問2-18 学校施設や登下校時において、子どもたちが安全・安心に学ぶことができる環境となっていること。

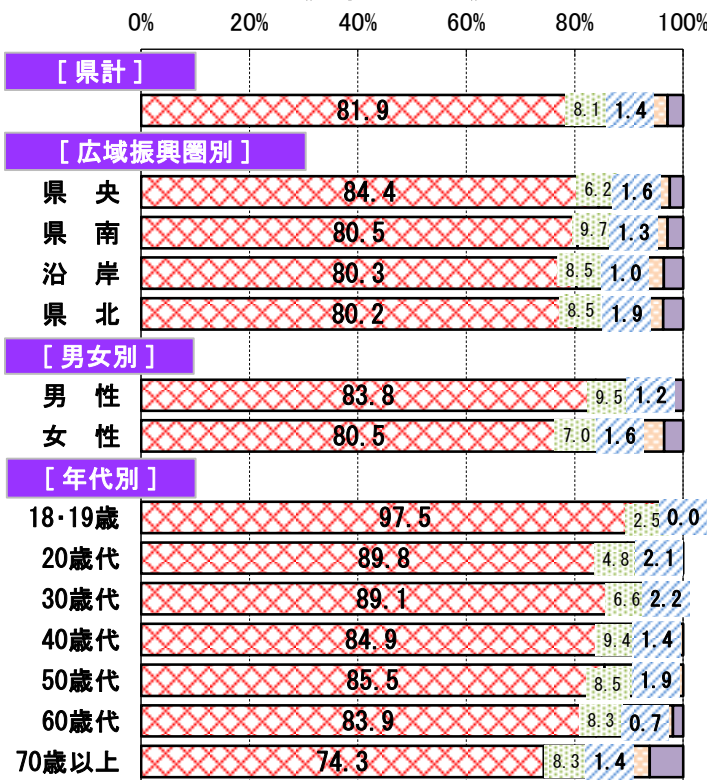
(1) 重要度について

重要が8割強(81.9%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が81.9%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合1.4%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(84.4%)、男女別では男性(83.8%)、年代別では18・19歳(97.5%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(2.5ポイント)、男女別では男性(1.9ポイント)、年代別では18・19歳(15.6ポイント)となっている。

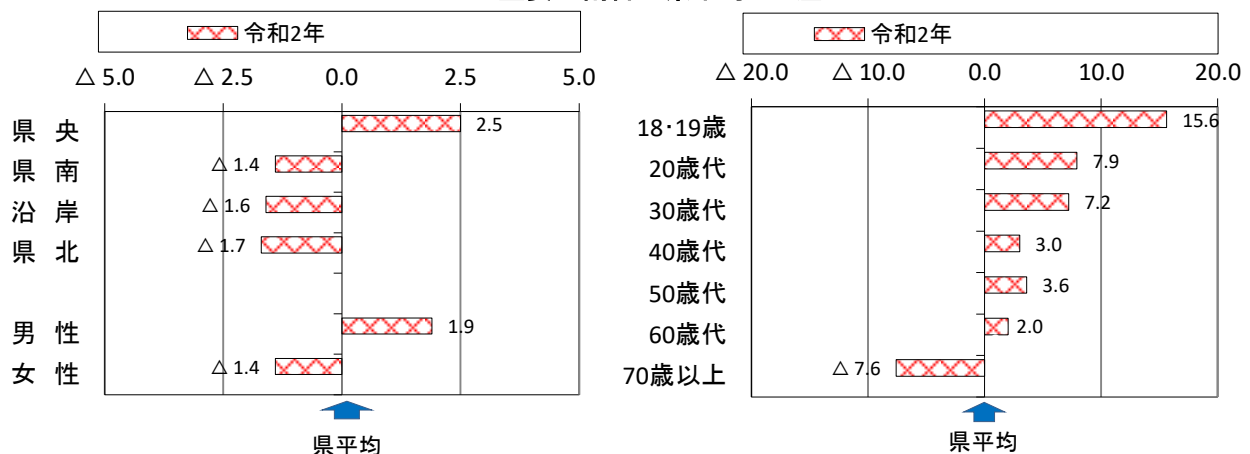


《 令和2年 》



※本項目は令和2年調査の新規項目であるため、平成31年調査の値は不掲載。

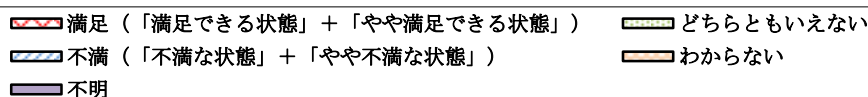
重要の割合の県平均との差



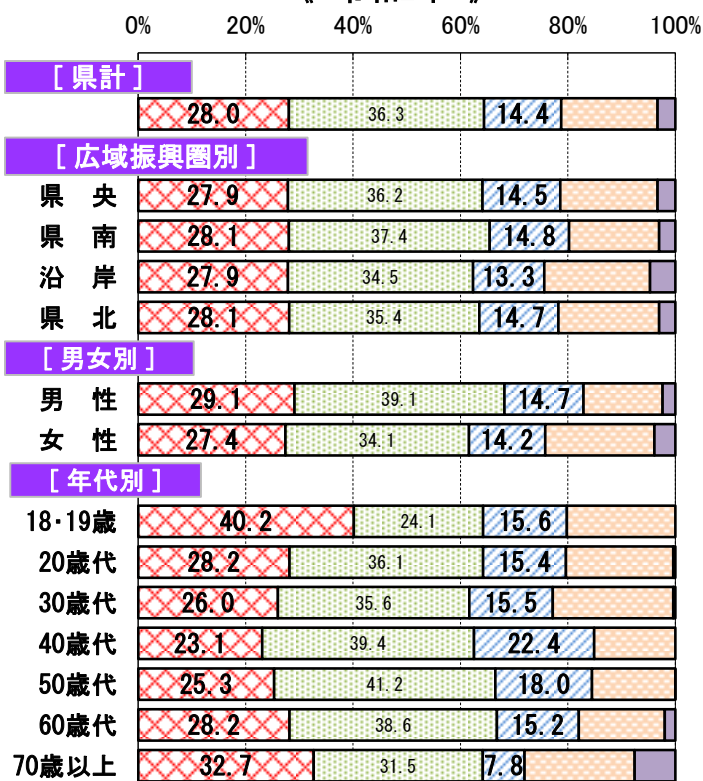
## (2) 満足度について

### 満足が3割弱(28.0%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が28.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合14.4%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(28.1%)及び県北(28.1%)、男女別では男性(29.1%)、年代別では18・19歳(40.2%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、男女別では男性(1.1ポイント)、年代別では18・19歳(12.2ポイント)となっている。

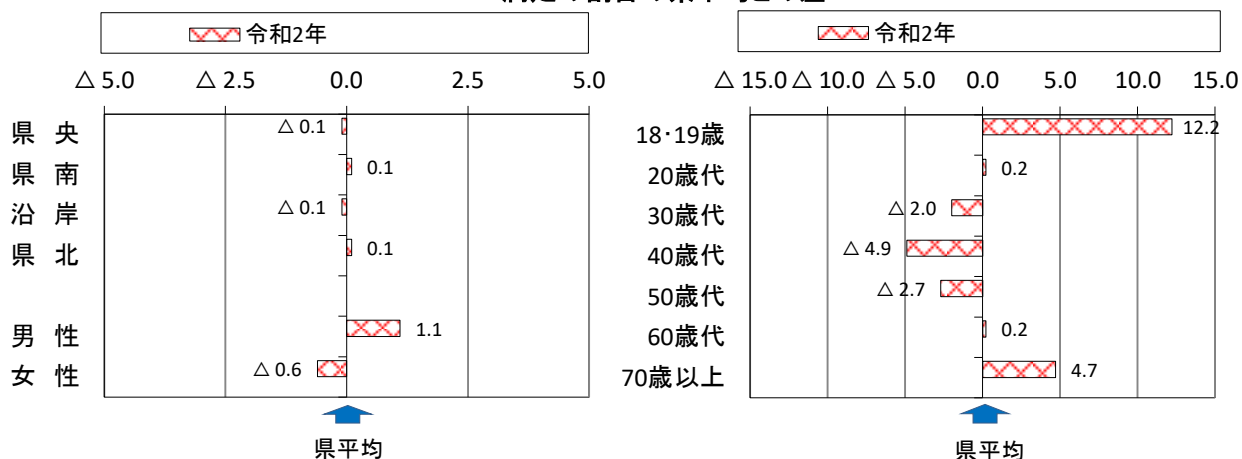


### 《 令和2年 》



※本項目は令和2年調査の新規項目であるため、平成31年調査の値は不掲載。

### 満足の割合の県平均との差



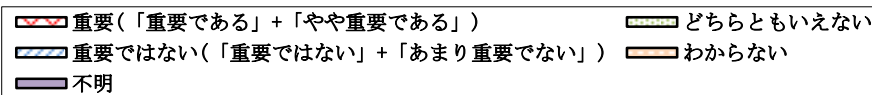
## 問2-19 特色ある私学教育の充実が図られていること。

[私学教育とは、私学の幼児教育から高等教育までをお考えください。]

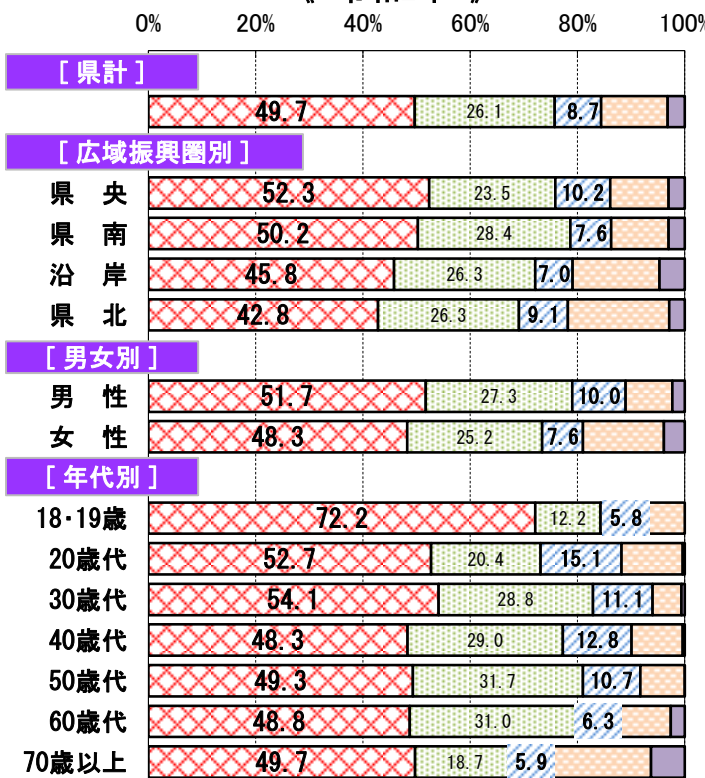
### (1) 重要度について

#### 重要が約5割(49.7%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が49.7%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合8.7%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(52.3%)、男女別では男性(51.7%)、年代別では18・19歳(72.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△6.9ポイント)、男女別では男性(2.0ポイント)、年代別では18・19歳(22.5ポイント)となっている。

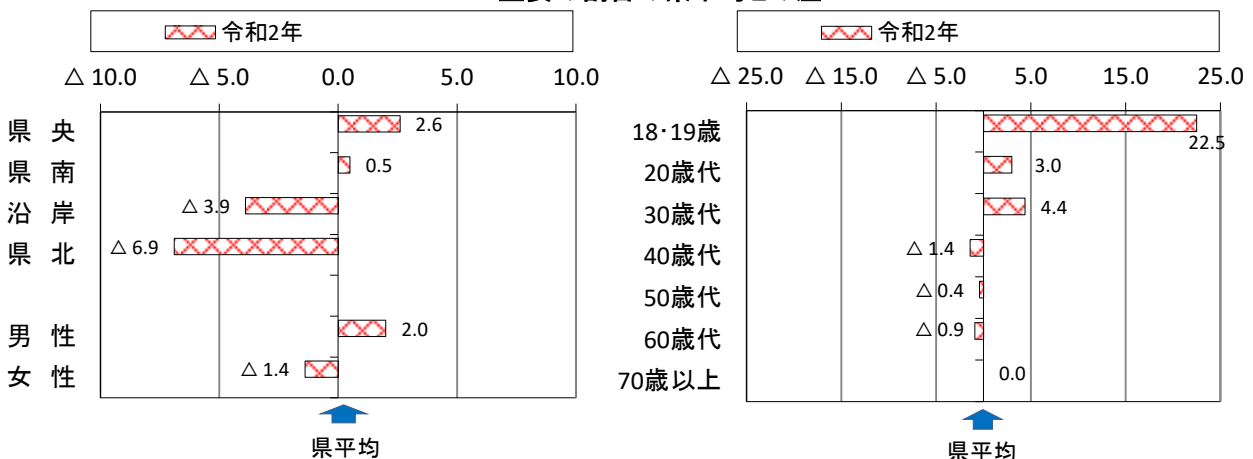


#### 《 令和2年 》



※本項目は令和2年調査の新規項目であるため、平成31年調査の値は不掲載。

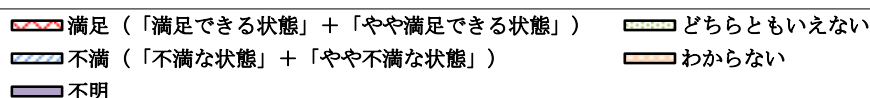
#### 重要の割合の県平均との差



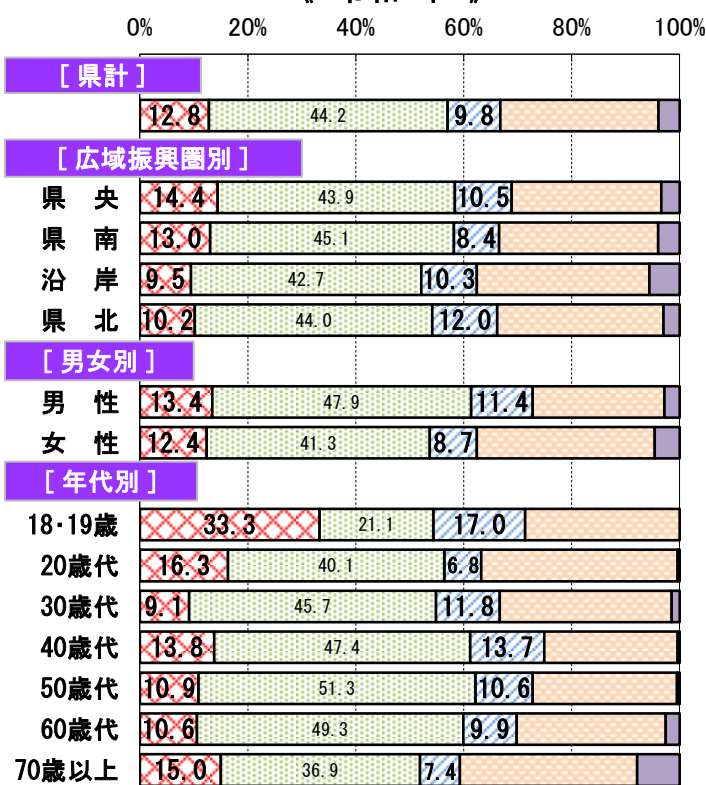
## (2) 満足度について

### 満足が1割強(12.8%)、不満を若干上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が12.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合9.8%を若干上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(14.4%)、男女別では男性(13.4%)、年代別では18・19歳(33.3%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△3.3ポイント)、男女別では男性(0.6ポイント)、年代別では18・19歳(20.5ポイント)となっている。

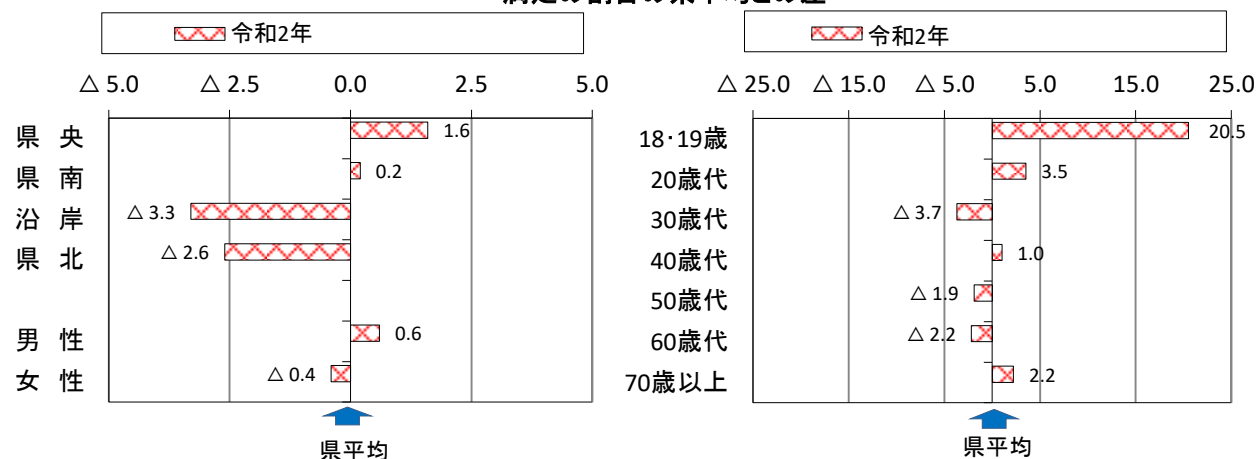


### 《 令和2年 》



※本項目は令和2年調査の新規項目であるため、平成31年調査の値は不掲載。

### 満足の割合の県平均との差

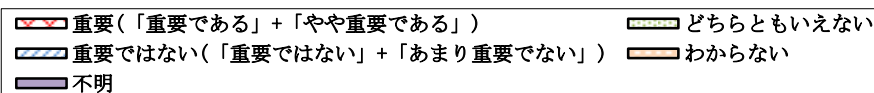


問2-20 岩手の復興・発展を支える人材が育成されていること。

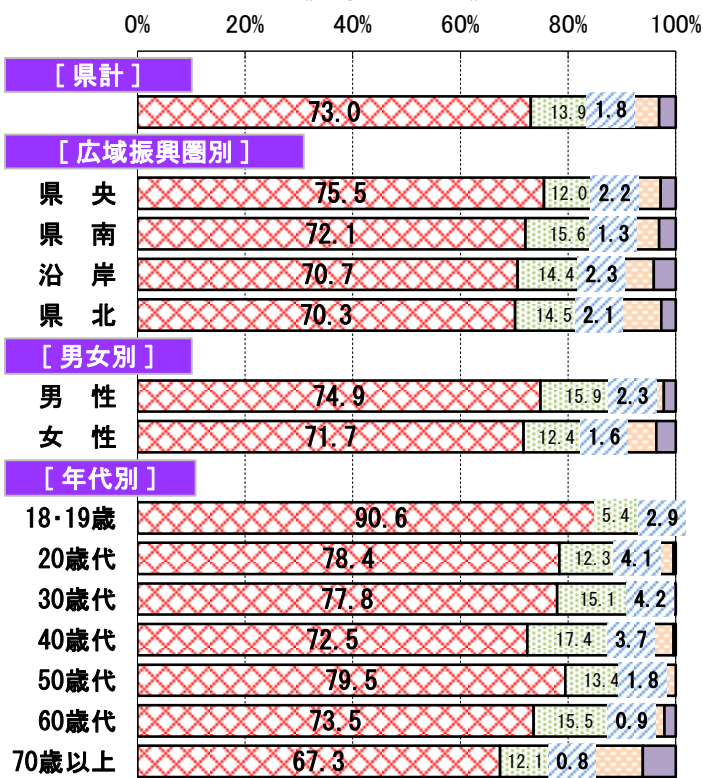
(1) 重要度について

重要が7割強(73.0%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が73.0%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合1.8%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(75.5%)、男女別では男性(74.9%)、年代別では18・19歳(90.6%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△2.7ポイント)、男女別では男性(1.9ポイント)、年代別では18・19歳(17.6ポイント)となっている。

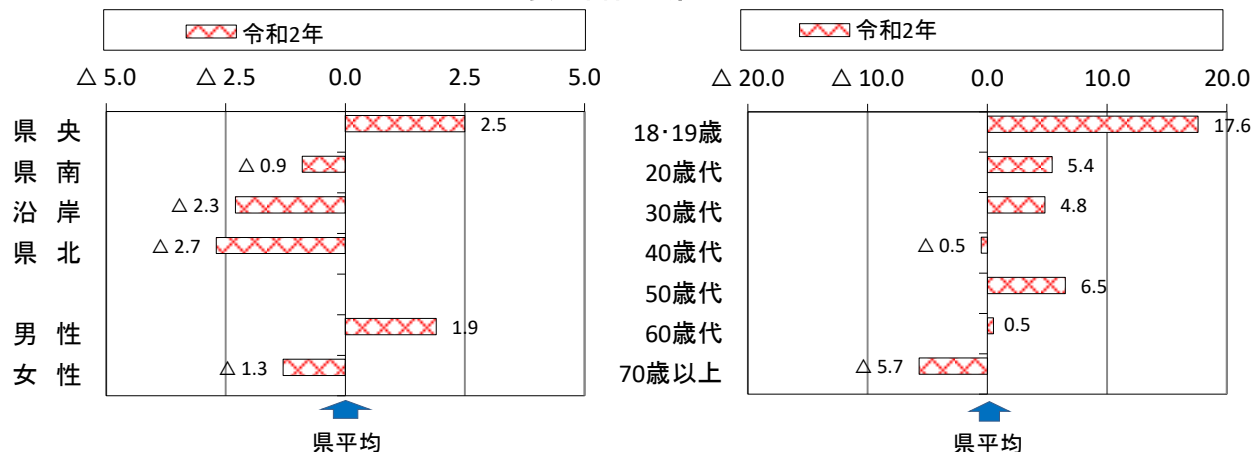


《 令和2年 》



※本項目は令和2年調査の新規項目であるため、平成31年調査の値は不掲載。

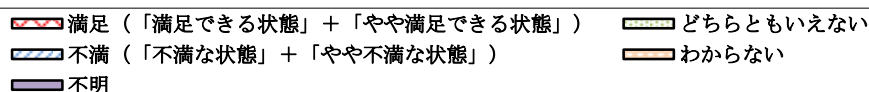
重要の割合の県平均との差



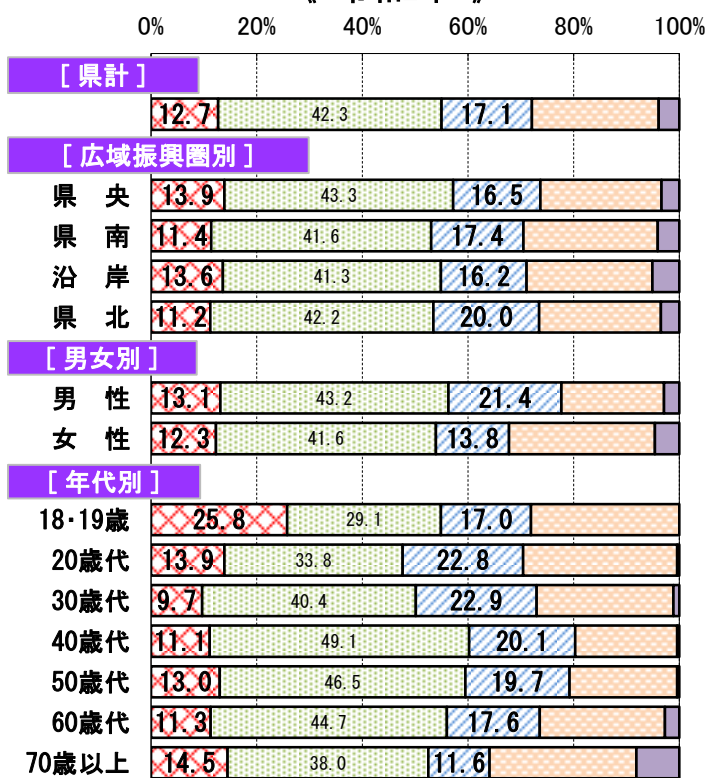
## (2) 満足度について

### 満足が1割強(12.7%)、不満を若干下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が12.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合17.1%を若干下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(13.9%)、男女別では男性(13.1%)、年代別では18・19歳(25.8%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△1.5ポイント)、年代別では18・19歳(13.1ポイント)となっている。

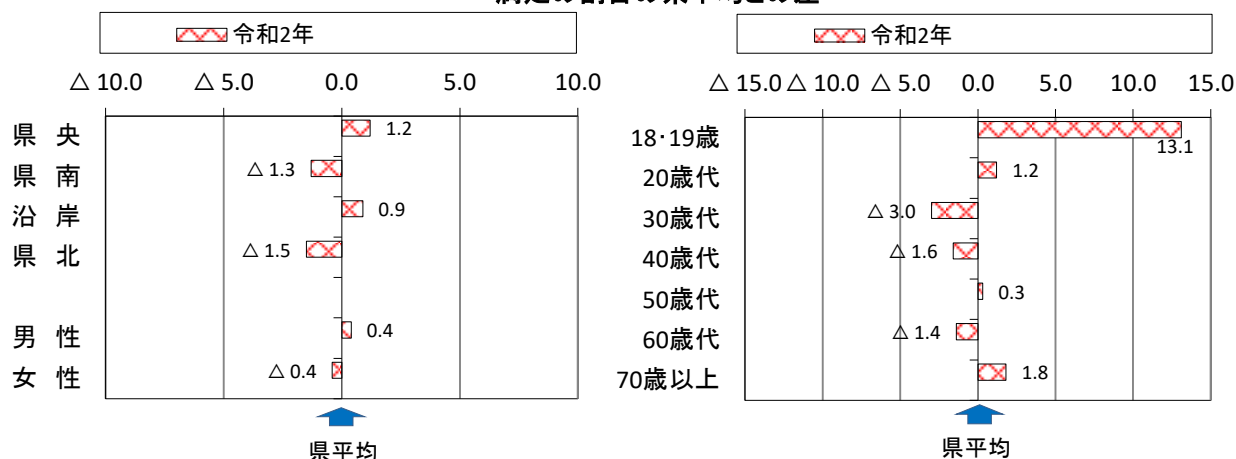


### 《 令和2年 》



※本項目は令和2年調査の新規項目であるため、平成31年調査の値は不掲載。

### 満足の割合の県平均との差



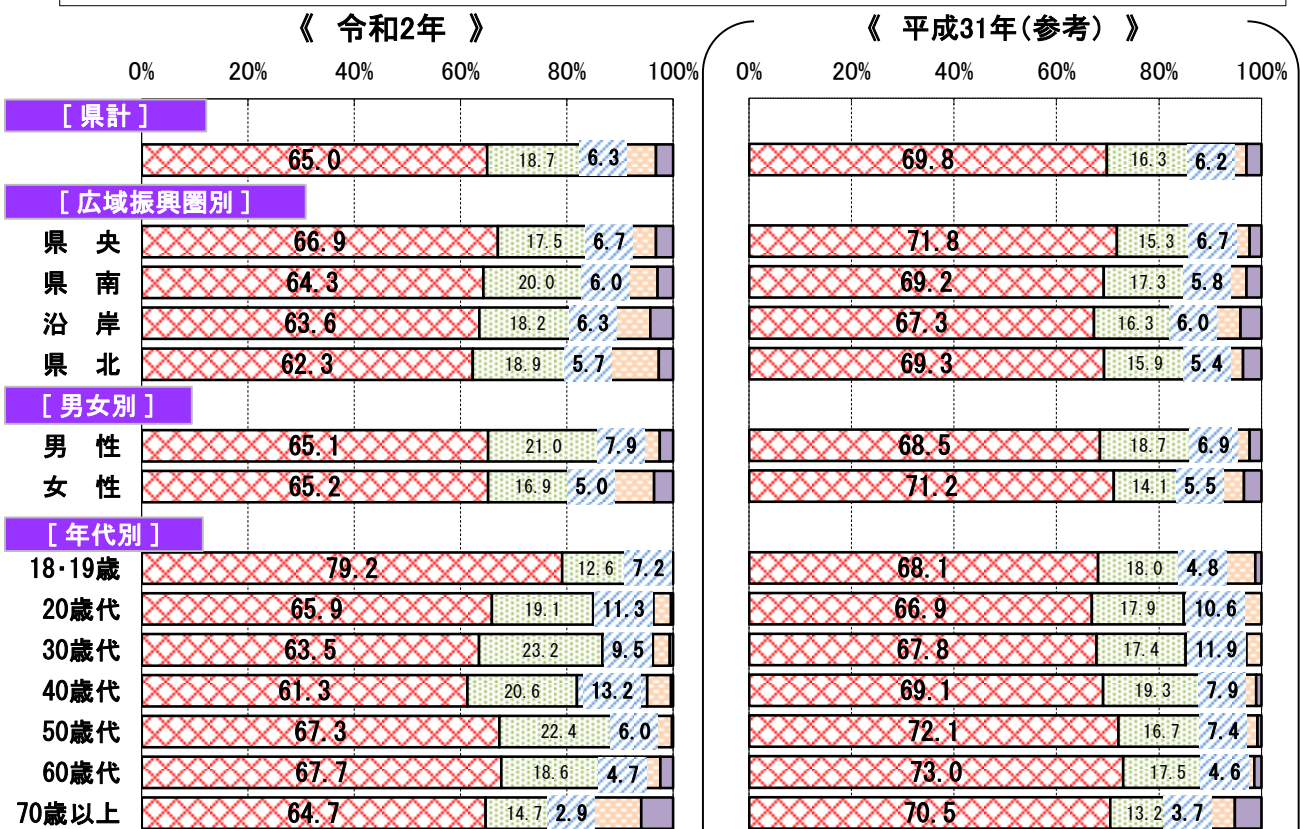
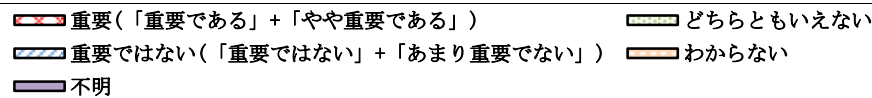


問2-21 文化芸術やスポーツの分野において、本県ゆかりの芸術家や選手が国内外で活躍していること。

(1) 重要度について

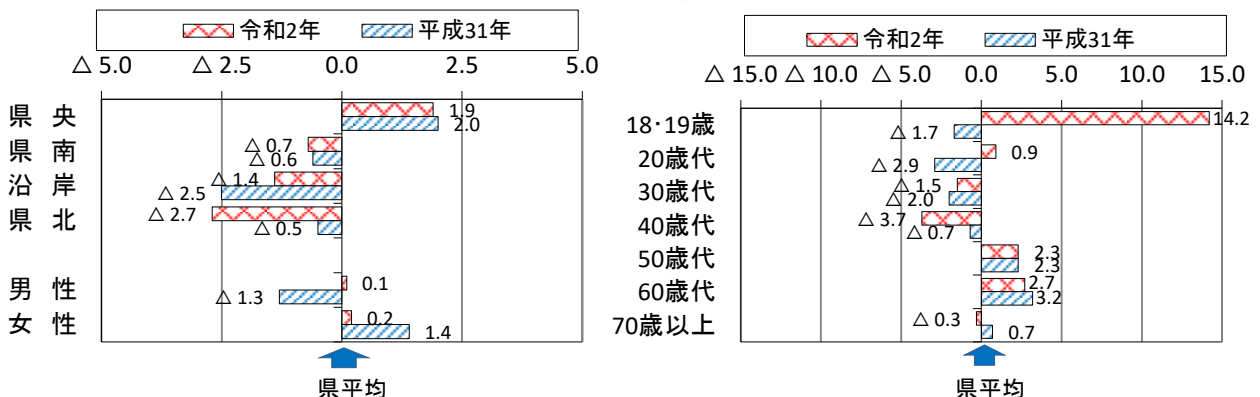
重要が65.0%

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が65.0%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合6.3%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(66.9%)、男女別では女性(65.2%)、年代別では18・19歳(79.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△2.7ポイント)、男女別では女性(0.2ポイント)、年代別では18・19歳(14.2ポイント)となっている。



前回調査「スポーツの国際大会や国内外の各種大会において本県選手が活躍していること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

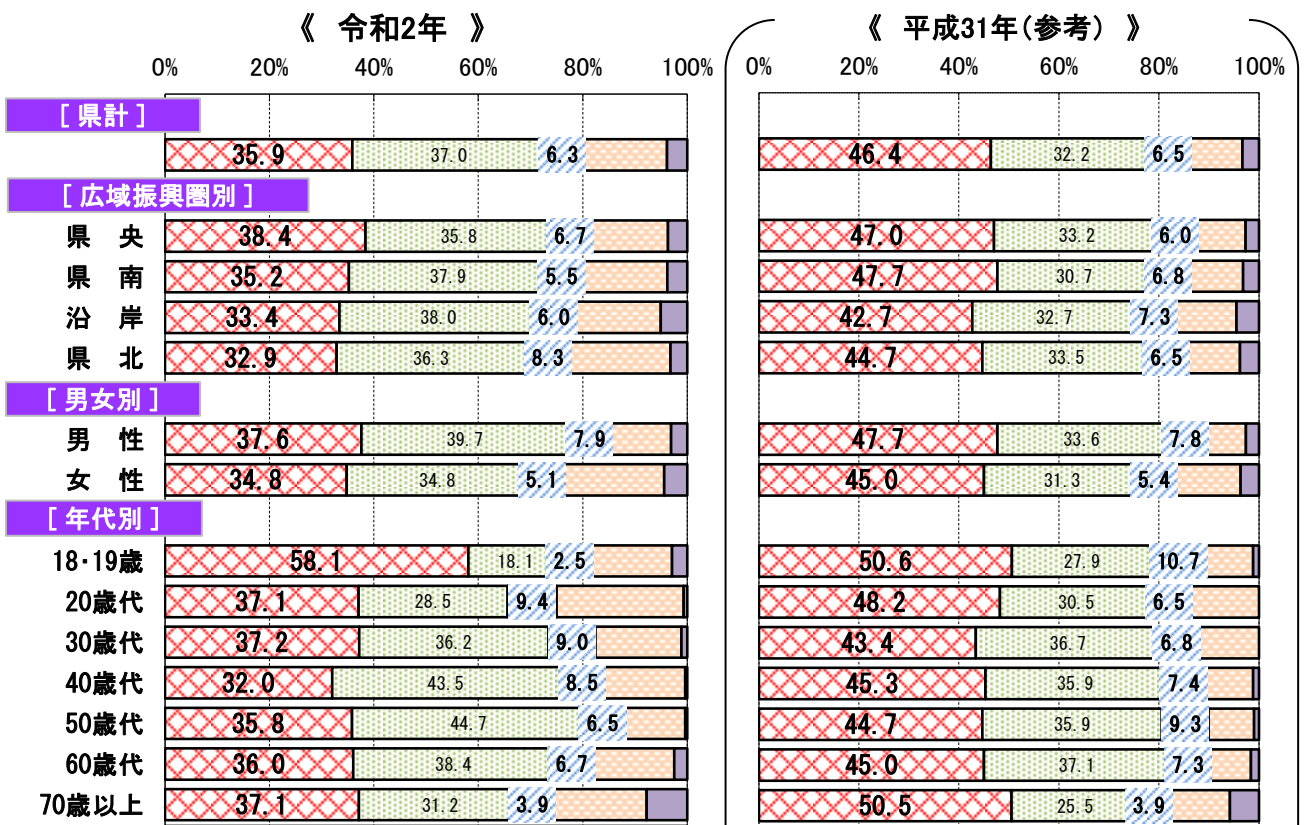
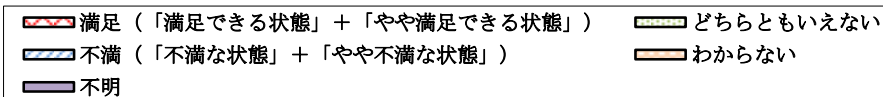
重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

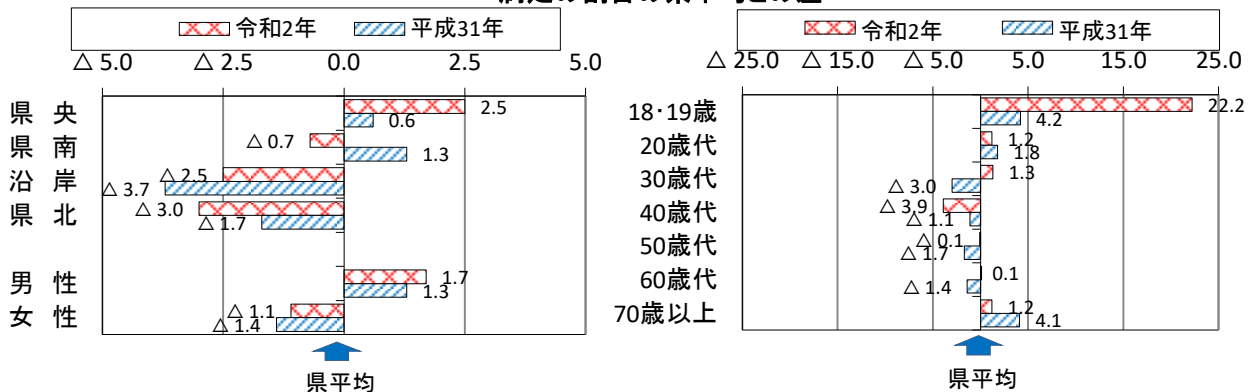
### 満足が約35% (35.9%)、不満を大きく上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が35.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合6.3%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(38.4%)、男女別では男性(37.6%)、年代別では18・19歳(58.1%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.0ポイント)、男女別では男性(1.7ポイント)、年代別では18・19歳(22.2ポイント)となっている。



前回調査「スポーツの国際大会や国内外の各種大会において本県選手が活躍していること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

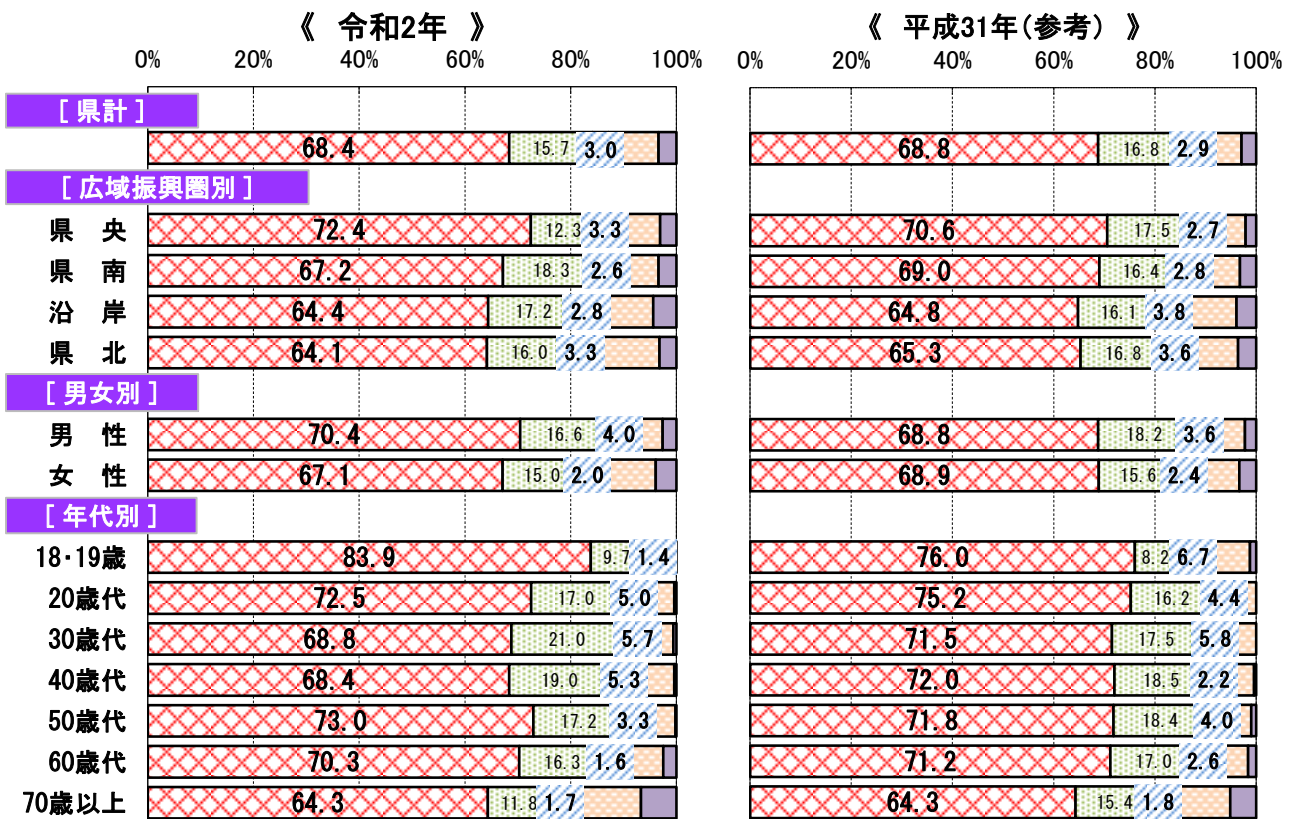
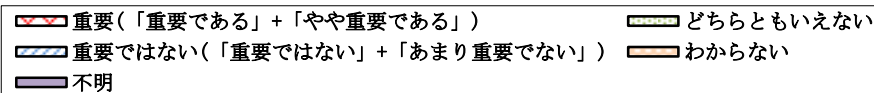


問2-22 県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。

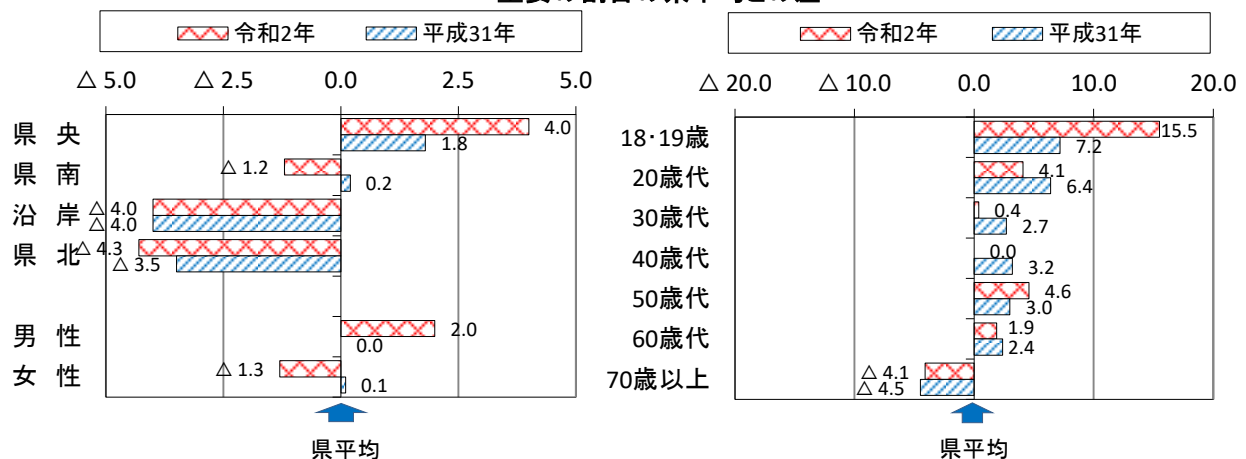
(1) 重要度について

重要が7割弱(68.4%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が68.4%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合3.0%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(72.4%)、男女別では男性(70.4%)、年代別では18・19歳(83.9%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△4.3ポイント)、男女別では男性(2.0ポイント)、年代別では18・19歳(15.5ポイント)となっている。



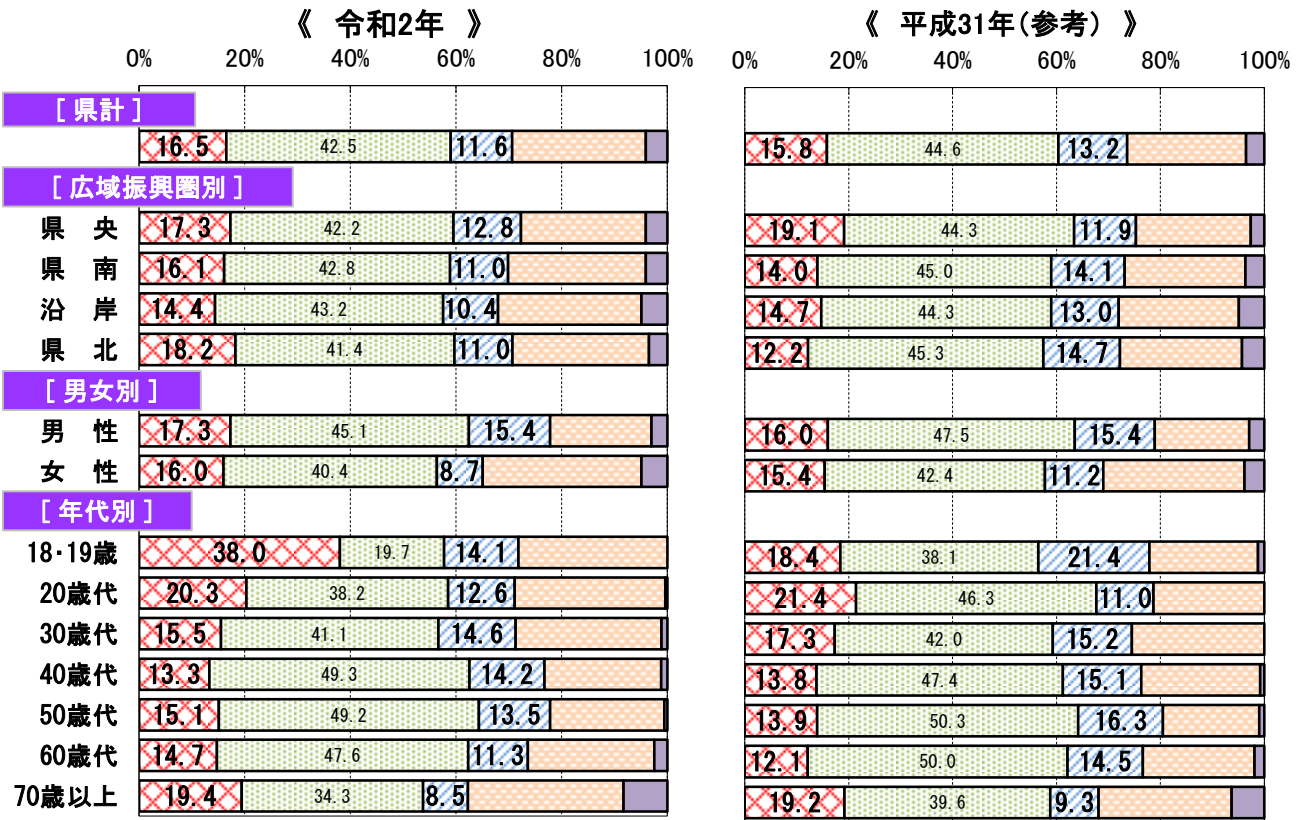
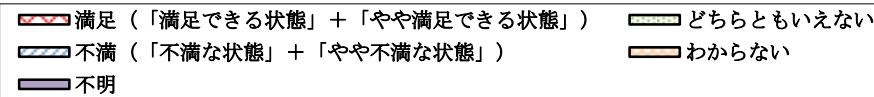
重要の割合の県平均との差



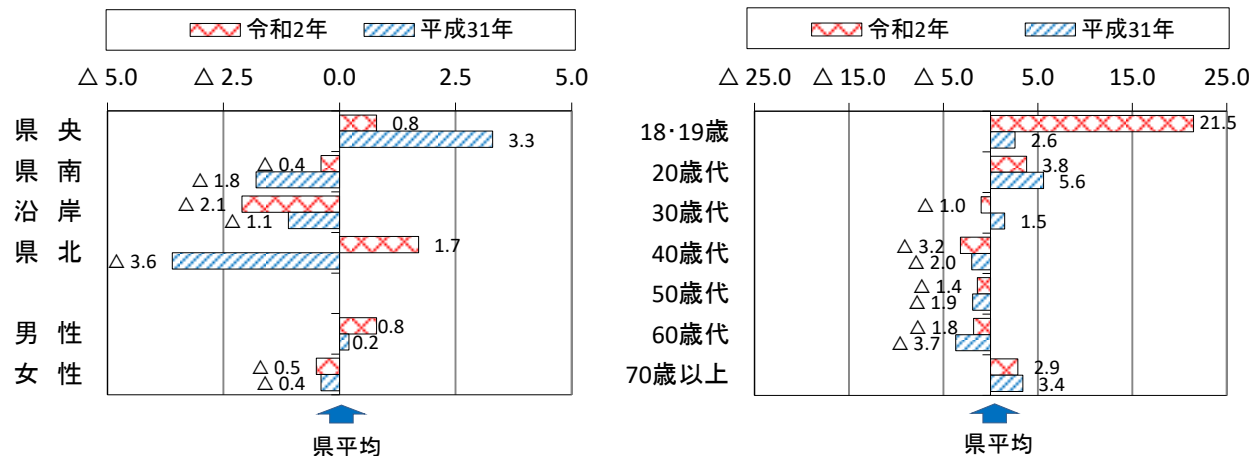
## (2) 満足度について

### 満足が2割弱(16.5%)、不満を若干上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が16.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合11.6%を若干上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(18.2%)、男女別では男性(17.3%)、年代別では18・19歳(38.0%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.1ポイント)、男女別では男性(0.8ポイント)、年代別では18・19歳(21.5ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

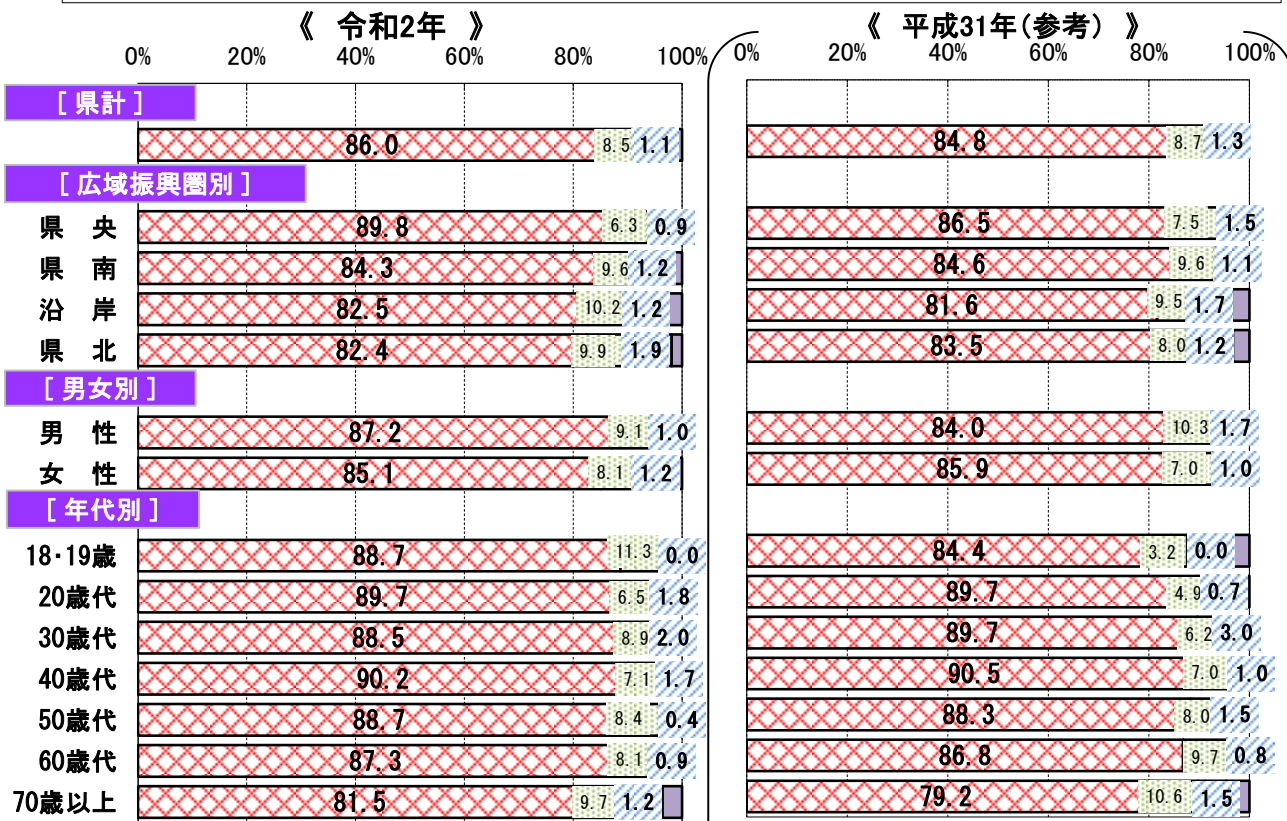
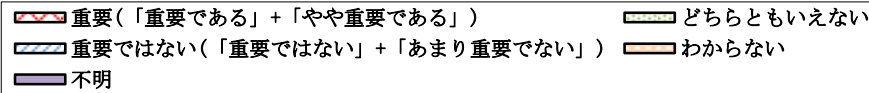


問2-23 道路や上下水道などの生活基盤の整備や歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化などが進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。

(1) 重要度について

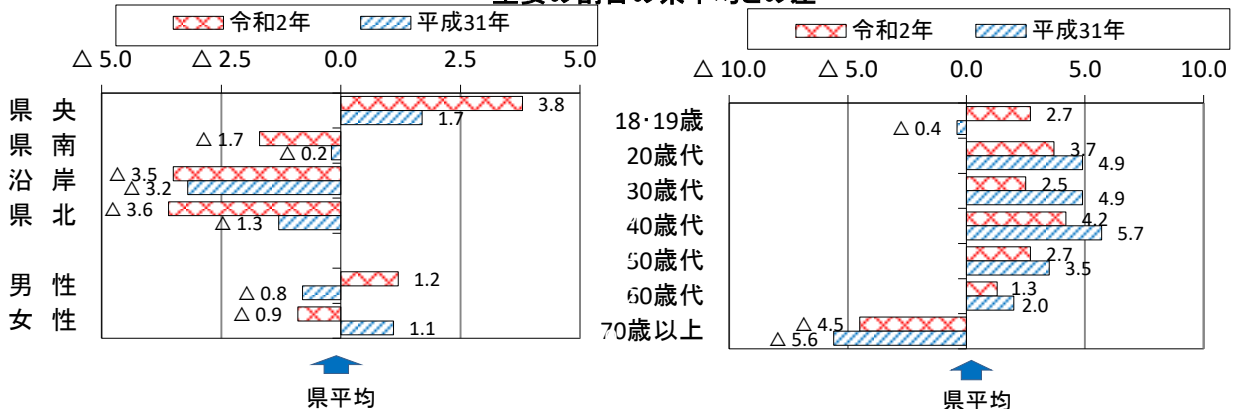
重要が約85% (86.0%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が86.0%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合1.1%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(89.8%)、男女別では男性(87.2%)、年代別では40歳代(90.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(3.8ポイント)、男女別では男性(1.2ポイント)、年代別では70歳以上(△4.5ポイント)となっている。



前回調査「道路や上下水道などの生活基盤の整備や歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化などが進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

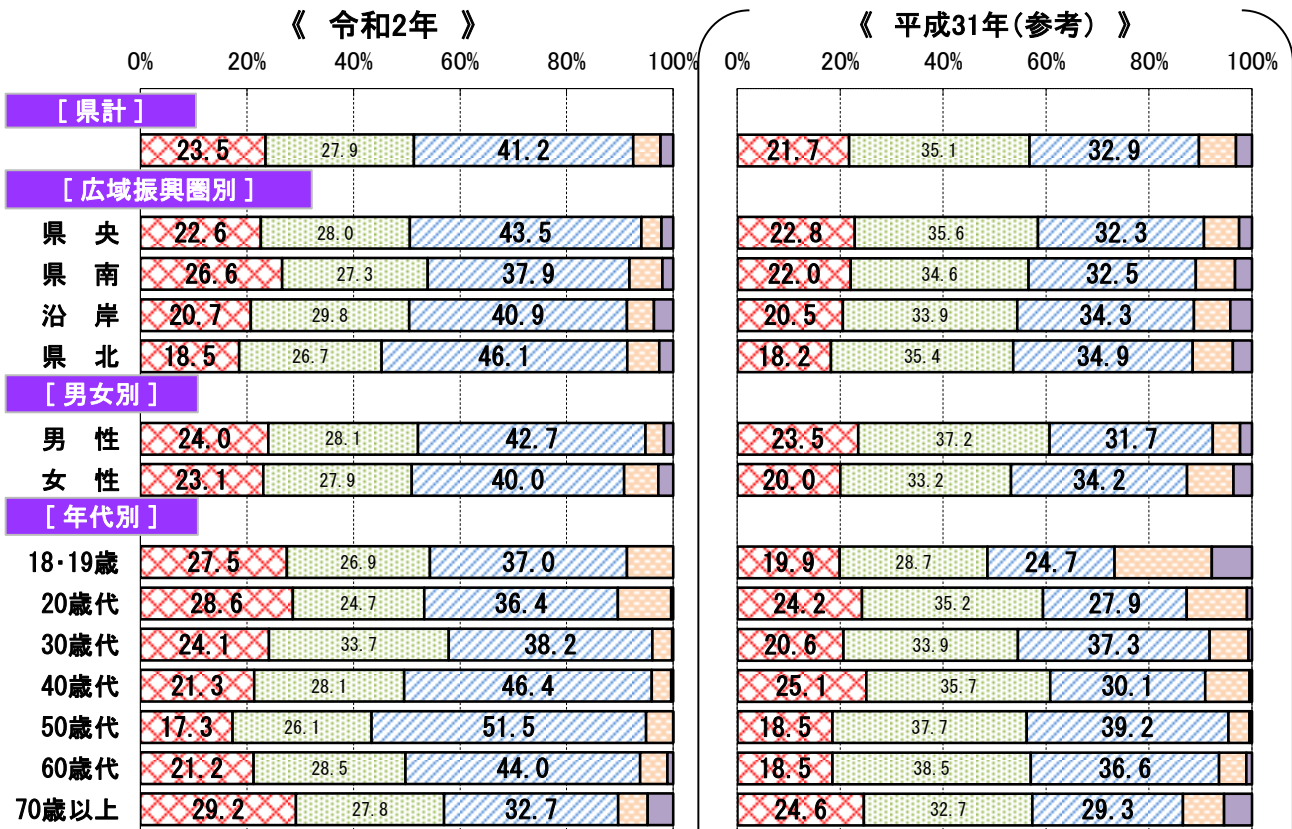
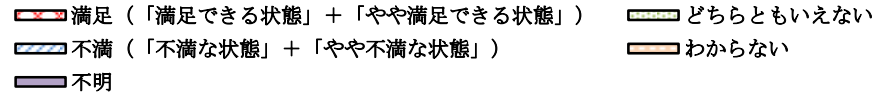
重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

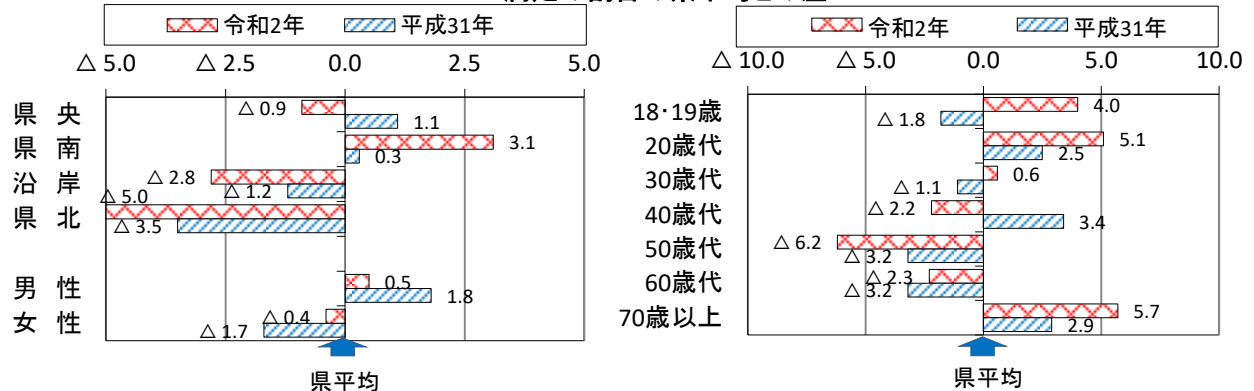
### 満足が2割強(23.5%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が23.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合41.2%を下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(26.6%)、男女別では男性(24.0%)、年代別では70歳以上(29.2%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△5.0ポイント)、男女別では男性(0.5ポイント)、年代別では50歳代(△6.2ポイント)となっている。



前回調査「道路や下水道などの生活基盤の整備や歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化などが進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

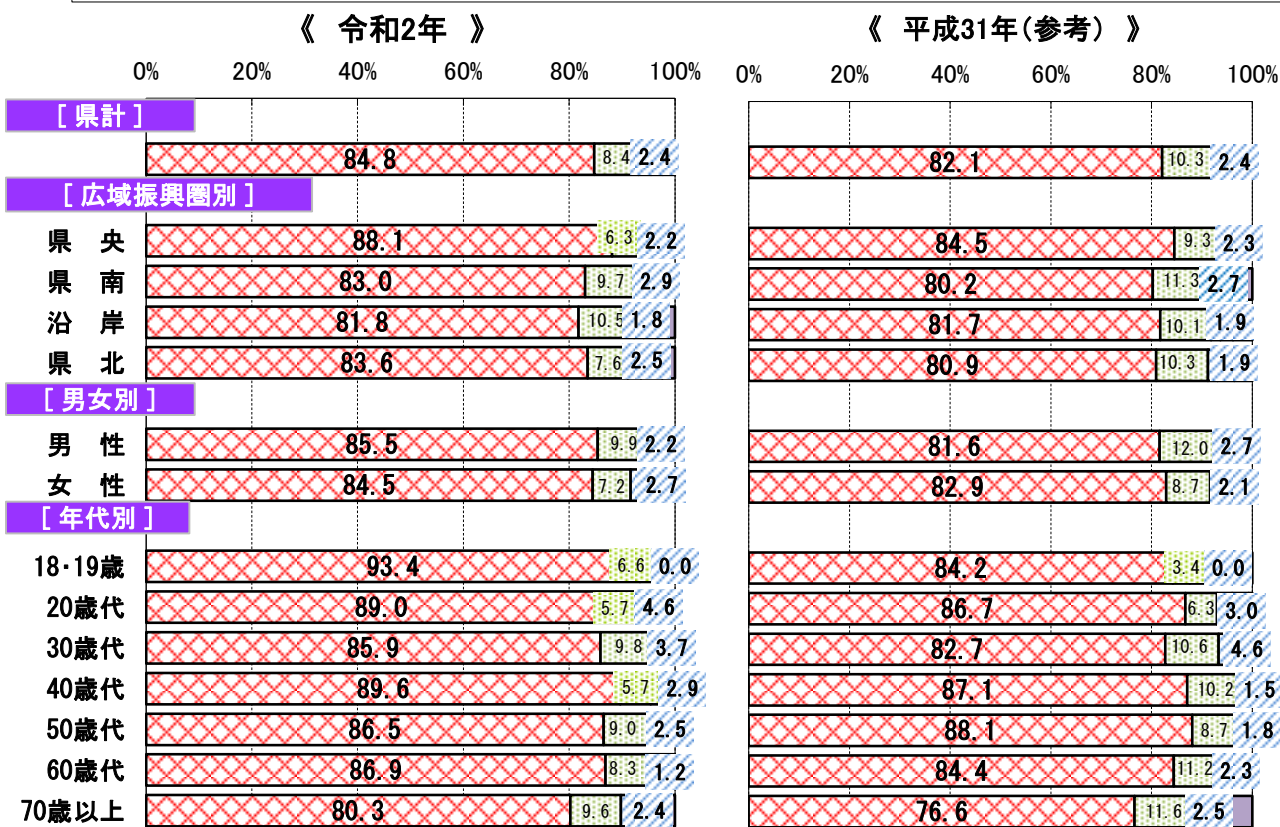
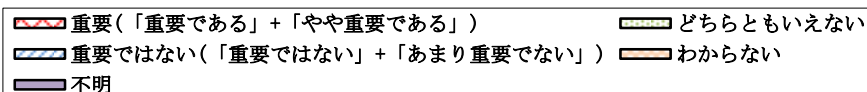


問2-24 鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。

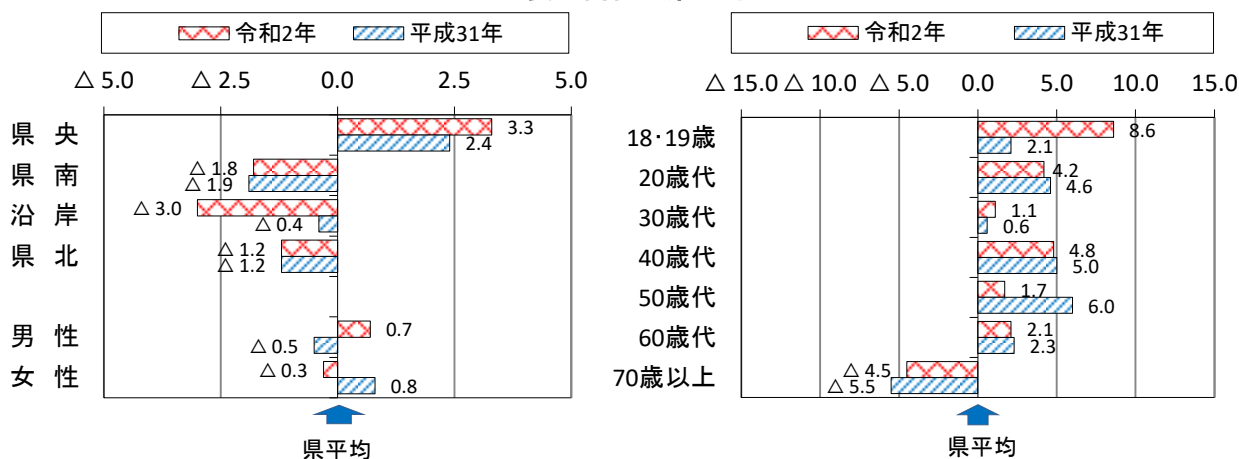
(1) 重要度について

重要が約85% (84.8%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が84.8%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合2.4%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(88.1%)、男女別では男性(85.5%)、年代別では18・19歳(93.4%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(3.3ポイント)、男女別では男性(0.7ポイント)、年代別では18・19歳(8.6ポイント)となっている。



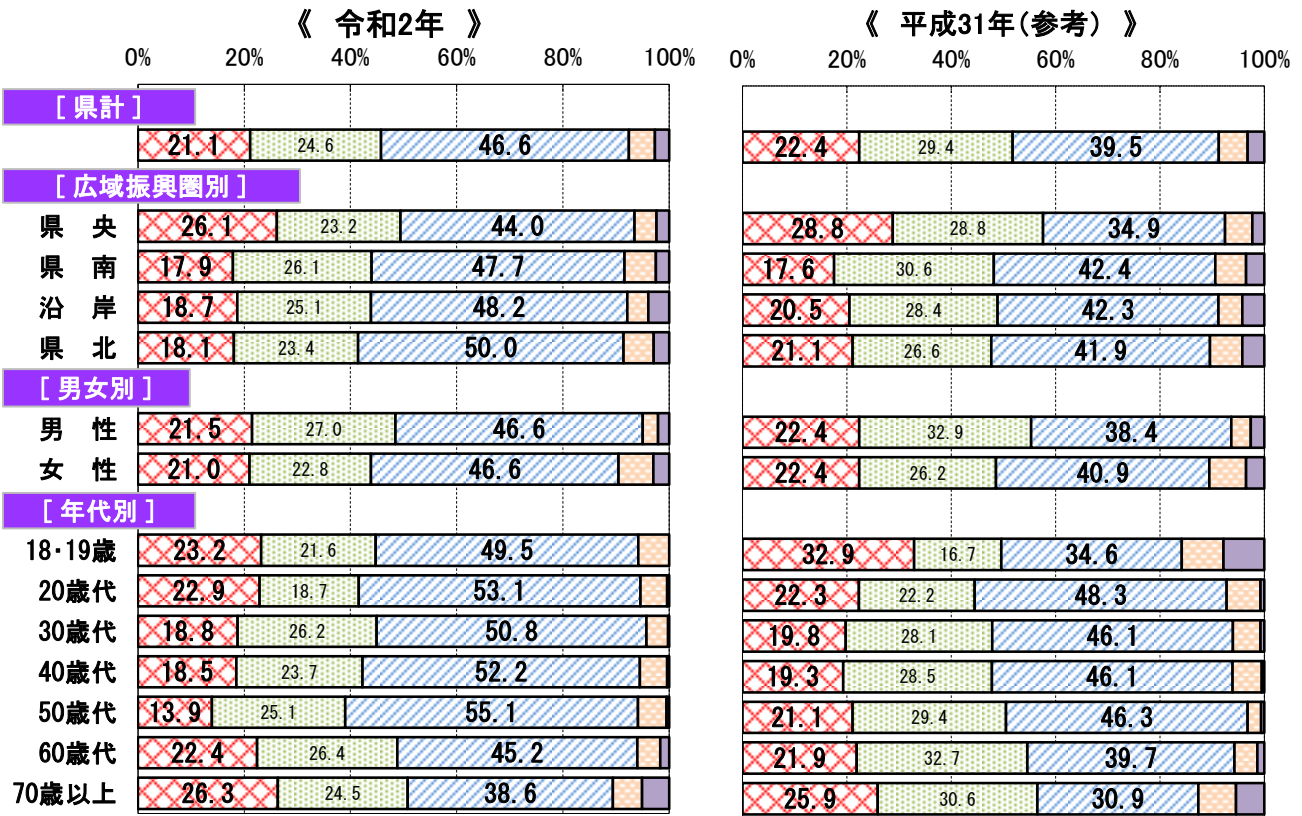
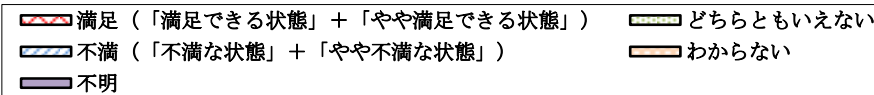
重要の割合の県平均との差



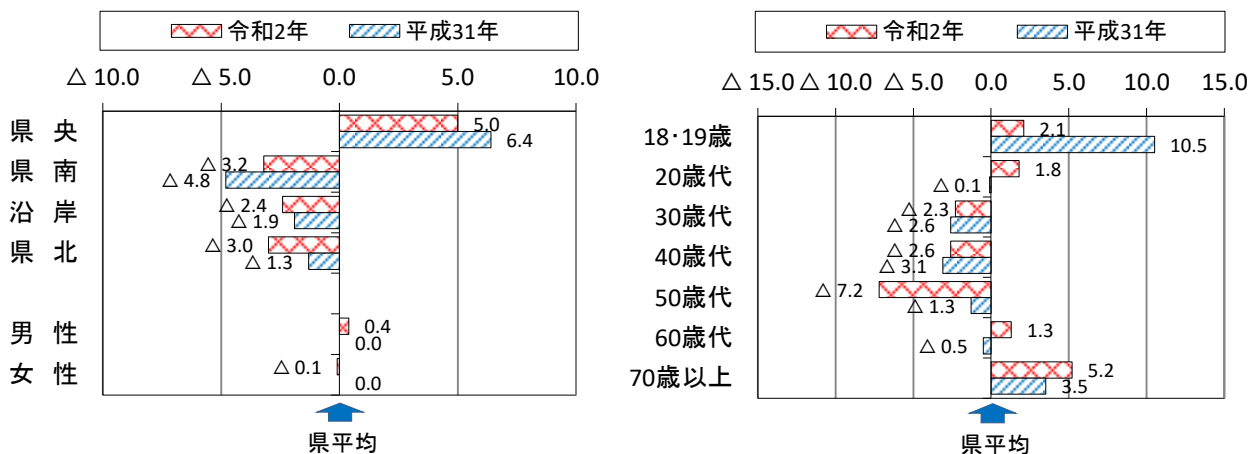
## (2) 満足度について

### 満足が2割強(21.1%)、不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が21.1%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合46.6%を大きく下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(26.1%)、男女別では男性(21.5%)、年代別では70歳以上(26.3%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(5.0ポイント)、男女別では男性(0.4ポイント)、年代別では50歳代(△7.2ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差



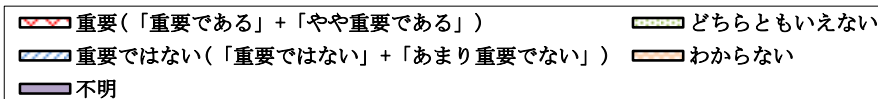


問2-25 つながりや活力を感じられる地域コミュニティであること。

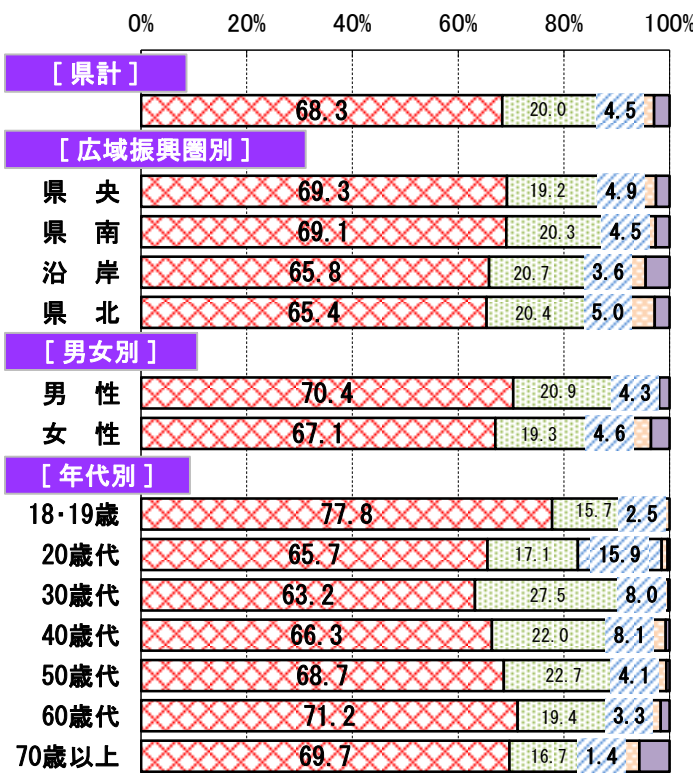
(1) 重要度について

重要が7割弱(68.3%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が68.3%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合4.5%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(69.3%)、男女別では男性(70.4%)、年代別では18・19歳(77.8%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△2.9ポイント)、男女別では男性(2.1ポイント)、年代別では18・19歳(9.5ポイント)となっている。

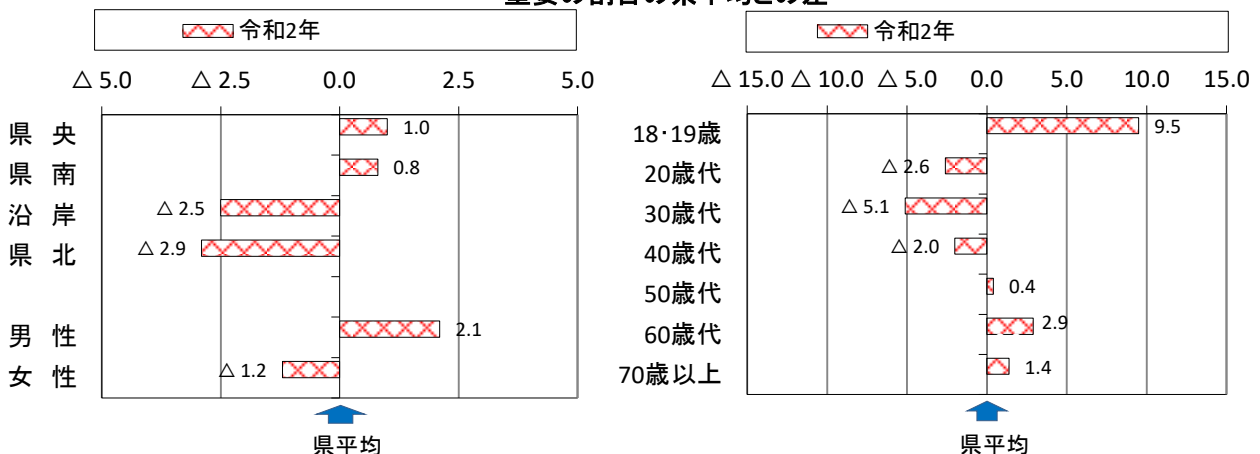


《 令和2年 》



※本項目は令和2年調査の新規項目であるため、平成31年調査の値は不掲載。

重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

### 満足が2割弱(17.7%)、不満とほとんど差はない

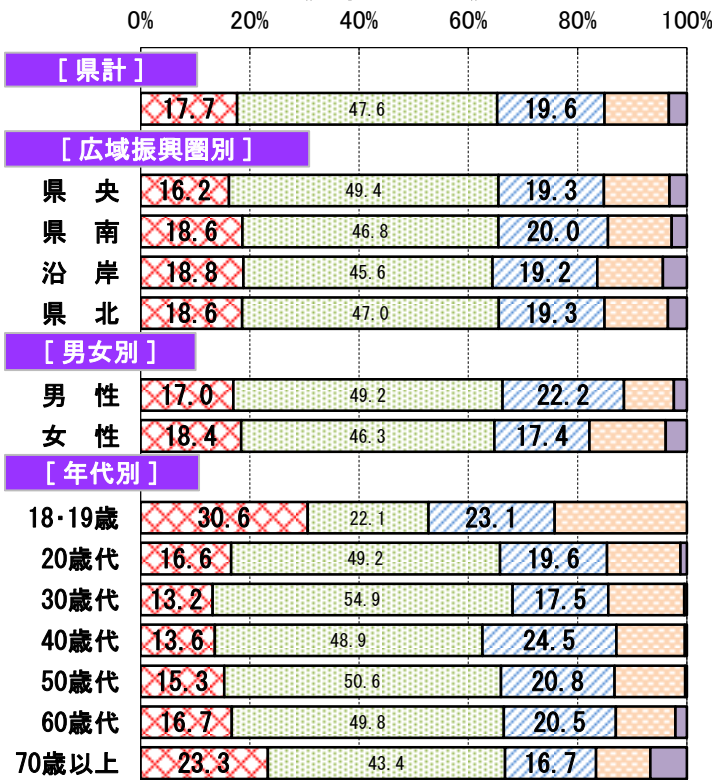
- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が17.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合19.6%とほとんど差はない。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では沿岸(18.8%)、男女別では女性(18.4%)、年代別では18・19歳(30.6%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(△1.5ポイント)、年代別では18・19歳(12.9ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
  どちらともいえない

不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
  わからない

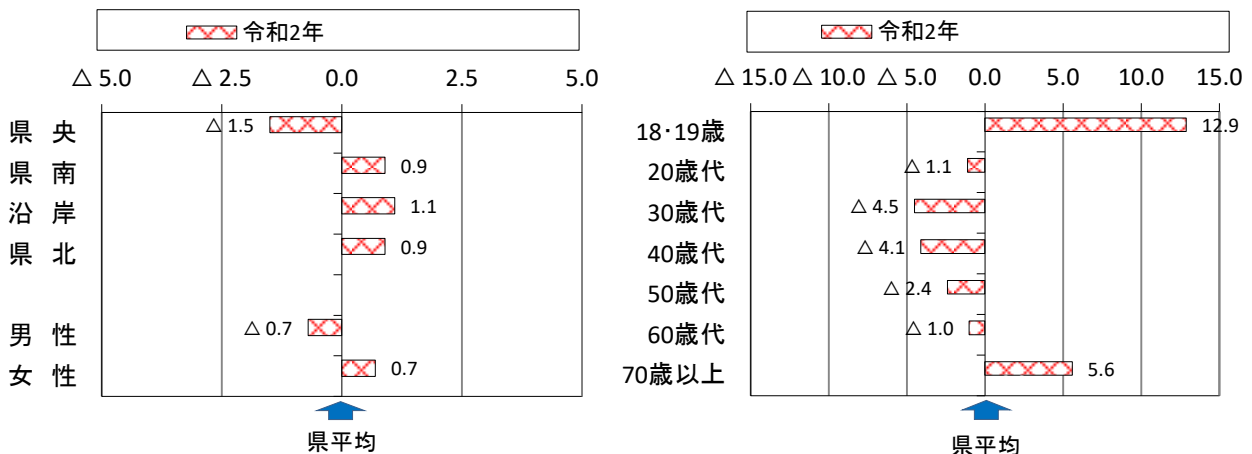
不明

### 《 令和2年 》



※本項目は令和2年調査の新規項目であるため、平成31年調査の値は不掲載。

### 満足の割合の県平均との差

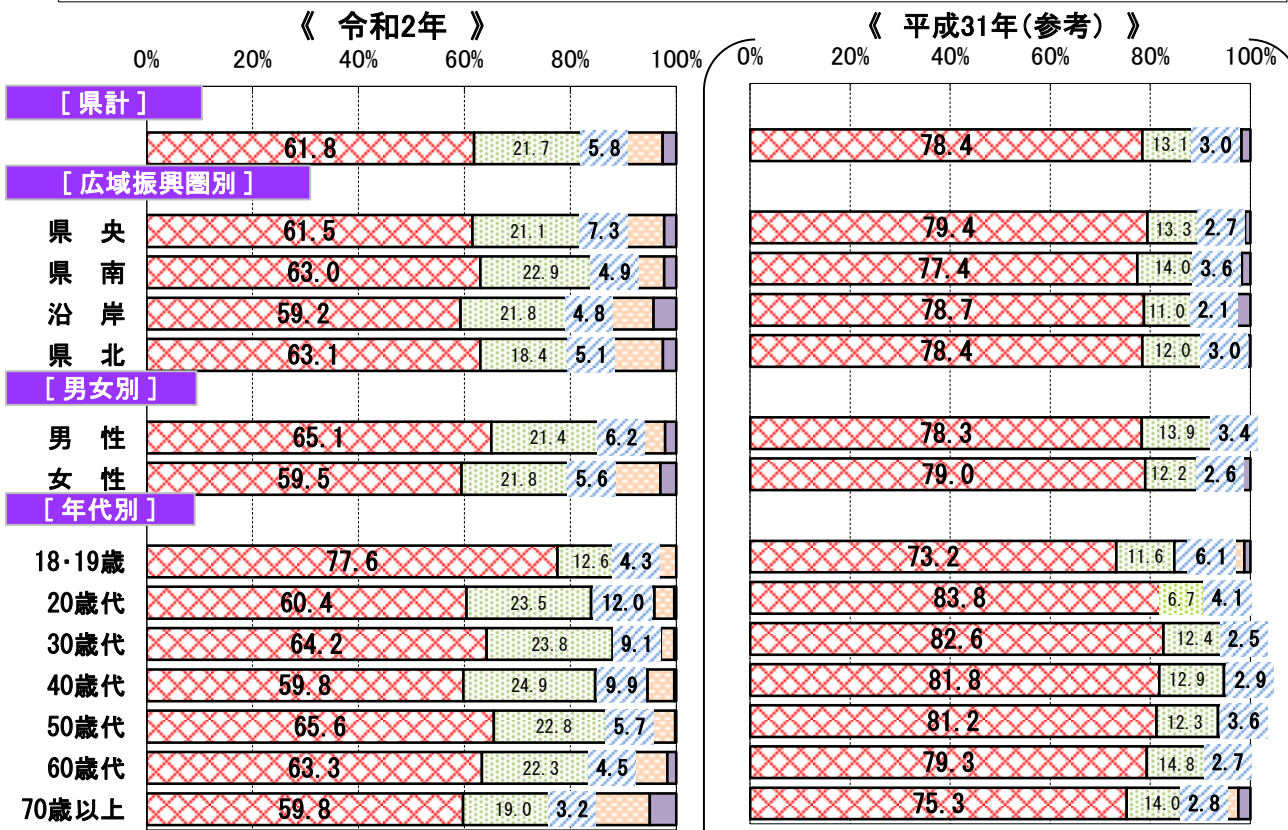
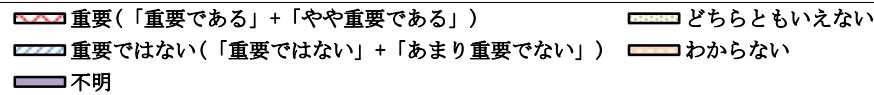


問2-26 岩手への移住・定住を増やすための取組が行われていること。

(1) 重要度について

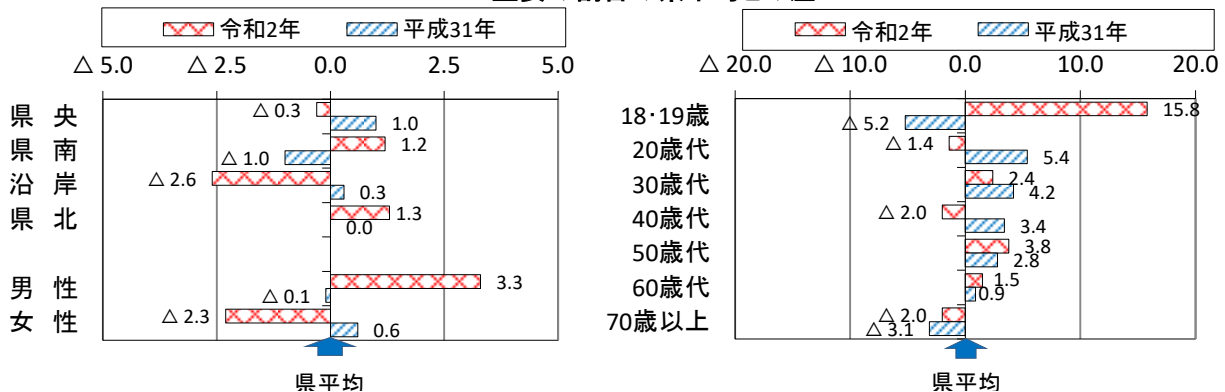
重要が6割強(61.8%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が61.8%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合5.8%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(63.1%)、男女別では男性(65.1%)、年代別では18・19歳(77.6%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.6ポイント)、男女別では男性(3.3ポイント)、年代別では18・19歳(15.8ポイント)となっている。



前回調査「岩手に移り住む人や岩手を訪れる人が増え、地域に活力が生まれていること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

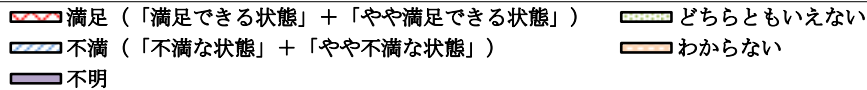
重要な割合の県平均との差



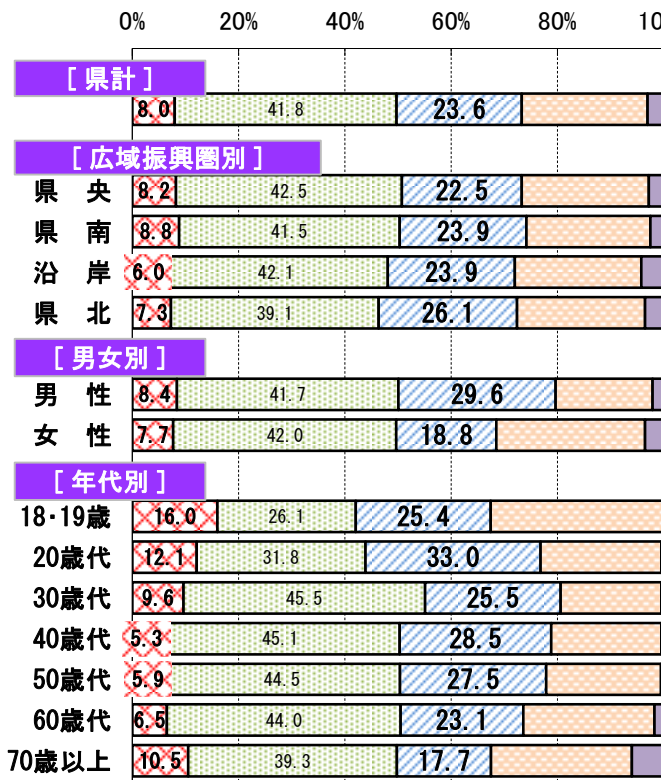
## (2) 満足度について

### 満足が1割弱(8.0%)、不満を下回る

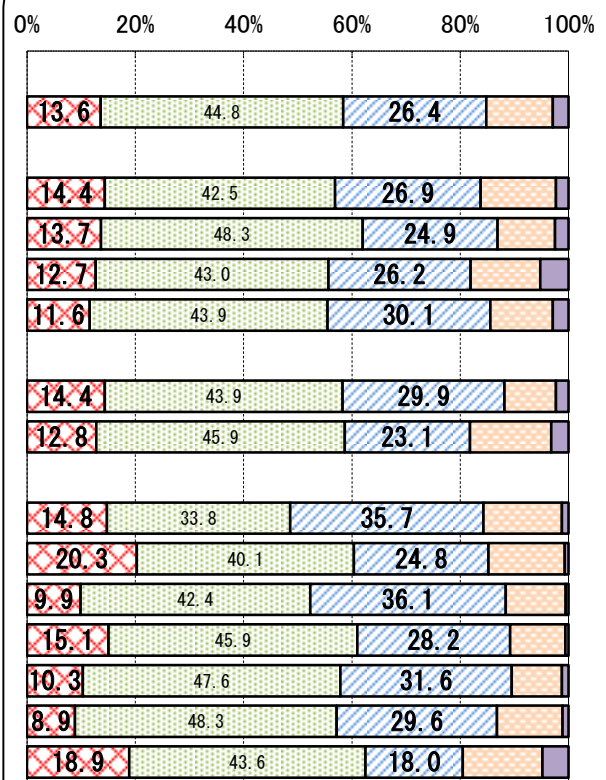
- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が8.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合23.6%を下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(8.8%)、男女別では男性(8.4%)、年代別では18・19歳(16.0%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.0ポイント)、男女別では男性(0.4ポイント)、年代別では18・19歳(8.0ポイント)となっている。



### 《 令和2年 》

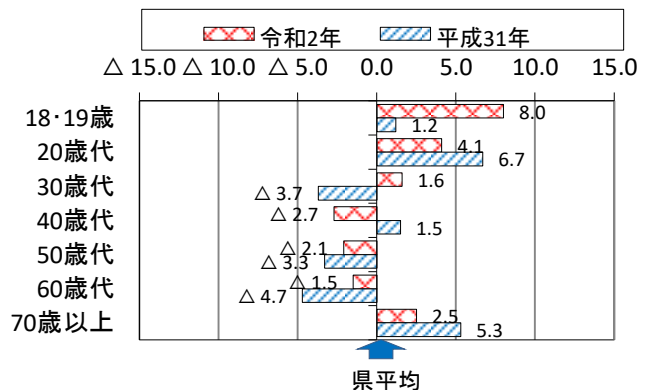
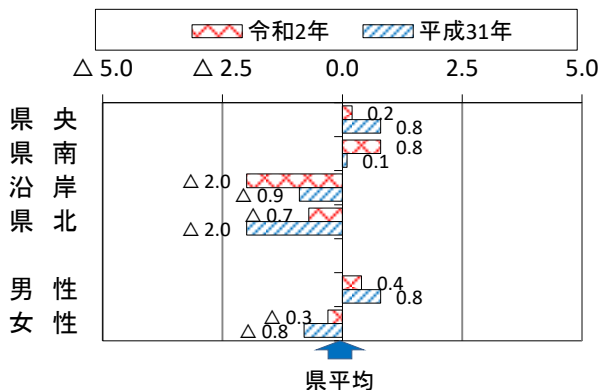


### 《 平成31年(参考) 》



前回調査「岩手に移り住む人や岩手を訪れる人が増え、地域に活力が生まれていること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

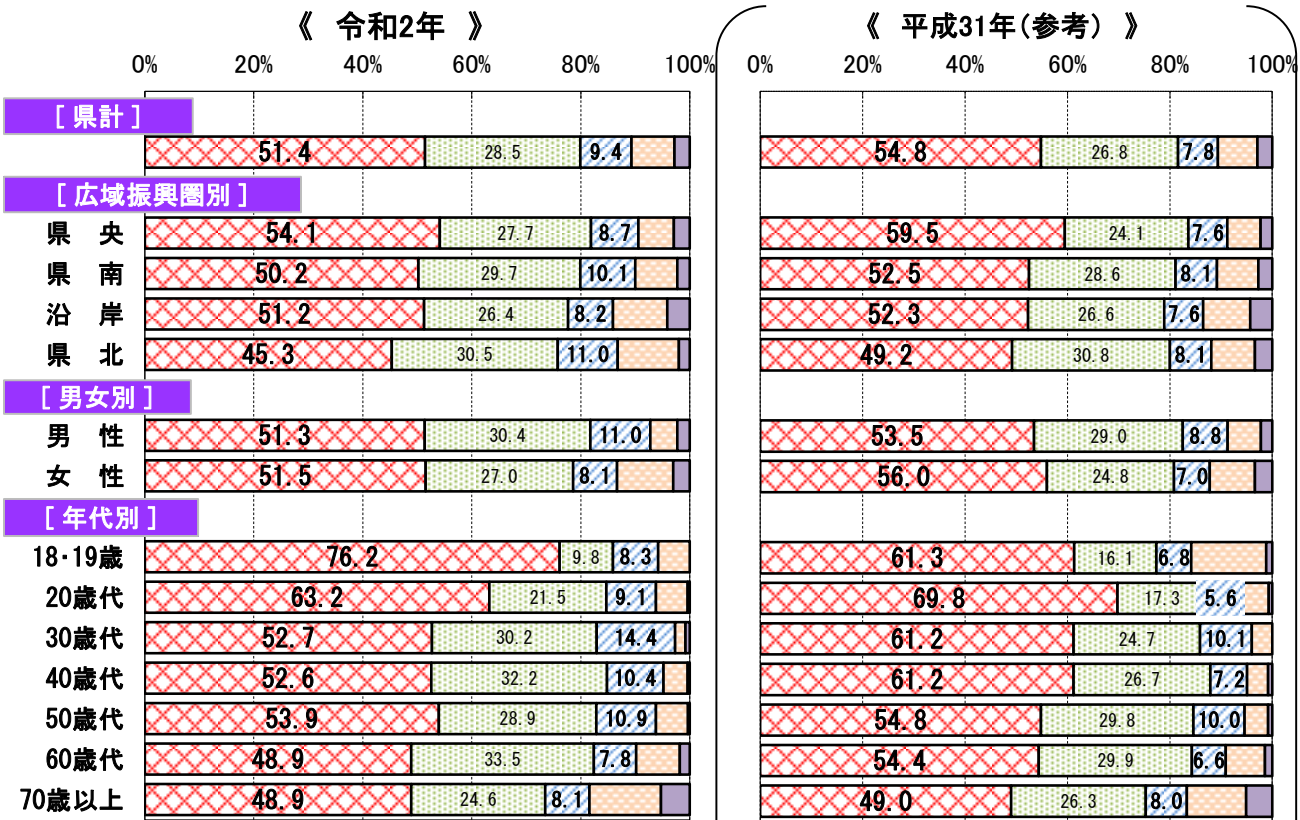
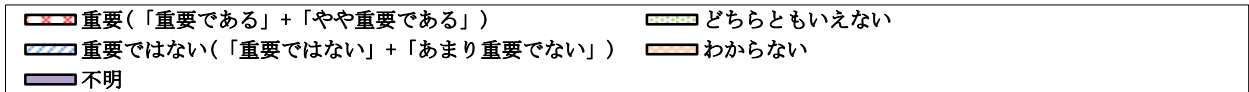


問2-27 外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい社会であること。

(1) 重要度について

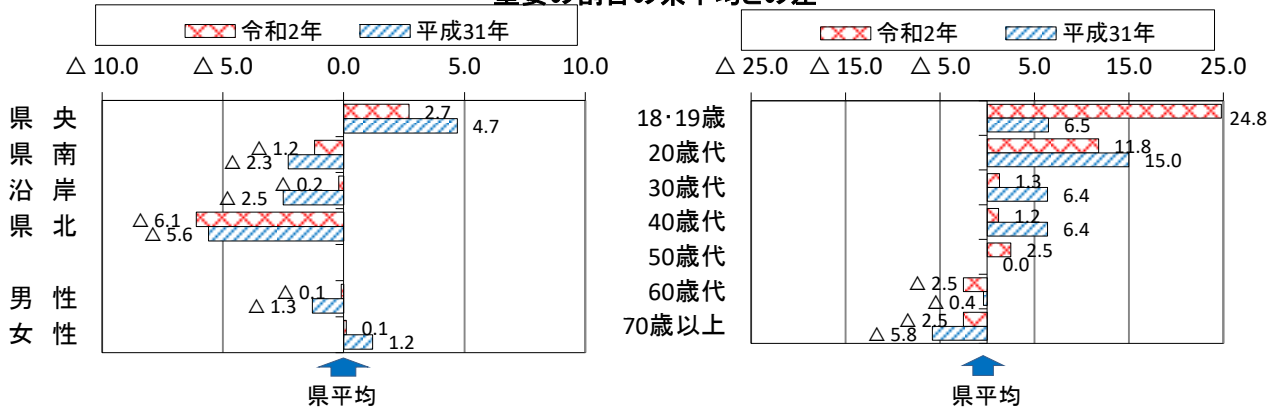
重要が5割強(51.4%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が51.4%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合9.4%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(54.1%)、男女別では女性(51.5%)、年代別では18・19歳(76.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△6.1ポイント)、年代別では18・19歳(24.8ポイント)となっている。



前回調査「外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい地域社会であること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

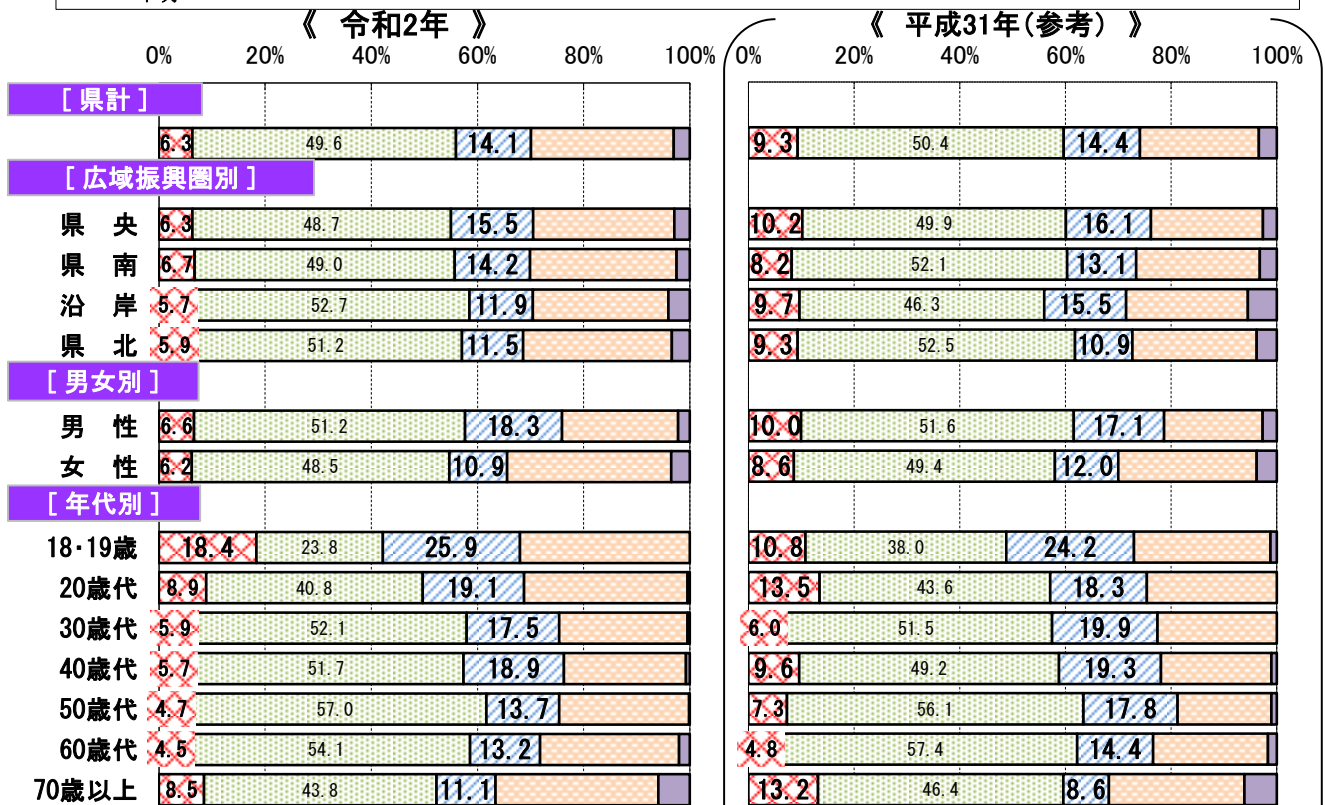
重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

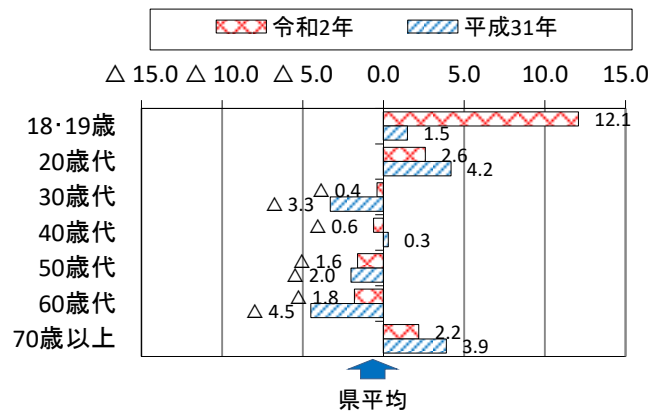
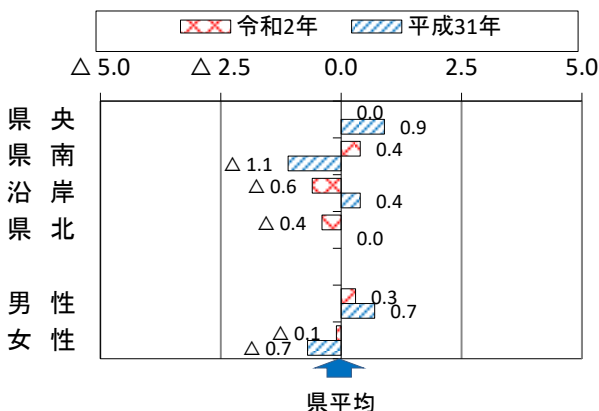
### 満足が1割弱(6.3%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が6.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合14.1%を下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(6.7%)、男女別では男性(6.6%)、年代別では18・19歳(18.4%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△0.6ポイント)、男女別では男性(0.3ポイント)、年代別では18・19歳(12.1ポイント)となっている。



前回調査「外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい地域社会であること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

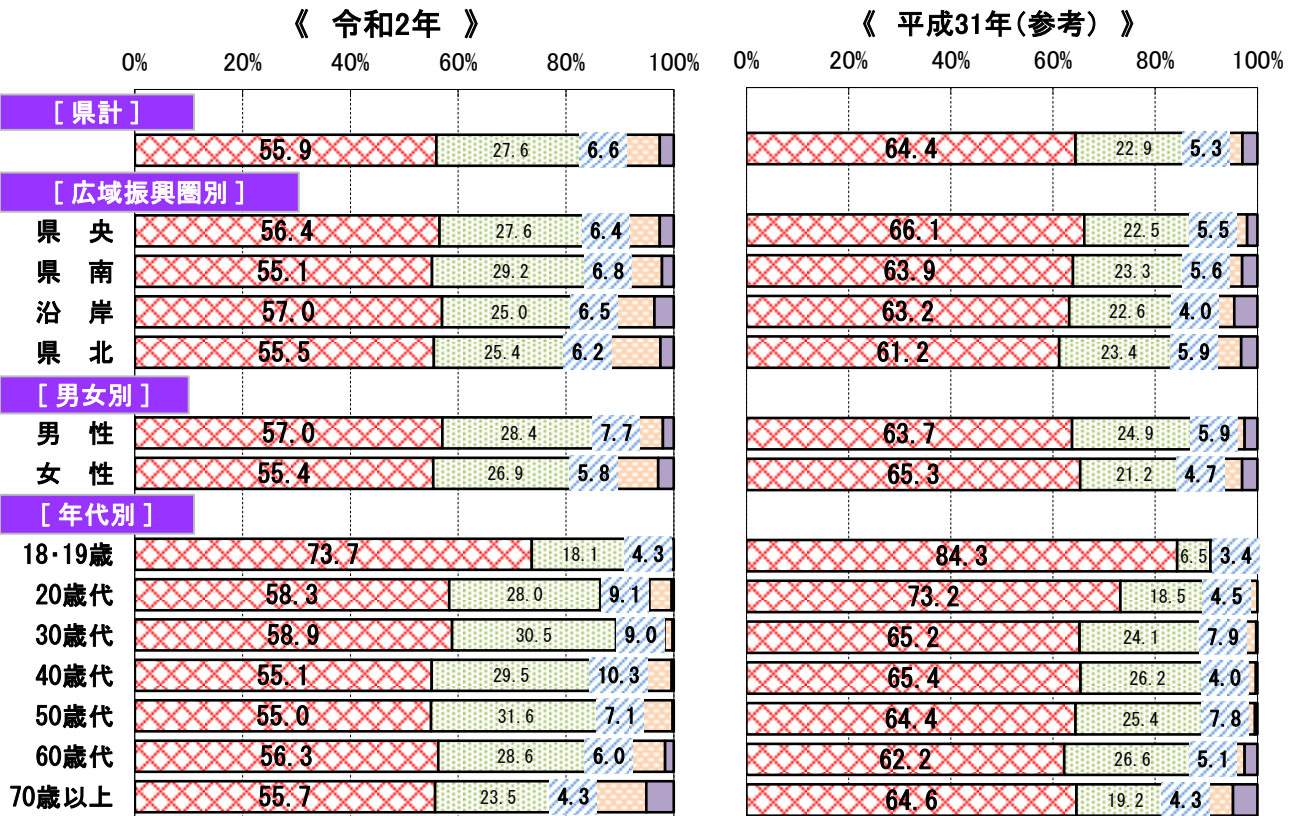
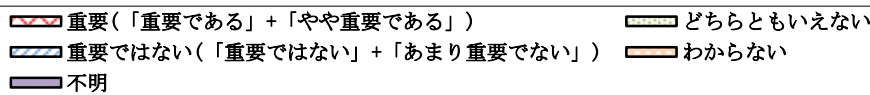


問2-28 文化芸術・スポーツを生かした地域づくりが行われていること。

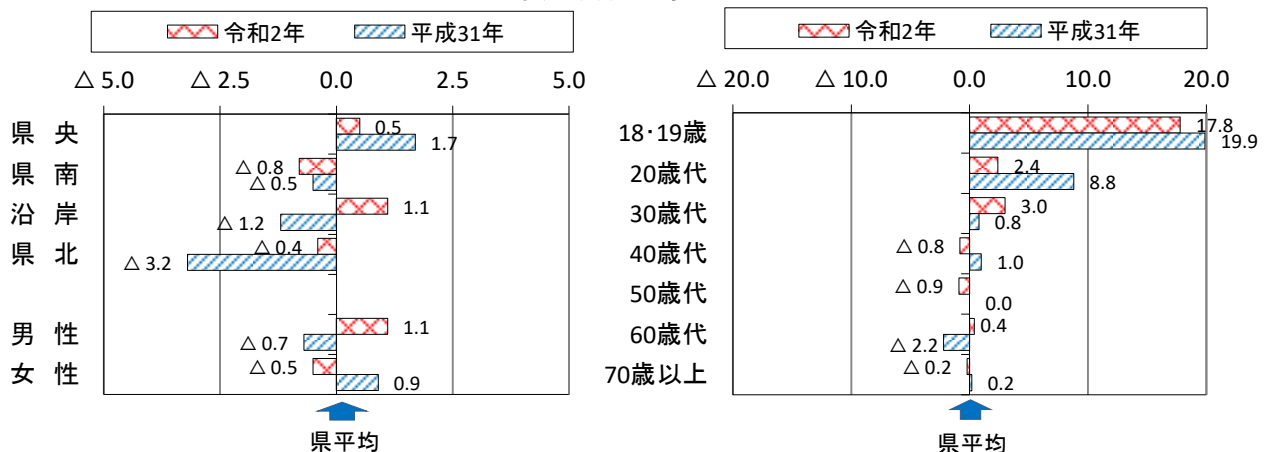
(1) 重要度について

重要が約55% (55.9%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が55.9%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合6.6%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では沿岸(57.0%)、男女別では男性(57.0%)、年代別では18・19歳(73.7%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(1.1ポイント)、男女別では男性(1.1ポイント)、年代別では18・19歳(17.8ポイント)となっている。



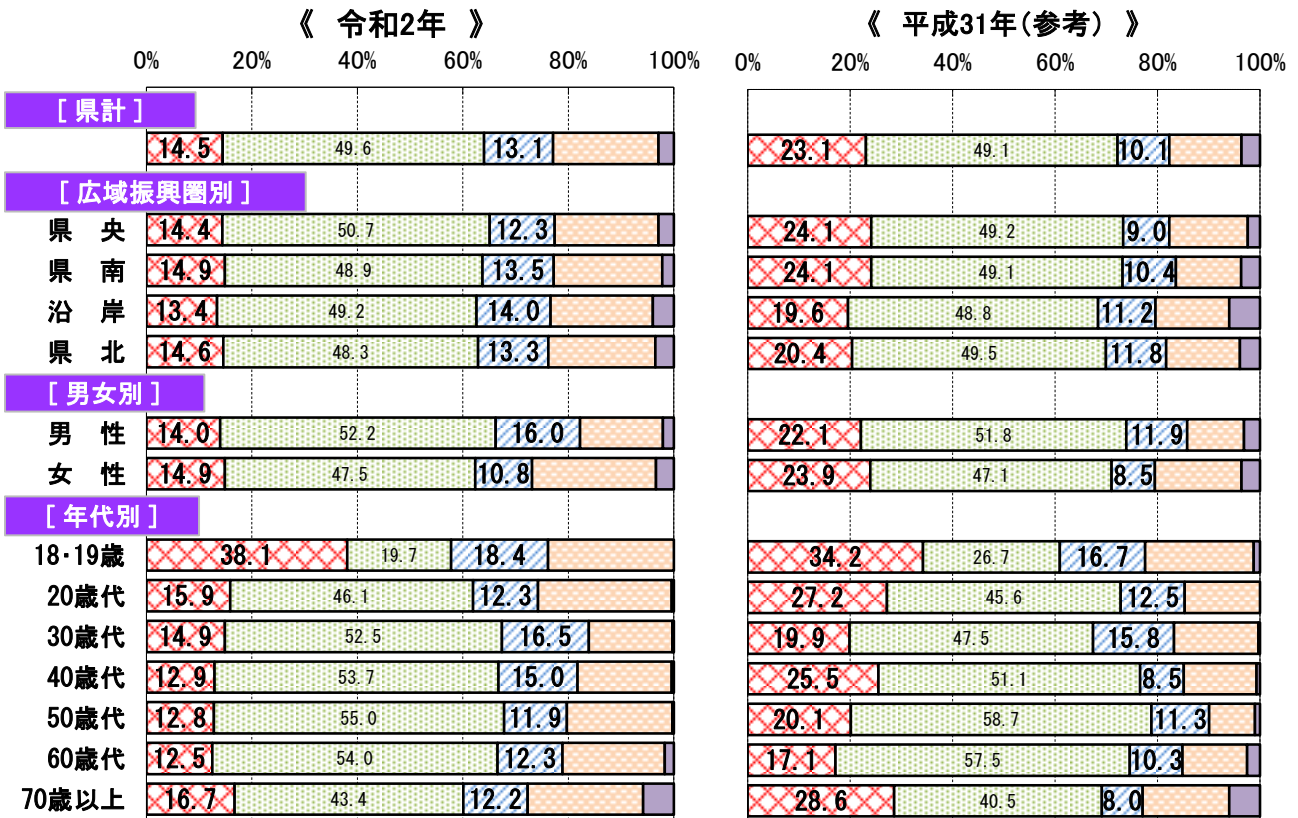
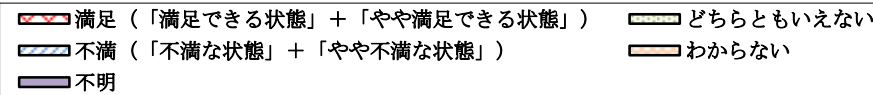
重要の割合の県平均との差



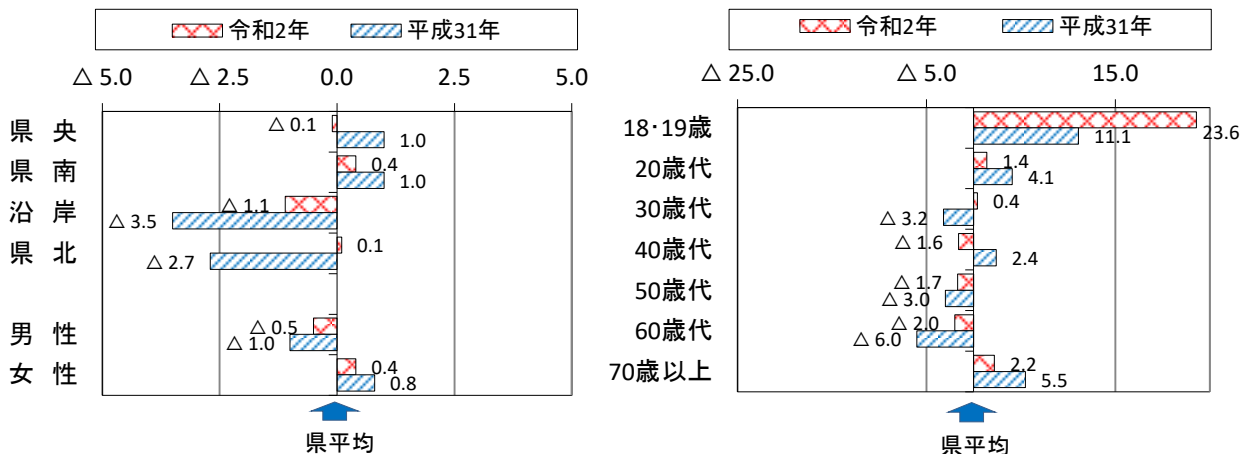
(2) 満足度について

満足が約15% (14.5%)、不満とほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が14.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合13.1%とほとんど差はない。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(14.9%)、男女別では女性(14.9%)、年代別では18・19歳(38.1%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△1.1ポイント)、男女別では男性(△0.5ポイント)、年代別では18・19歳(23.6ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差



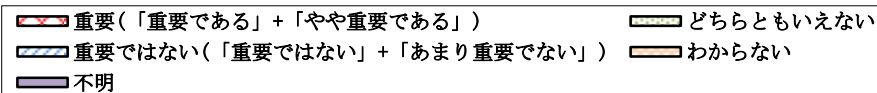


問2-29 地域の防災体制が、住民の協力により整っていること。

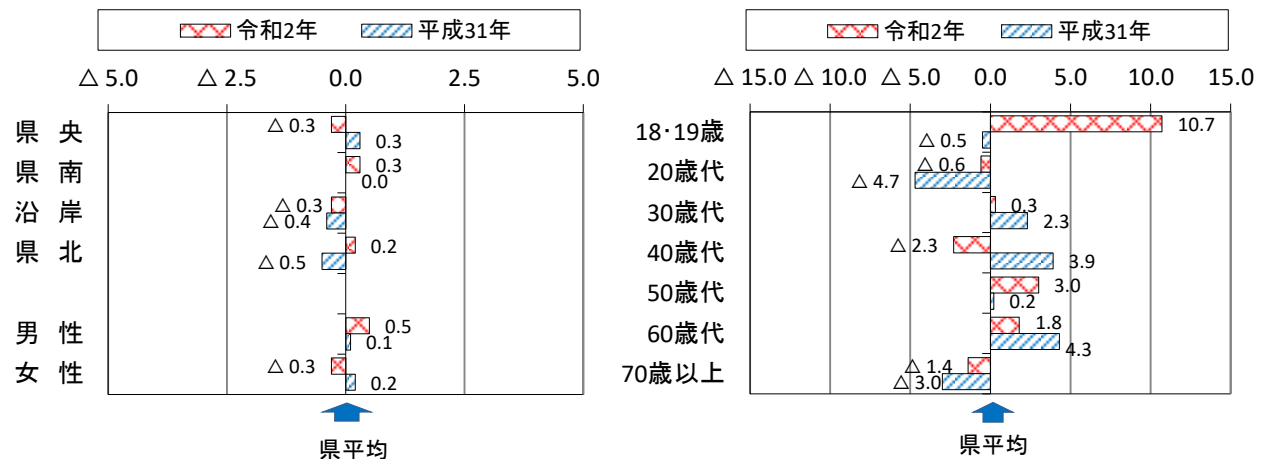
(1) 重要度について

重要が8割強(83.7%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が83.7%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合1.7%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(84.0%)、男女別では男性(84.2%)、年代別では18・19歳(94.4%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(△0.3ポイント)、沿岸(△0.3ポイント)及び県南(0.3ポイント)、男女別では男性(0.5ポイント)、年代別では18・19歳(10.7ポイント)となっている。



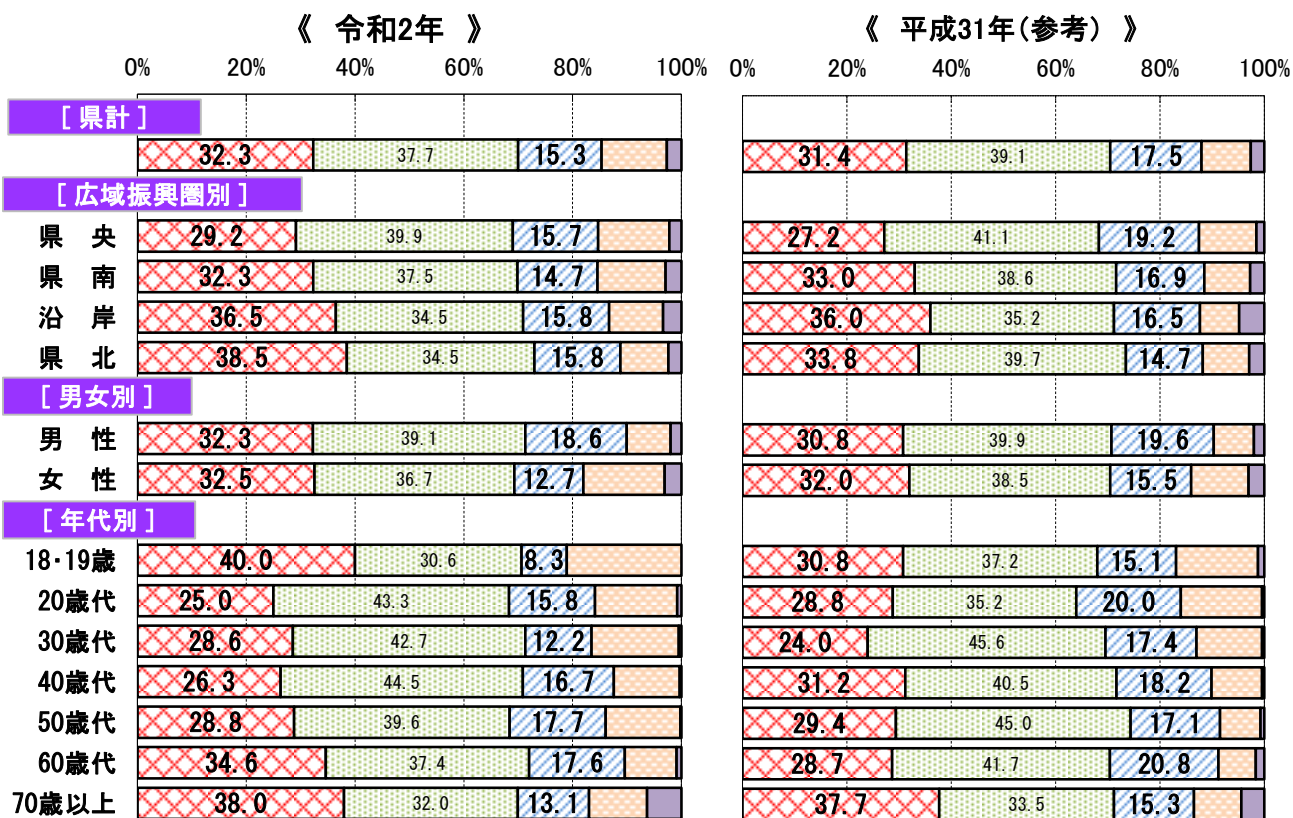
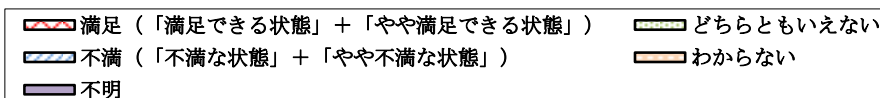
重要の割合の県平均との差



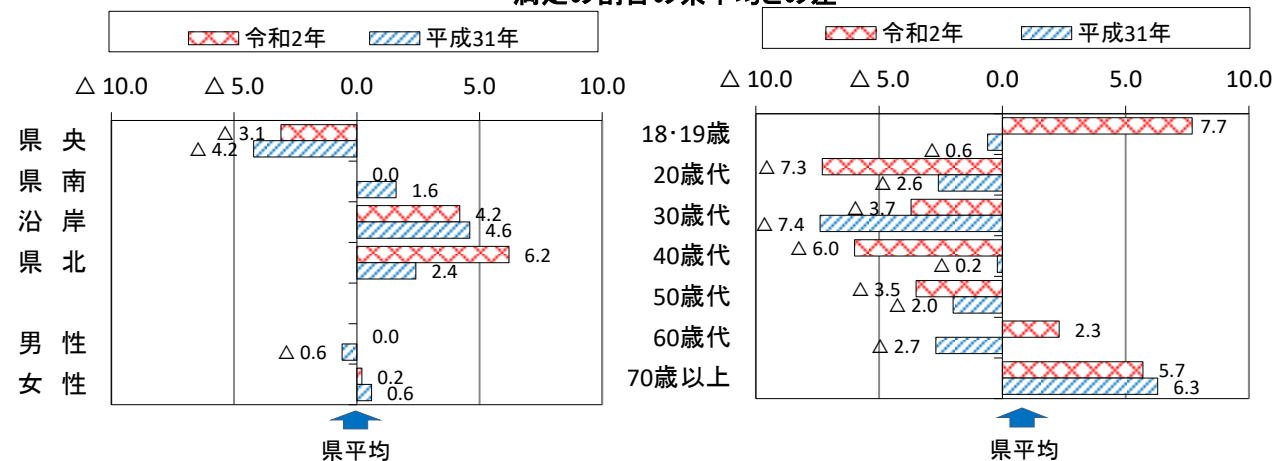
## (2) 満足度について

### 満足が3割強(32.3%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が32.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合15.3%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(38.5%)、男女別では女性(32.5%)、年代別では18・19歳(40.0%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(6.2ポイント)、男女別では女性(0.2ポイント)、年代別では18・19歳(7.7ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

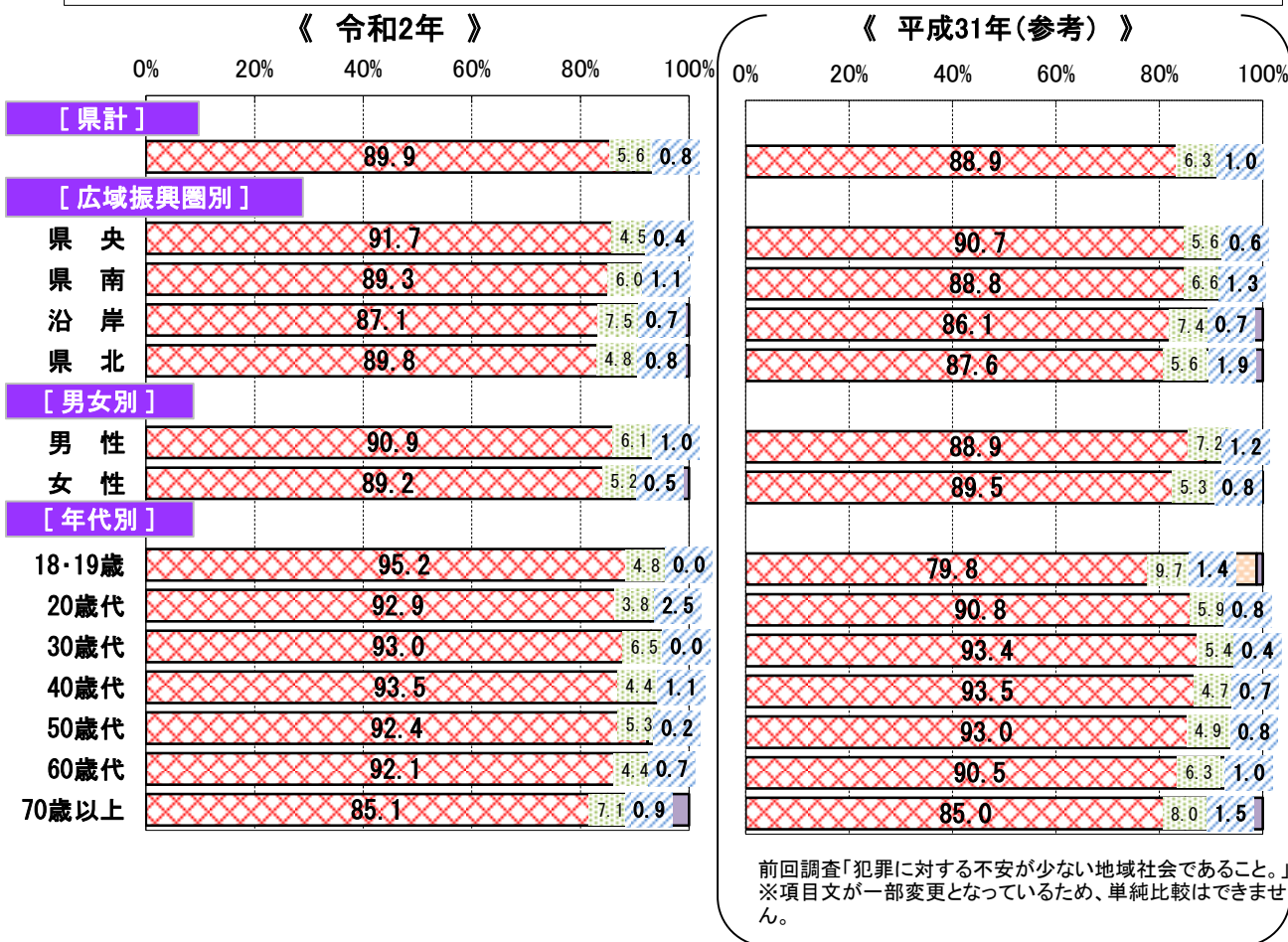
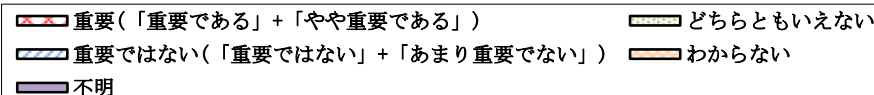


問2-30 犯罪に対する不安が少ない社会であること。

(1) 重要度について

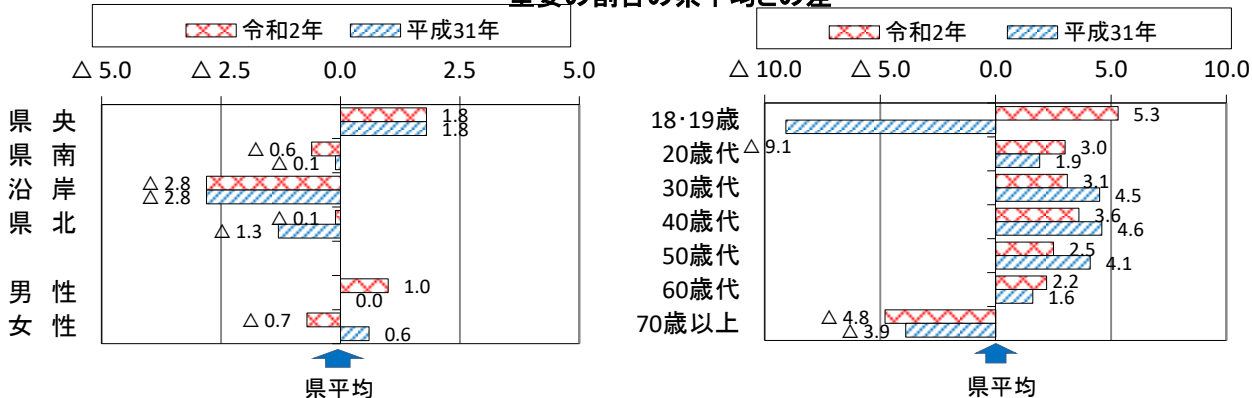
重要が約9割(89.9%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が89.9%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合0.8%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(91.7%)、男女別では男性(90.9%)、年代別では18・19歳(95.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.8ポイント)、男女別では男性(1.0ポイント)、年代別では18・19歳(5.3ポイント)となっている。



前回調査「犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

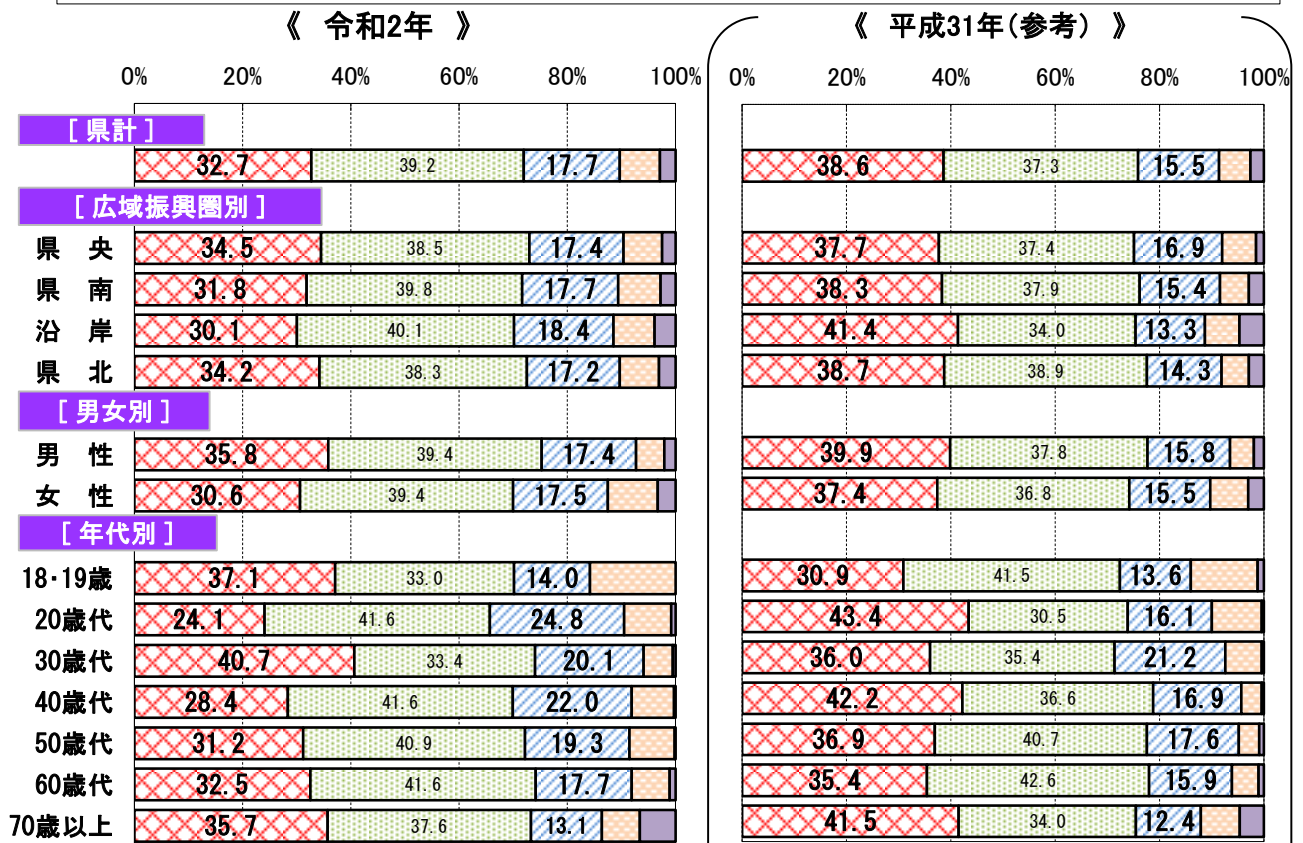
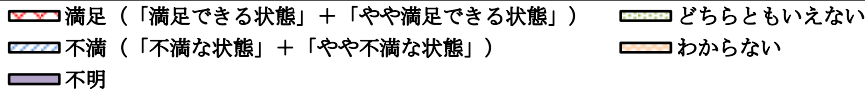
重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

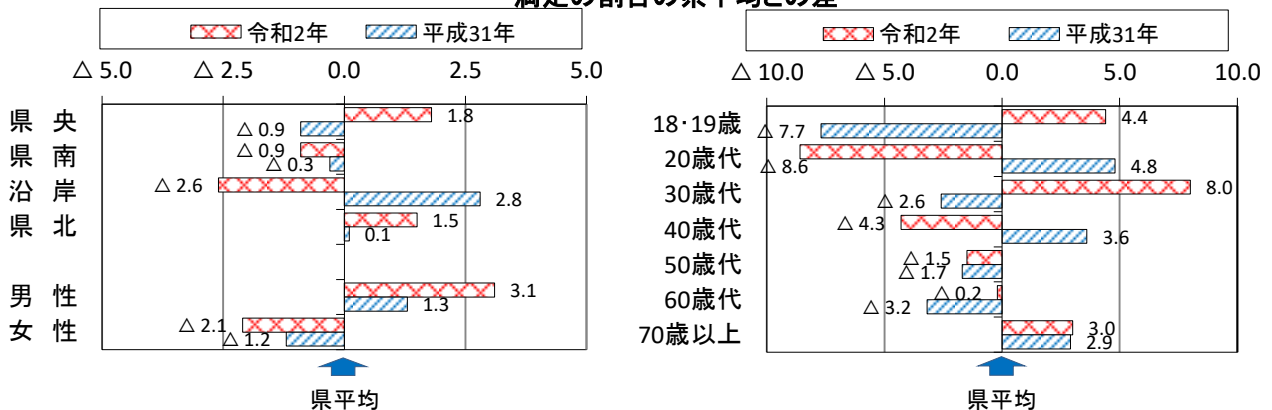
### 満足が3割強(32.7%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が32.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合17.7%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(34.5%)、男女別では男性(35.8%)、年代別では30歳代(40.7%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.6ポイント)、男女別では男性(3.1ポイント)、年代別では20歳代(△8.6ポイント)となっている。



前回調査「犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

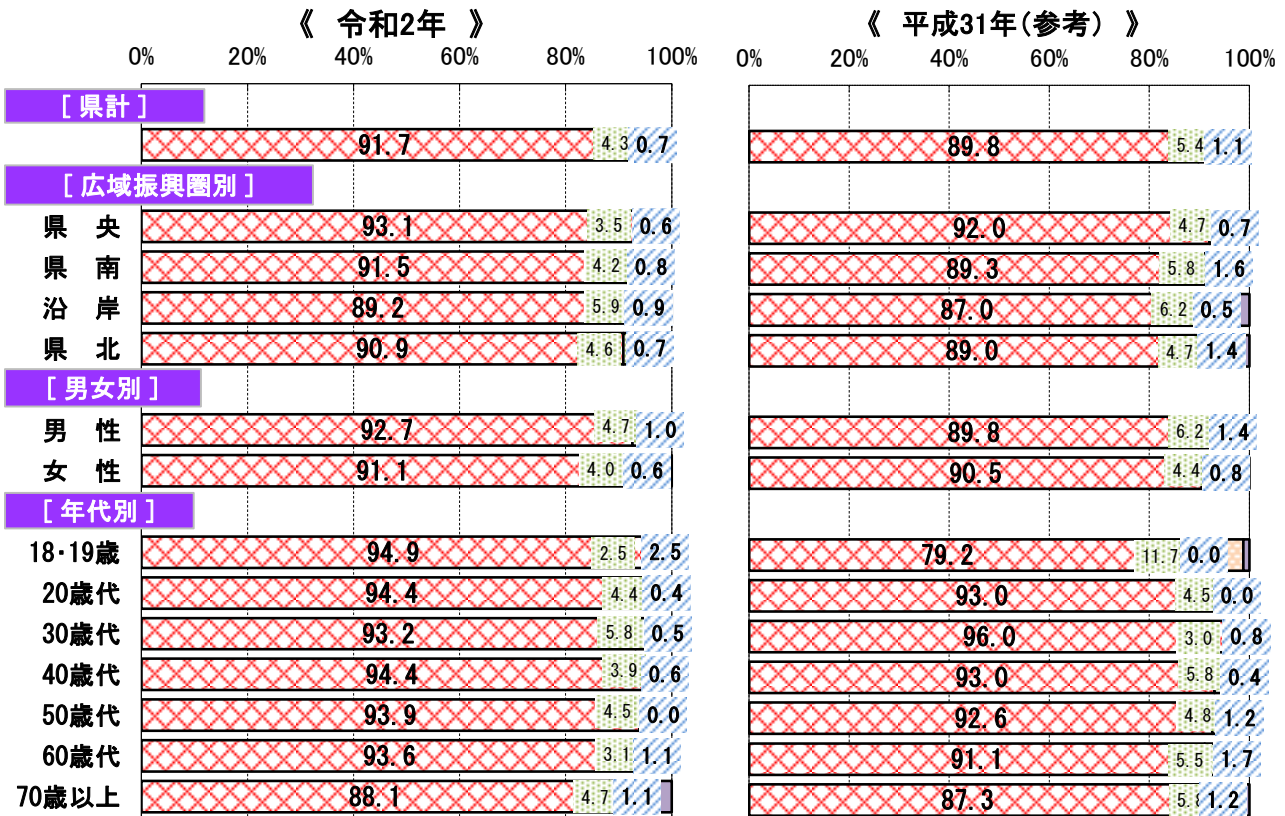
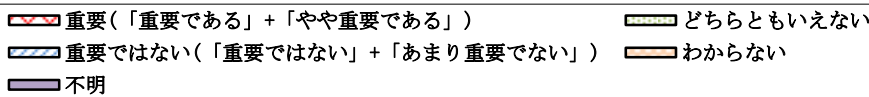


問2-31 交通事故が少ない社会であること。

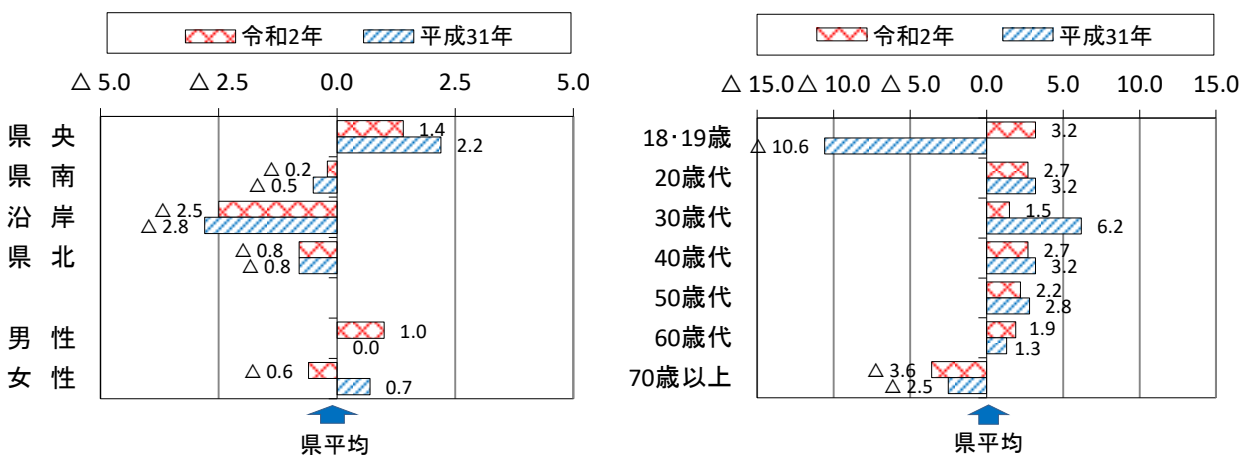
(1) 重要度について

重要が9割強(91.7%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が91.7%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合0.7%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(93.1%)、男女別では男性(92.7%)、年代別では18・19歳(94.9%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.5ポイント)、男女別では男性(1.0ポイント)、年代別では70歳以上(△3.6ポイント)となっている。



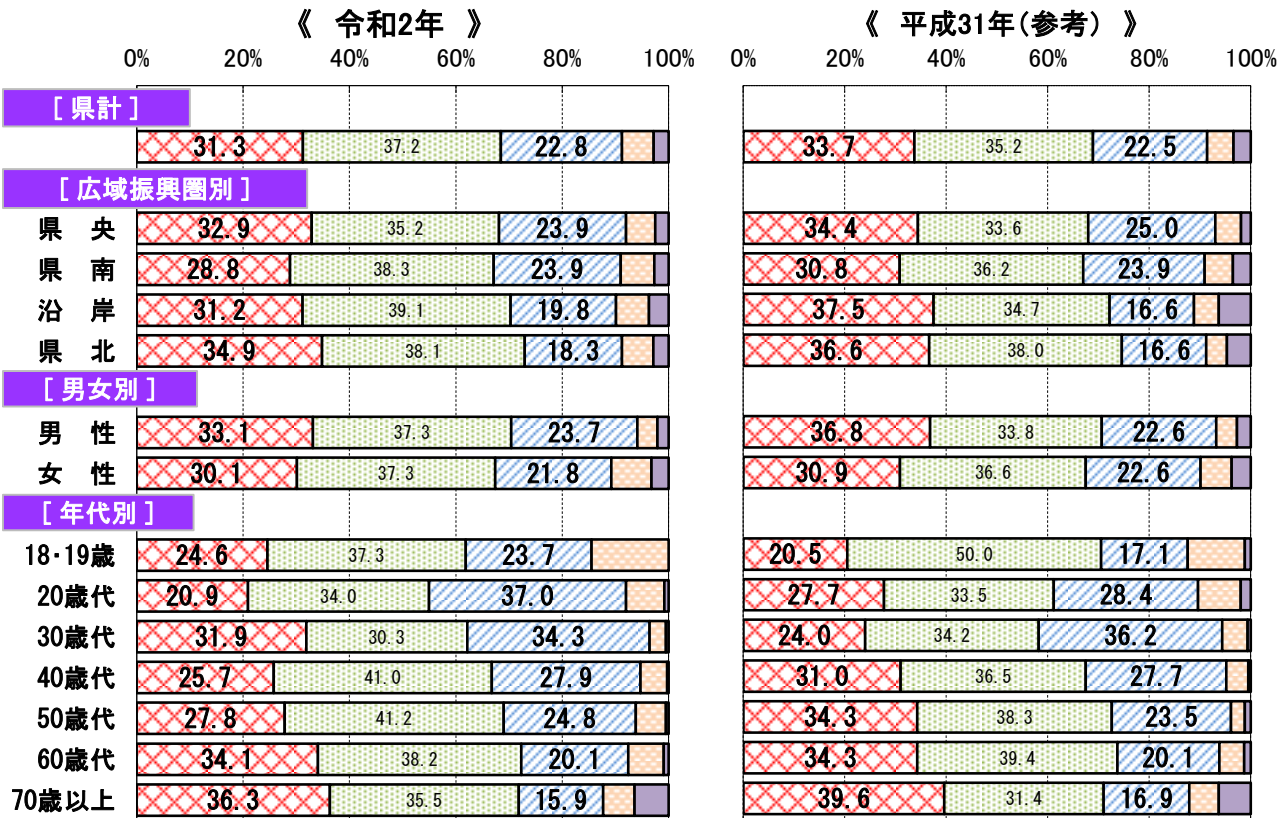
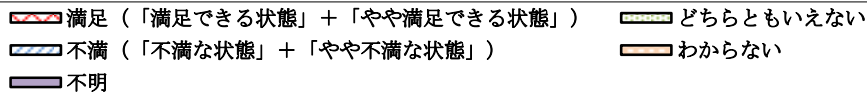
重要の割合の県平均との差



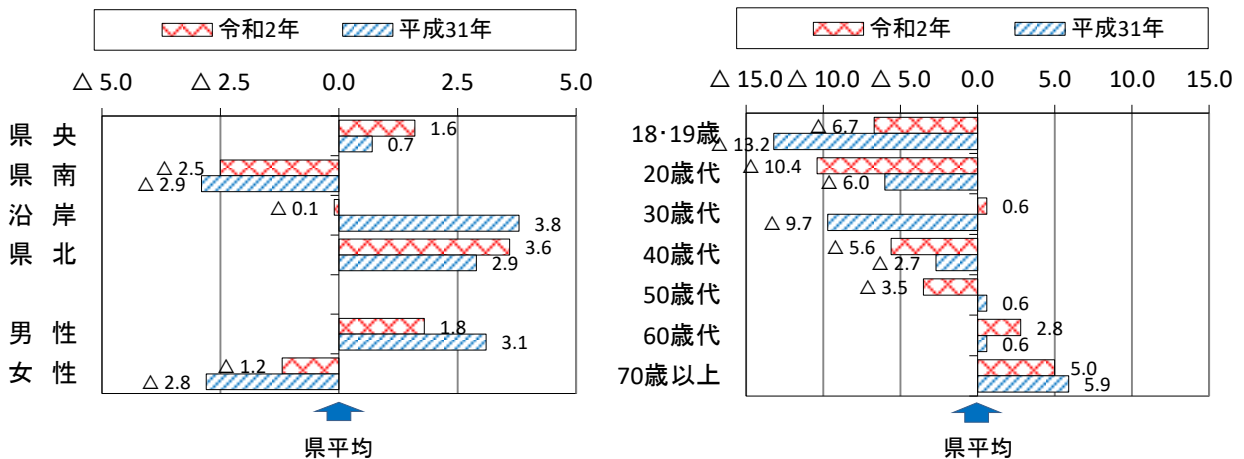
## (2) 満足度について

### 満足が3割強(31.3%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が31.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合22.8%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(34.9%)、男女別では男性(33.1%)、年代別では70歳以上(36.3%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(3.6ポイント)、男女別では男性(1.8ポイント)、年代別では20歳代(△10.4ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

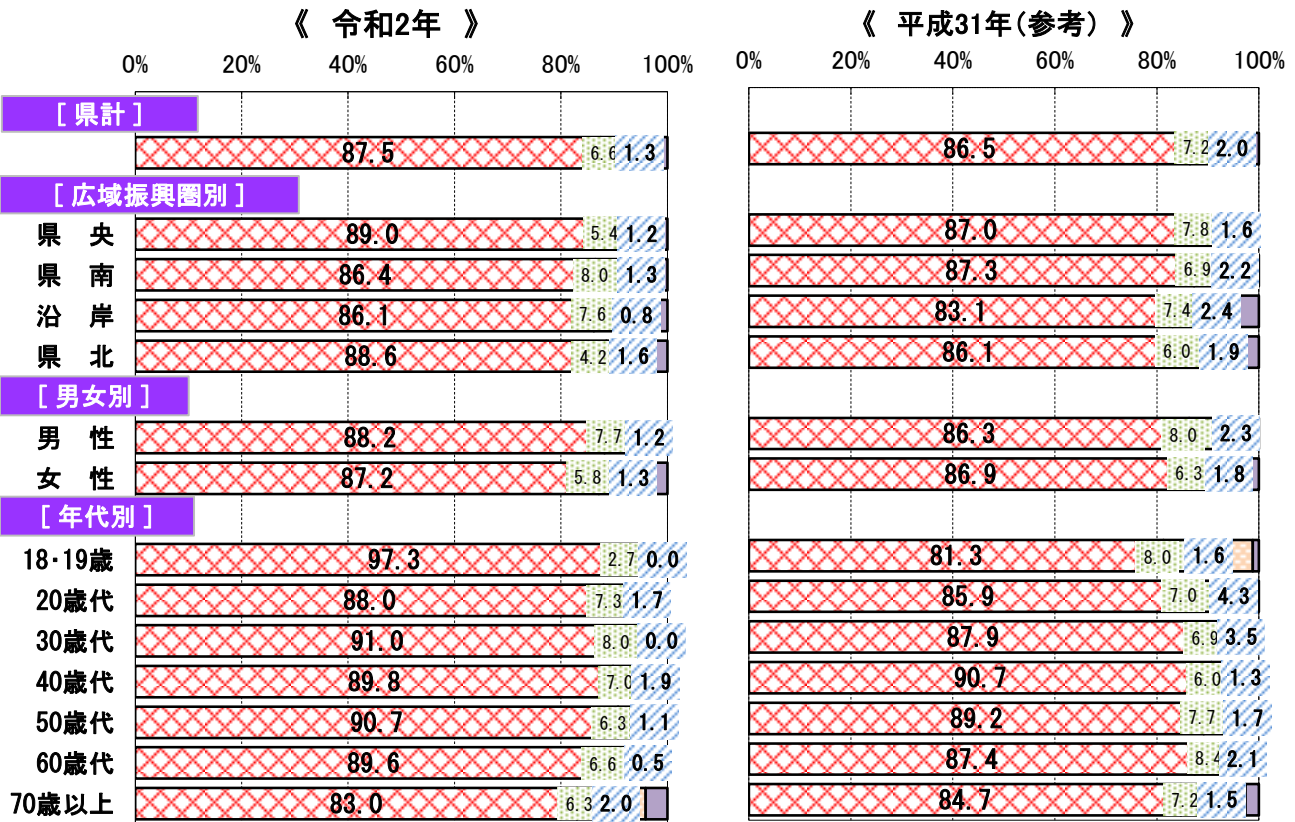
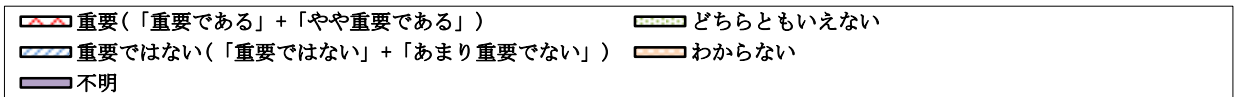


問2-32 悪質商法、架空請求、多重債務などの消費者トラブルについて、適切な相談や支援を受けられる社会であること。

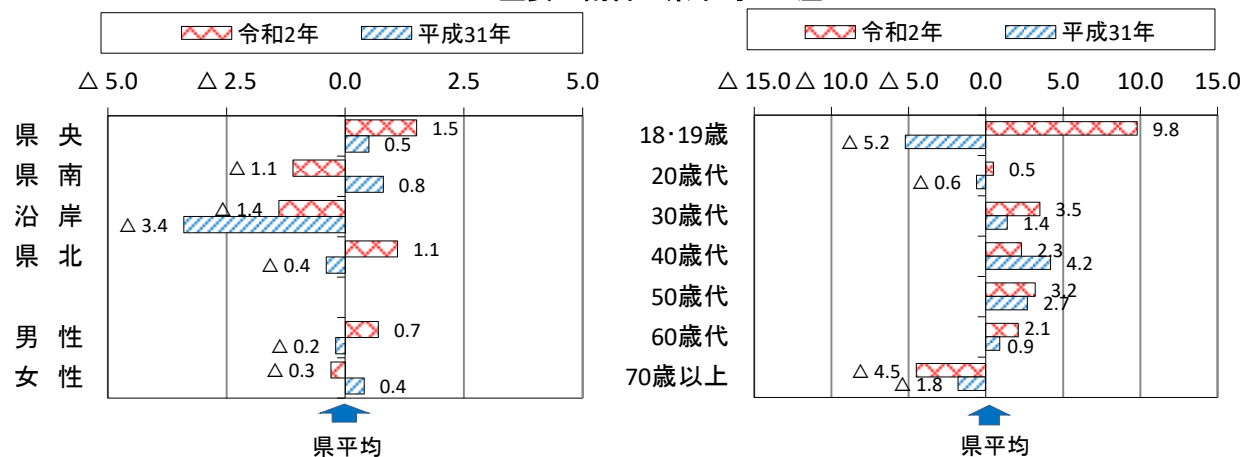
(1) 重要度について

重要が9割弱(87.5%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が87.5%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合1.3%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(89.0%)、男女別では男性(88.2%)、年代別では18・19歳(97.3%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.5ポイント)、男女別では男性(0.7ポイント)、年代別では18・19歳(9.8ポイント)となっている。



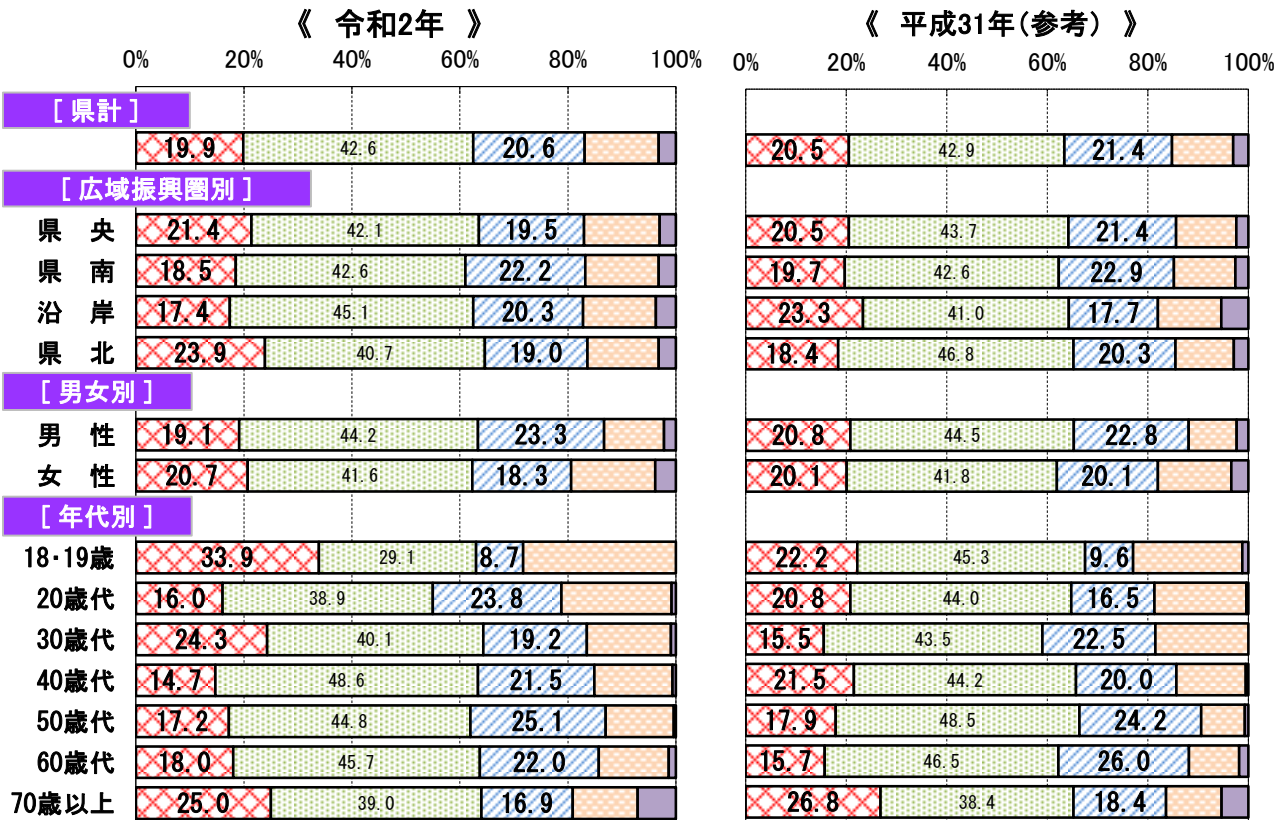
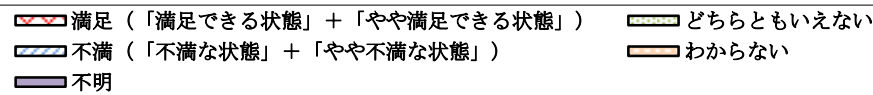
重要の割合の県平均との差



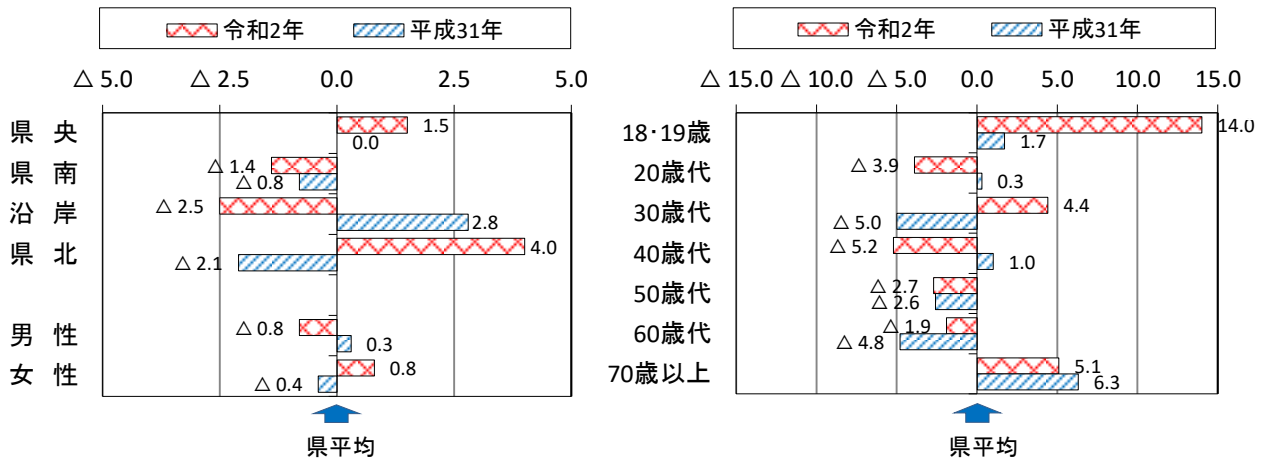
## (2) 満足度について

### 満足が約2割(19.9%)、不満とほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が19.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合20.6%とほとんど差はない。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(23.9%)、男女別では女性(20.7%)、年代別では18・19歳(33.9%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(4.0ポイント)、年代別では18・19歳(14.0ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差



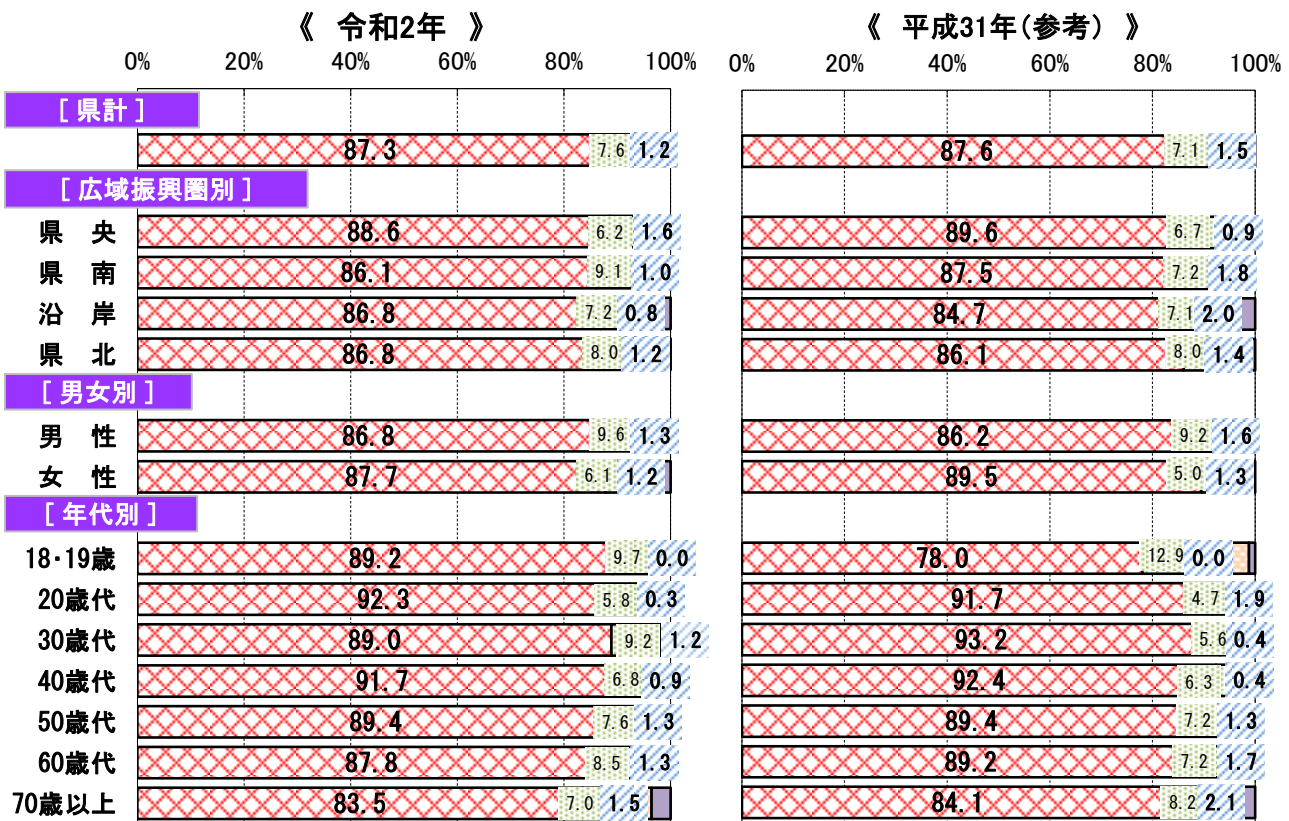
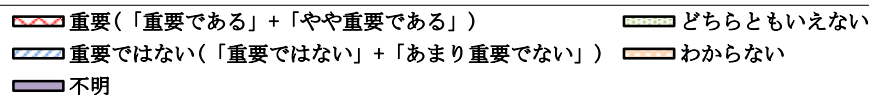


問2-33 購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない環境であること。

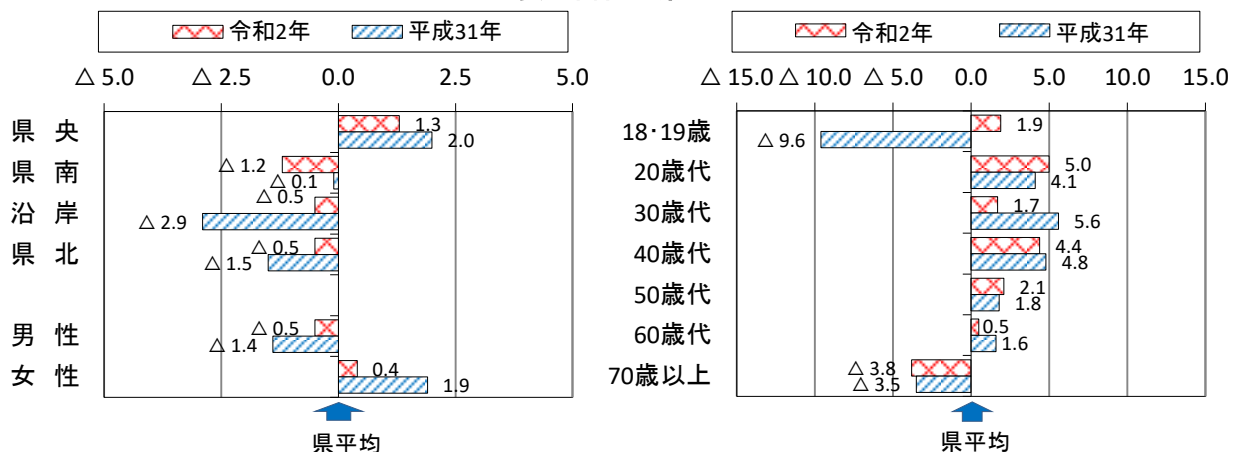
(1) 重要度について

重要が9割弱(87.3%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が87.3%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合1.2%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(88.6%)、男女別では女性(87.7%)、年代別では20歳代(92.3%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.3ポイント)、男女別では男性(△0.5ポイント)、年代別では20歳代(5.0ポイント)となっている。



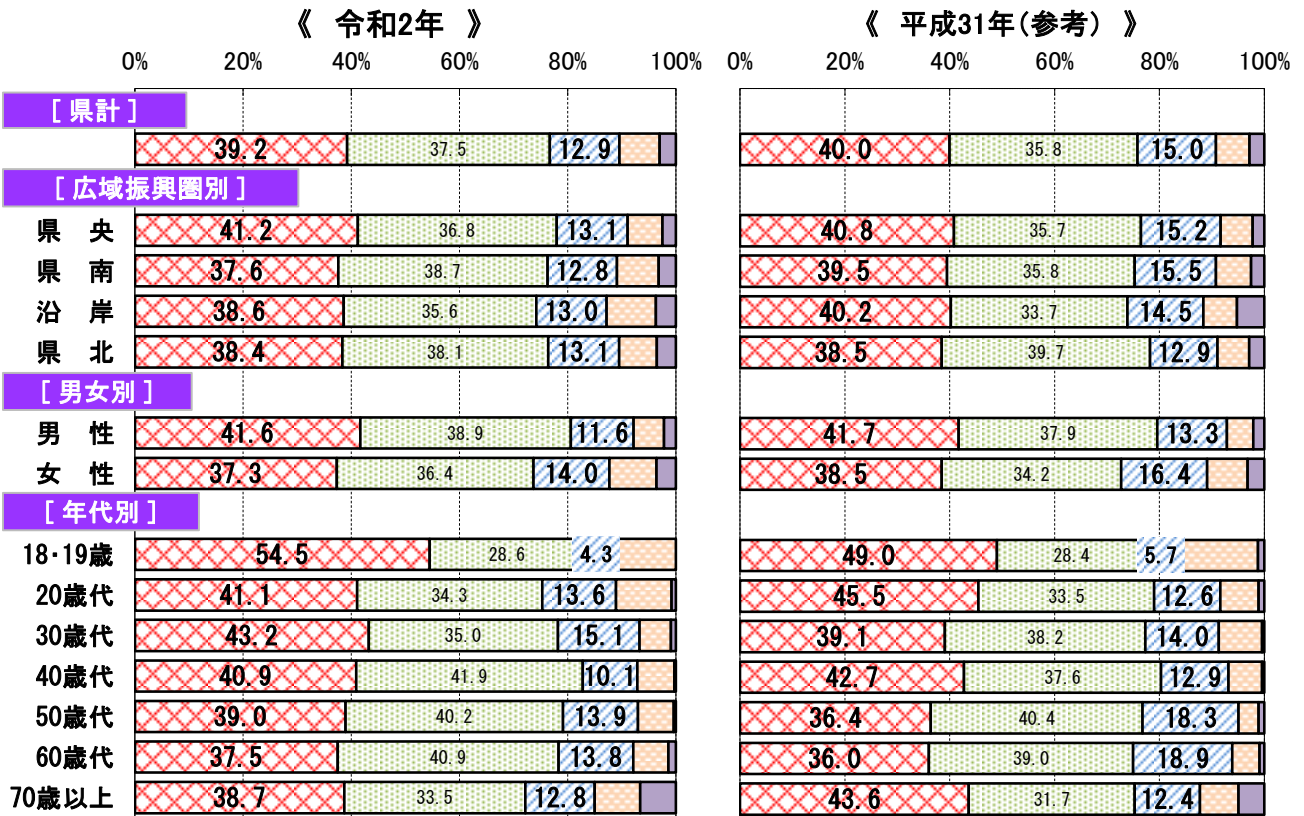
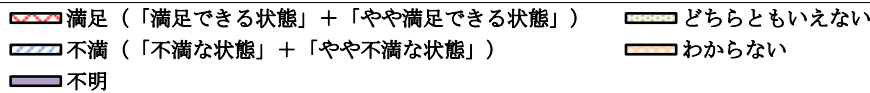
重要の割合の県平均との差



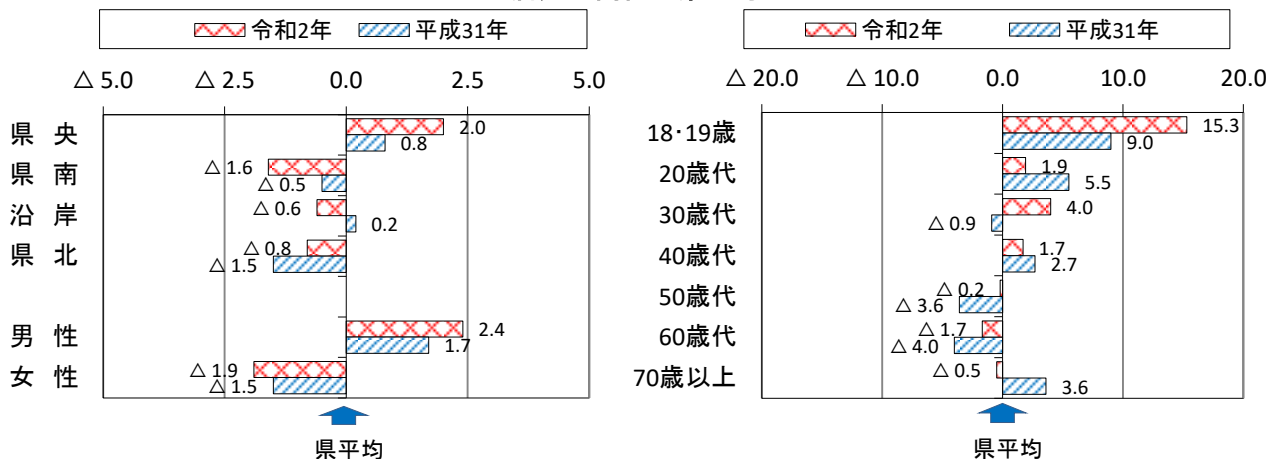
(2) 満足度について

満足が4割弱(39.2%)、不満を大きく上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が39.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合12.9%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(41.2%)、男女別では男性(41.6%)、年代別では18・19歳(54.5%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(2.0ポイント)、男女別では男性(2.4ポイント)、年代別では18・19歳(15.3ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

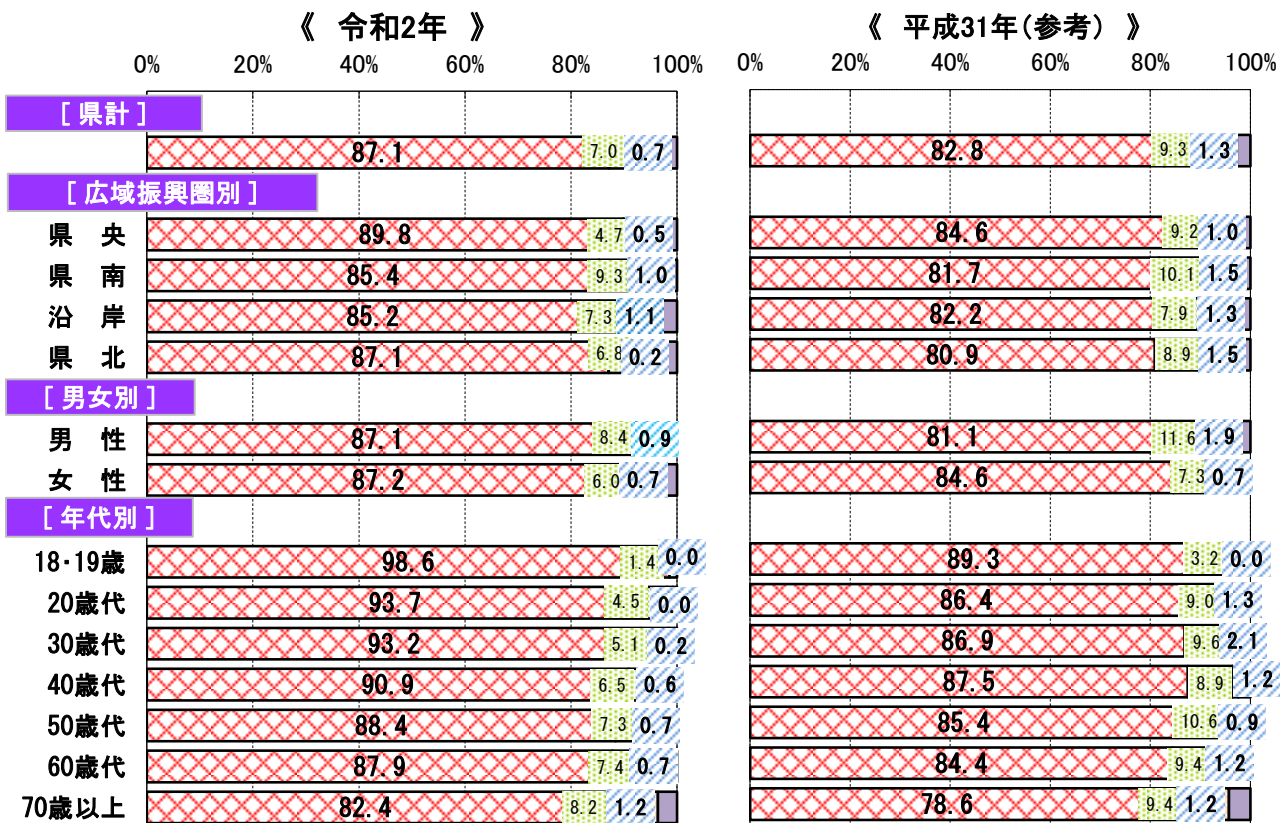
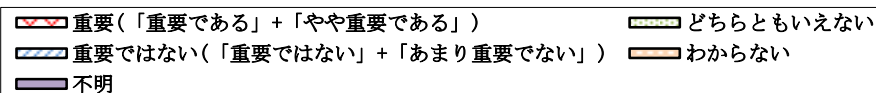


問2-34 感染症に対する備えが整っている社会であること。

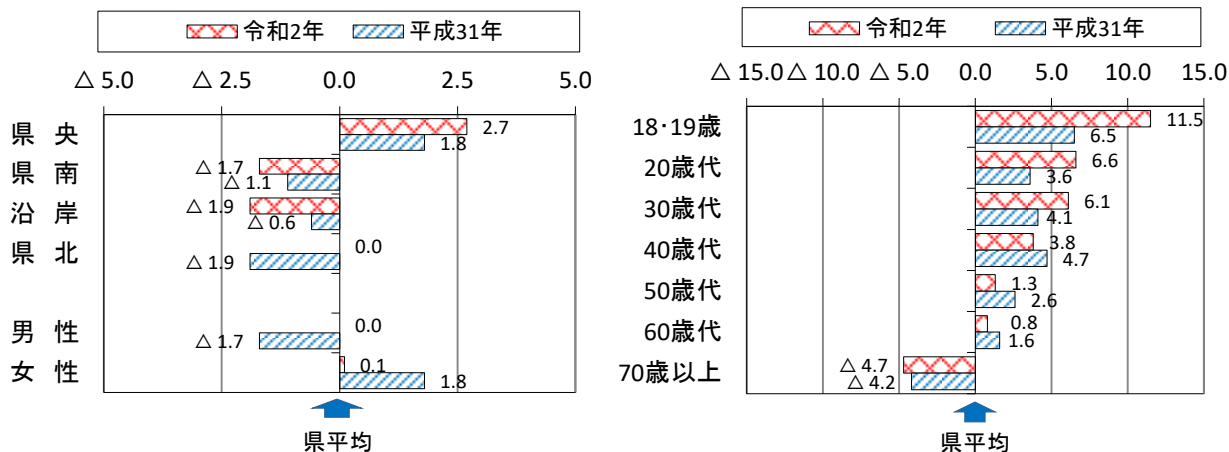
(1) 重要度について

重要が9割弱(87.1%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が87.1%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合0.7%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(89.8%)、男女別では女性(87.2%)、年代別では18・19歳(98.6%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(2.7ポイント)、男女別では女性(0.1ポイント)、年代別では18・19歳(11.5ポイント)となっている。



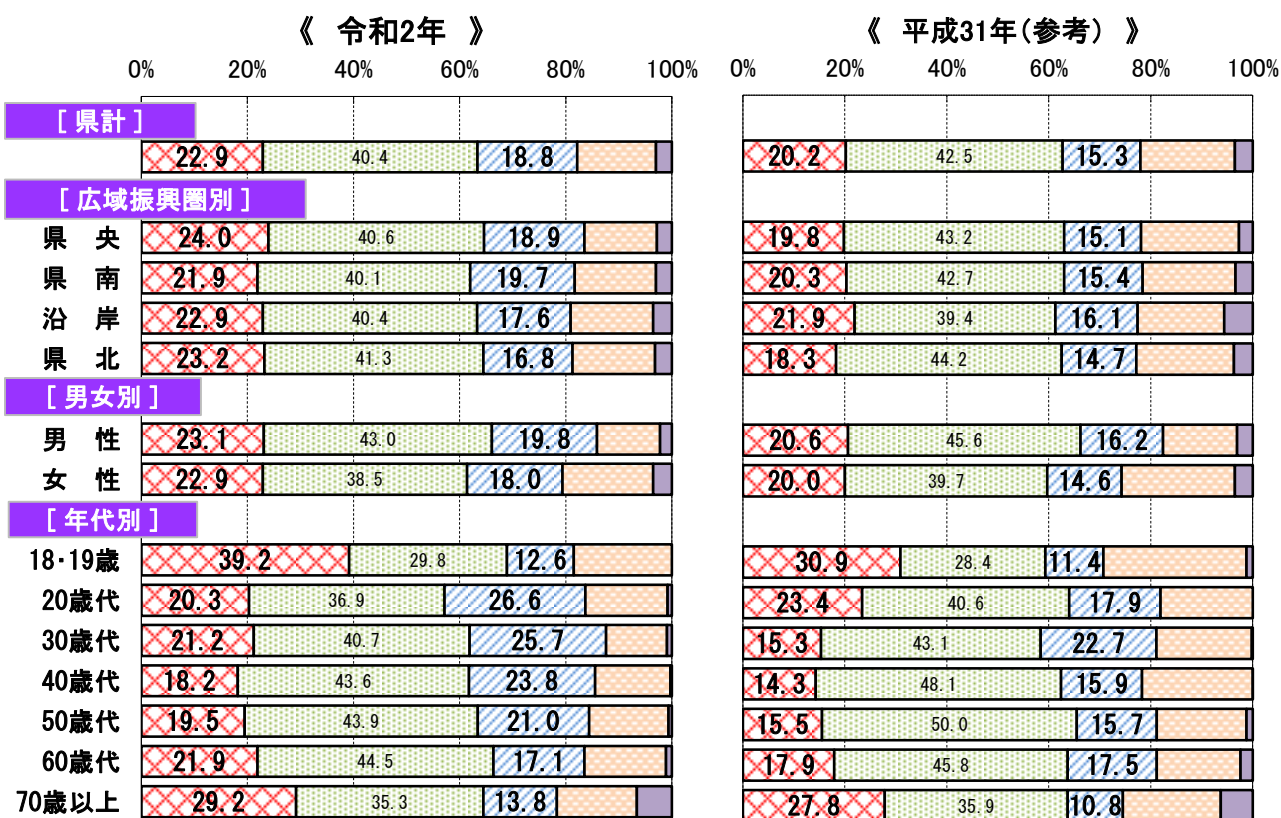
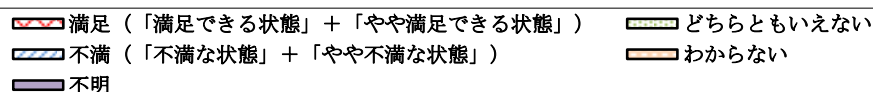
重要の割合の県平均との差



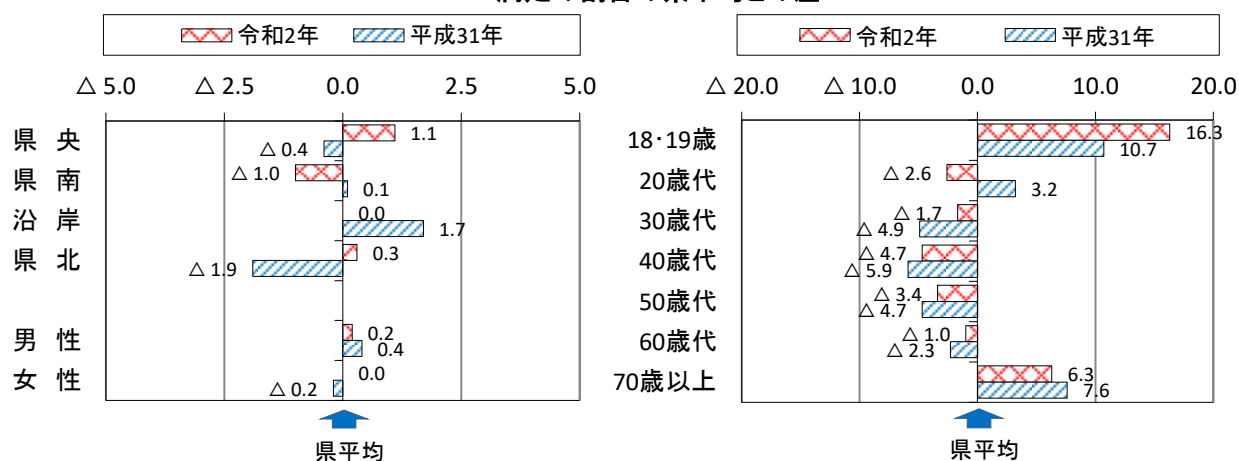
## (2) 満足度について

### 満足が2割強(22.9%)、不満を若干上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が22.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合18.8%を若干上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(24.0%)、男女別では男性(23.1%)、年代別では18・19歳(39.2%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.1ポイント)、男女別では男性(0.2ポイント)、年代別では18・19歳(16.3ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

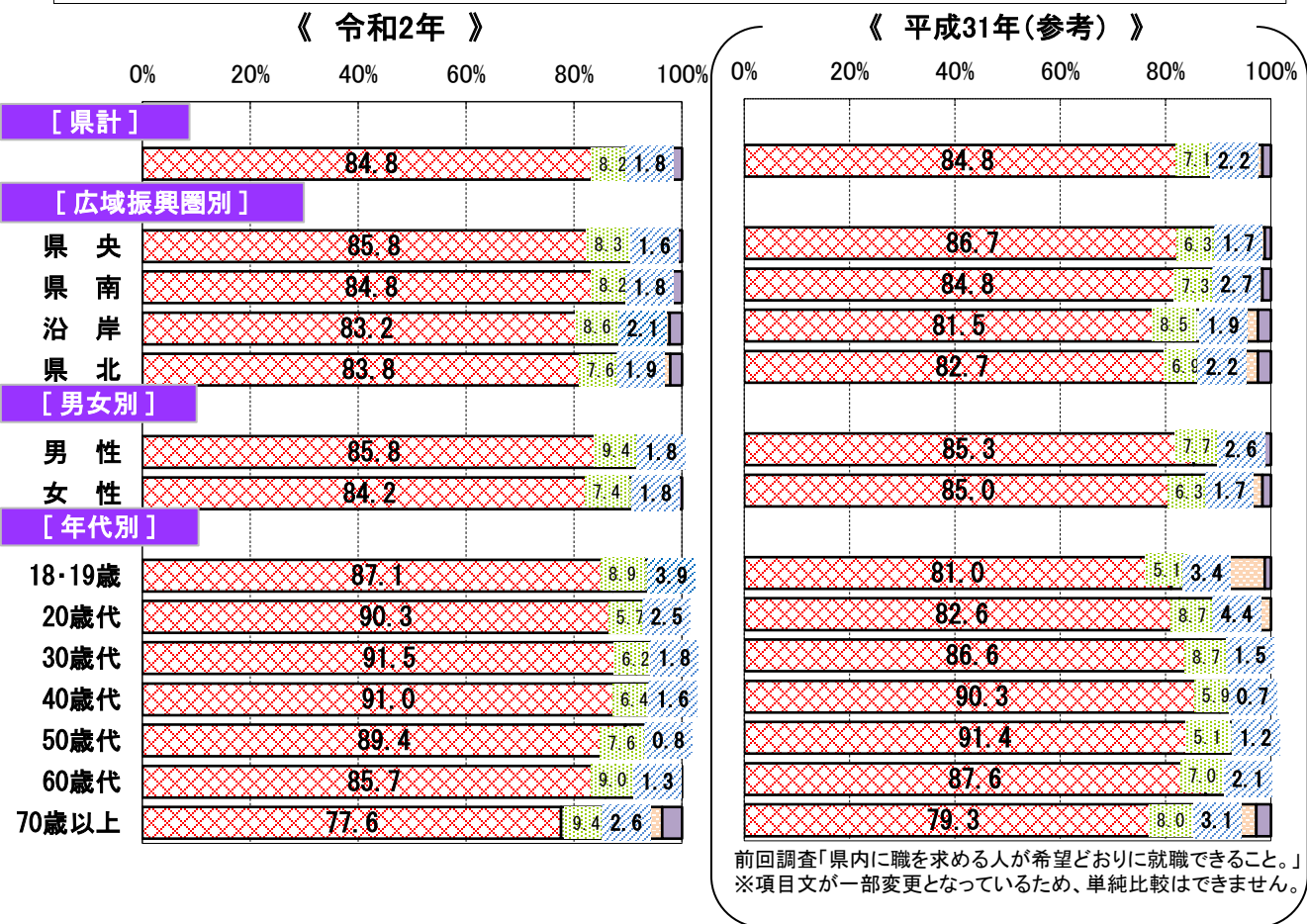
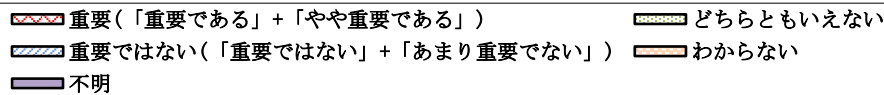


問2-35 県内に職を求める人が希望どおりに就職できる環境であること。

(1) 重要度について

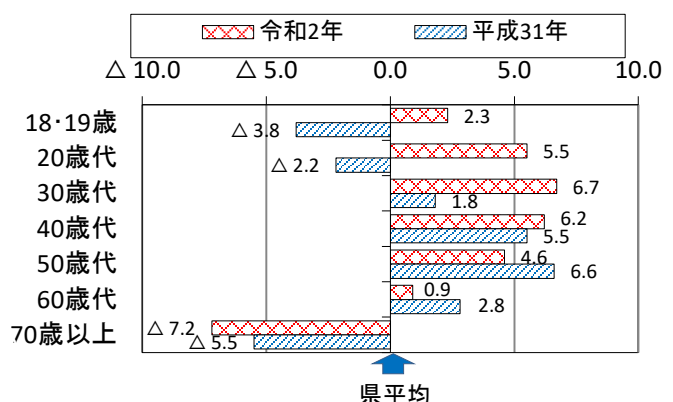
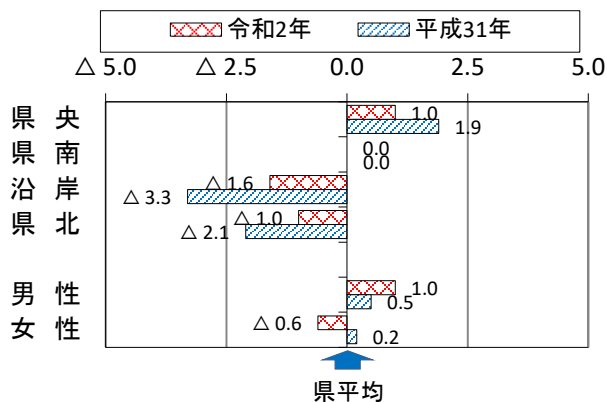
重要が約85%(84.8%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が84.8%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合1.8%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(85.8%)、男女別では男性(85.8%)、年代別では30歳代(91.5%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△1.6ポイント)、男女別では男性(1.0ポイント)、年代別では70歳以上(△7.2ポイント)となっている。



前回調査「県内に職を求める人が希望どおりに就職できること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

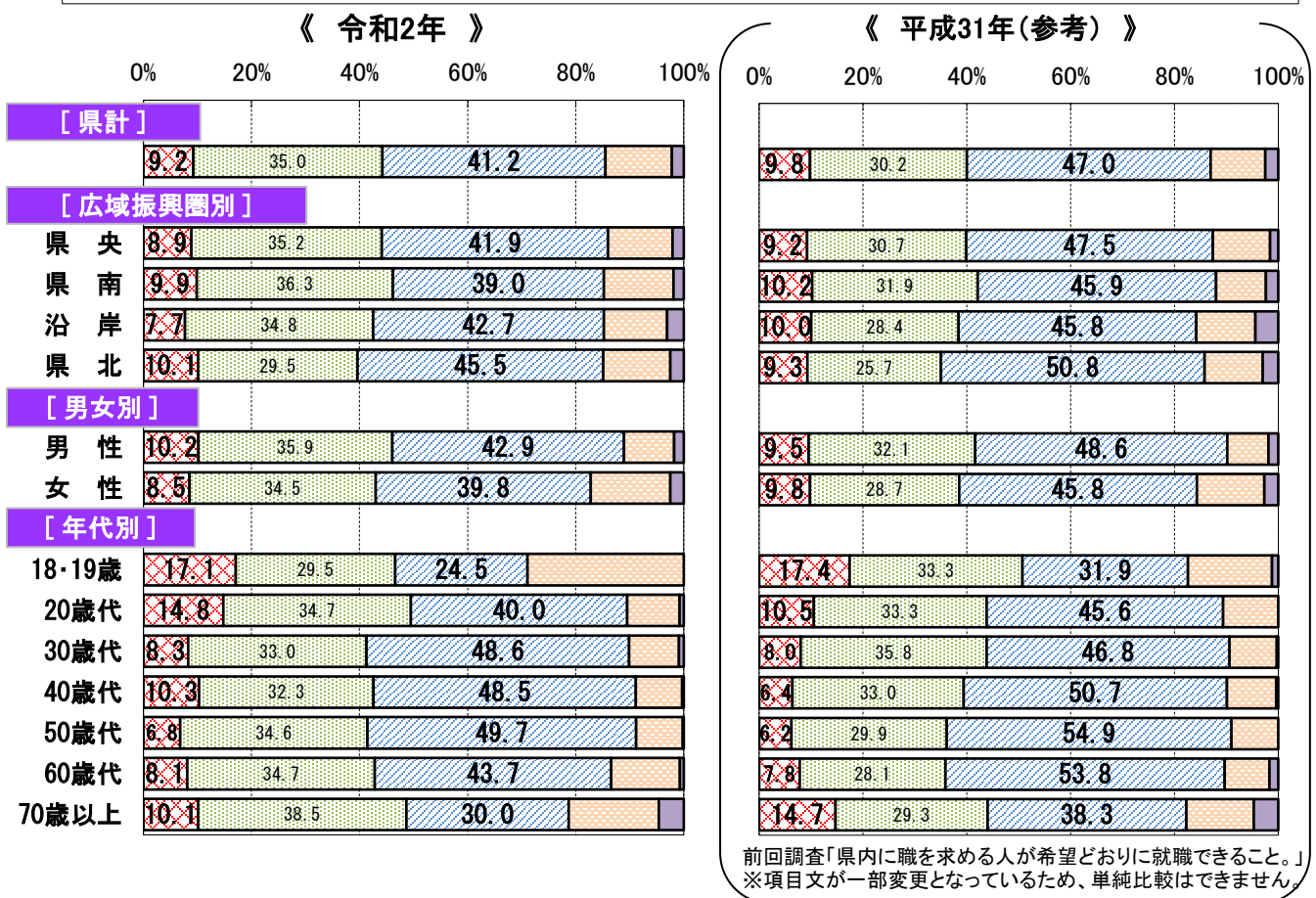
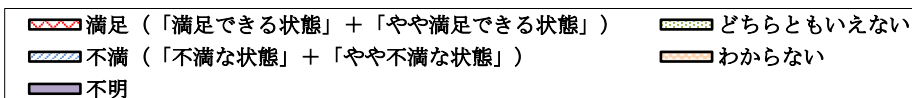
重要な割合の県平均との差



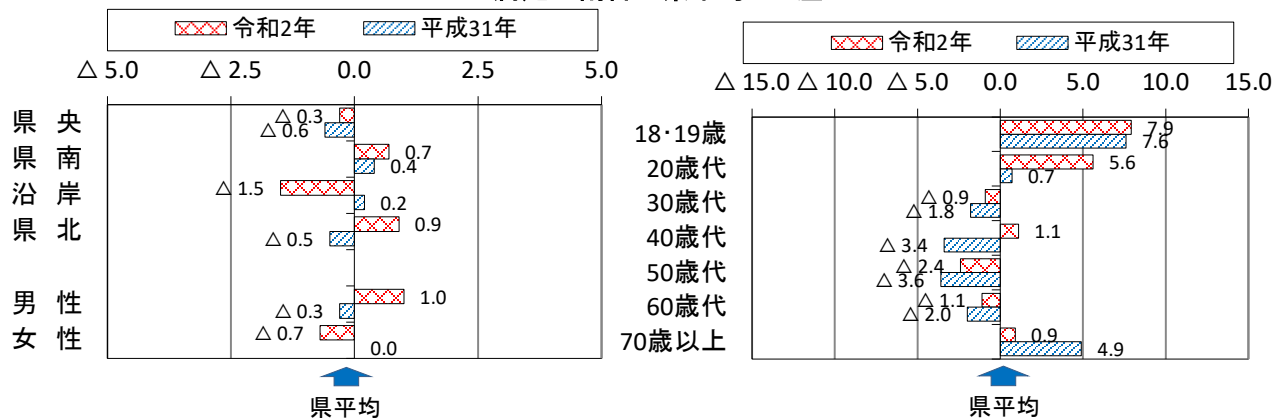
## (2) 満足度について

### 満足が1割弱(9.2%)、不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が9.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合41.2%を大きく下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(10.1%)、男女別では男性(10.2%)、年代別では18・19歳(17.1%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△1.5ポイント)、男女別では男性(1.0ポイント)、年代別では18・19歳(7.9ポイント)となっている。



### 満足の割合の県平均との差

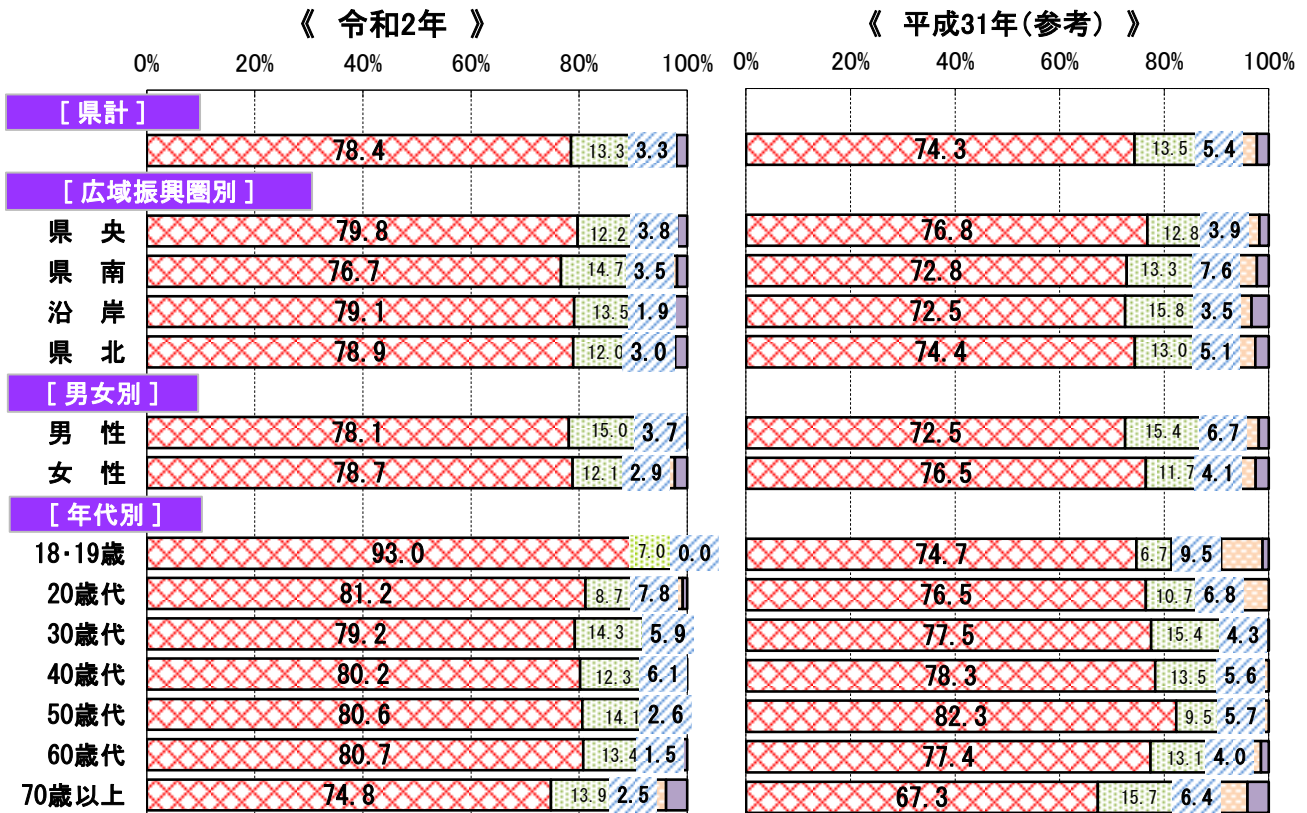
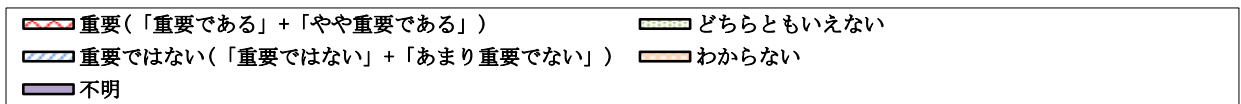


問2-36 身近な商店街が、住民に利用され、にぎわっていること。

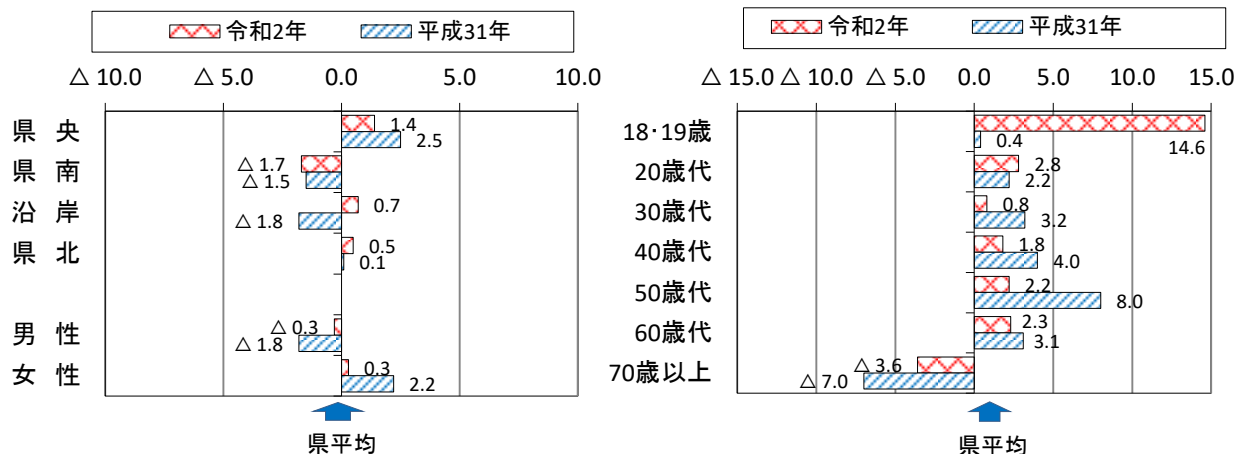
(1) 重要度について

重要が8割弱(78.4%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が78.4%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合3.3%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(79.8%)、男女別では女性(78.7%)、年代別では18・19歳(93.0%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(△1.7ポイント)、年代別では18・19歳(14.6ポイント)となっている。



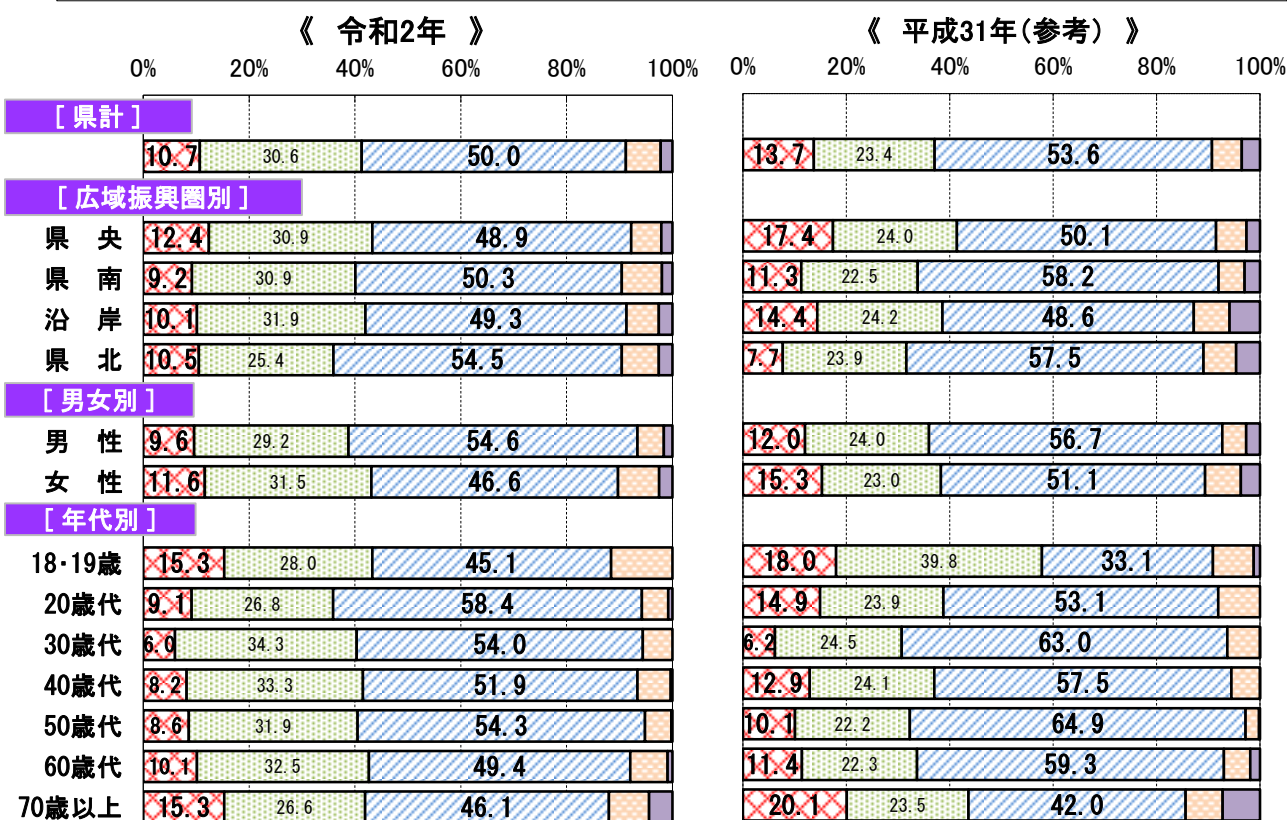
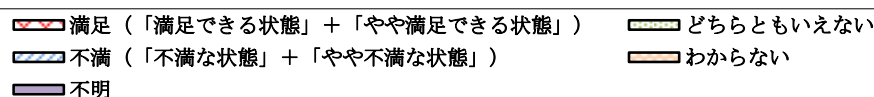
重要な割合の県平均との差



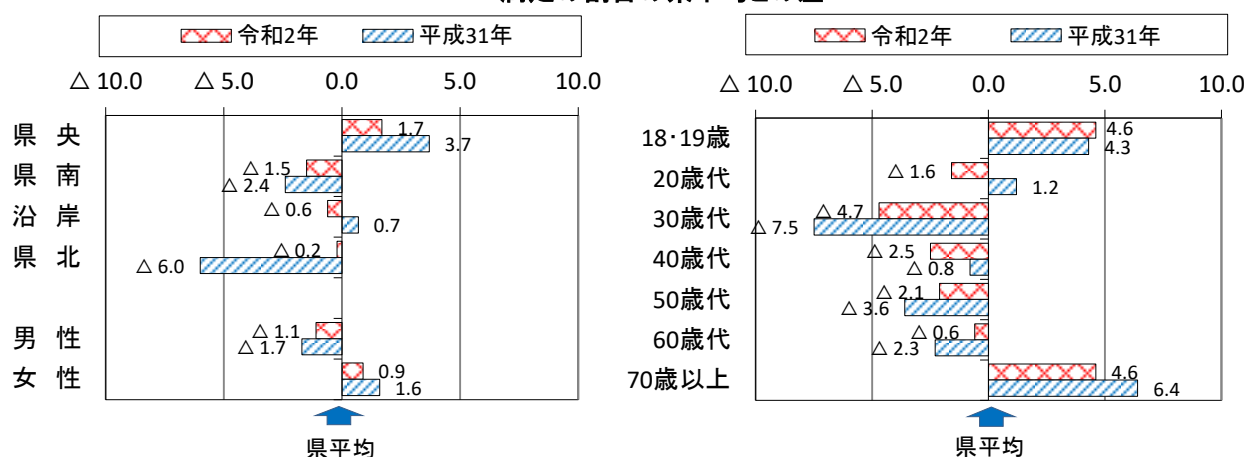
## (2) 満足度について

### 満足が1割強(10.7%)、不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が10.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合50.0%を大きく下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(12.4%)、男女別では女性(11.6%)、年代別では18・19歳(15.3%)及び70歳代(15.3%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.7ポイント)、男女別では男性(△1.1ポイント)、年代別では30歳代(△4.7ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差



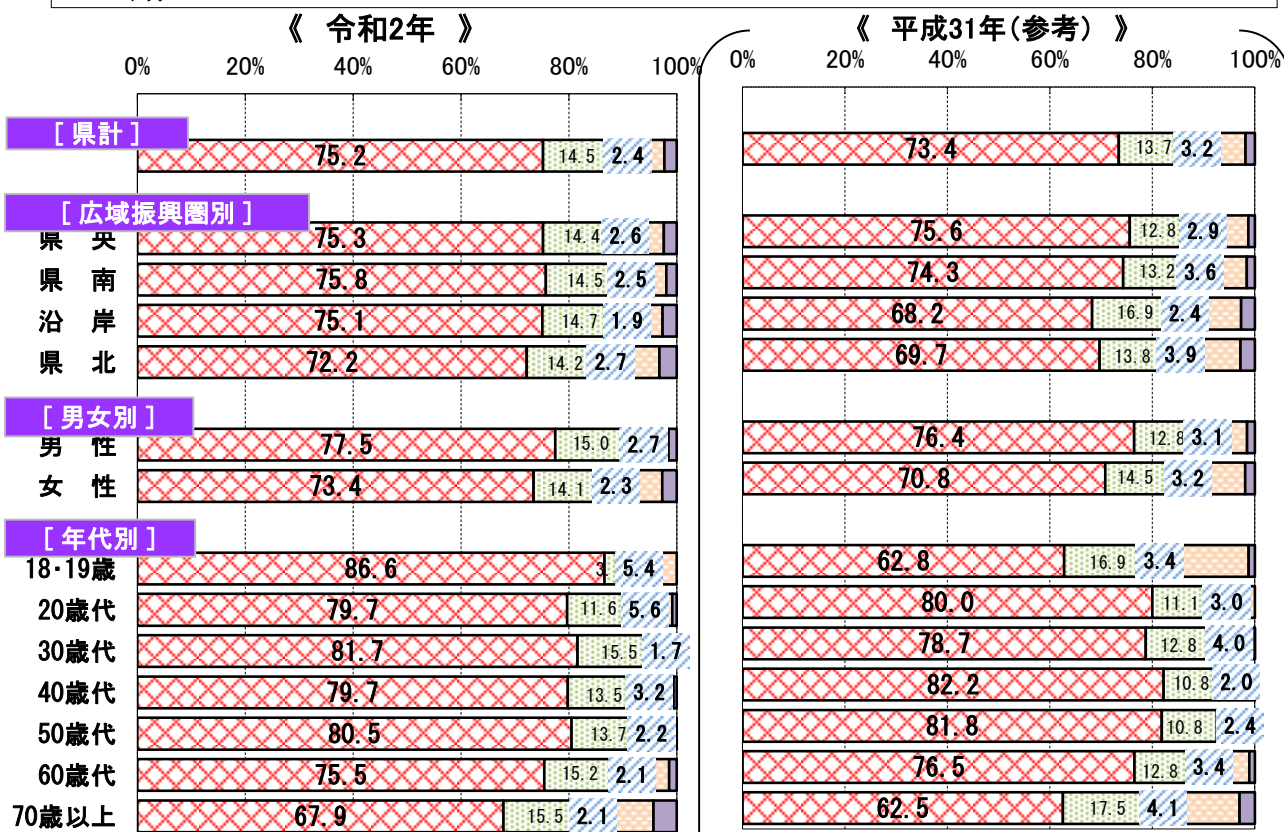
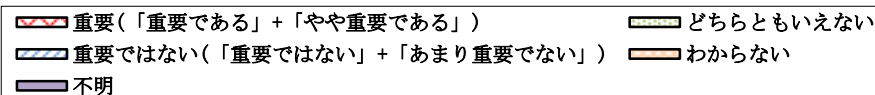


問2-37 中小企業が、より魅力のある商品・サービス等の提供や経営人材の確保に取り組  
み、更に成長・発展していること。

(1) 重要度について

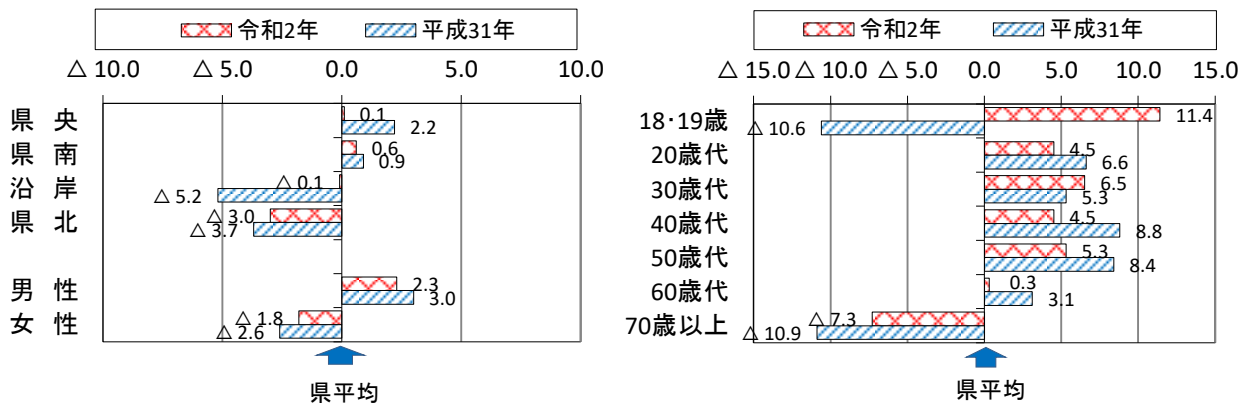
重要が約75%(75.2%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が75.2%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合2.4%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(75.8%)、男女別では男性(77.5%)、年代別では18・19歳(86.6%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.0ポイント)、男女別では男性(2.3ポイント)、年代別では18・19歳(11.4ポイント)となっている。



前回調査「中小企業が、人材や技術力、商品、サービスなどを強化して経営力の向上を図り、更に成長・発展していること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

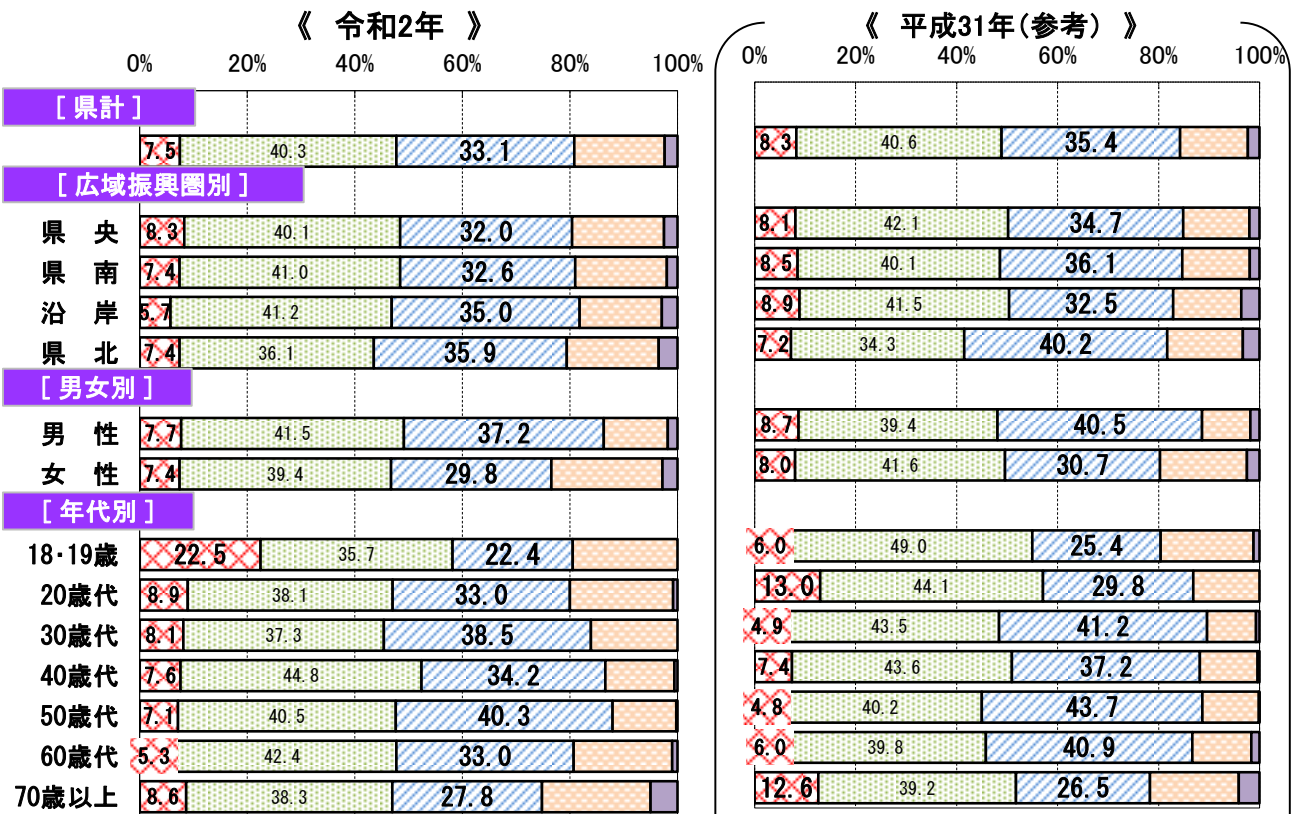
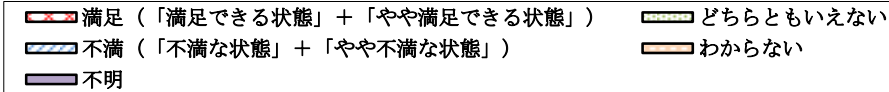
重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

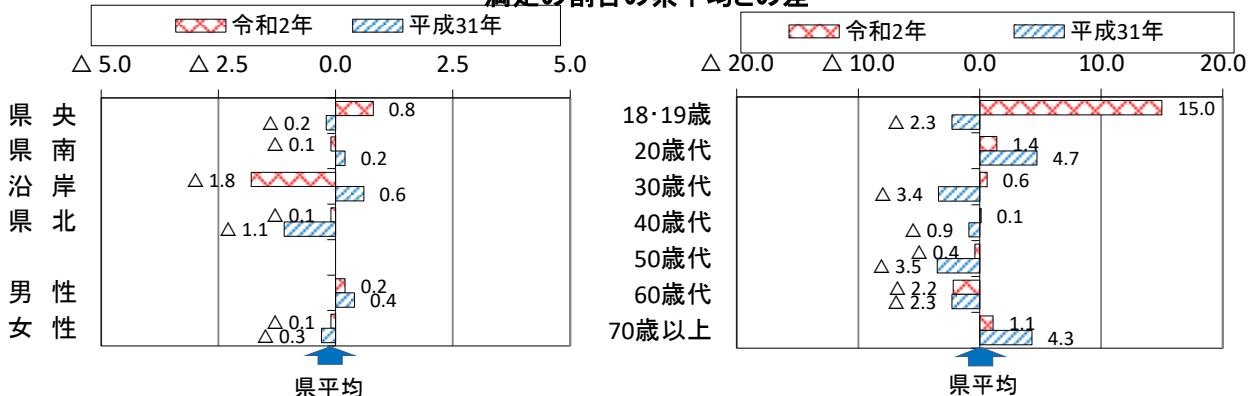
### 満足が1割弱(7.5%)、不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が7.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合33.1%を大きく下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(8.3%)、男女別では男性(7.7%)、年代別では18・19歳(22.5%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△1.8ポイント)、男女別では男性(0.2ポイント)、年代別では18・19歳(15.0ポイント)となっている。



前回調査「中小企業が、人材や技術力、商品、サービスなどを強化して経営力の向上を図り、更に成長・発展していること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

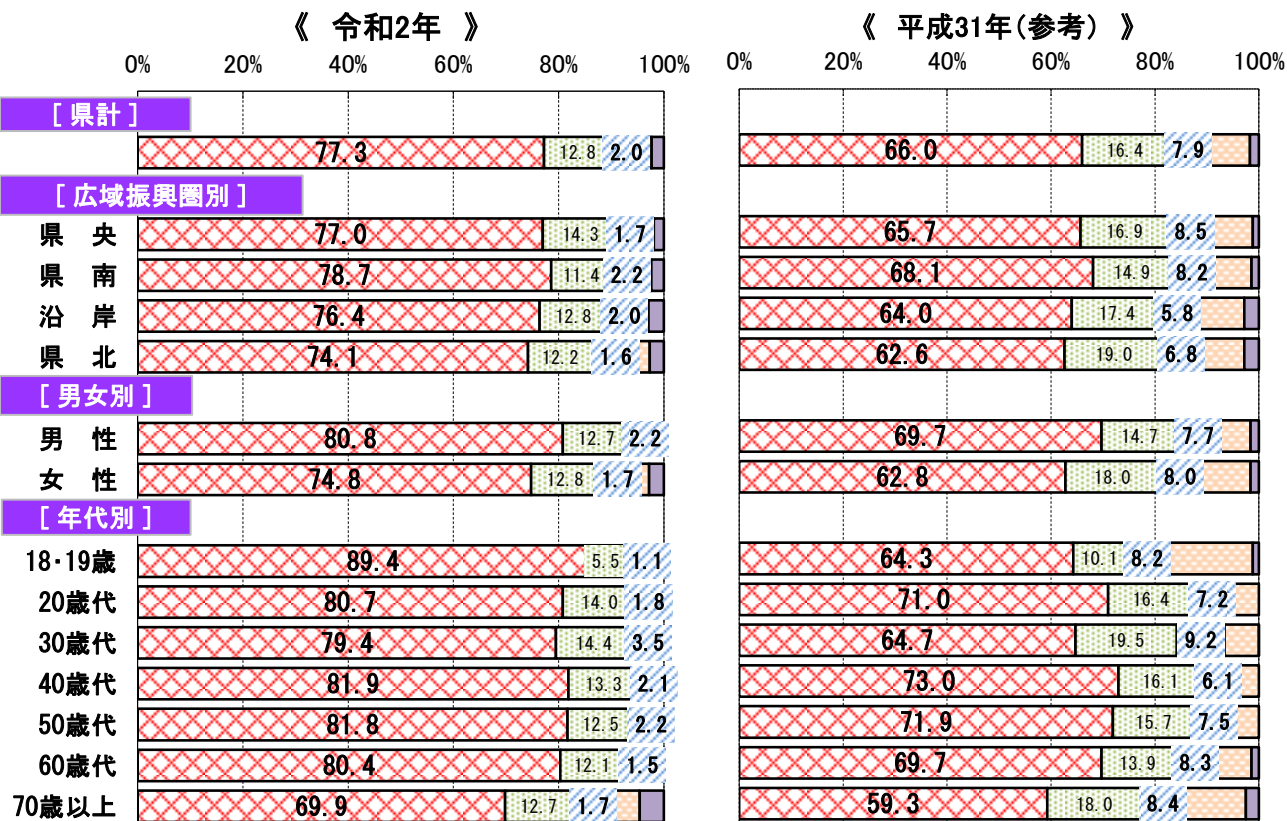
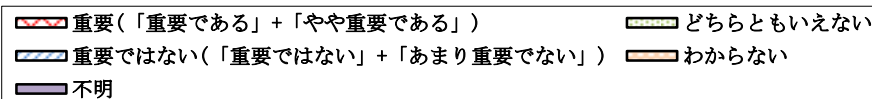


問2-38 工場や事業所の新設・増設により、県内経済が活性化していること。

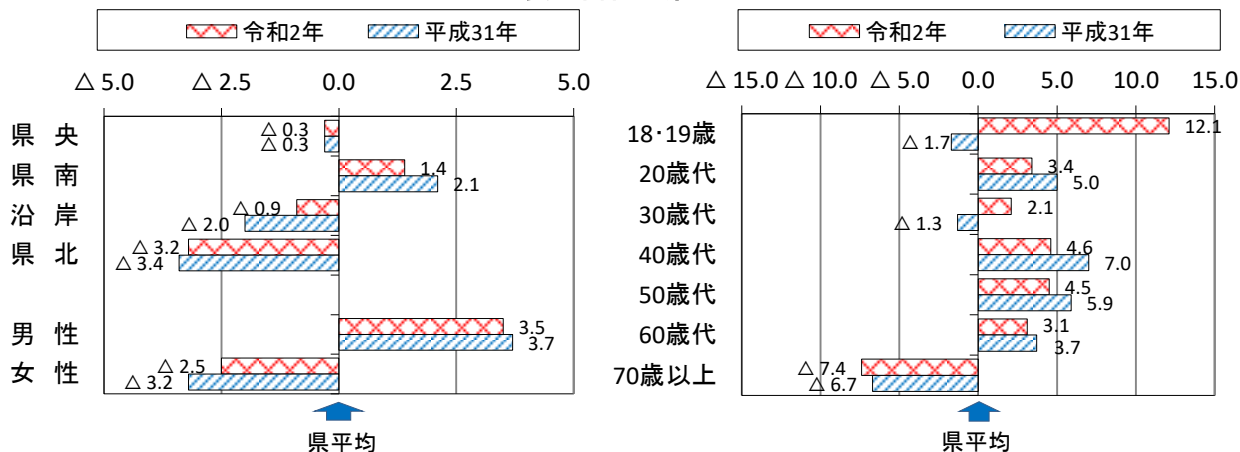
(1) 重要度について

重要が8割弱(77.3%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が77.3%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合2.0%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(78.7%)、男女別では男性(80.8%)、年代別では18・19歳(89.4%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.2ポイント)、男女別では男性(3.5ポイント)、年代別では18・19歳(12.1ポイント)となっている。



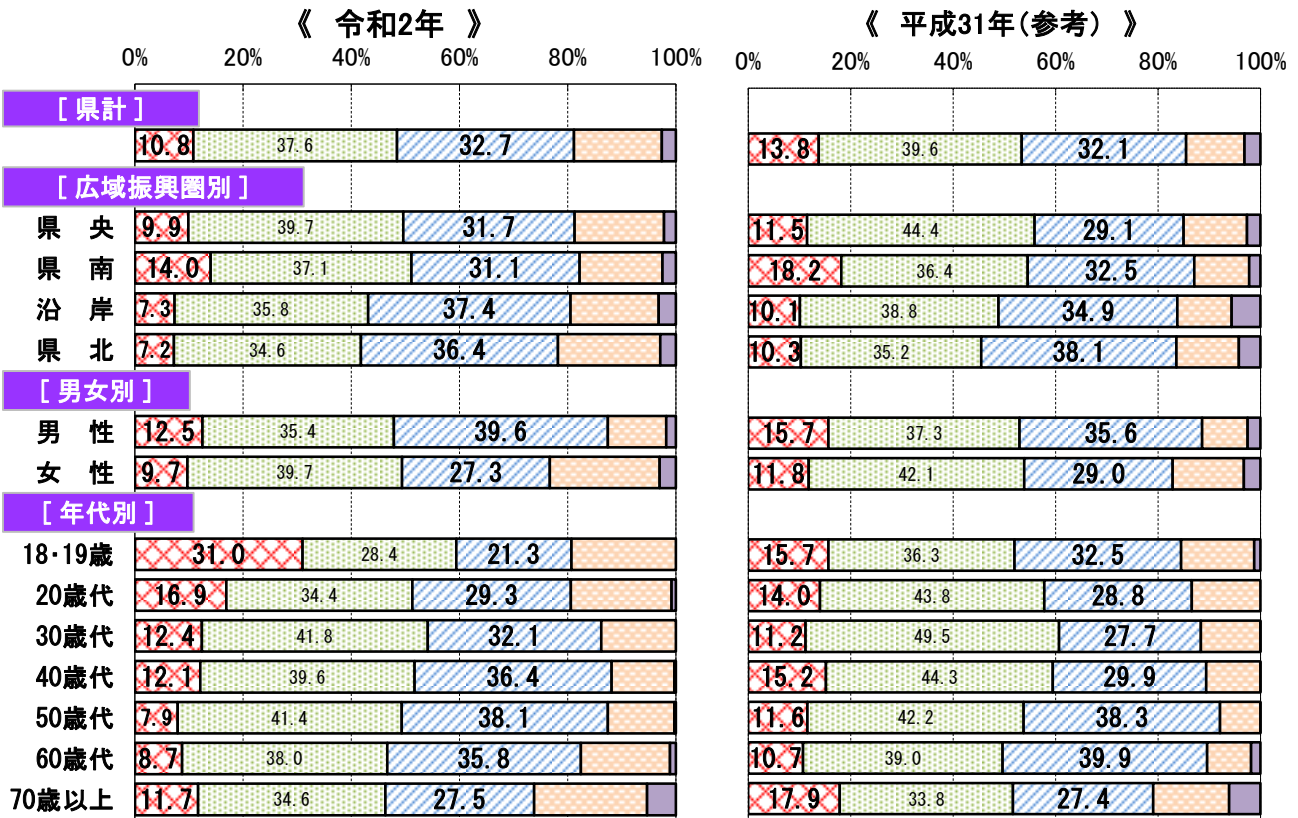
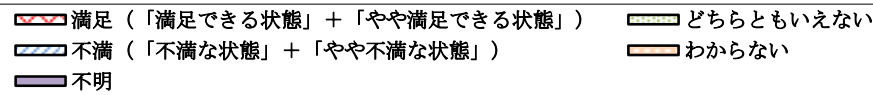
重要の割合の県平均との差



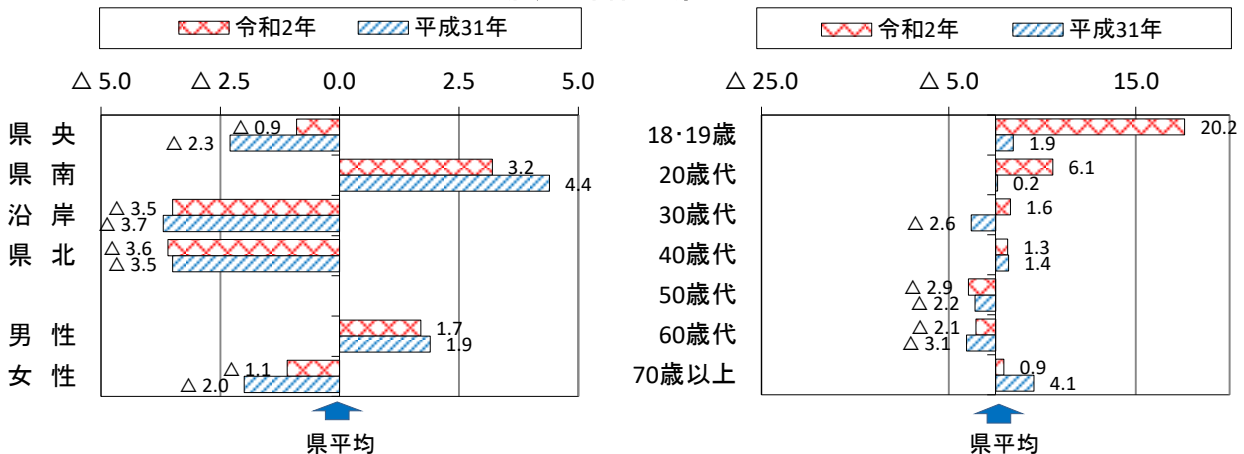
## (2) 満足度について

### 満足が1割強(10.8%)、不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が10.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合32.7%を大きく下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(14.0%)、男女別では男性(12.5%)、年代別では18・19歳(31.0%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.6ポイント)、男女別では男性(1.7ポイント)、年代別では18・19歳(20.2ポイント)となっている。



### 満足の割合の県平均との差

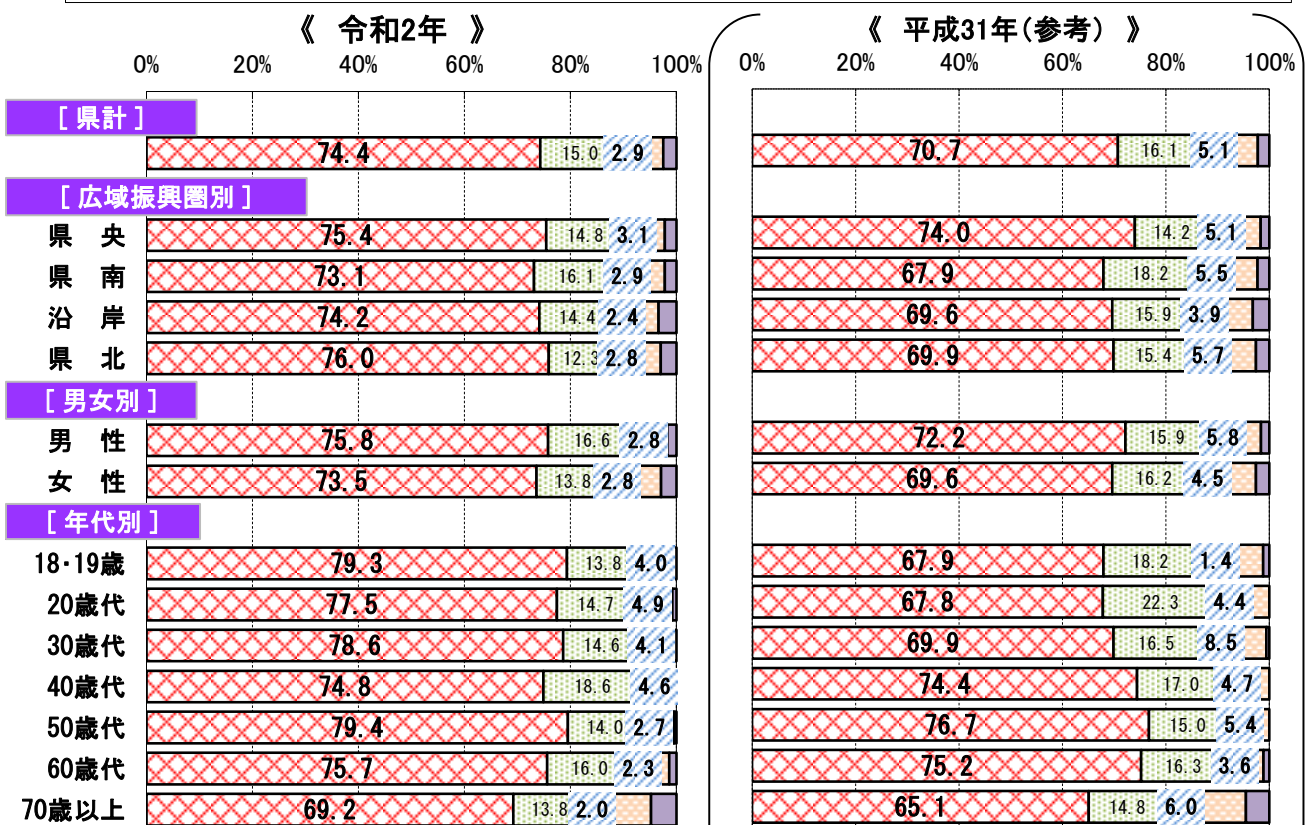
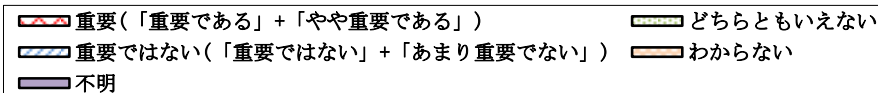


問2-39 地域の資源を生かした加工食品や工芸品などが開発され、販売されていること。

(1) 重要度について

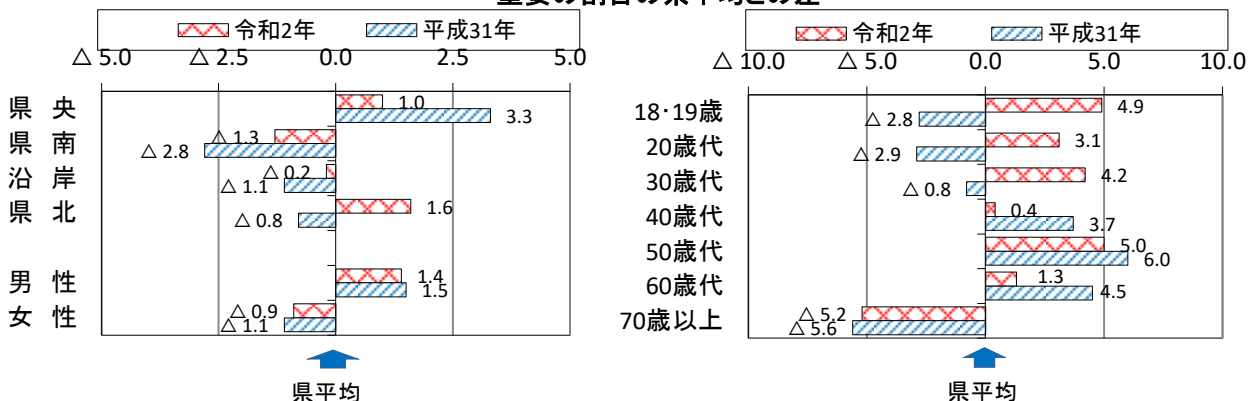
重要が約75% (74.4%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が74.4%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合2.9%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(76.0%)、男女別では男性(75.8%)、年代別では50歳代(79.4%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(1.6ポイント)、男女別では男性(1.4ポイント)、年代別では70歳以上(△5.2ポイント)となっている。



前回調査「地域の農林水産資源や技術を生かした加工食品や工芸品が開発され、販売されていること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

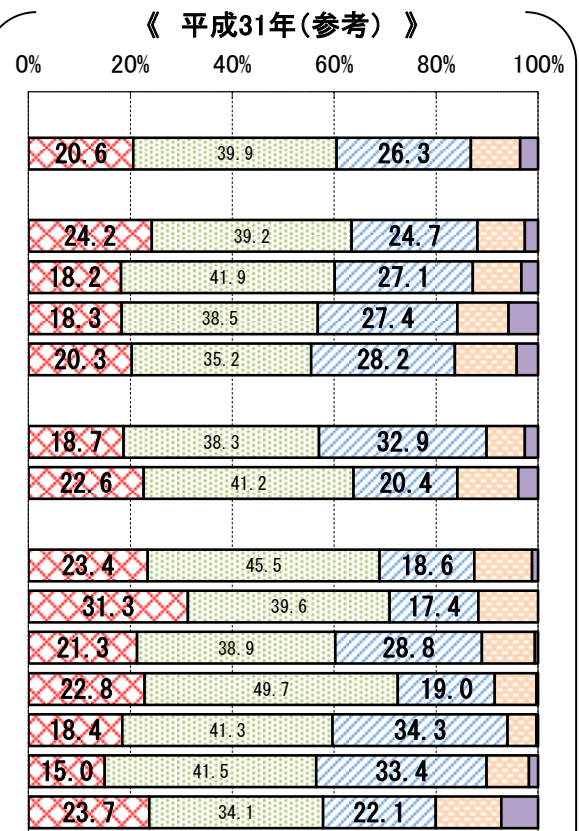
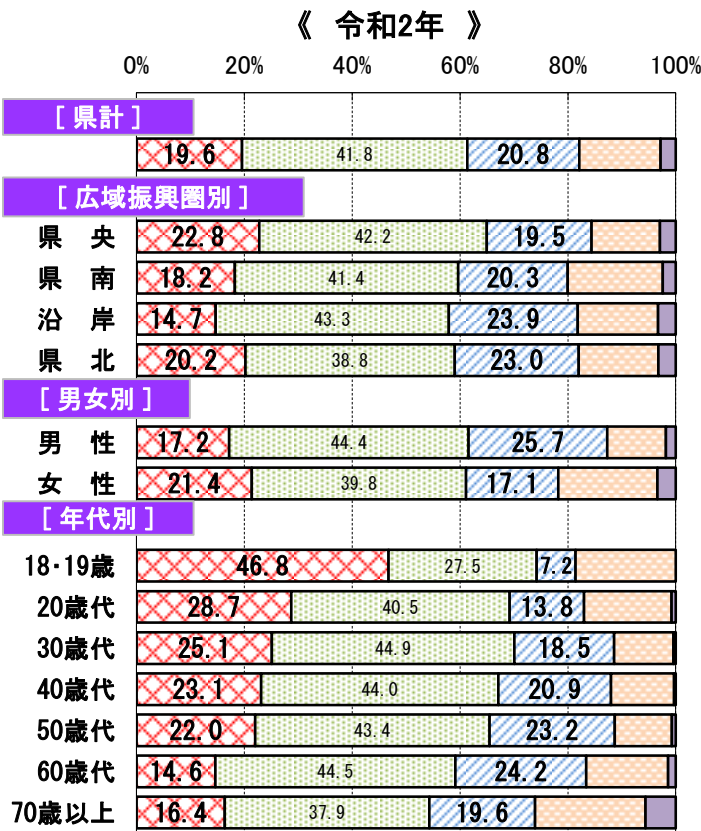
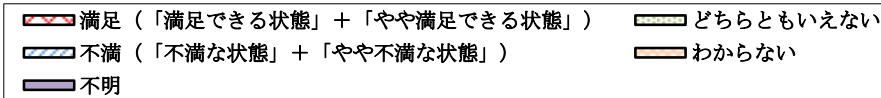
重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

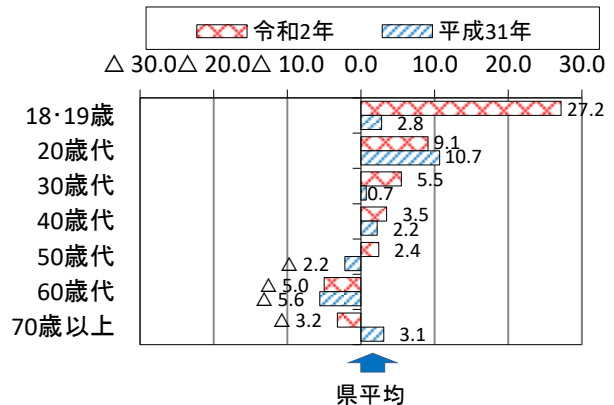
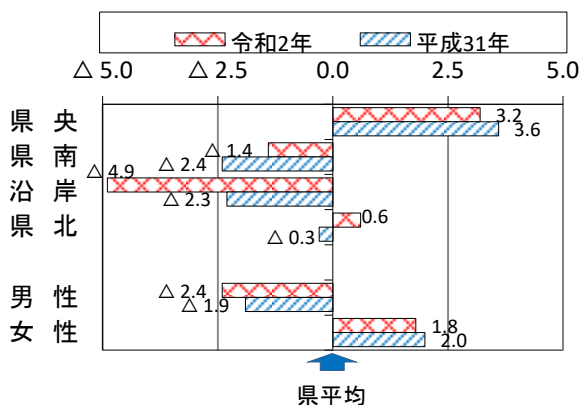
### 満足が約2割(19.6%)、不満とほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が19.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合20.8%とほとんど差はない。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(22.8%)、男女別では女性(21.4%)、年代別では18・19歳(46.8%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△4.9ポイント)、男女別では男性(△2.4ポイント)、年代別では18・19歳(27.2ポイント)となっている。



前回調査「地域の農林水産資源や技術を生かした加工食品や工芸品が開発され、販売されていること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

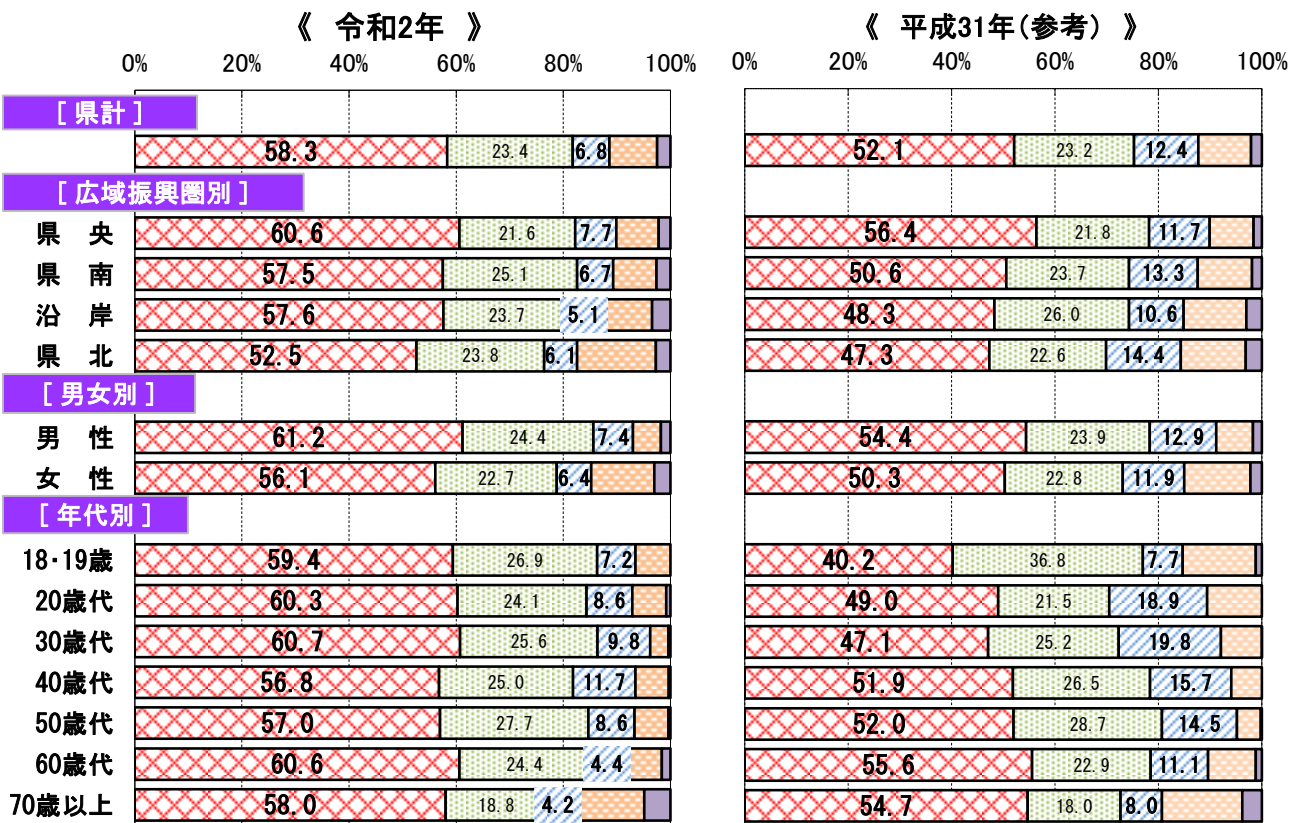
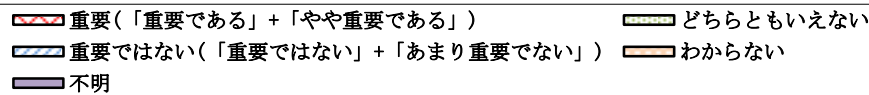


問2-40 海外における県産品の販路の拡大が図られること。

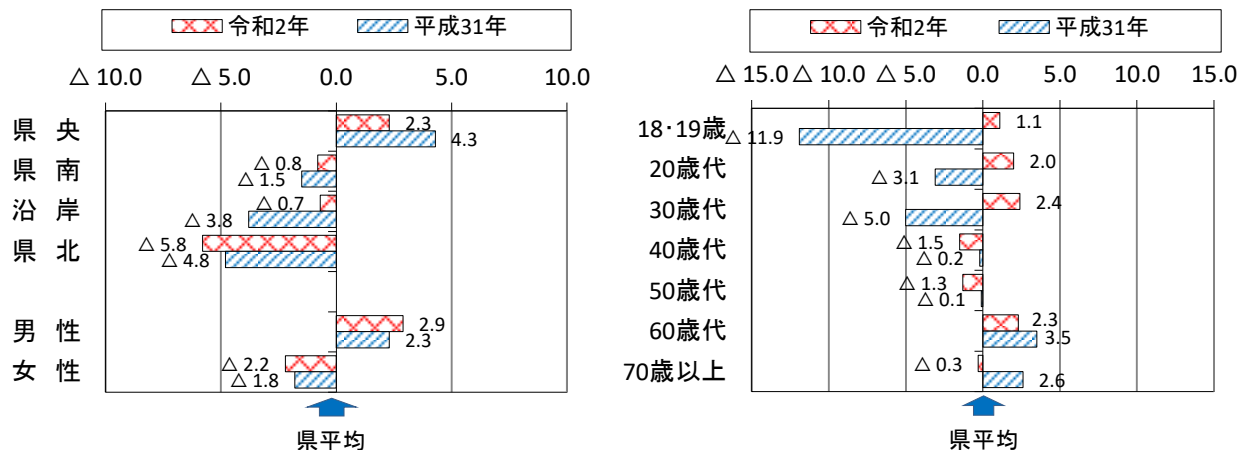
(1) 重要度について

重要が6割弱(58.3%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が58.3%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合6.8%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(60.6%)、男女別では男性(61.2%)、年代別では30歳代(60.7%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△5.8ポイント)、男女別では男性(2.9ポイント)、年代別では30歳代(2.4ポイント)となっている。



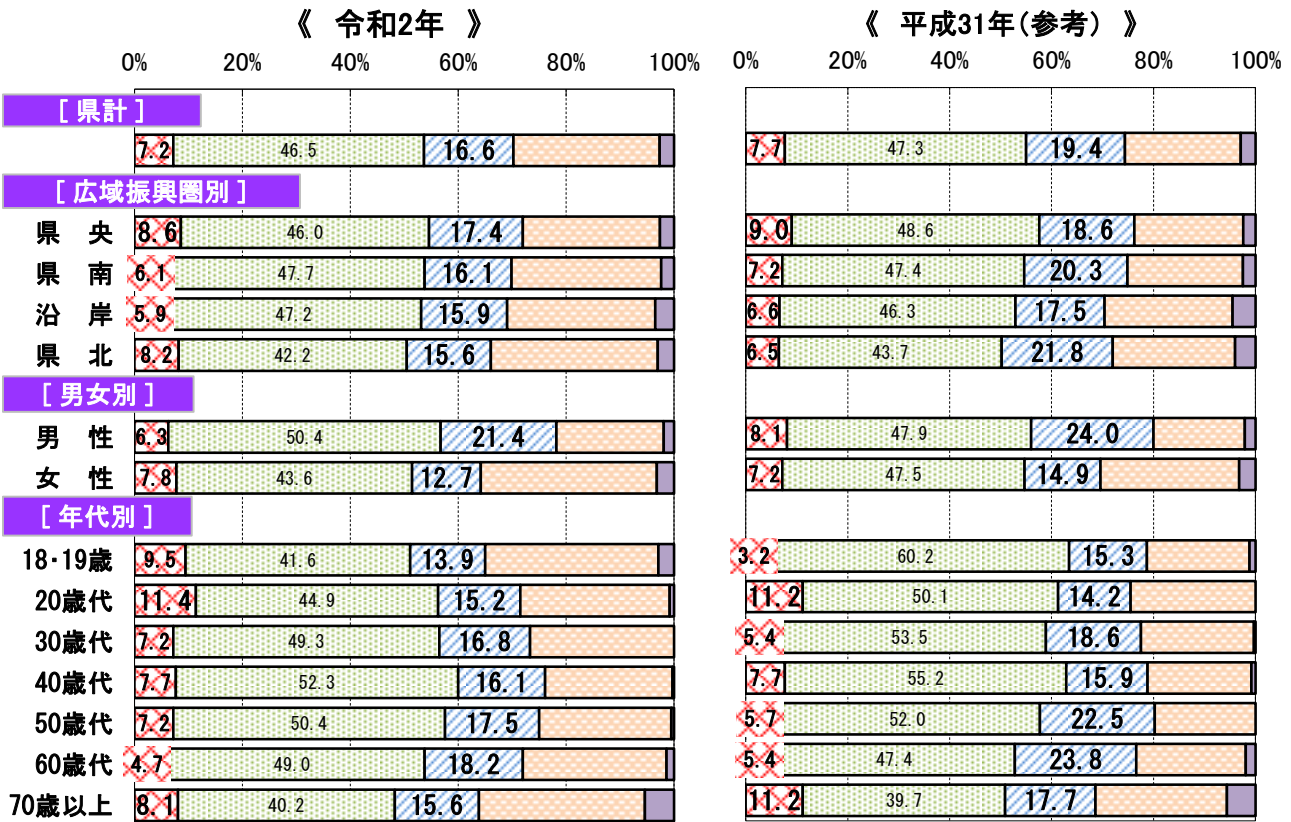
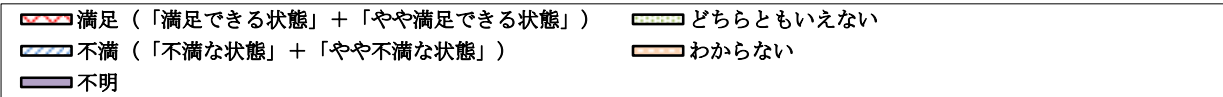
重要の割合の県平均との差



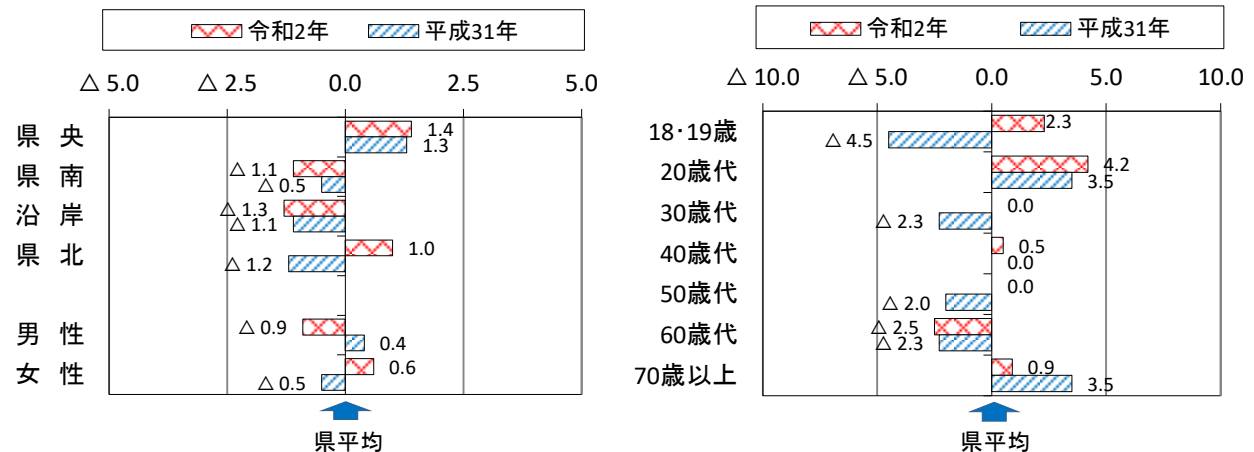
## (2) 満足度について

### 満足が1割弱(7.2%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が7.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合16.6%を下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(8.6%)、男女別では女性(7.8%)、年代別では20歳代(11.4%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.4ポイント)、男女別では男性(△0.9ポイント)、年代別では20歳代(4.2ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差



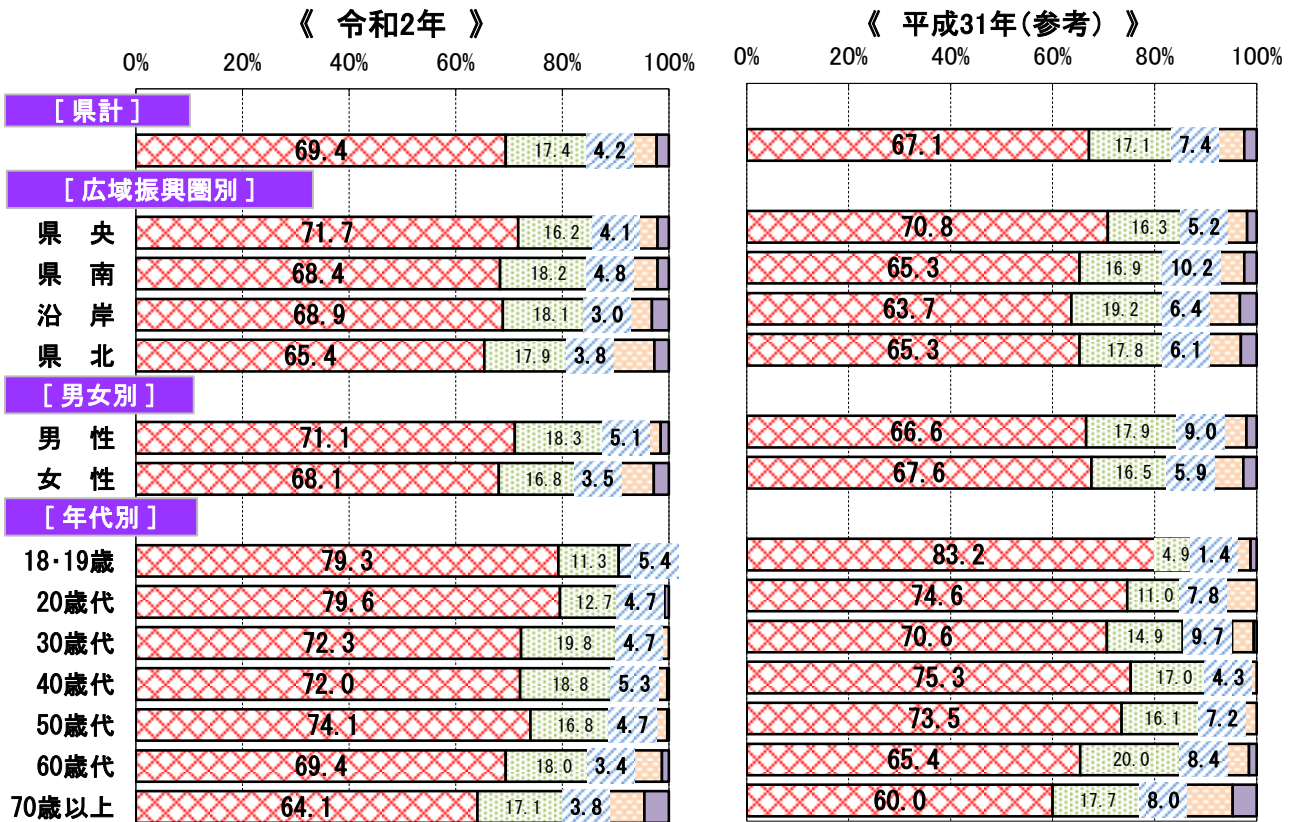
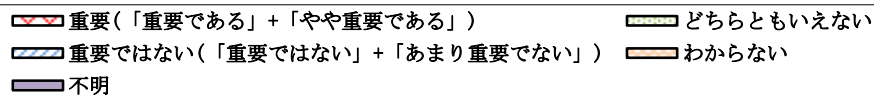


問2-41 魅力ある観光地づくりに、地域で取り組まれていること。

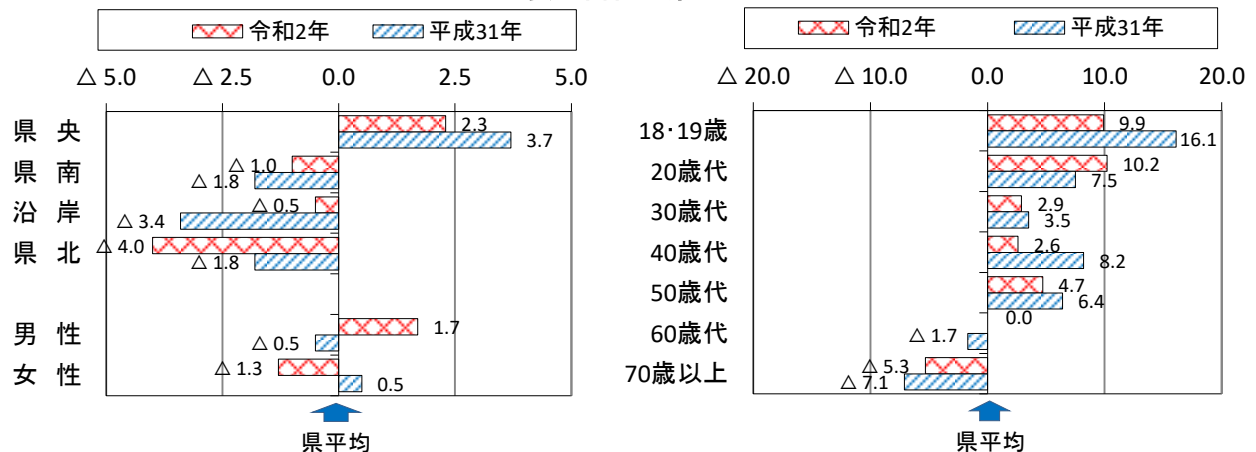
(1) 重要度について

重要が7割弱(69.4%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が69.4%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合4.2%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(71.7%)、男女別では男性(71.1%)、年代別では20歳代(79.6%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△4.0ポイント)、男女別では男性(1.7ポイント)、年代別では20歳代(10.2ポイント)となっている。



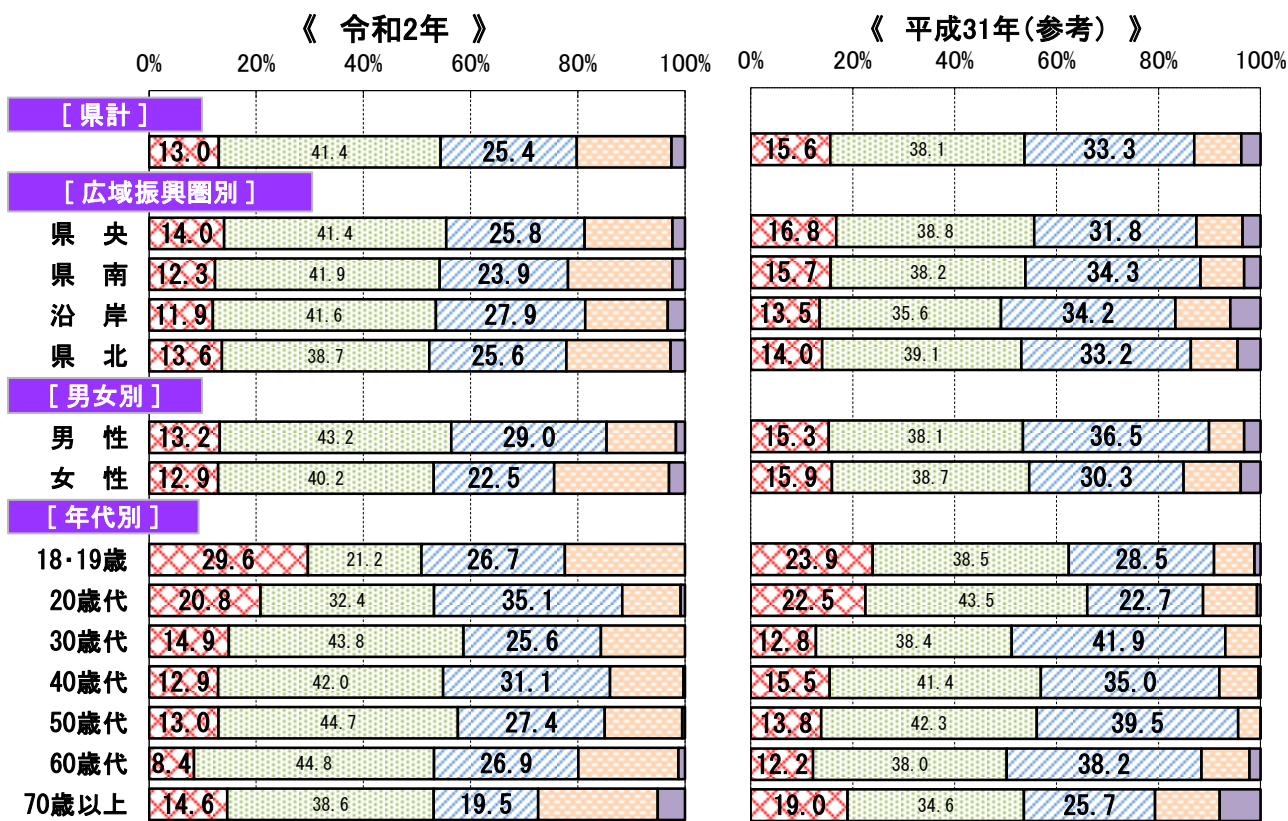
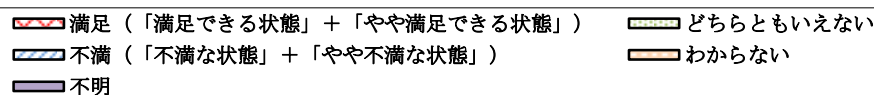
重要の割合の県平均との差



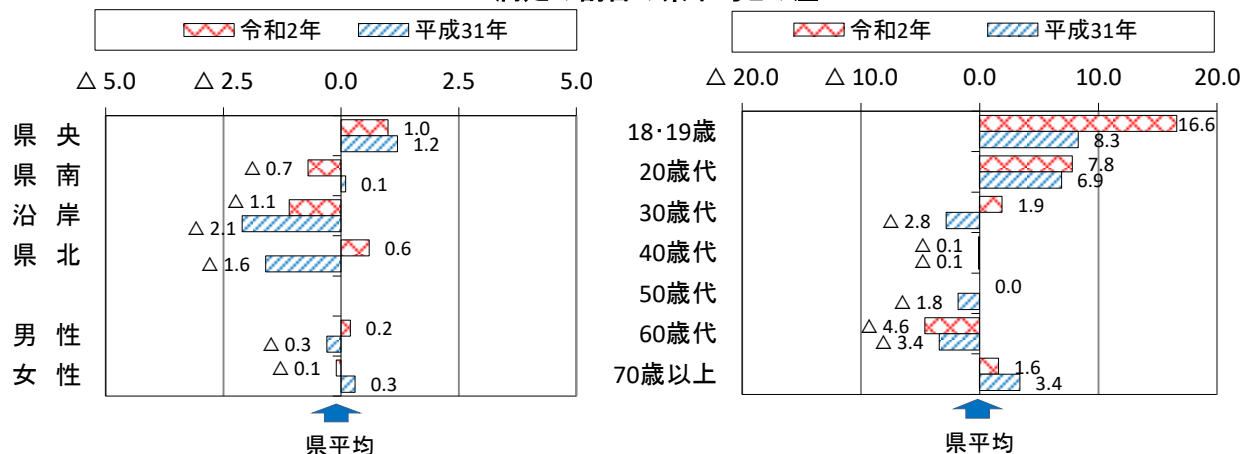
## (2) 満足度について

### 満足が1割強(13.0%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が13.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合25.4%を下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(14.0%)、男女別では男性(13.2%)、年代別では18・19歳(29.6%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△1.1ポイント)、男女別では男性(0.2ポイント)、年代別では18・19歳(16.6ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

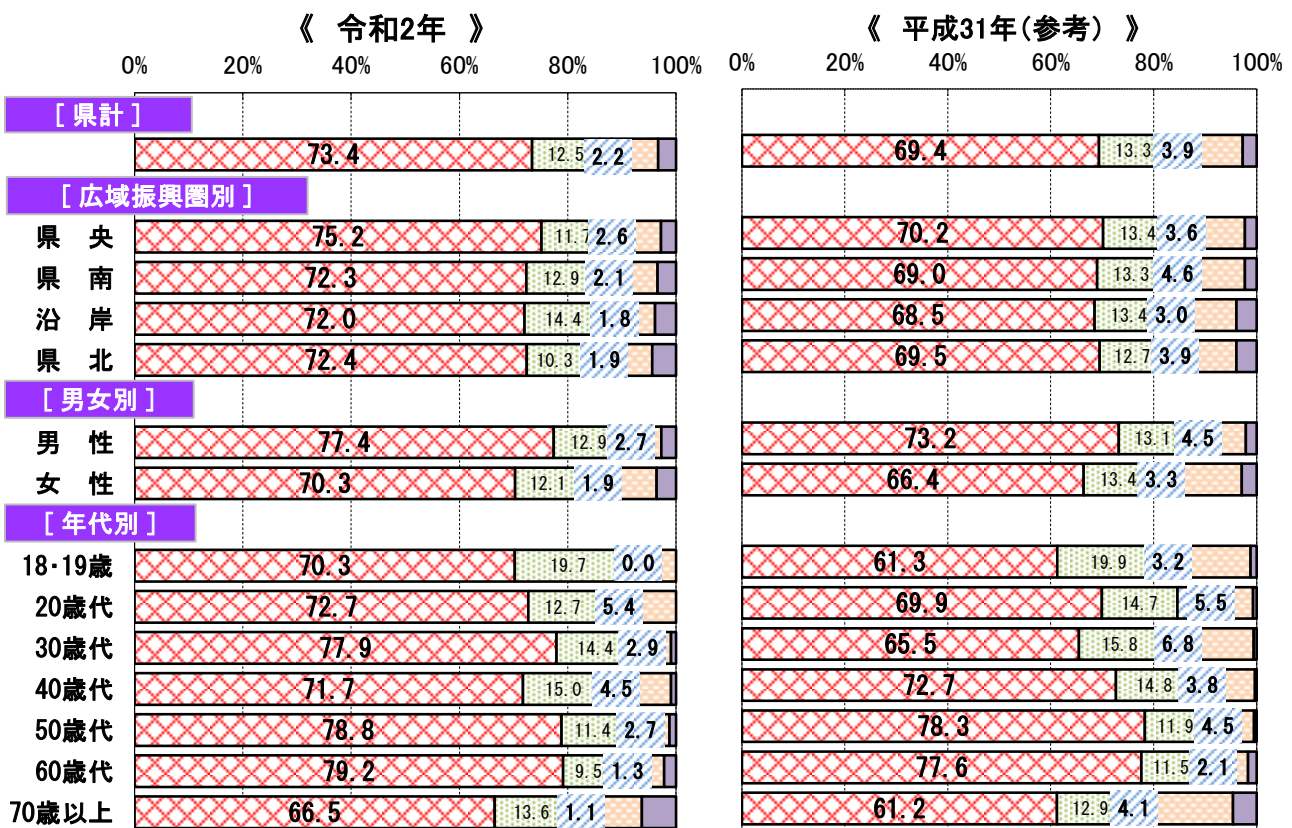
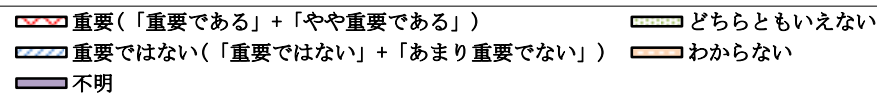


問2-42 地域の農林水産業の担い手が確保されていること。

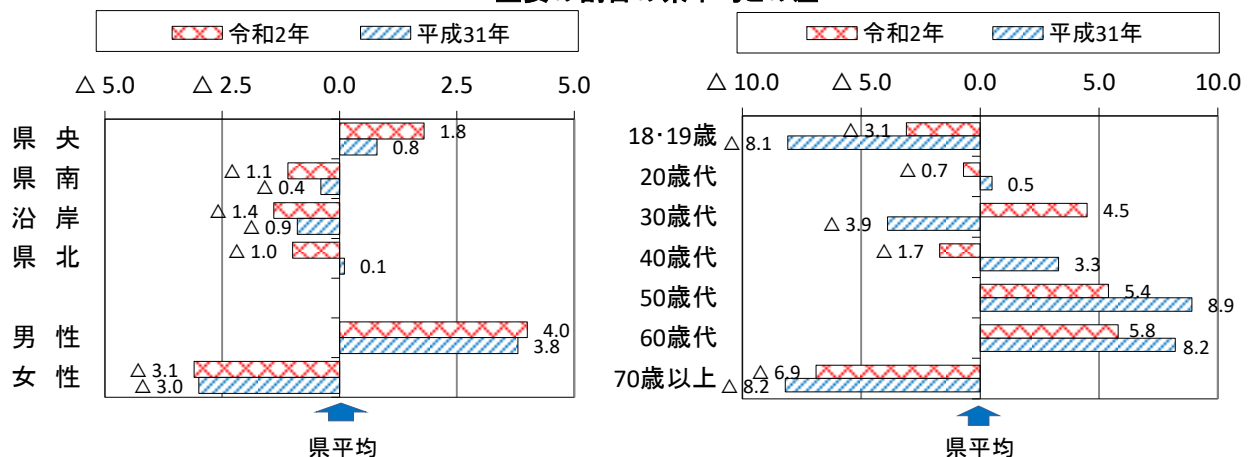
(1) 重要度について

重要が7割強(73.4%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が73.4%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合2.2%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(75.2%)、男女別では男性(77.4%)、年代別では60歳代(79.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.8ポイント)、男女別では男性(4.0ポイント)、年代別では70歳以上(△6.9ポイント)となっている。



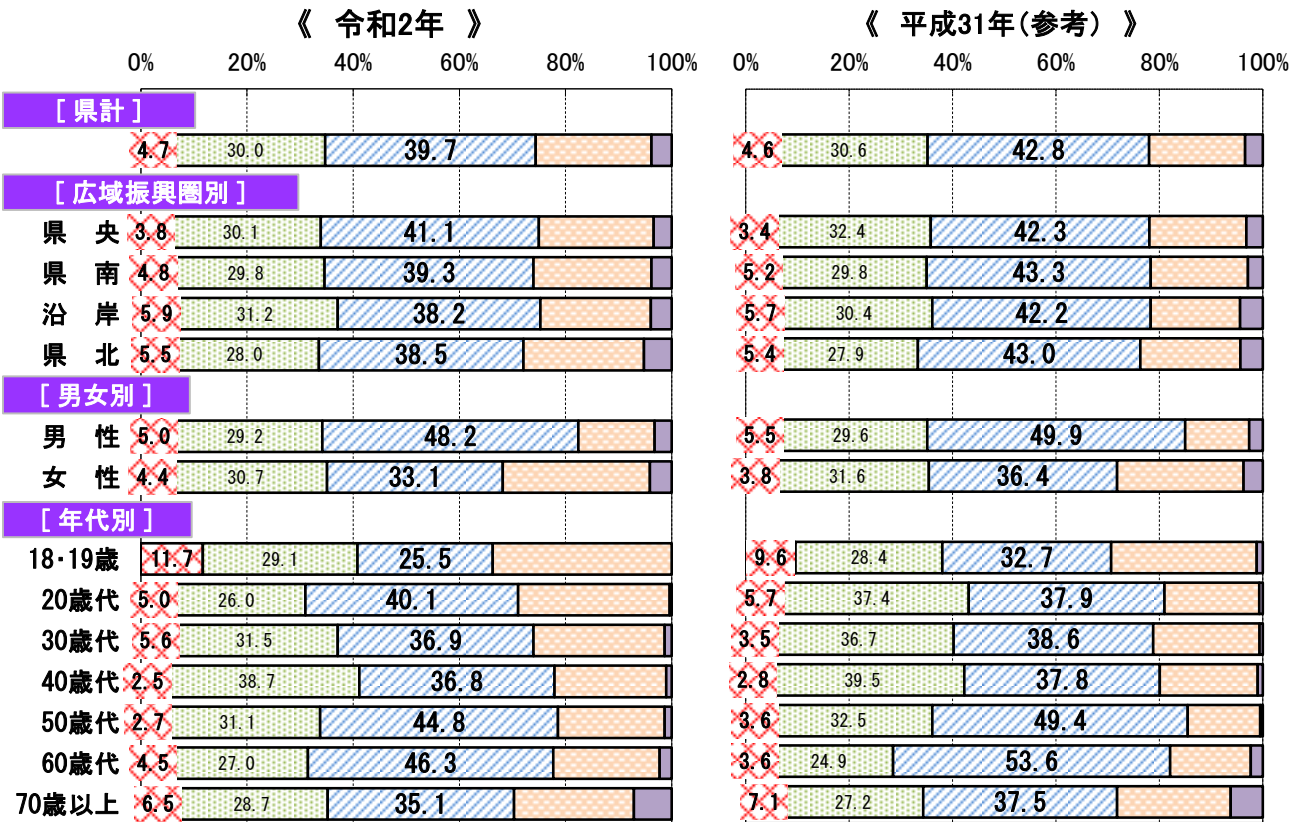
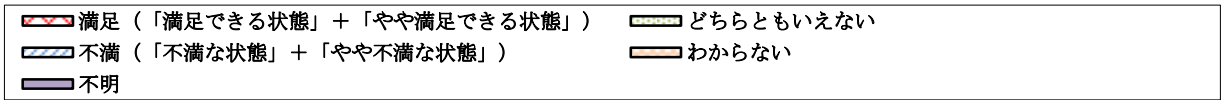
重要の割合の県平均との差



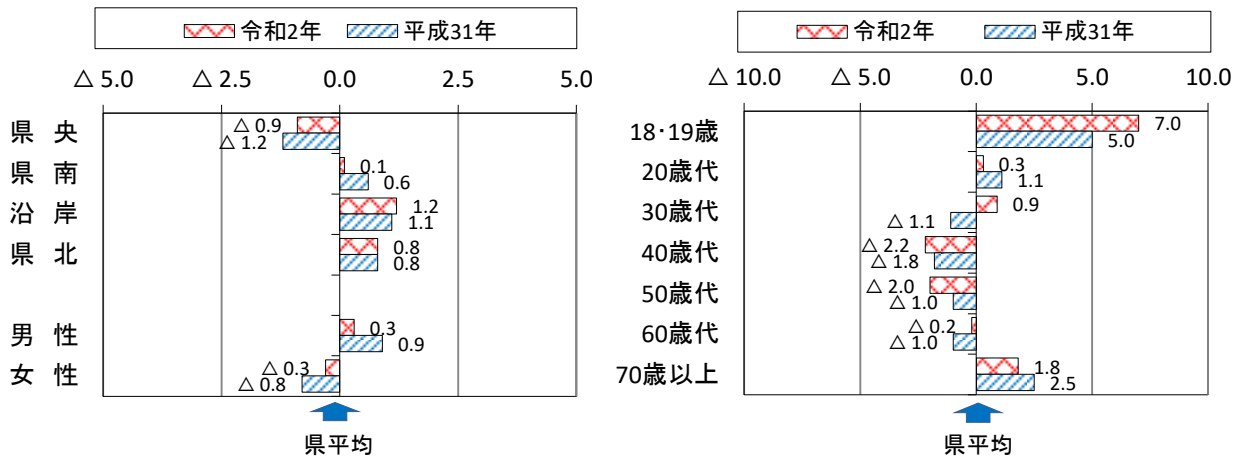
(2) 満足度について

満足が約 5% (4.7%)、不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が4.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合39.7%を大きく下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では沿岸(5.9%)、男女別では男性(5.0%)、年代別では18・19歳(11.7%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(1.2ポイント)、年代別では18・19歳(7.0ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

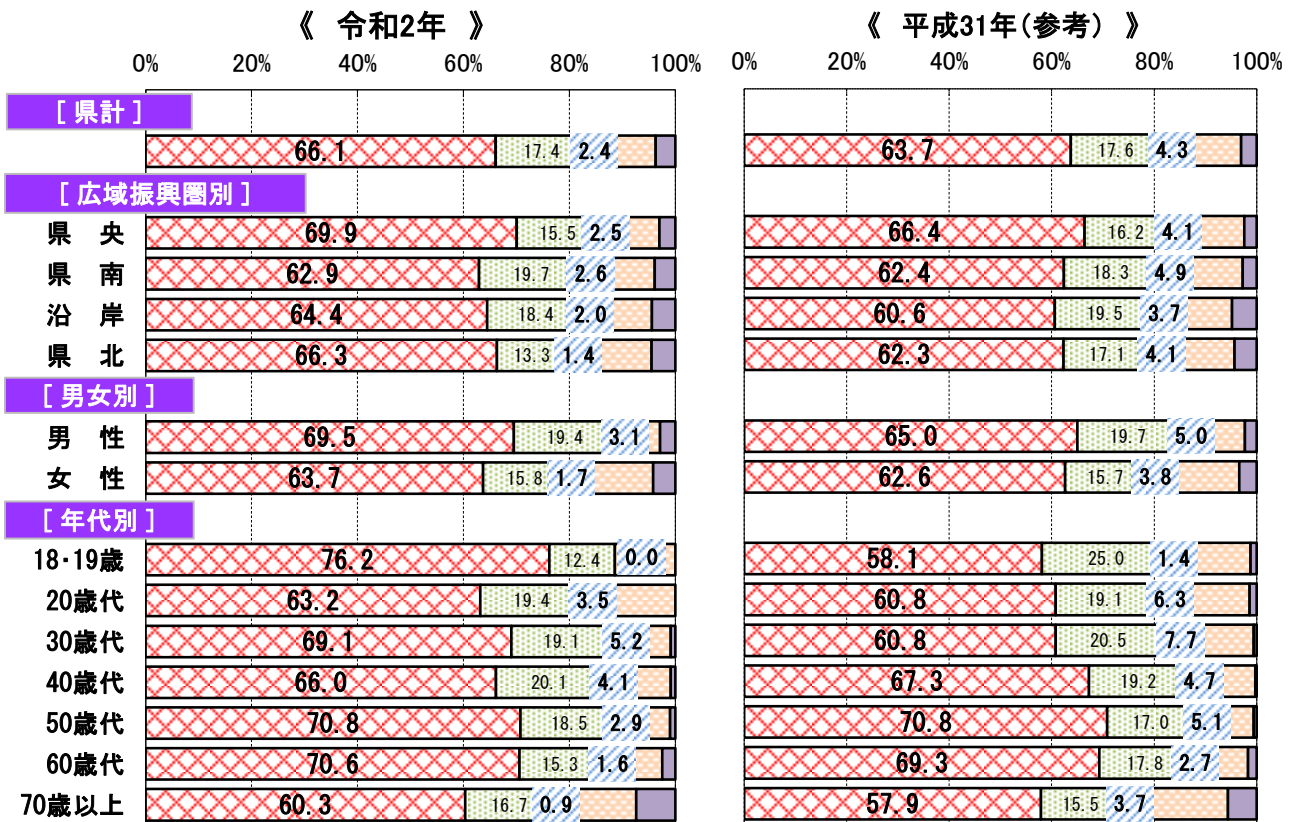
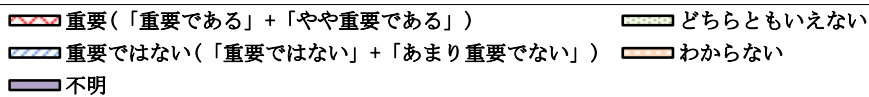


問2-43 消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されていること。

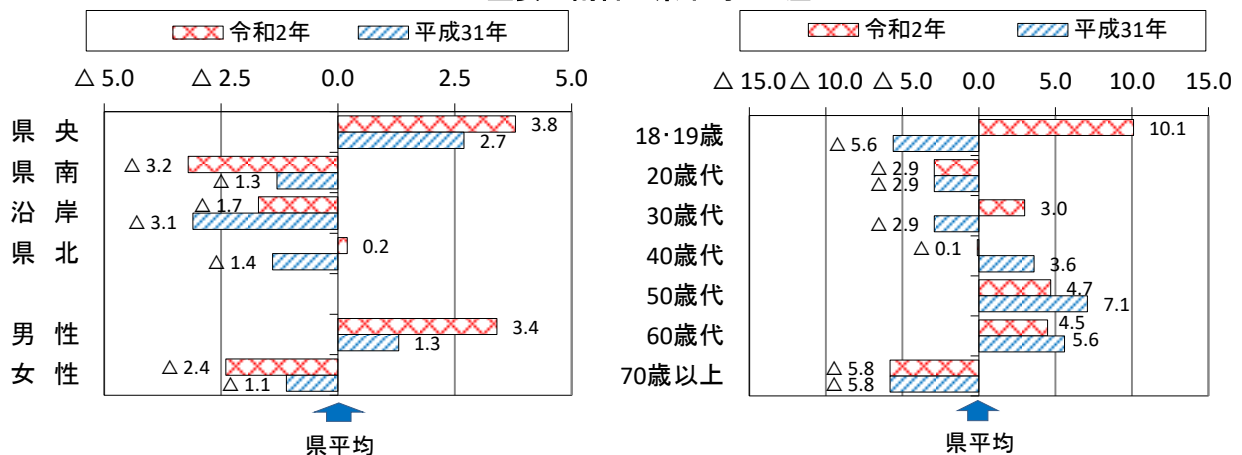
(1) 重要度について

重要が7割弱(66.1%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が66.1%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合2.4%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(69.9%)、男女別では男性(69.5%)、年代別では18・19歳(76.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(3.8ポイント)、男女別では男性(3.4ポイント)、年代別では18・19歳(10.1ポイント)となっている。



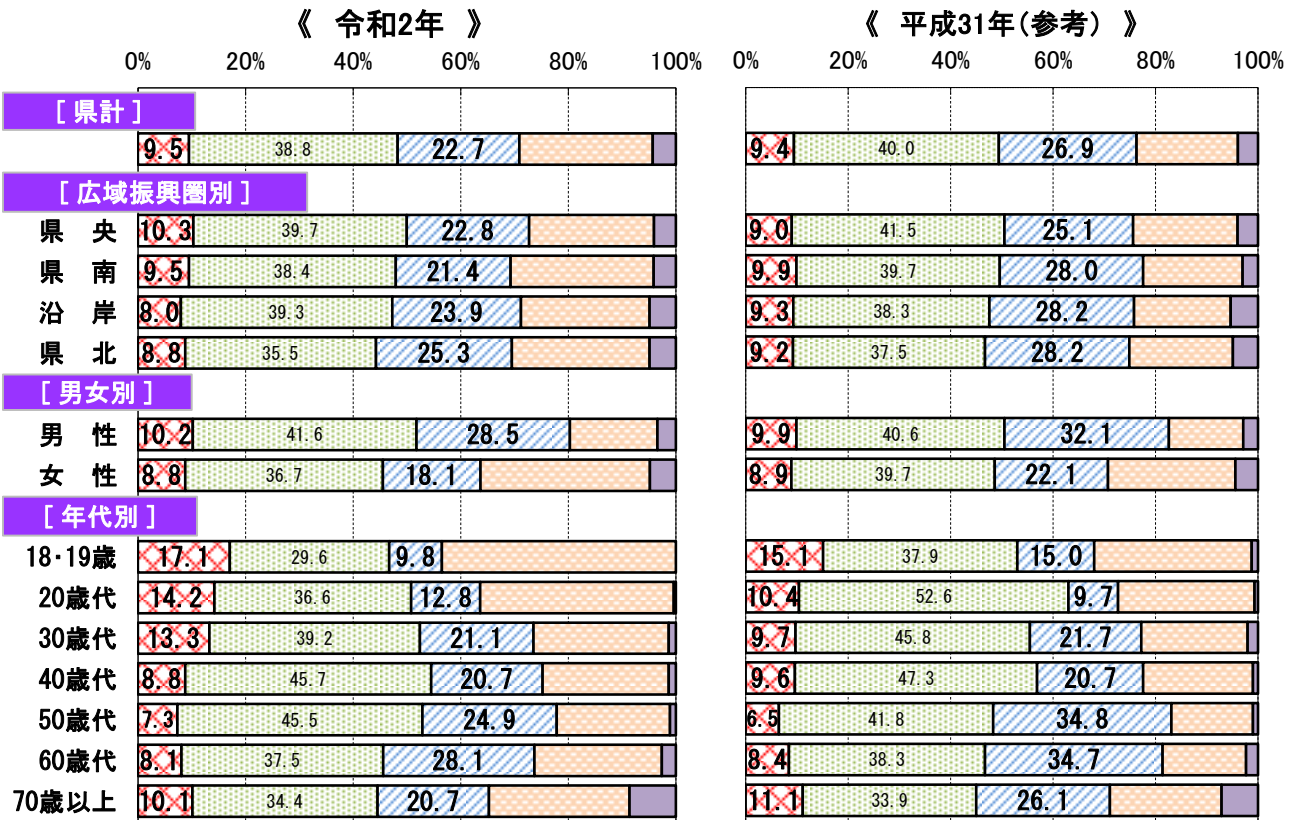
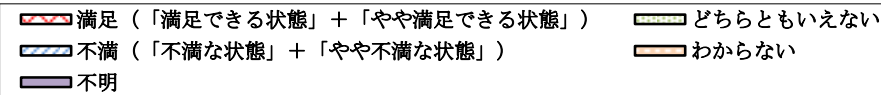
重要な割合の県平均との差



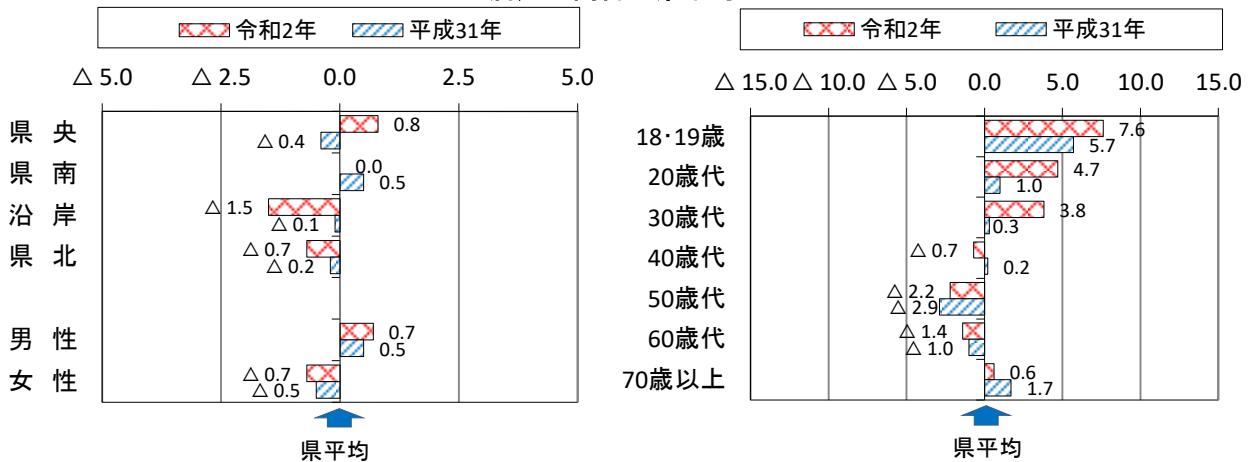
## (2) 満足度について

### 満足が約1割(9.5%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が9.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合22.7%を下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(10.3%)、男女別では男性(10.2%)、年代別では18・19歳(17.1%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△1.5ポイント)、年代別では18・19歳(7.6ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

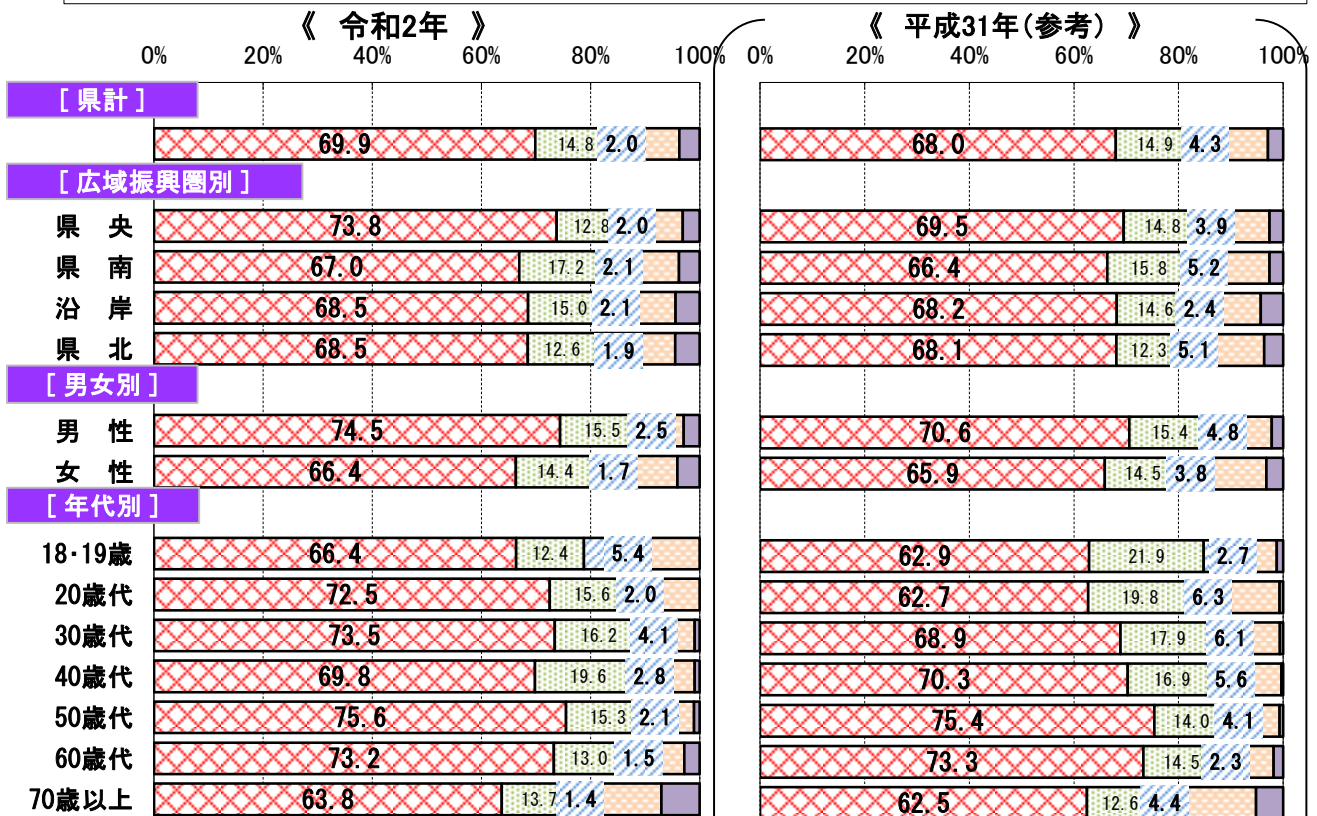
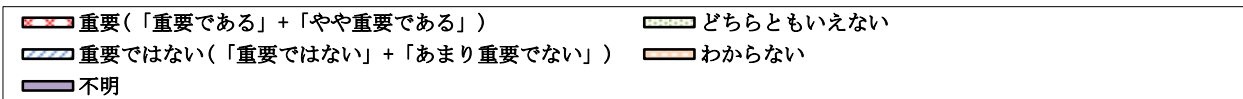


問2-44 本県農林水産物が評価され、販路が拡大していること。

(1) 重要度について

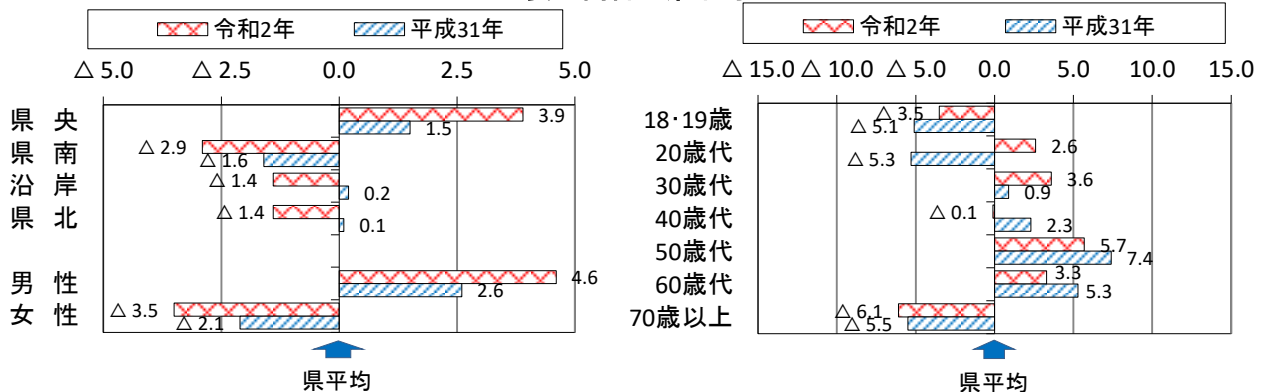
重要が約7割(69.9%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が69.9%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合2.0%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(73.8%)、男女別では男性(74.5%)、年代別では50歳代(75.6%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(3.9ポイント)、男女別では男性(4.6ポイント)、年代別では70歳以上(△6.1ポイント)となっている。



前回調査「本県農林水産物がブランドとして確立され、販路が拡大していること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

重要の割合の県平均との差

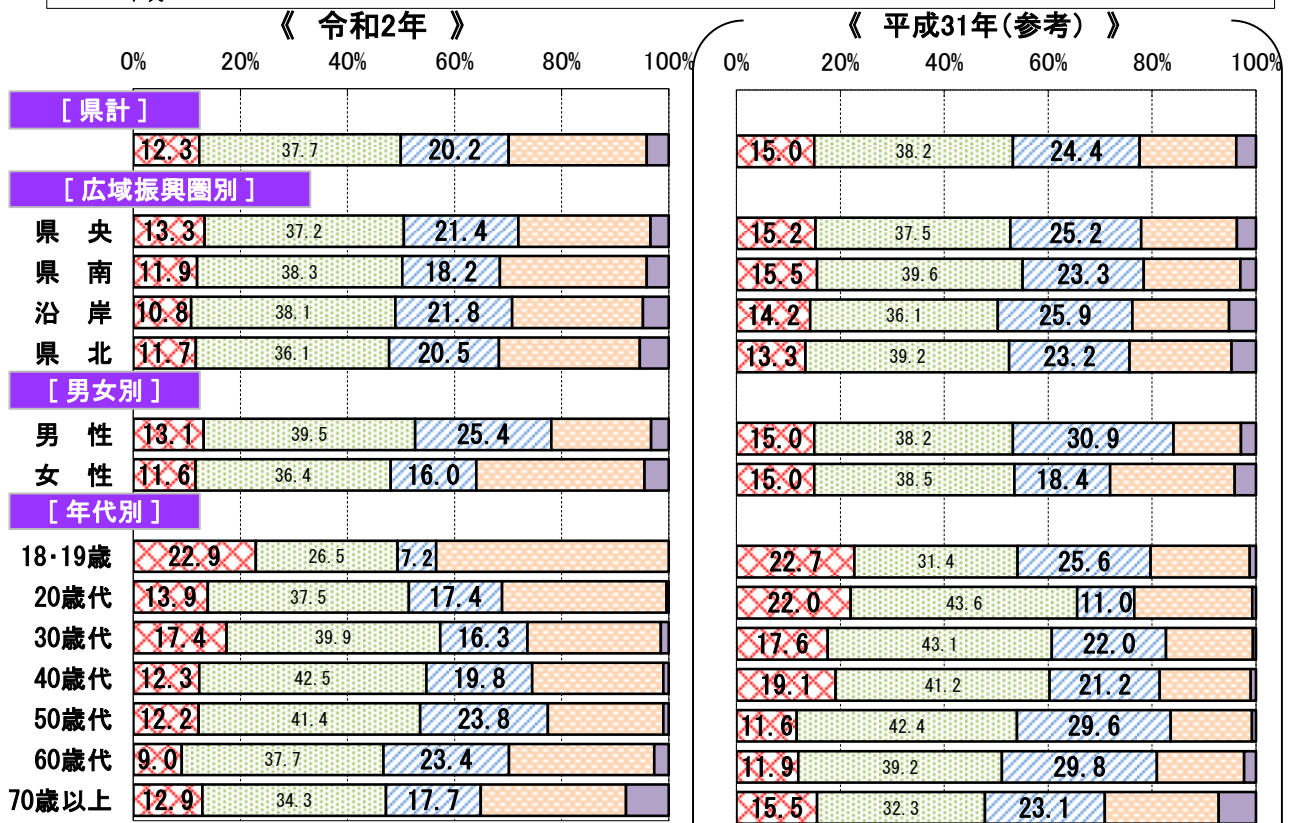


## (2) 満足度について

### 満足が1割強(12.3%)、不満を下回る

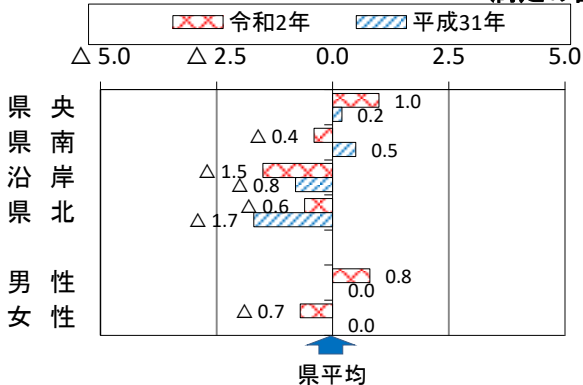
- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が12.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合20.2%を下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(13.3%)、男女別では男性(13.1%)、年代別では18・19歳(22.9%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△1.5ポイント)、男女別では男性(0.8ポイント)、年代別では18・19歳(10.6ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
  不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
  不明
  どちらともいえない
  わからない



前回調査「本県農林水産物がブランドとして確立され、販路が拡大していること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差



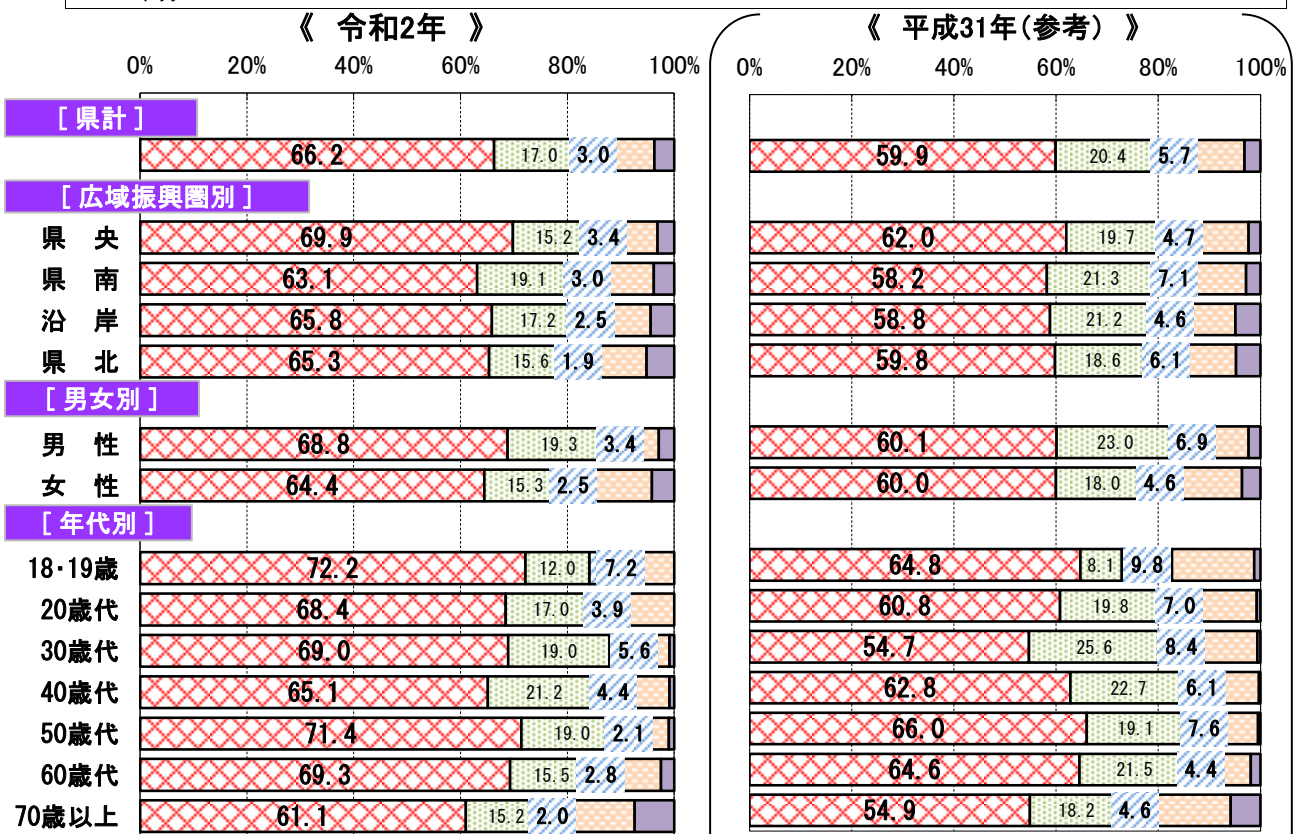
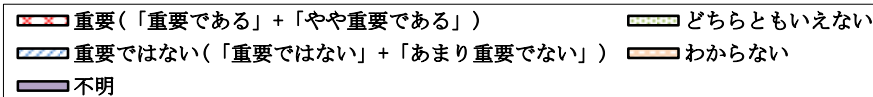


問2-45 生産者や地域住民などとの地域活動や都市との交流により活力ある農山漁村が形成されていること。

(1) 重要度について

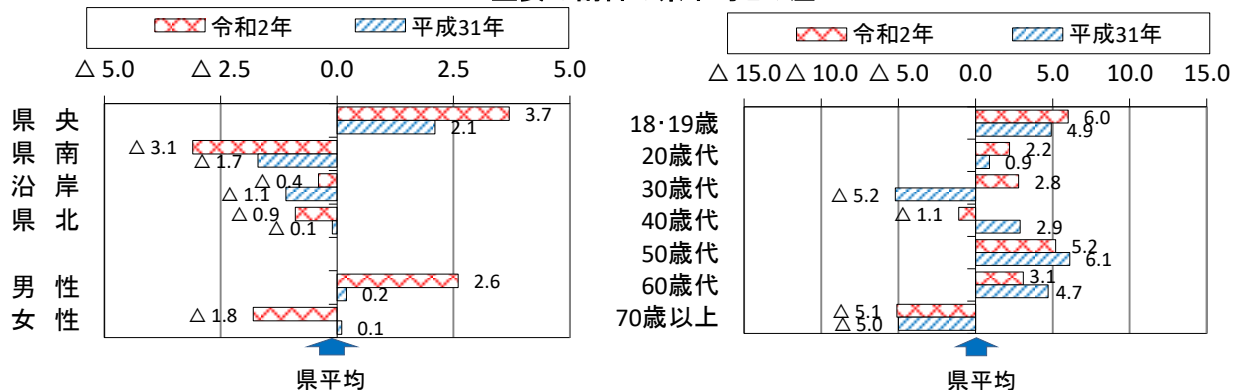
重要が7割弱(66.2%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が66.2%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合3.0%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(69.9%)、男女別では男性(68.8%)、年代別では18・19歳(72.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(3.7ポイント)、男女別では男性(2.6ポイント)、年代別では18・19歳(6.0ポイント)となっている。



前回調査「地域活動や都市との交流により活力ある農山漁村が形成されていること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

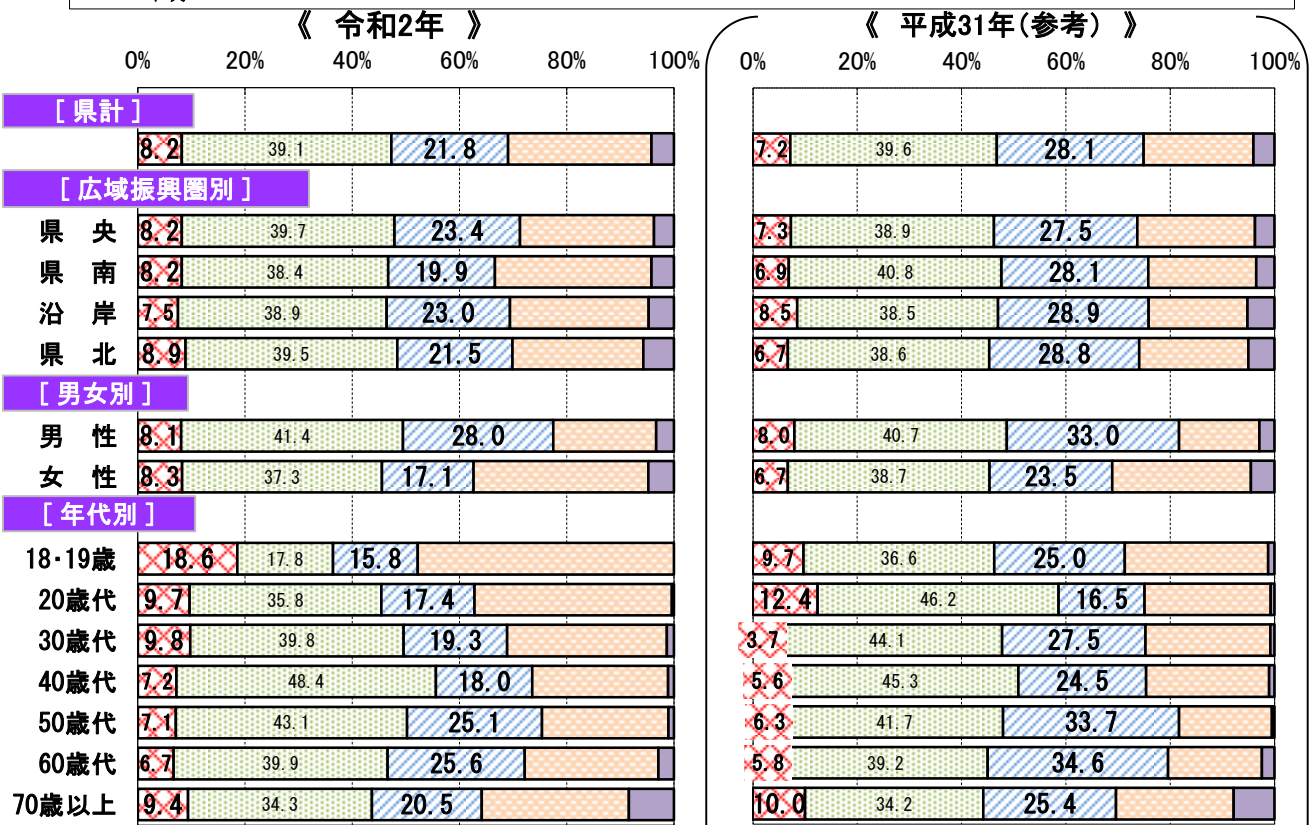
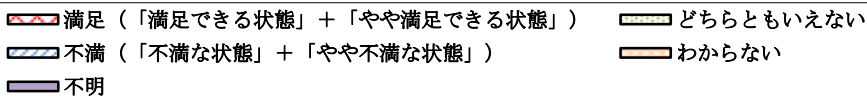
重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

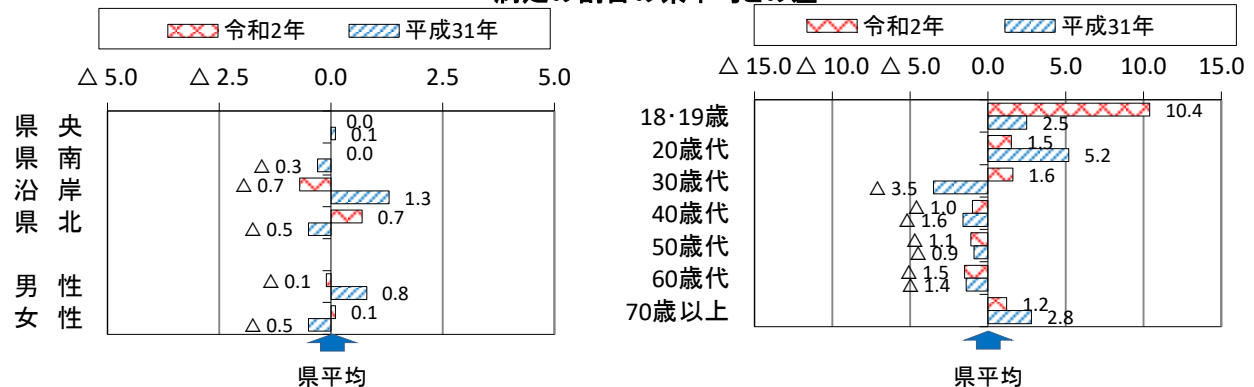
### 満足が1割弱(8.2%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が8.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合21.8%を下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(8.9%)、男女別では女性(8.3%)、年代別では18・19歳(18.6%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△0.7ポイント)及び県北(0.7ポイント)、年代別では18・19歳(10.4ポイント)となっている。



前回調査「地域活動や都市との交流により活力ある農山漁村が形成されていること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

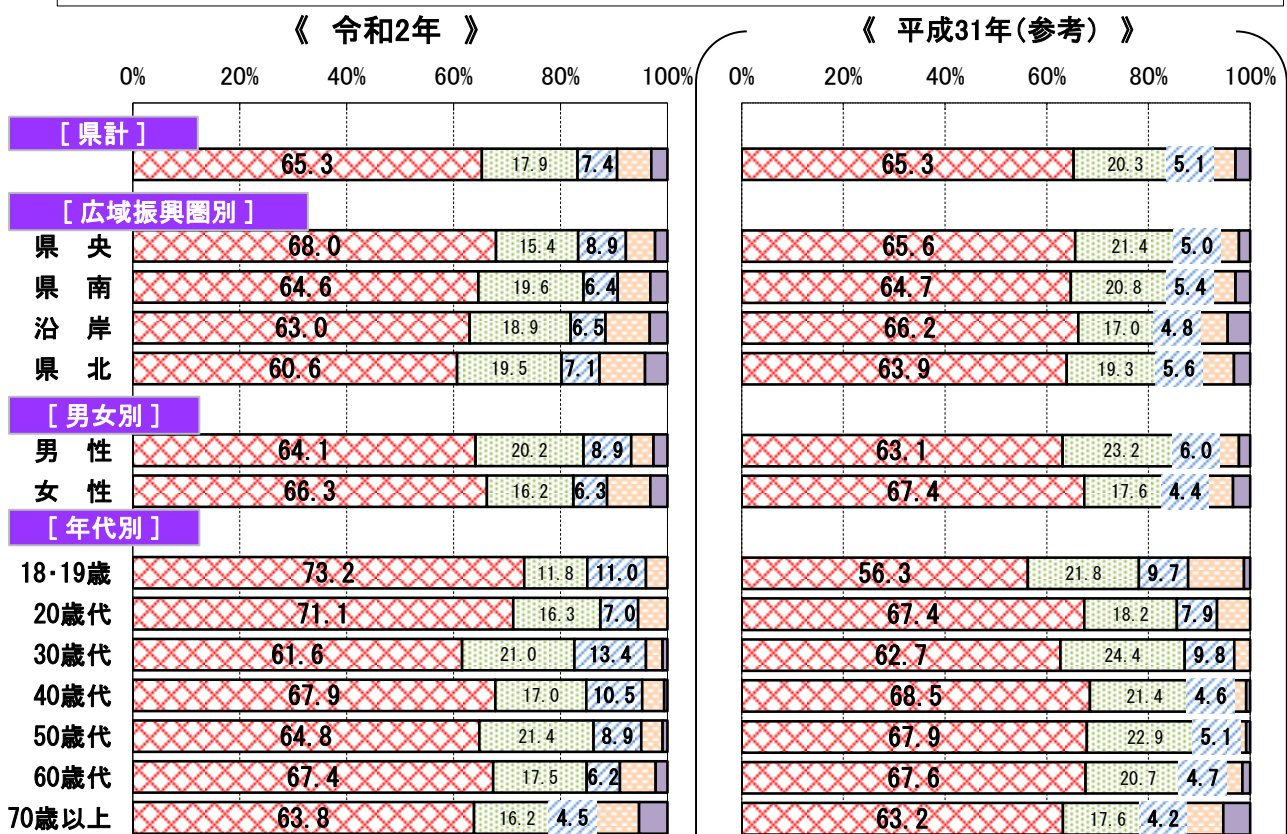
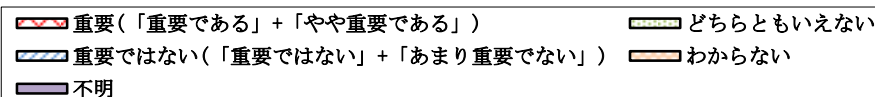


問2-46 世界遺産を守り将来に伝えていくための取組が行われていること。

(1) 重要度について

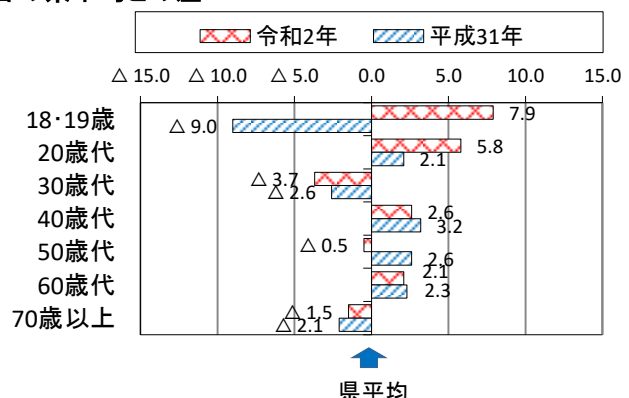
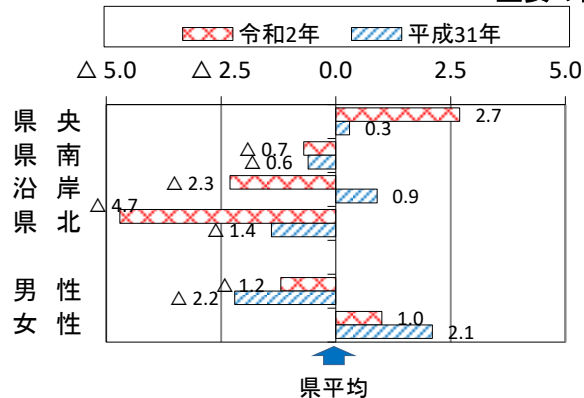
重要が約65% (65.3%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が65.3%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合7.4%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(68.0%)、男女別では女性(66.3%)、年代別では18・19歳(73.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△4.7ポイント)、男女別では男性(△1.2ポイント)、年代別では18・19歳(7.9ポイント)となっている。



前回調査「郷土の歴史遺産や伝統文化に、誇りや愛着を持てるような取組がされていること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

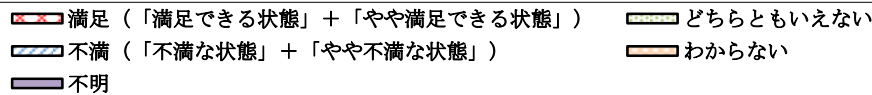
重要の割合の県平均との差



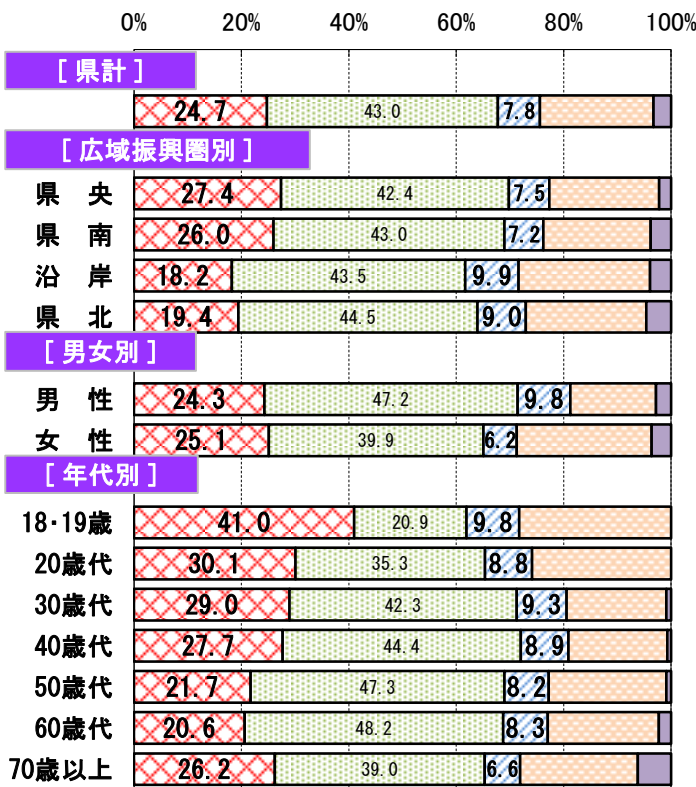
## (2) 満足度について

### 満足が約25% (24.7%)、不満を上回る

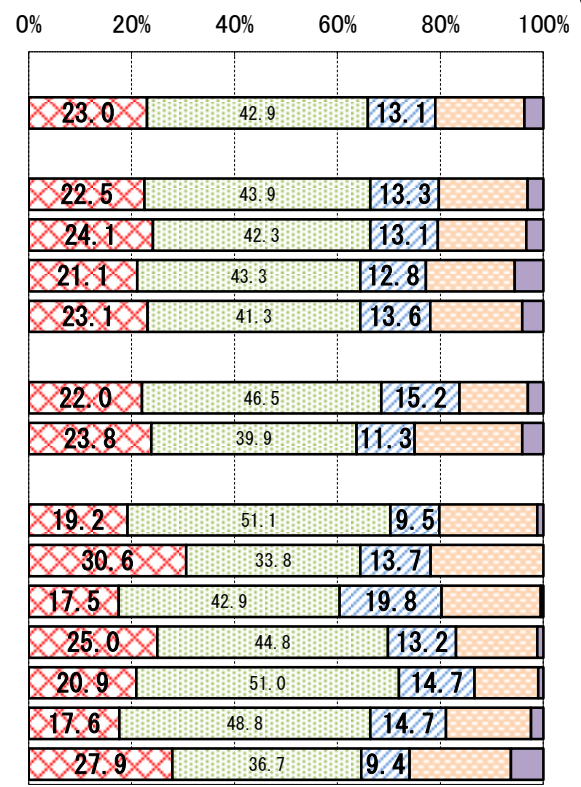
- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が24.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合7.8%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(27.4%)、男女別では女性(25.1%)、年代別では18・19歳(41.0%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△6.5ポイント)、年代別では18・19歳(16.3ポイント)となっている。



### 《 令和2年 》



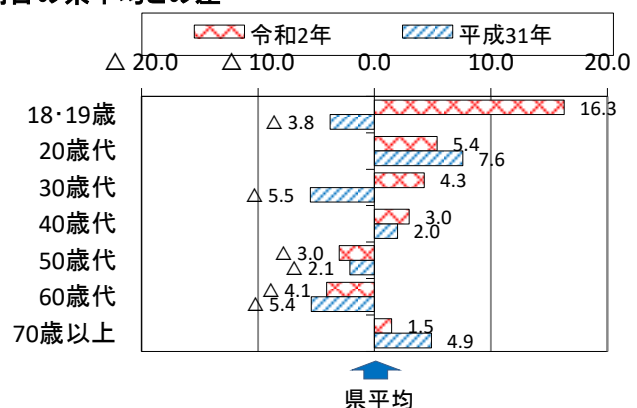
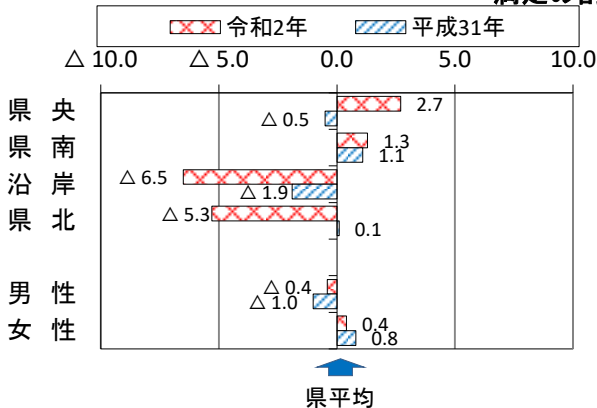
### 《 平成31年(参考) 》



前回調査「郷土の歴史遺産や伝統文化に、誇りや愛着を持てるような取組がされていること。」

※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

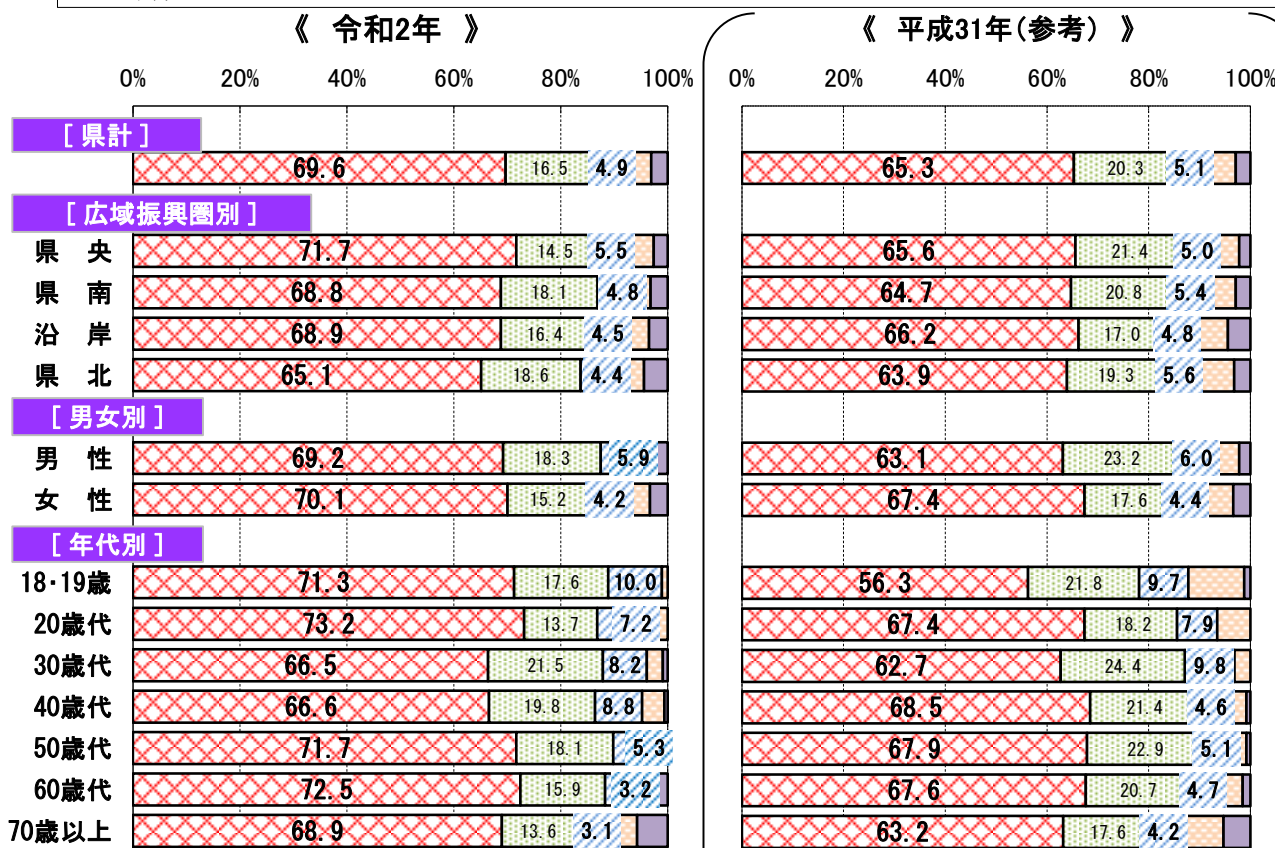
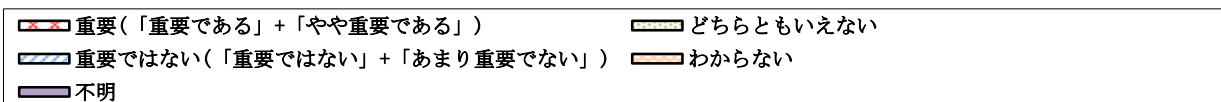


問2-47 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境であること。

(1) 重要度について

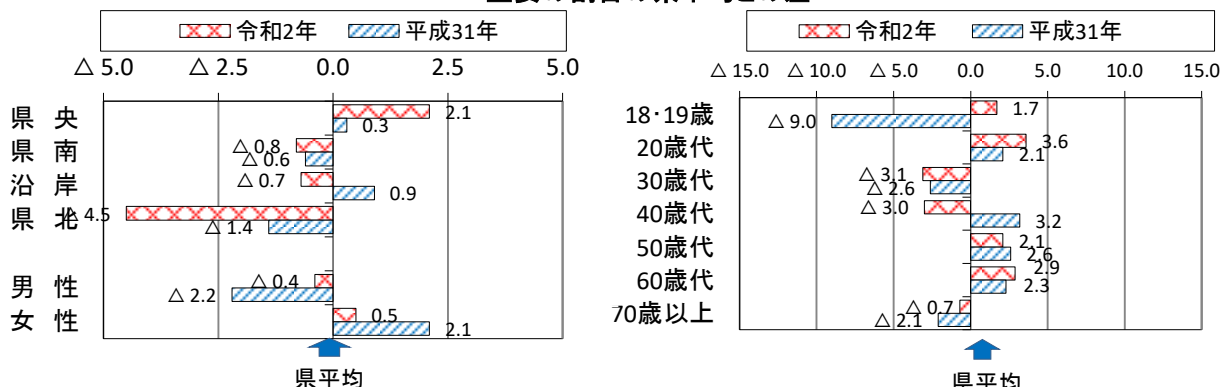
重要が約7割(69.6%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が69.6%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合4.9%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(71.7%)、男女別では女性(70.1%)、年代別では20歳代(73.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△4.5ポイント)、男女別では女性(0.5ポイント)、年代別では20歳代(3.6ポイント)となっている。



前回調査「郷土の歴史遺産や伝統文化に、誇りや愛着を持てるような取組がされていること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

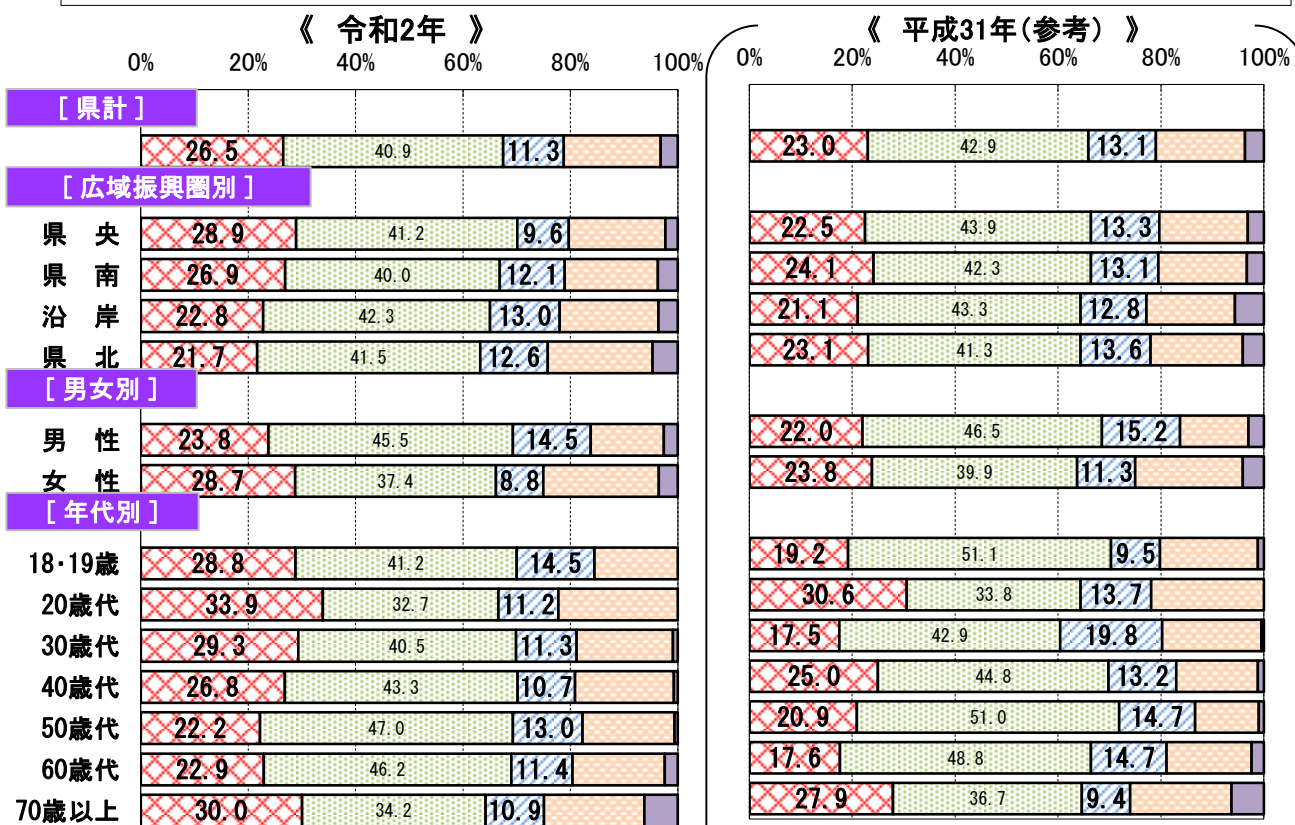
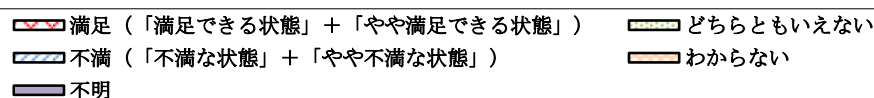
重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

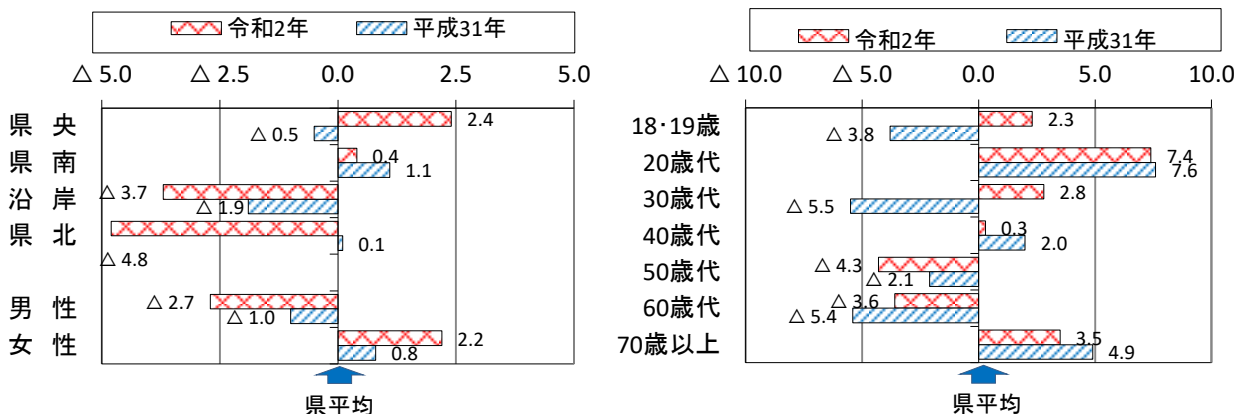
### 満足が3割弱(26.5%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が26.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合11.3%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(28.9%)、男女別では女性(28.7%)、年代別では20歳代(33.9%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△4.8ポイント)、男女別では男性(△2.7ポイント)、年代別では20歳代(7.4ポイント)となっている。



前回調査「郷土の歴史遺産や伝統文化に、誇りや愛着を持てるような取組がされていること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

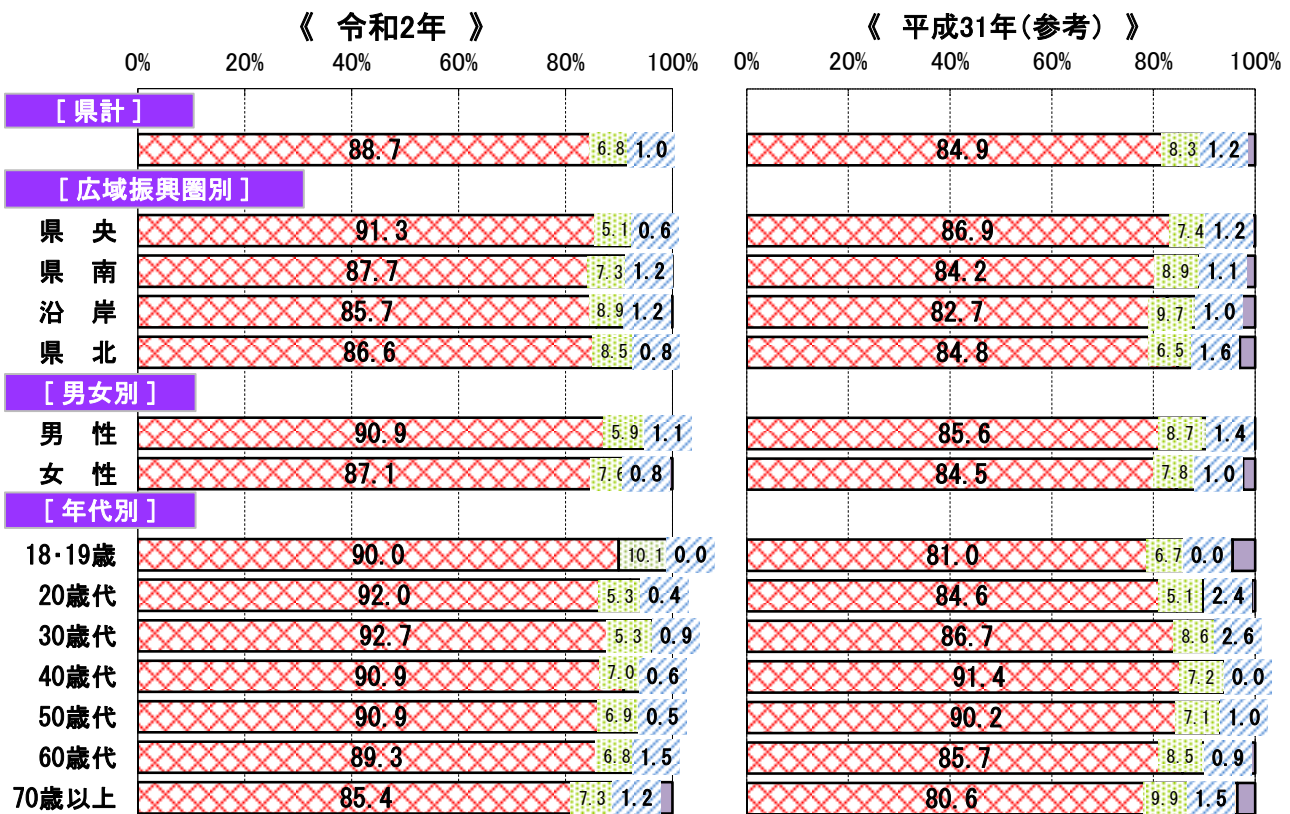
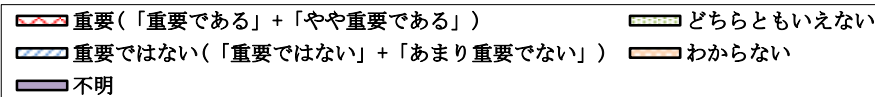


問2-48 大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動植物を大切にしながら生活していること。

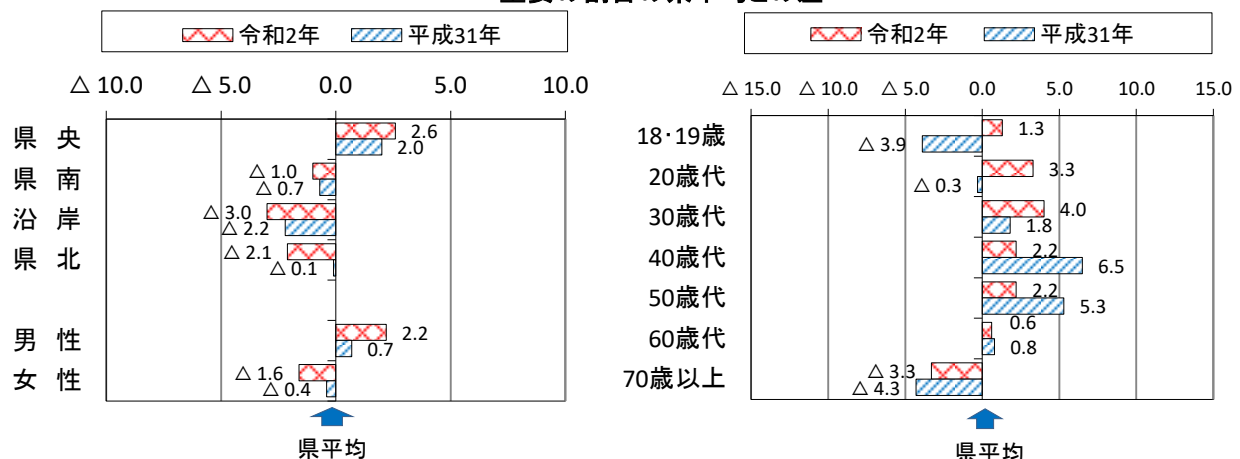
(1) 重要度について

重要が9割弱(88.7%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が88.7%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合1.0%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(91.3%)、男女別では男性(90.9%)、年代別では30歳代(92.7%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△3.0ポイント)、男女別では男性(2.2ポイント)、年代別では30歳代(4.0ポイント)となっている。



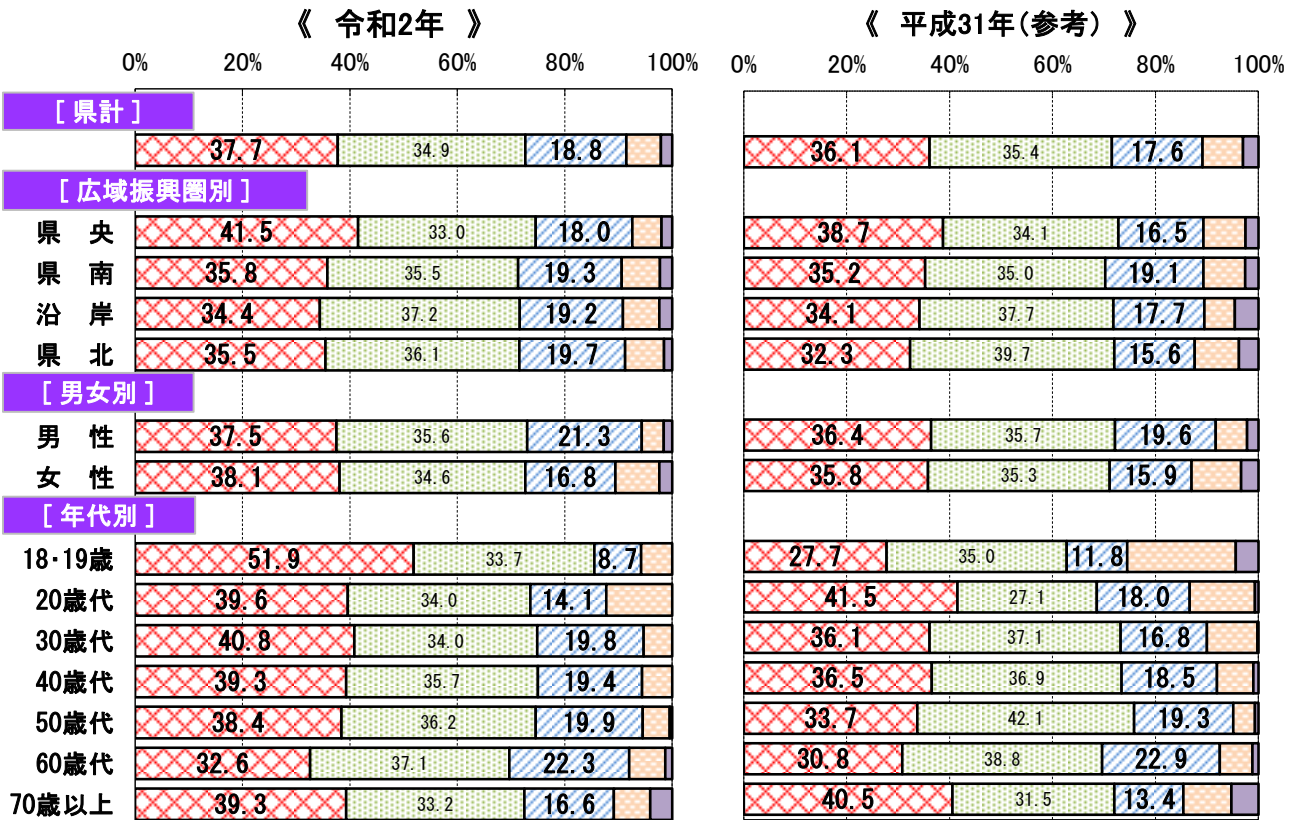
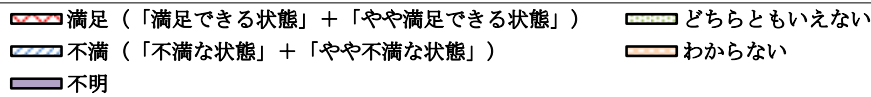
重要の割合の県平均との差



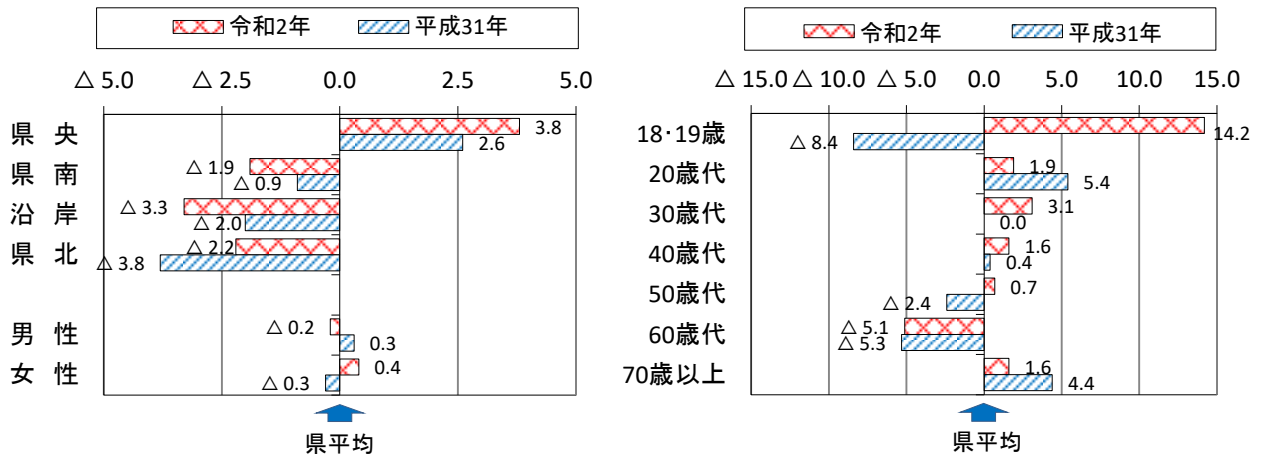
## (2) 満足度について

### 満足が4割弱(37.7%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が37.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合18.8%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(41.5%)、男女別では女性(38.1%)、年代別では18・19歳(51.9%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(3.8ポイント)、男女別では女性(0.4ポイント)、年代別では18・19歳(14.2ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差



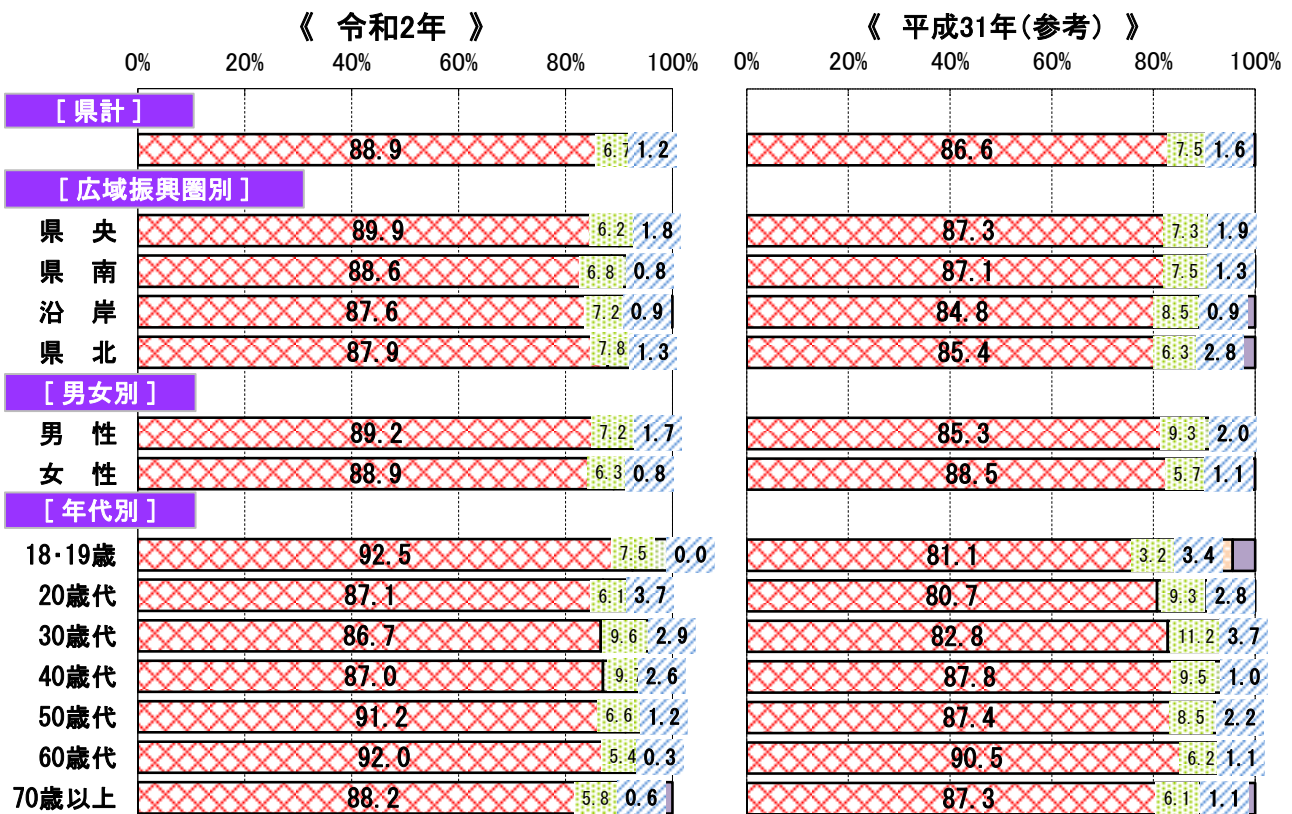
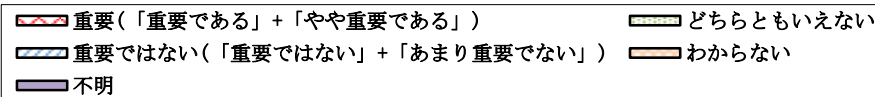


問2-49 ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル(資源ごみの分別など)が定着していること。

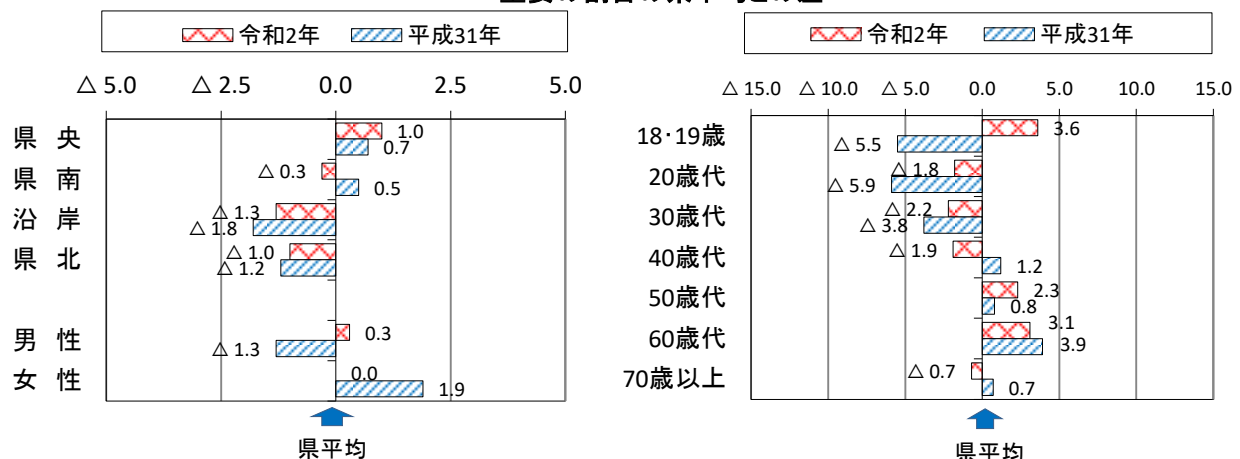
(1) 重要度について

重要が9割弱(88.9%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が88.9%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合1.2%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(89.9%)、男女別では男性(89.2%)、年代別では18・19歳(92.5%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△1.3ポイント)、男女別では男性(0.3ポイント)、年代別では18・19歳(3.6ポイント)となっている。



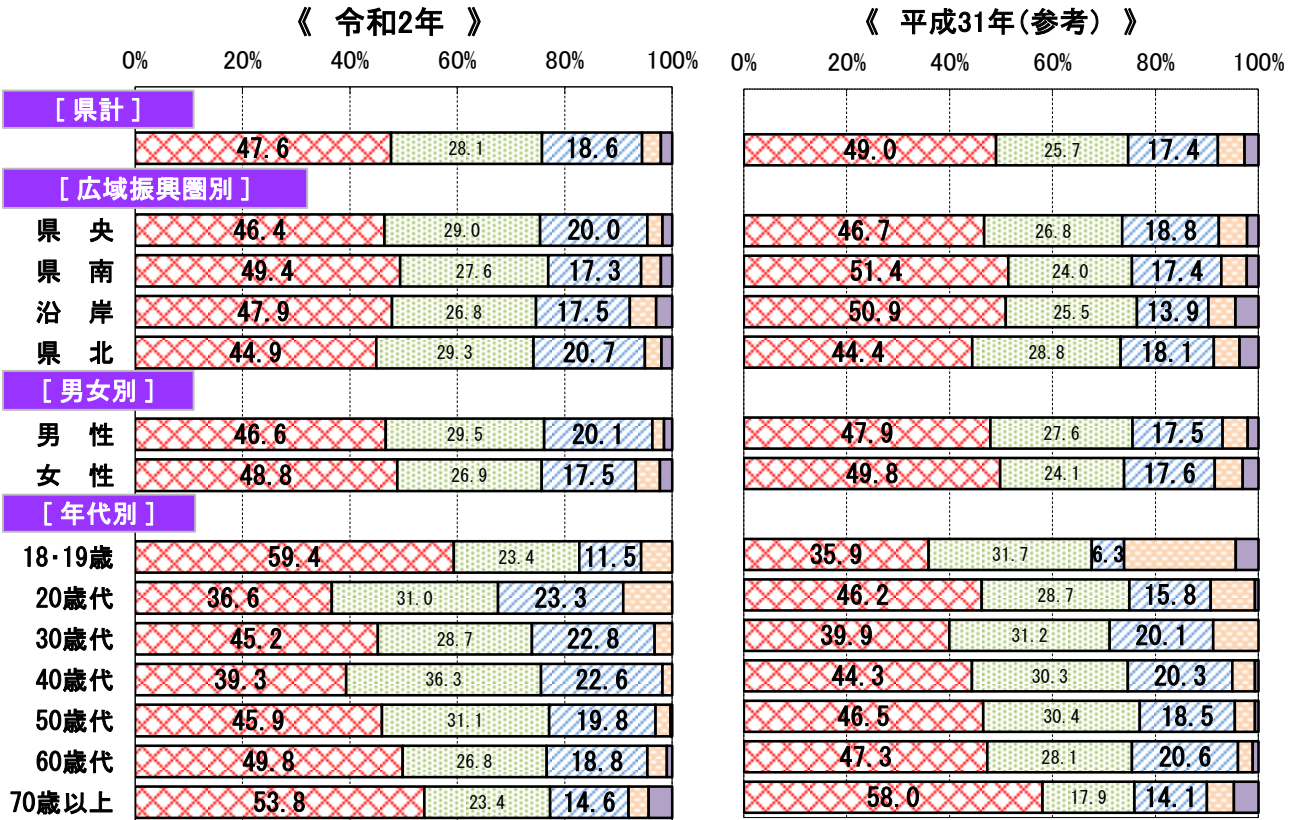
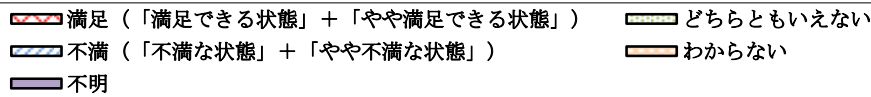
重要の割合の県平均との差



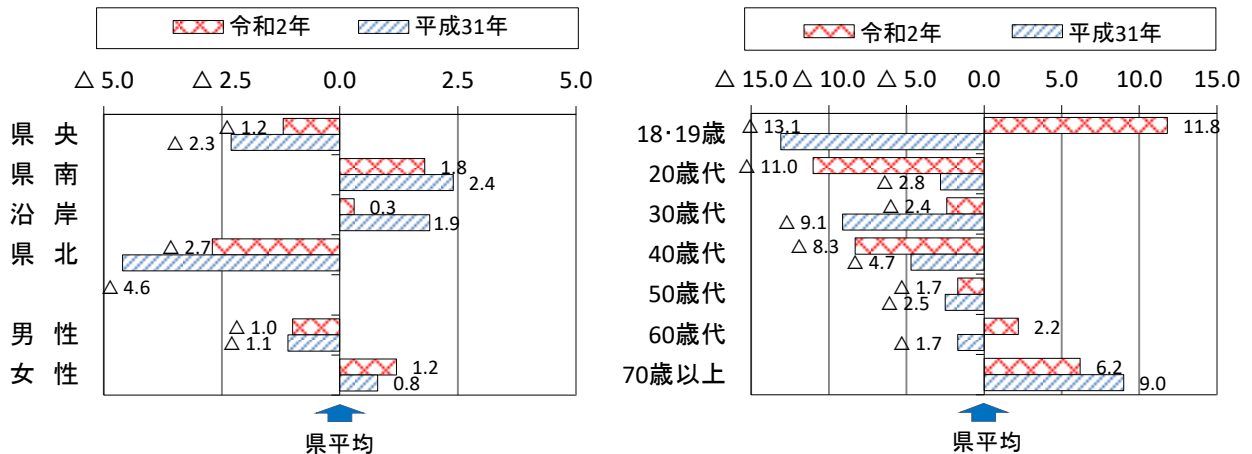
## (2) 満足度について

### 満足が5割弱(47.6%)、不満を大きく上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が47.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合18.6%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(49.4%)、男女別では女性(48.8%)、年代別では18・19歳(59.4%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△2.7ポイント)、男女別では女性(1.2ポイント)、年代別では18・19歳(11.8ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

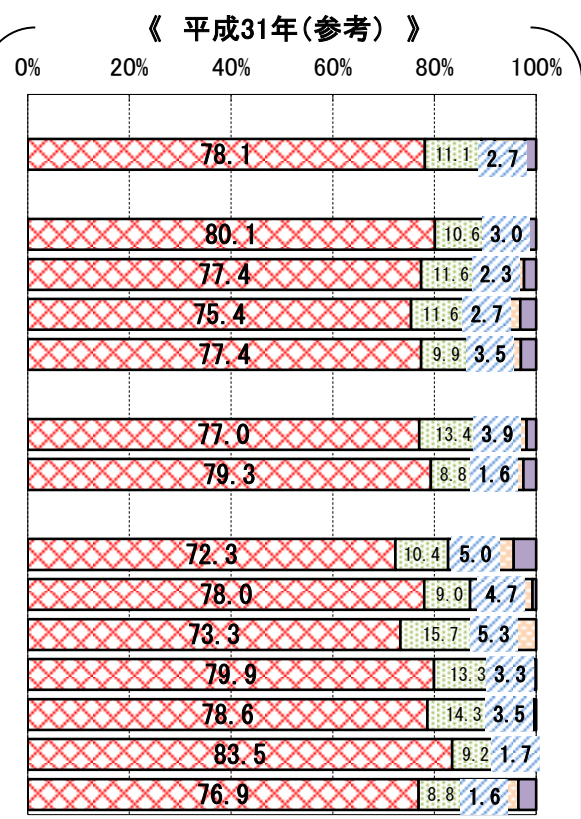
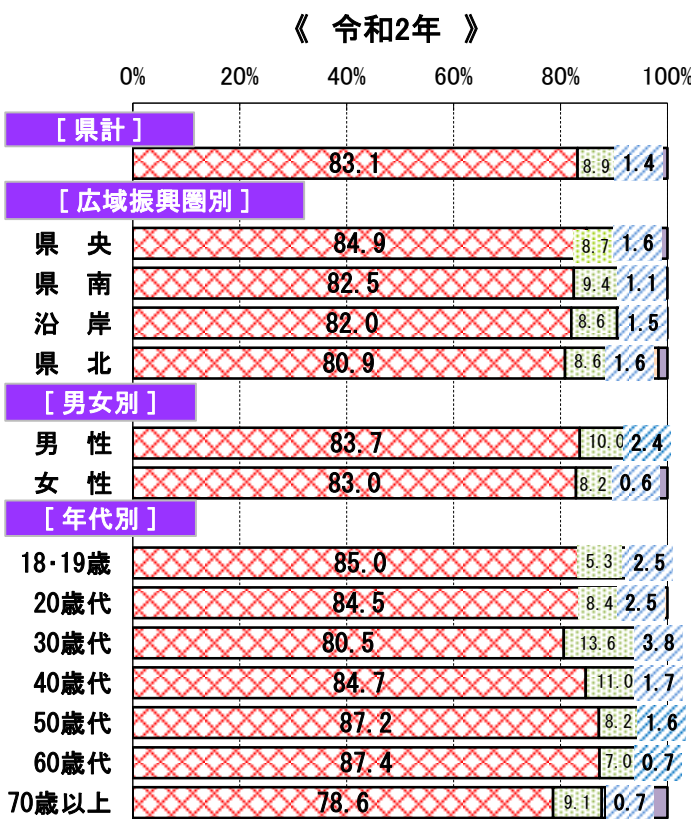
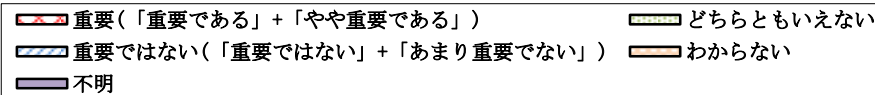


問2-50 地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出量削減の取組が行われていること。

(1) 重要度について

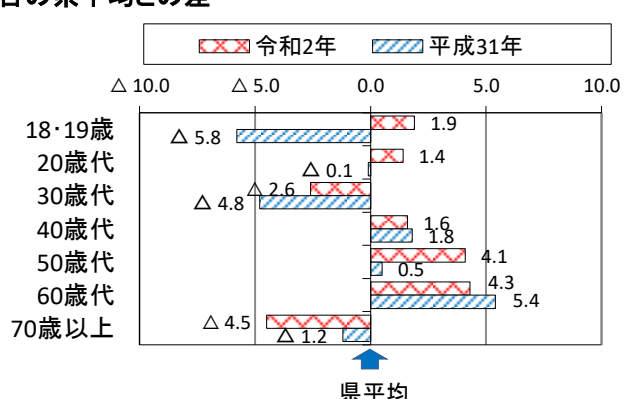
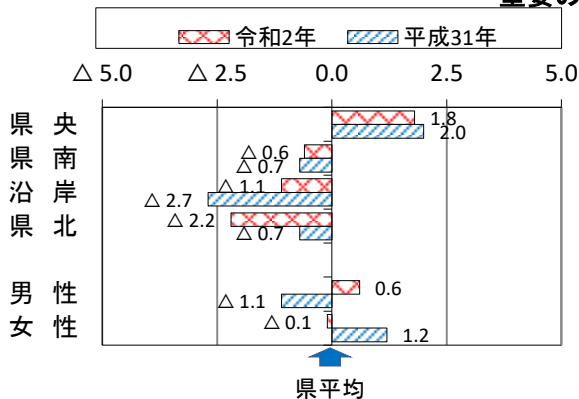
重要が8割強(83.1%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が83.1%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合1.4%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(84.9%)、男女別では男性(83.7%)、年代別では60歳代(87.4%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△2.2ポイント)、男女別では男性(0.6ポイント)、年代別では70歳以上(△4.5ポイント)となっている。



前回調査「地球温暖化防止のため、環境にやさしい再生可能エネルギーの利用や省エネルギーなど二酸化炭素等の排出量削減の取組が各地域で活発に行われていること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

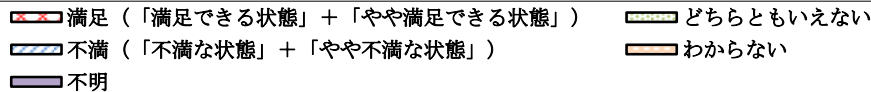
重要の割合の県平均との差



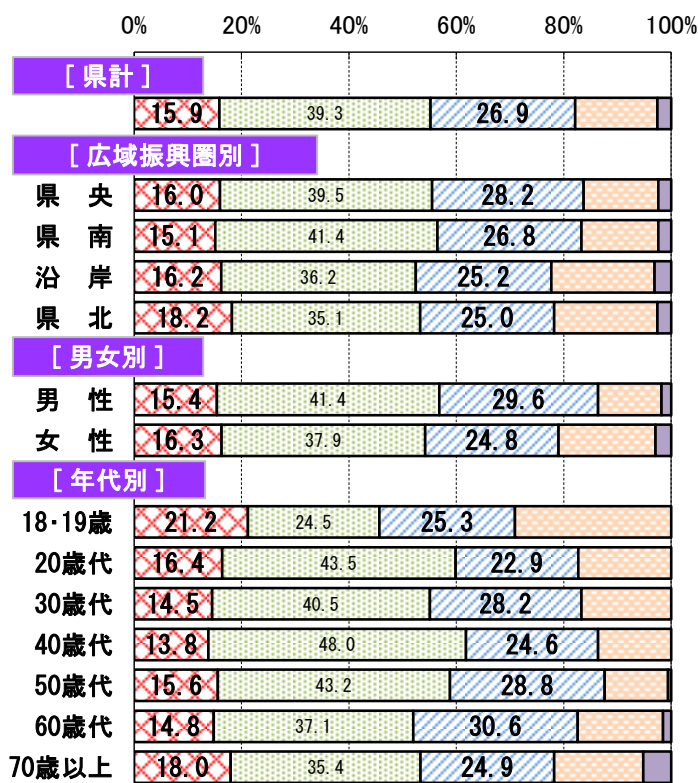
## (2) 満足度について

### 満足が約15% (15.9%)、不満を下回る

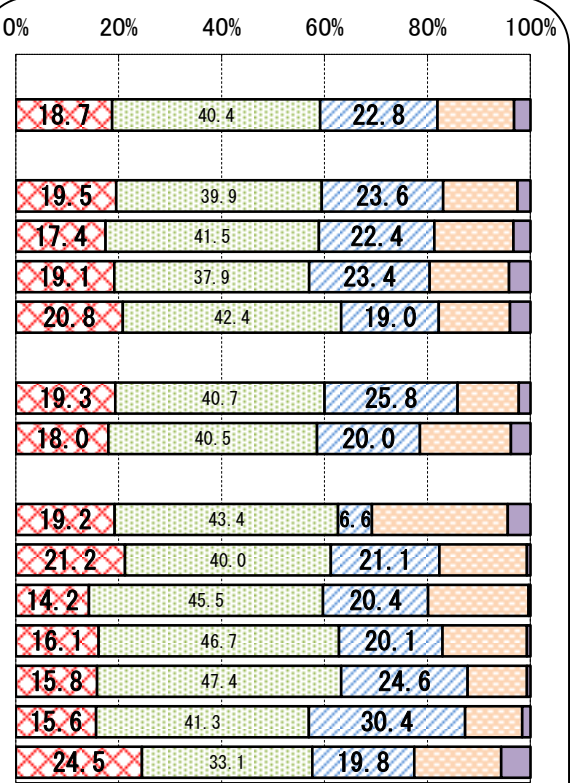
- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が15.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合26.9%を下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(18.2%)、男女別では女性(16.3%)、年代別では18・19歳(21.2%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(2.3ポイント)、男女別では男性(△0.5ポイント)、年代別では18・19歳(5.3ポイント)となっている。



### 《 令和2年 》

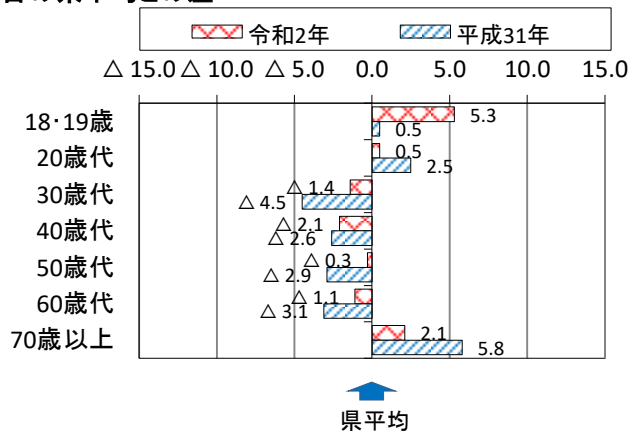
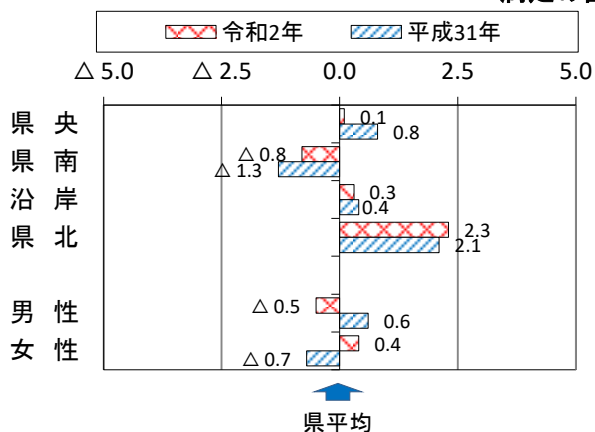


### 《 平成31年(参考) 》



前回調査「地球温暖化防止のため、環境にやさしい再生可能エネルギーの利用や省エネルギーなど二酸化炭素等の排出量削減の取組が各地域で活発に行われていること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

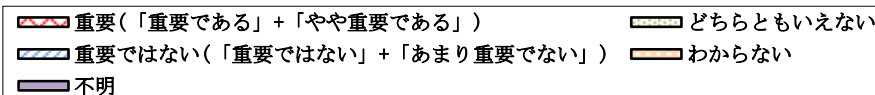


問2-51 国際リニアコライダー(ILC)の環境整備や新たな産業振興を見据えた取組が行われていること。

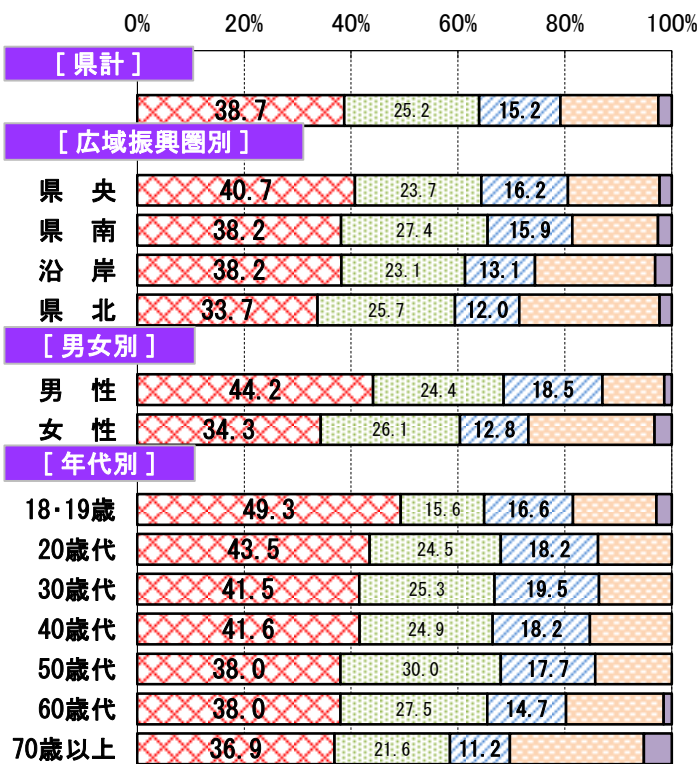
(1) 重要度について

重要が4割弱(38.7%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が38.7%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合15.2%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(40.7%)、男女別では男性(44.2%)、年代別では18・19歳(49.3%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△5.0ポイント)、男女別では男性(5.5ポイント)、年代別では18・19歳(10.6ポイント)となっている。

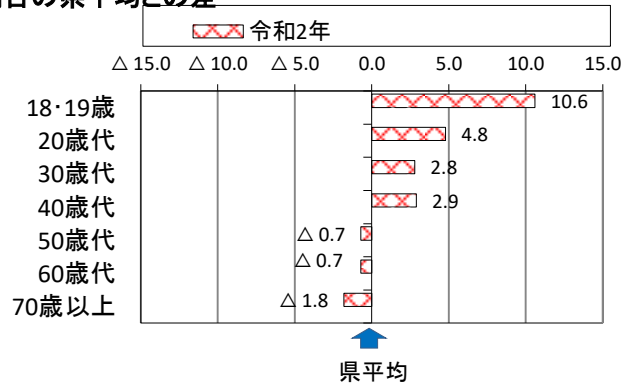
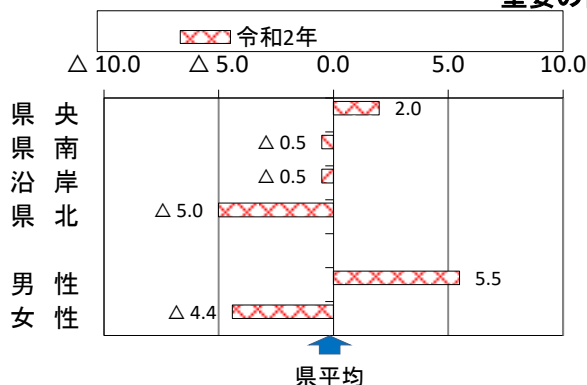


《 令和2年 》



※本項目は令和2年調査の新規項目であるため、平成31年調査の値は不掲載。

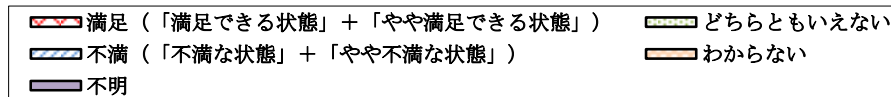
重要の割合の県平均との差



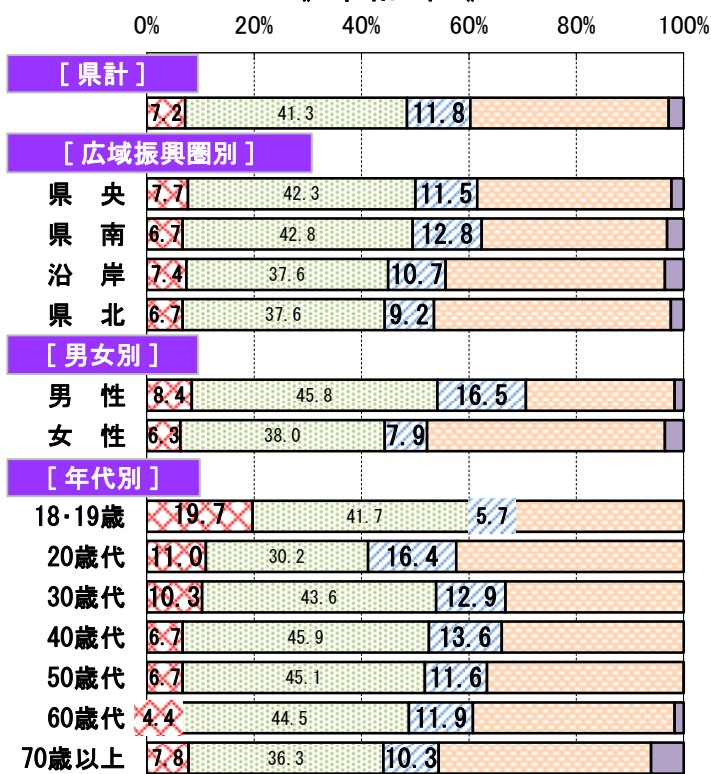
## (2) 満足度について

### 満足が1割弱(7.2%)、不満を若干下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が7.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合11.8%を若干下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(7.7%)、男女別では男性(8.4%)、年代別では18・19歳(19.7%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(△0.5ポイント)、県南(△0.5ポイント)及び県北(△0.5ポイント)、男女別では男性(1.2ポイント)、年代別では18・19歳(12.5ポイント)となっている。

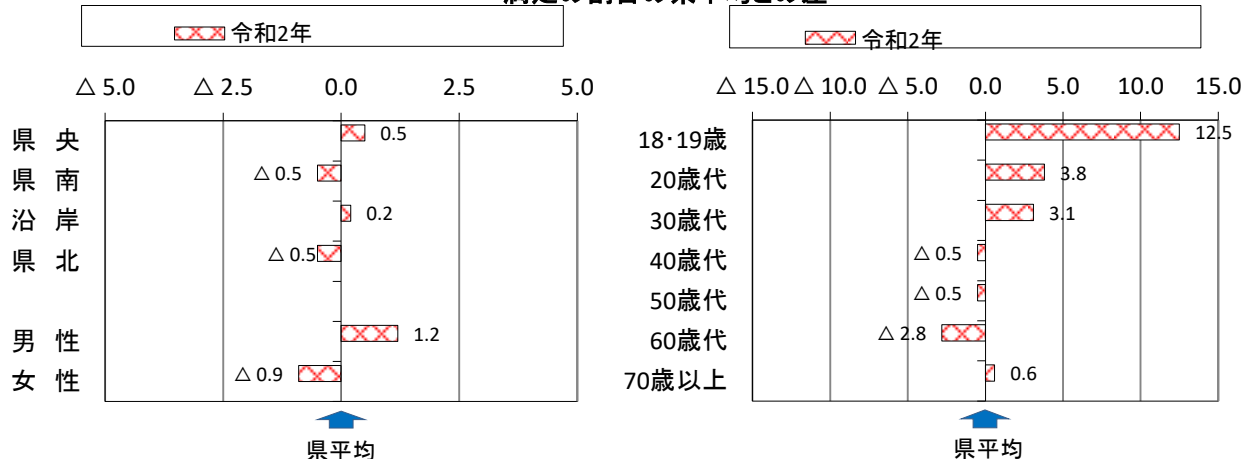


### 《 令和2年 》



※本項目は令和2年調査の新規項目であるため、平成31年調査の値は不掲載。

### 満足の割合の県平均との差



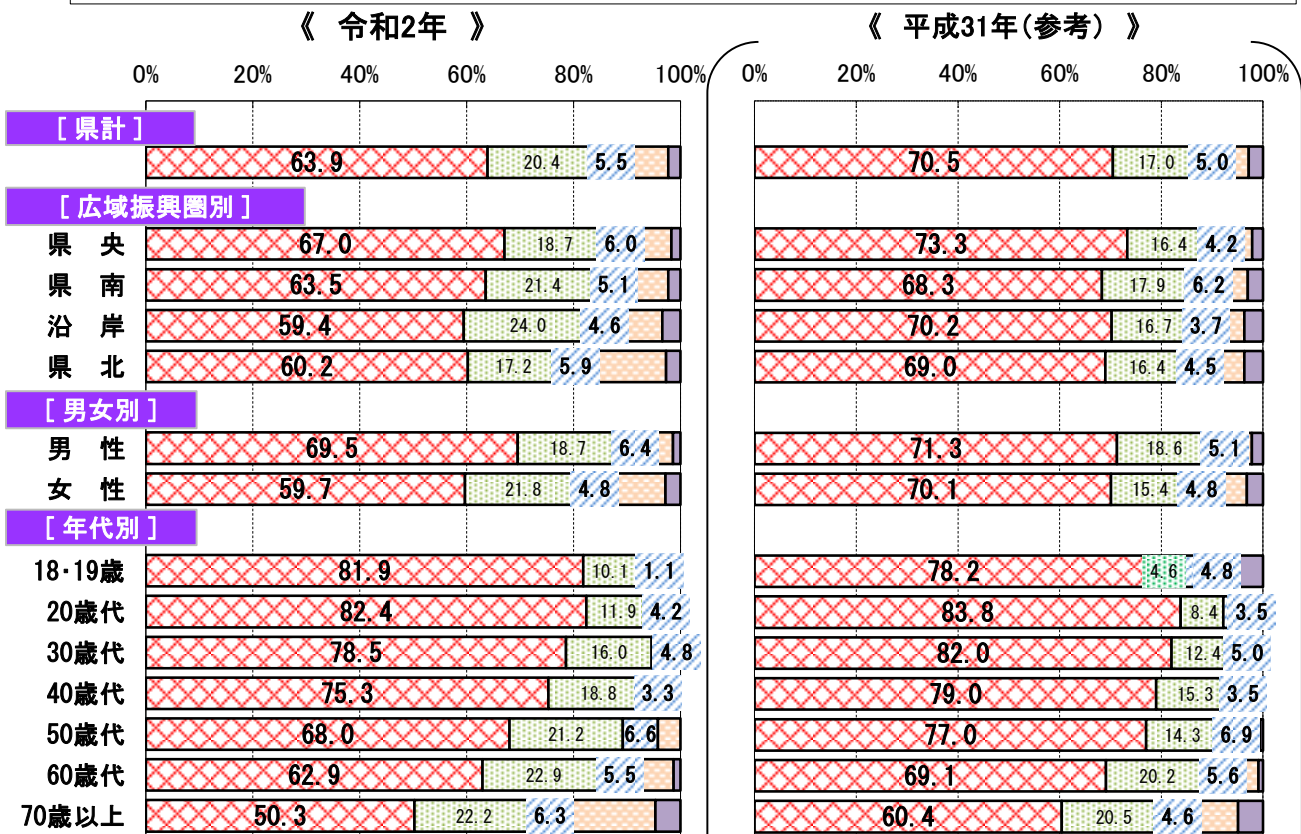
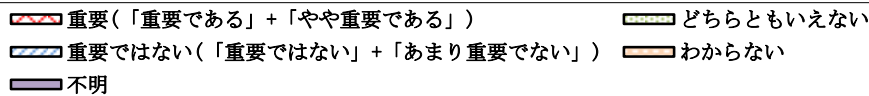
(注)国際リニアコライダー(ILC)とは、全長20~50kmの地下トンネルに建設される、電子と陽電子を加速、衝突させ質量の起源や時空構造、宇宙誕生の謎の解明を目指す大規模施設のことをさします。

問2-52 インターネットや携帯電話・スマートフォンなどの利用により、情報通信技術が暮らしや仕事に生かされていること。

(1) 重要度について

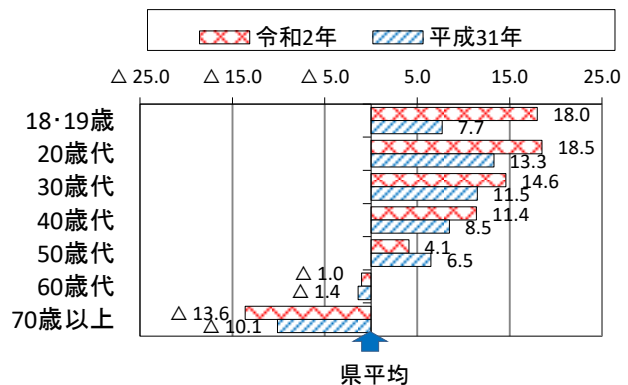
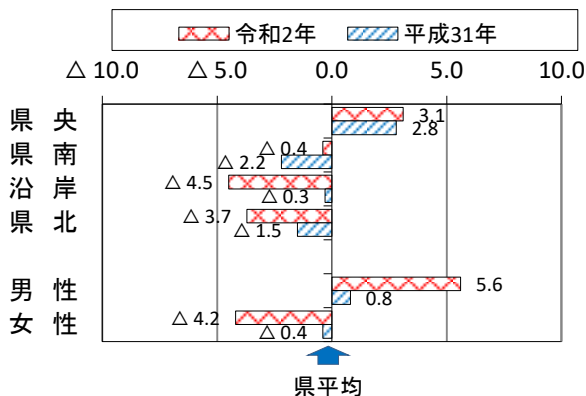
重要が6割強(63.9%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が63.9%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合5.5%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(67.0%)、男女別では男性(69.5%)、年代別では20歳代(82.4%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△4.5ポイント)、男女別では男性(5.6ポイント)、年代別では20歳代(18.5ポイント)となっている。



前回調査「携帯電話やインターネットなどの情報通信ネットワークが暮らしや仕事に生かされていること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

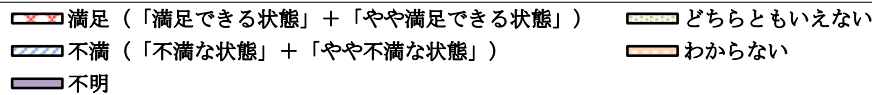
重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

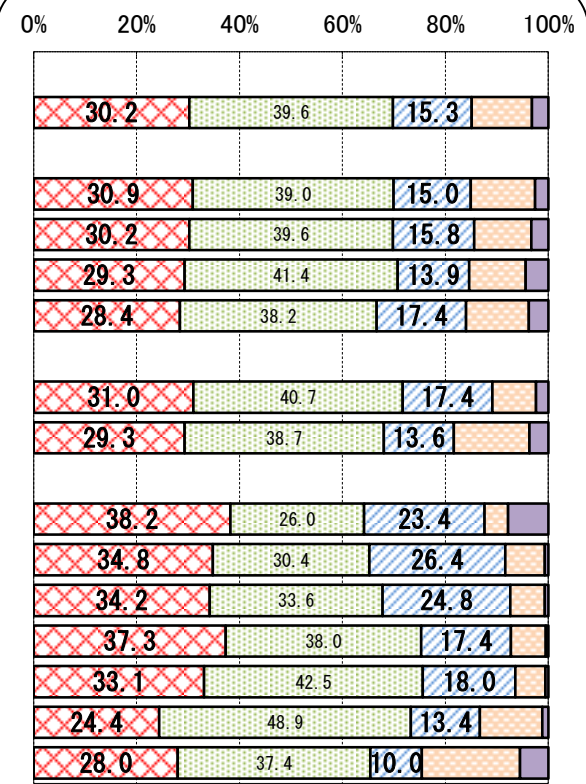
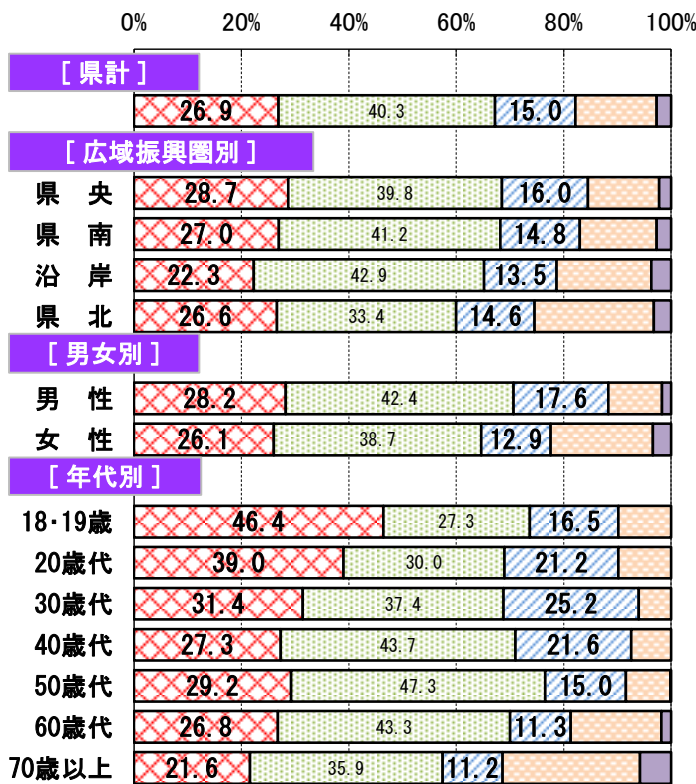
### 満足が3割弱(26.9%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が26.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合15.0%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(28.7%)、男女別では男性(28.2%)、年代別では18・19歳(46.4%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△4.6ポイント)、男女別では男性(1.3ポイント)、年代別では18・19歳(19.5ポイント)となっている。



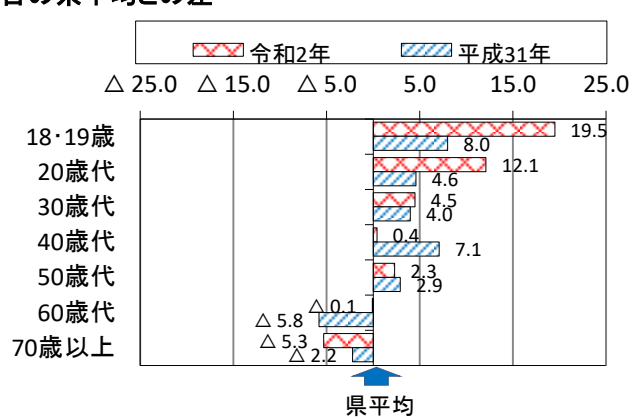
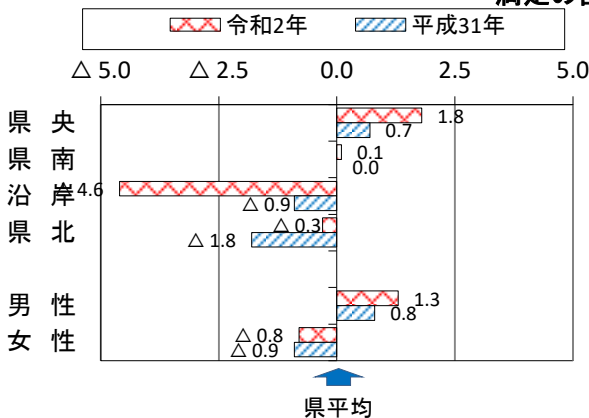
《 令和2年 》

《 平成31年(参考) 》



前回調査「携帯電話やインターネットなどの情報通信ネットワークが暮らしや仕事に生かされていること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差



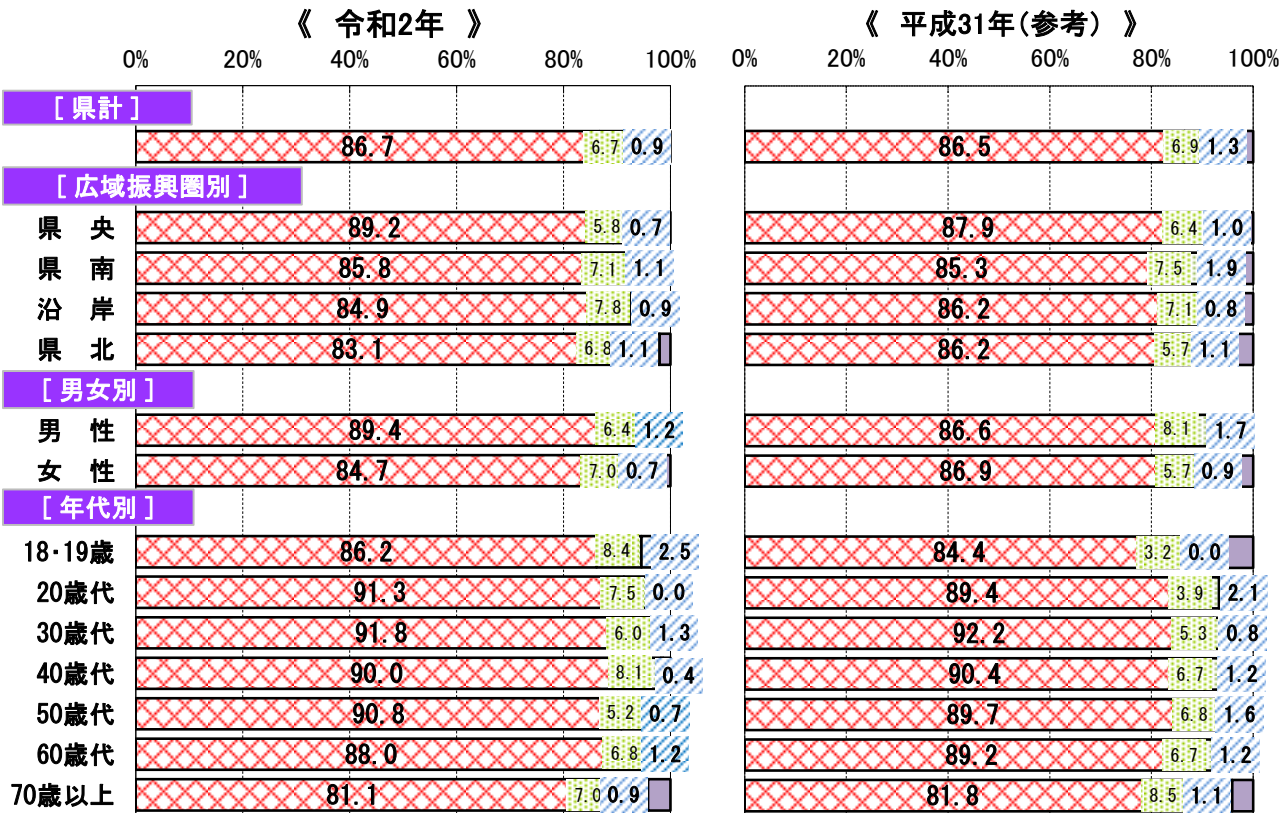
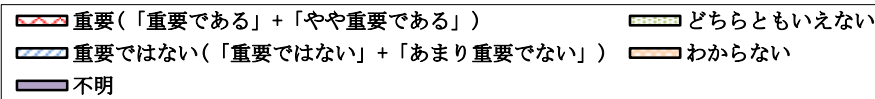


問2-53 防災施設の整備等が進み、地震や津波、洪水、土砂災害による被害を受けにくい、安心して暮らせる県土であること。

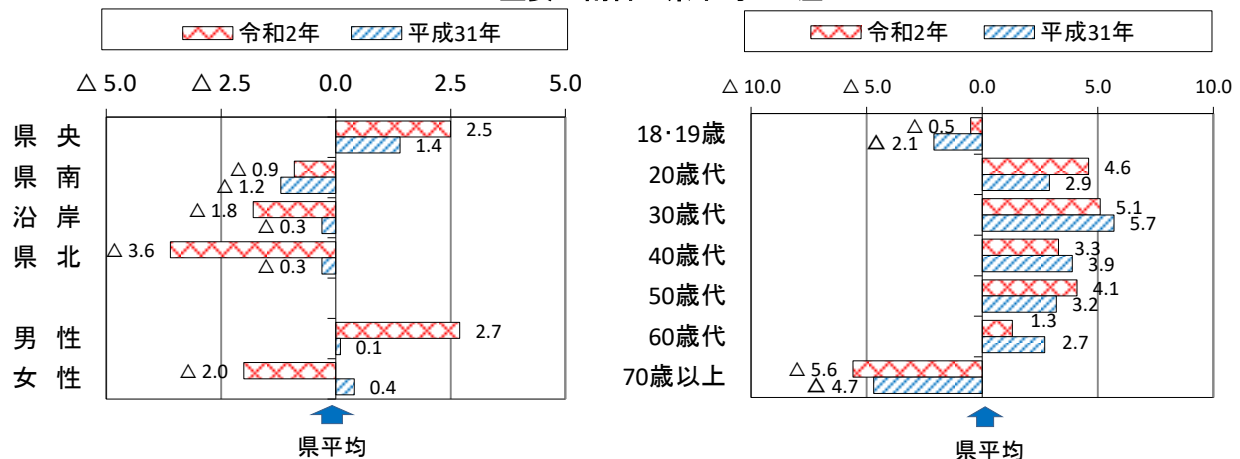
(1) 重要度について

重要が9割弱(86.7%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が86.7%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合0.9%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(89.2%)、男女別では男性(89.4%)、年代別では30歳代(91.8%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.6ポイント)、男女別では男性(2.7ポイント)、年代別では70歳以上(△5.6ポイント)となっている。



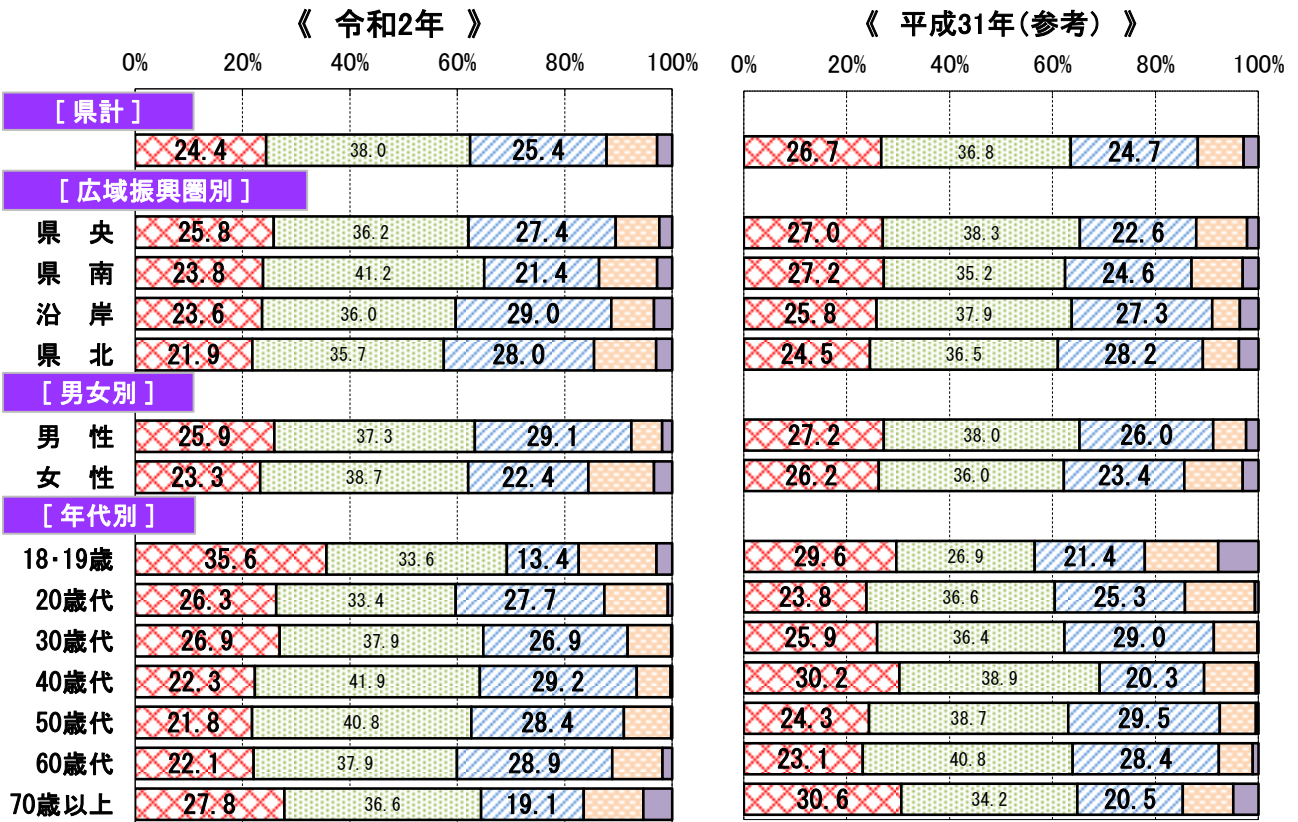
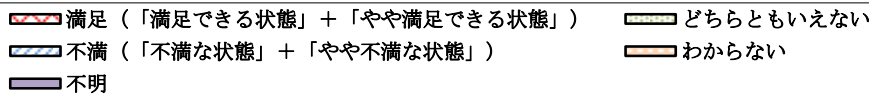
重要の割合の県平均との差



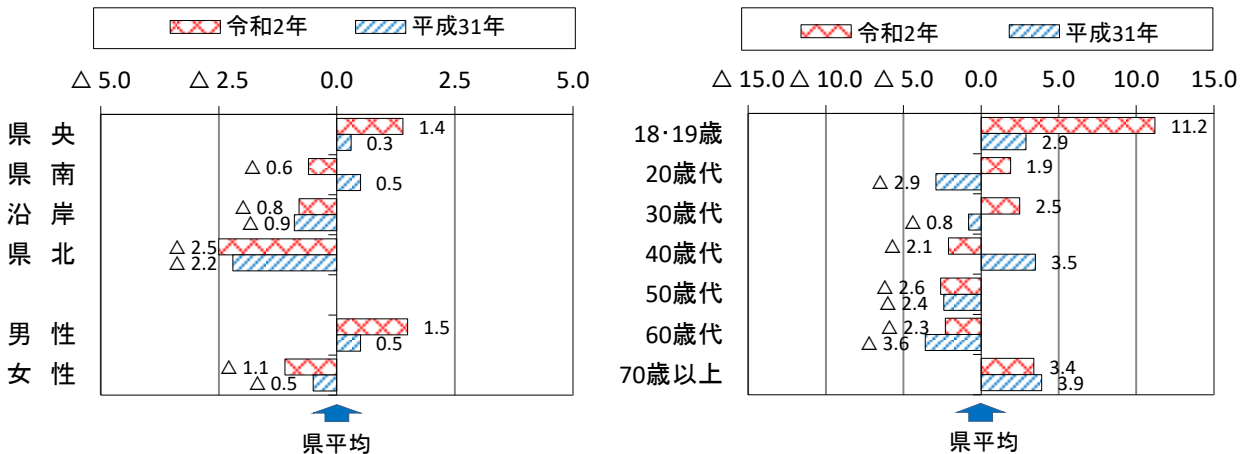
(2) 満足度について

満足が約25% (24.4%)、不満とほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が24.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合25.4%とほとんど差はない。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(25.8%)、男女別では男性(25.9%)、年代別では18・19歳(35.6%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△2.5ポイント)、男女別では男性(1.5ポイント)、年代別では18・19歳(11.2ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

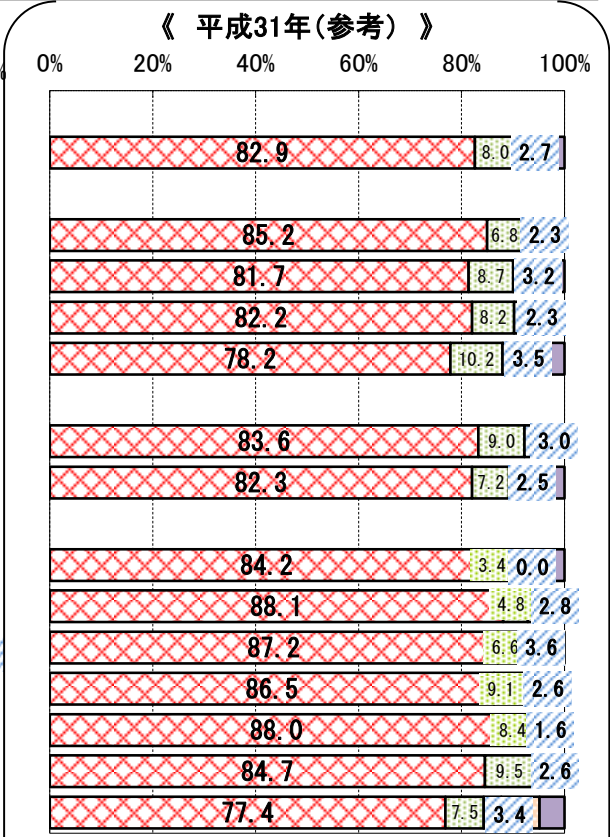
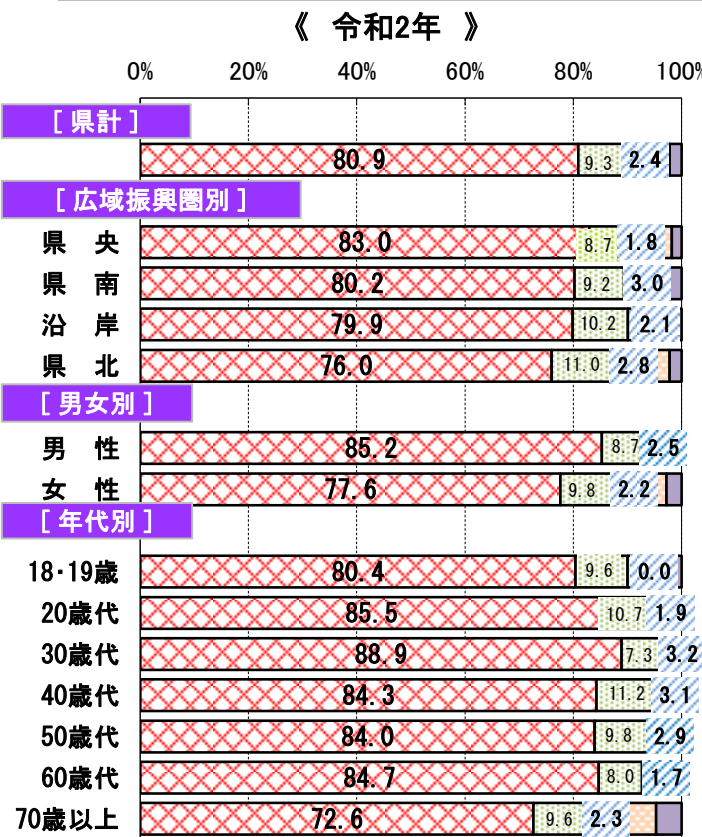
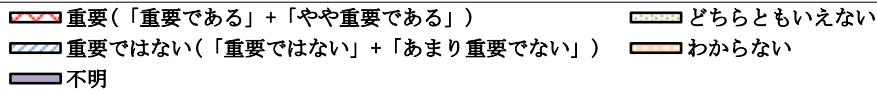


問2-54 高速道路や、インターチェンジ、新幹線駅、港湾、空港などの交通や物流の拠点に通じる道路が整備されていること。

(1) 重要度について

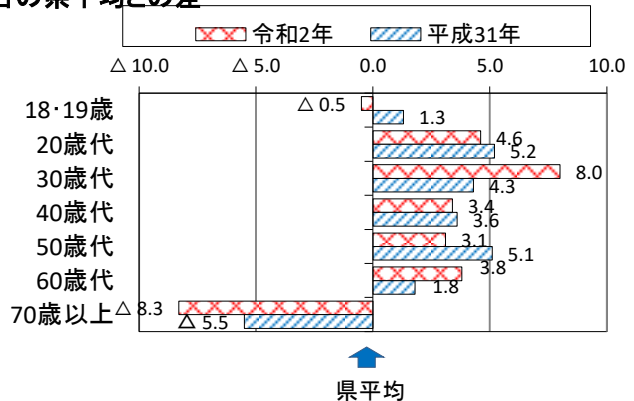
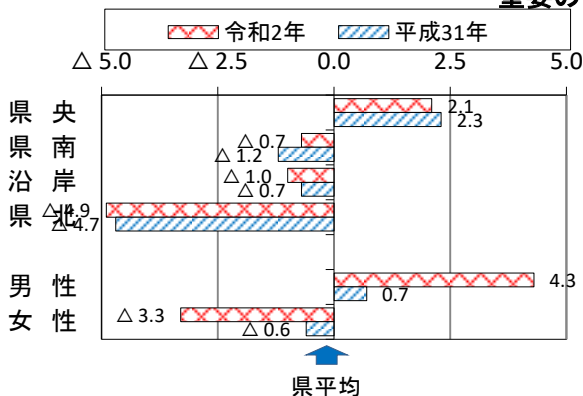
重要が8割強(80.9%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が80.9%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合2.4%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(83.0%)、男女別では男性(85.2%)、年代別では30歳代(88.9%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△4.9ポイント)、男女別では男性(4.3ポイント)、年代別では70歳以上(△8.3ポイント)となっている。



前回調査「高速道路をはじめ、インターチェンジや新幹線駅、港湾、空港などの交通や物流の拠点に通じる道路が整備されていること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

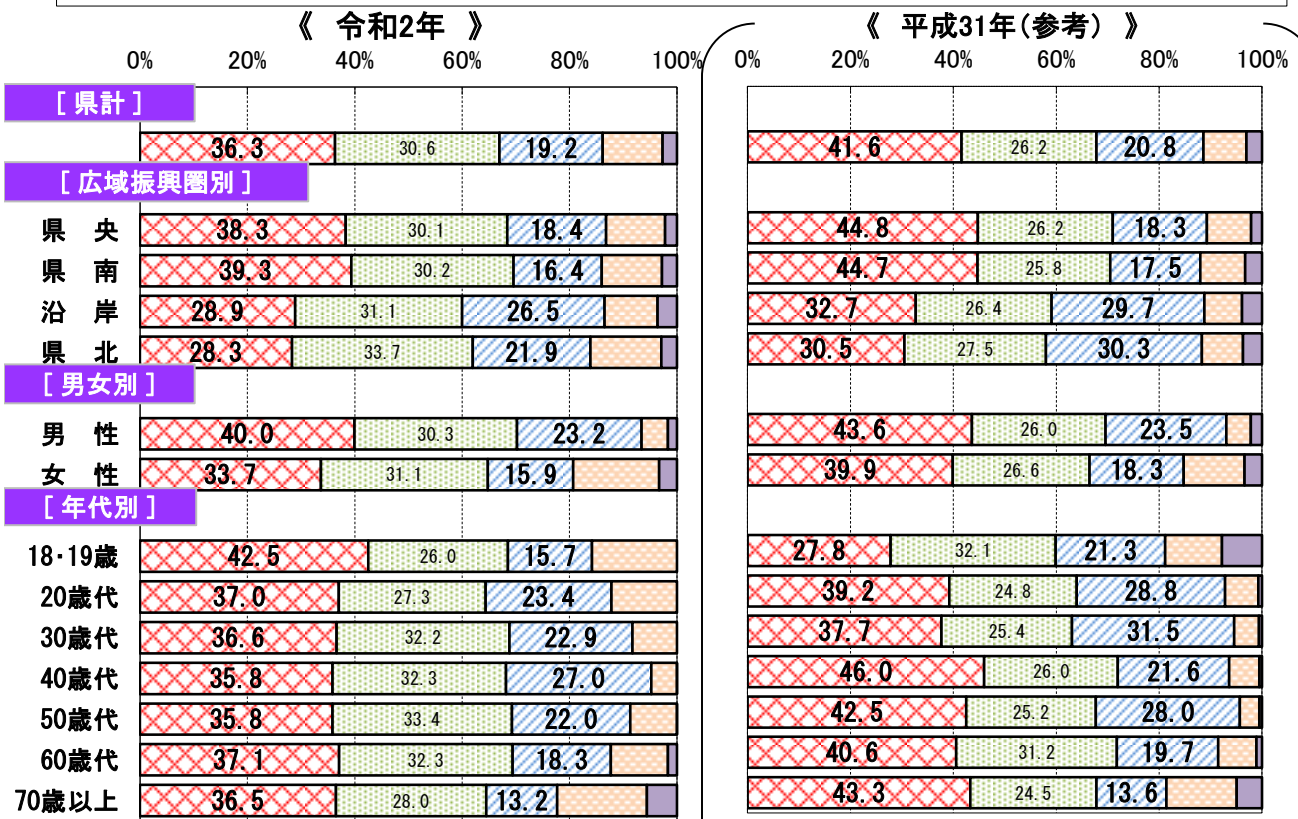
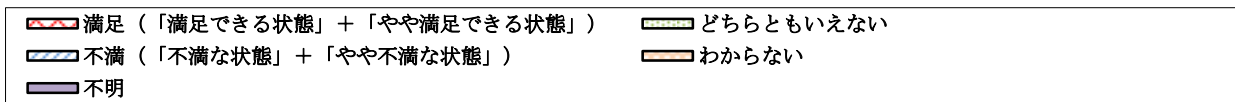
重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

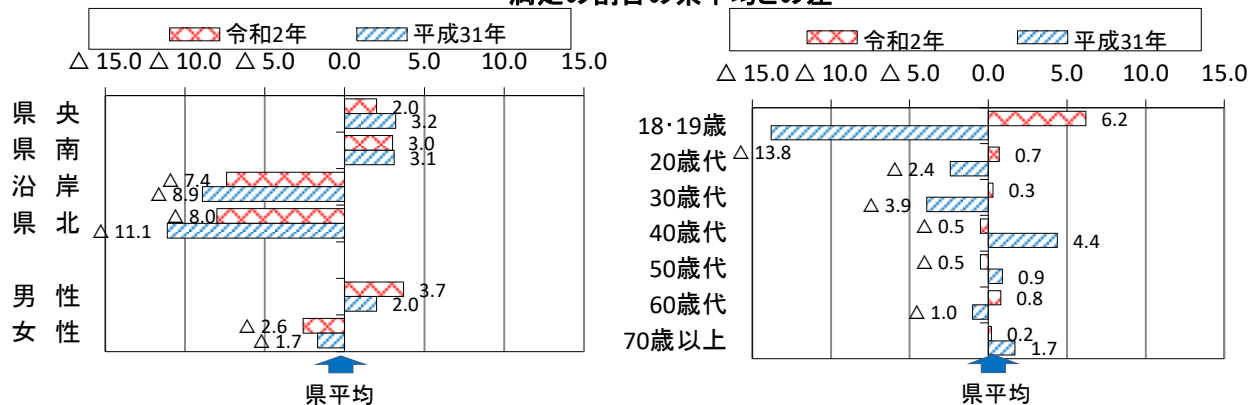
### 満足が4割弱(36.3%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が36.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合19.2%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県南(39.3%)、男女別では男性(40.0%)、年代別では18・19歳(42.5%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△8.0ポイント)、男女別では男性(3.7ポイント)、年代別では18・19歳(6.2ポイント)となっている。



前回調査「高速道路をはじめ、インターチェンジや新幹線駅、港湾、空港などの交通や物流の拠点に通じる道路が整備されていること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差

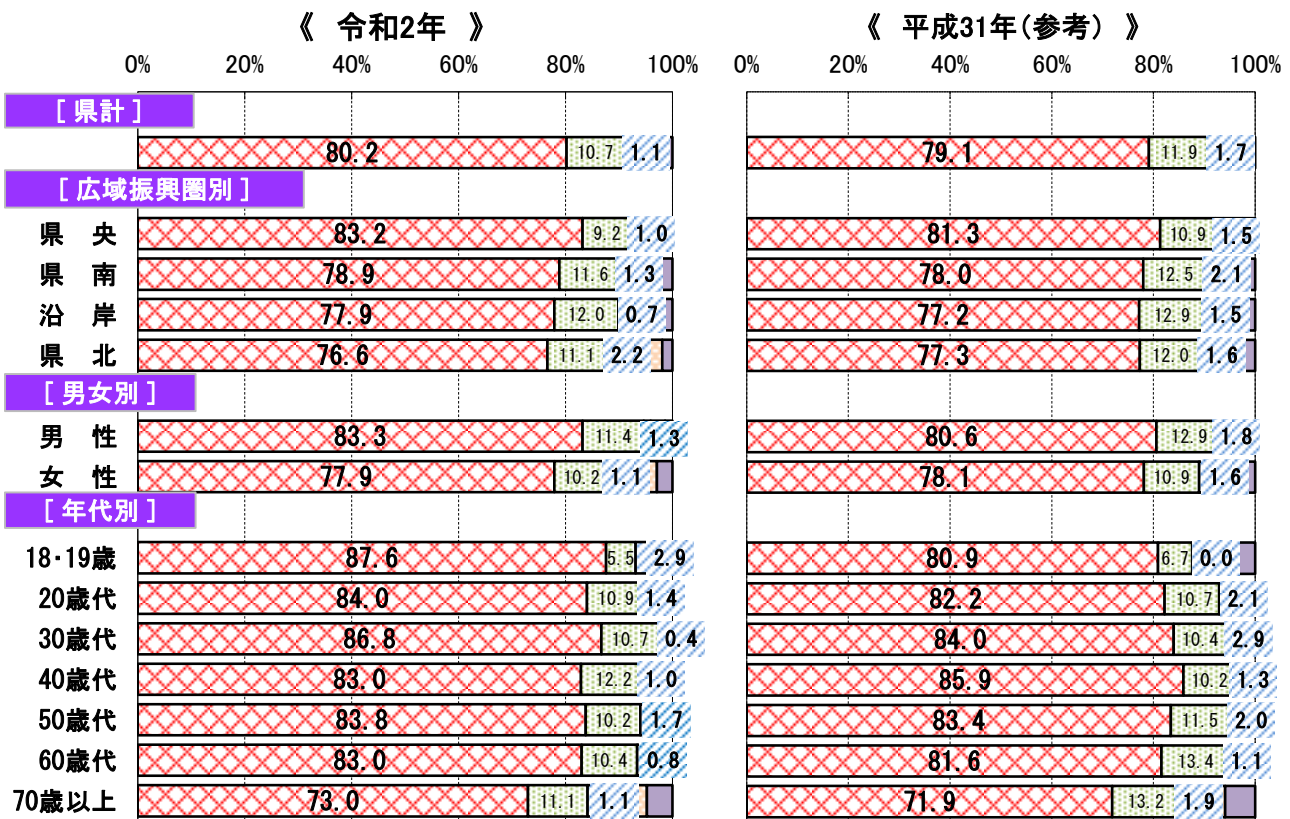
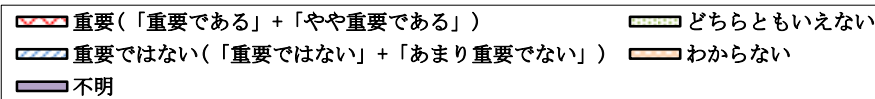


問2-55 道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。

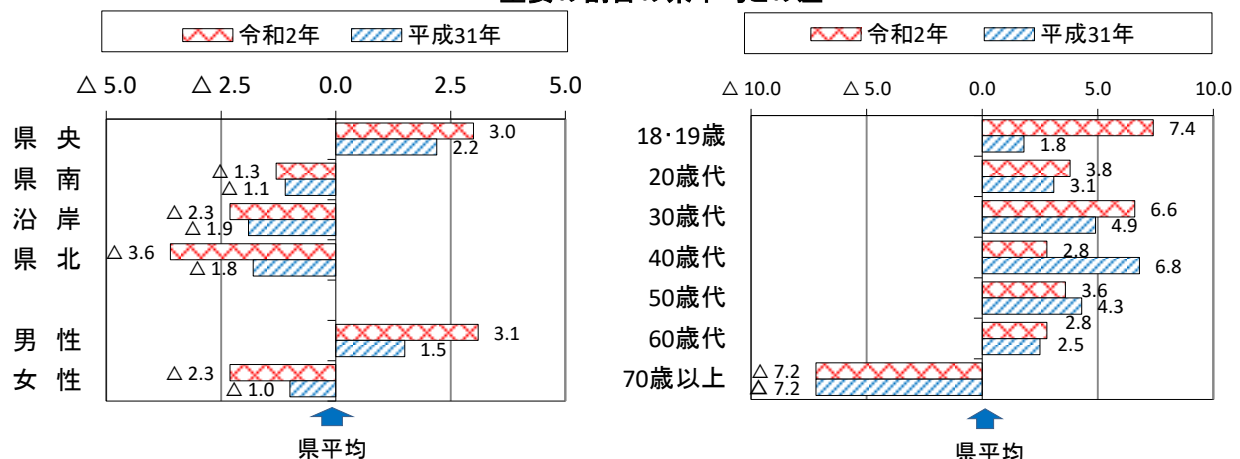
(1) 重要度について

重要が約8割(80.2%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が80.2%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合1.1%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(83.2%)、男女別では男性(83.3%)、年代別では18・19歳(87.6%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.6ポイント)、男女別では男性(3.1ポイント)、年代別では18・19歳(7.4ポイント)となっている。



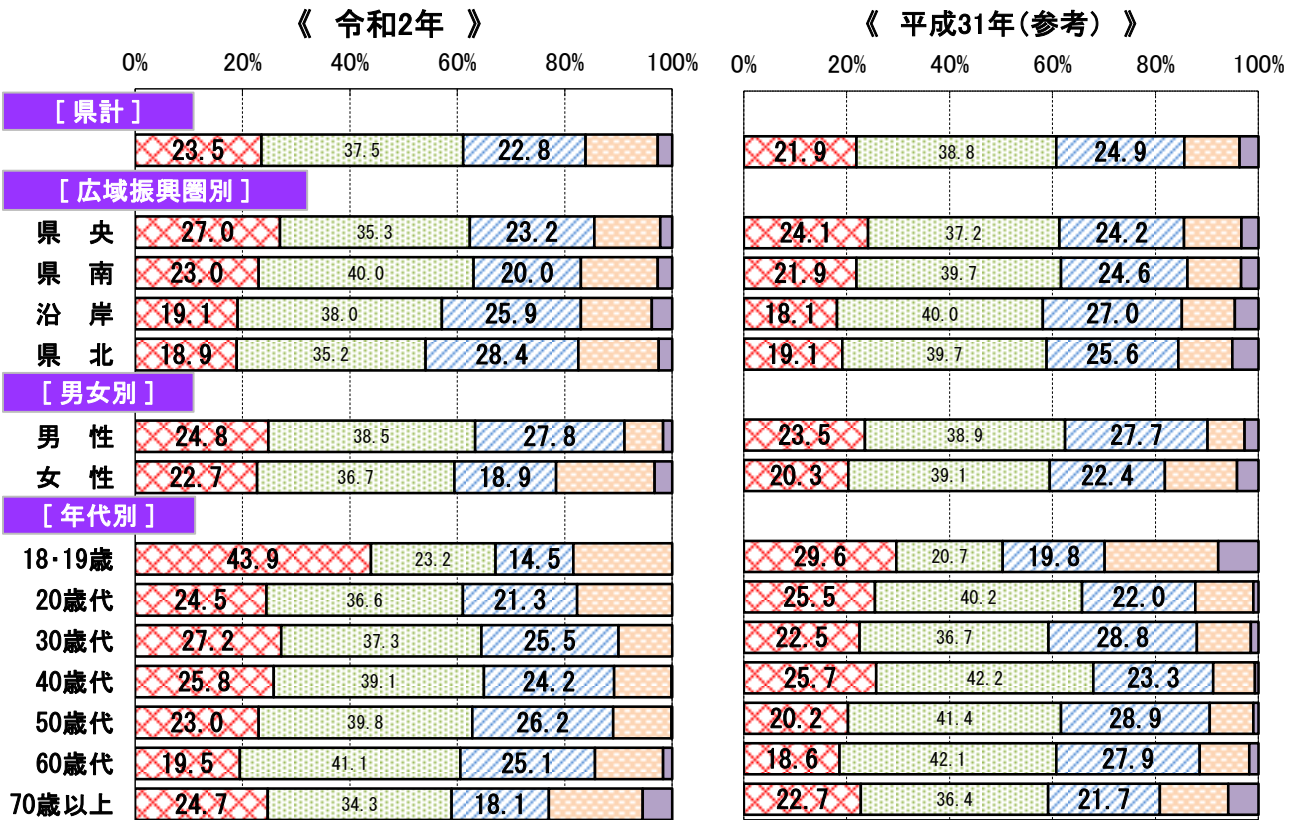
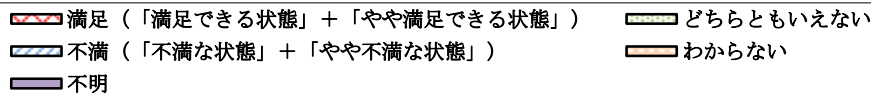
重要の割合の県平均との差



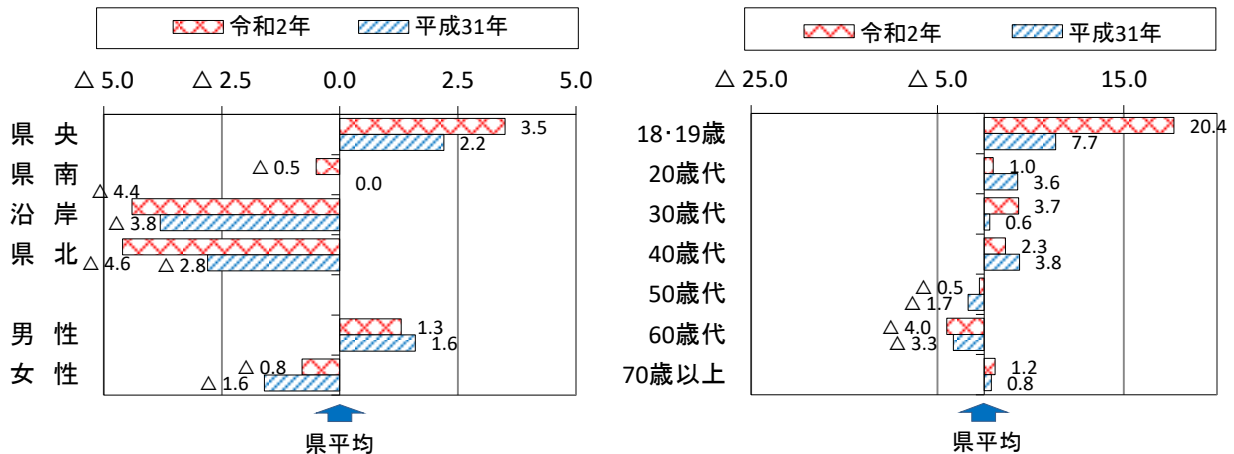
## (2) 満足度について

### 満足が2割強(23.5%)、不満とほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が23.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合22.8%とほとんど差はない。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(27.0%)、男女別では男性(24.8%)、年代別では18・19歳(43.9%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△4.6ポイント)、男女別では男性(1.3ポイント)、年代別では18・19歳(20.4ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

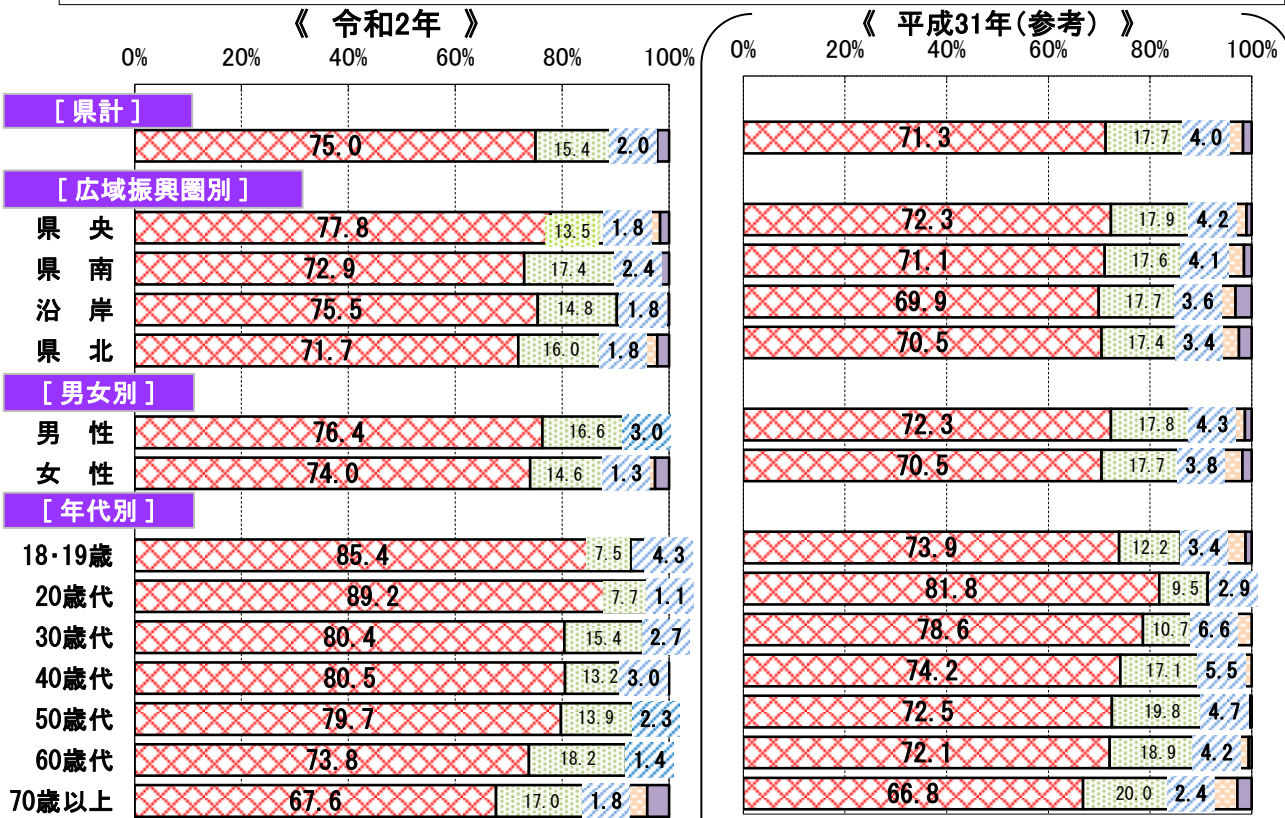
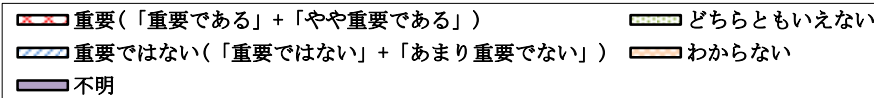


問2-56 性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。

(1) 重要度について

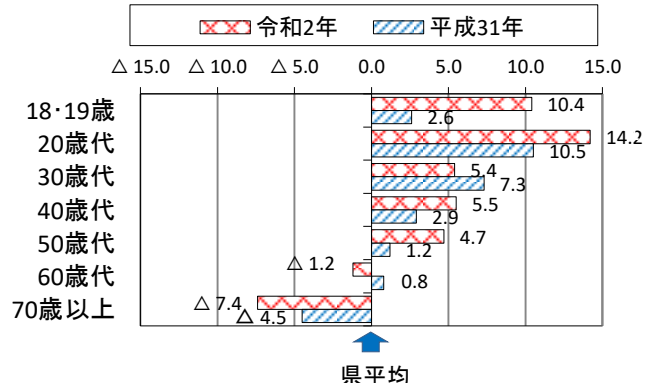
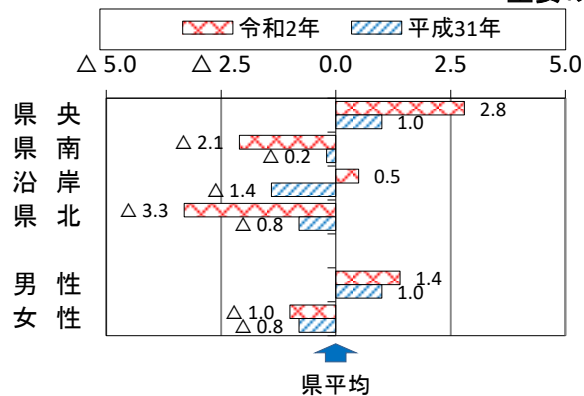
重要が75.0%

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が75.0%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合2.0%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(77.8%)、男女別では男性(76.4%)、年代別では20歳代(89.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.3ポイント)、男女別では男性(1.4ポイント)、年代別では20歳代(14.2ポイント)となっている。



前回調査「女性も男性も社会のあらゆる分野に等しく参画し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

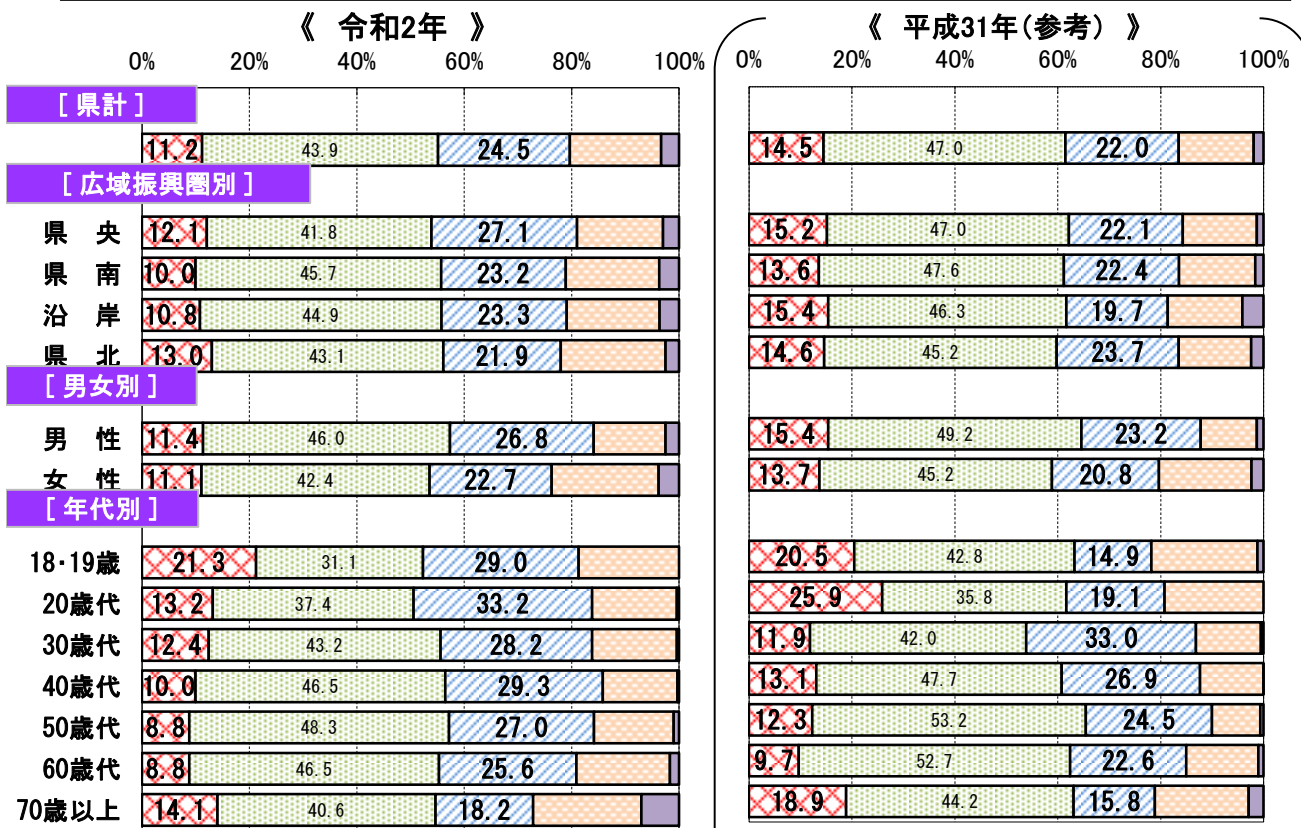
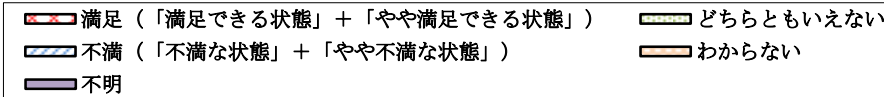
重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

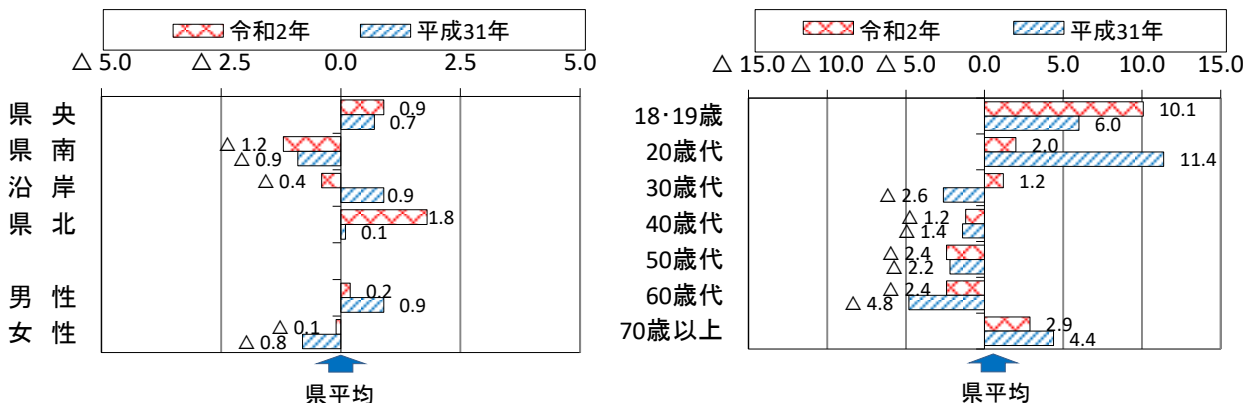
### 満足が1割強(11.2%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が11.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合24.5%を下回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県北(13.0%)、男女別では男性(11.4%)、年代別では18・19歳(21.3%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(1.8ポイント)、男女別では男性(0.2ポイント)、年代別では18・19歳(10.1ポイント)となっている。



前回調査「女性も男性も社会のあらゆる分野に等しく参画し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差



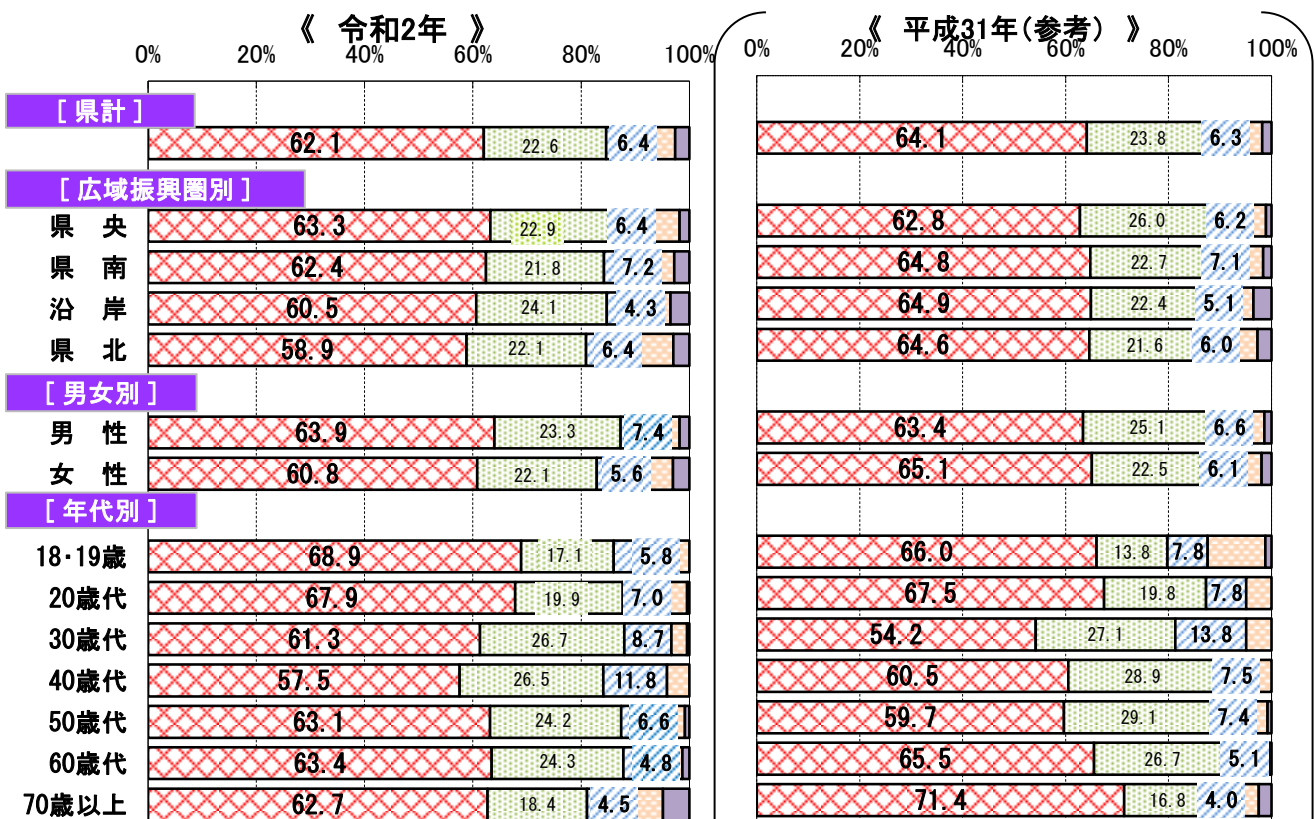
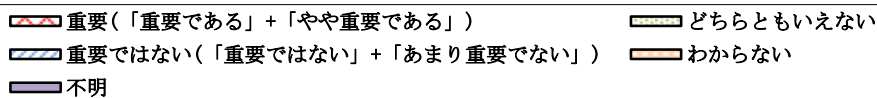


問2-57 だれもが市民活動や県民運動に参加できる社会であること。

(1) 重要度について

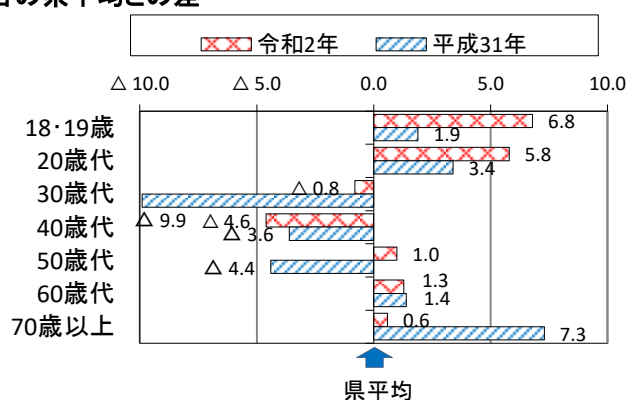
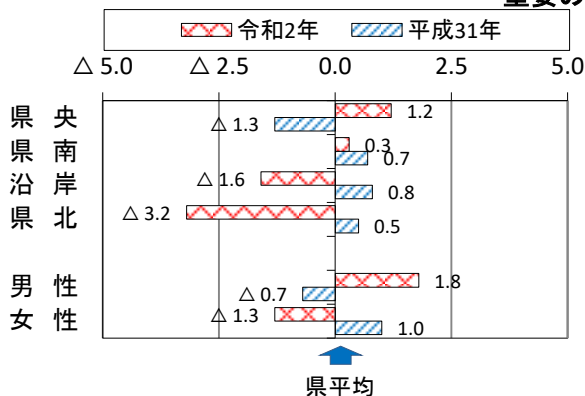
重要が6割強(62.1%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が62.1%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要でない」)の割合6.4%を大きく上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(63.3%)、男女別では男性(63.9%)、年代別では18・19歳(68.9%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.2ポイント)、男女別では男性(1.8ポイント)、年代別では18・19歳(6.8ポイント)となっている。



前回調査「だれもが市民活動に参加できる社会であること。」  
※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

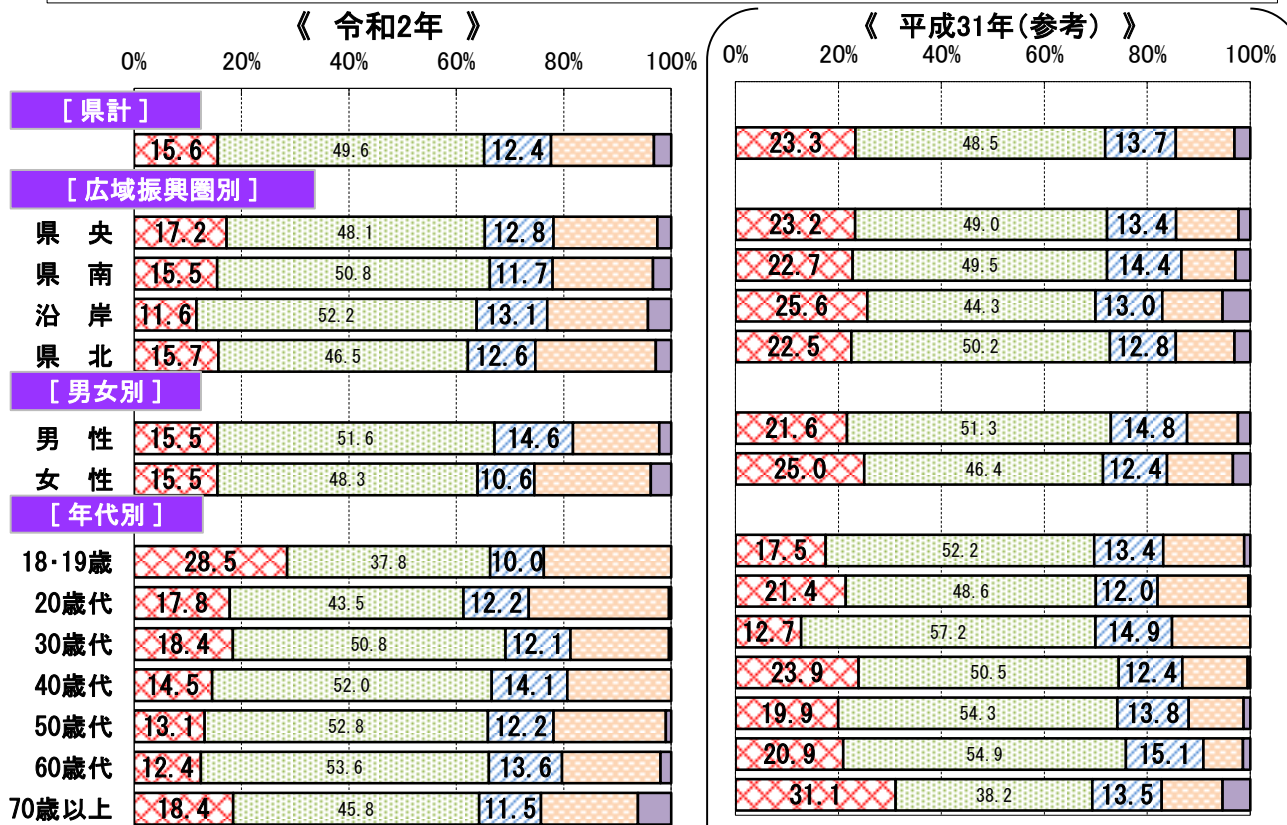
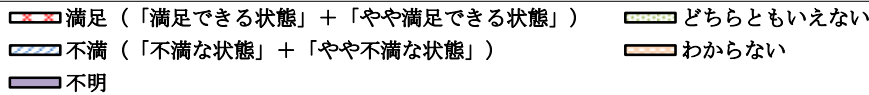
重要の割合の県平均との差



## (2) 満足度について

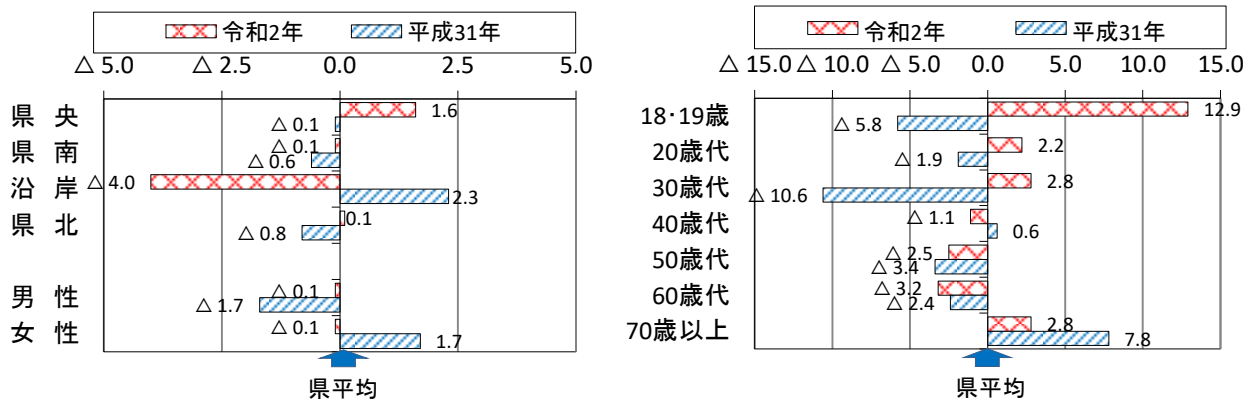
### 満足が約15% (15.6%)、不満を若干上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が15.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合12.4%を若干上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(17.2%)、年代別では18・19歳(28.5%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△4.0ポイント)、年代別では18・19歳(12.9ポイント)となっている。



前回調査「だれもが市民活動に参加できる社会であること。」  
 ※項目文が一部変更となっているため、単純比較はできません。

### 満足の割合の県平均との差



(注1) 市民活動とは、NPO、ボランティア、自治会・町内会(子供会行事への参加、清掃や美化活動等を含む)などの活動をさします。  
 (注2) 県民運動とは、地域医療体制づくりや地球温暖化防止、交通事故防止など、全県的な目標・課題に関し多様な主体が連携して取り組むことをさします。